



911

Good to know - 取扱説明書

WKD 992 05 D **70 22**

01/2022

「Porsche」、「Porsche Crest」、「911」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Tequipment」およびその他の名称は Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。

本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の文書による許可が必要です。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡してください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

装備品

ポルシェでは絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストおよび記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品は、標準または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

取扱説明書のレイアウト

この取扱説明書について



取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

▷ P. 2

目次



概要を把握し、確認したいテーマを探すことができます。

トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

▷ P. 27

安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ P. 5

テクニカルデータ



特定の図を検索してください。

▷ P. 302

概要



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ P. 19

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

この取扱説明書について

警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。



注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度の怪我または軽傷を負う可能性があります。

情報

車両が損傷する可能性

「通知」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。
- ▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

2. 従う必要のある手順がセントラルディスプレイに表示されます。

▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

詳細情報

車両、コネクテッド サービス、および充電機器の詳細情報については、車両に関する車載の取扱説明書およびデジタルポルシェチャンネルをご覧ください。デジタルチャンネルの詳細情報については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

車載



取扱説明書は下記のポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) で確認できます。

▶  ▶ 取扱説明書

免責事項

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone、および他の Apple の商標は Apple Inc. の登録商標であり、米国およびその他の国で登録されています。App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。iOS は米国およびその他の国における Cisco Technology, Inc. の商標または登録商標であり、Apple によりライセンスに基づいて使用されています。Android、Android Auto、Google Play、Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

目次

安全性とドライビングプレジャー.....	5	運転 / ドライバー アシスタンス		ファンクション オンデマンド (FoD) の購入.....	212
概要図		アダプティブ クルーズ コントロール (ACC).....	96	デバイス マネージャー.....	213
センサーおよびカメラ.....	20	アクティブ パーキング サポート.....	102	ホーム画面および個人画面.....	215
フィルター キャップ.....	21	アクティブ レーン キープ.....	107	メディア.....	216
運転席.....	22	リヤ クロス トラフィック アラート.....	111	メッセージ.....	218
コックピット.....	23	オート スタート / ストップ 機能.....	112	ナビゲーション.....	219
コントロール パネル.....	24	ブレーキ.....	115	オンライン ソフトウェア アップデート.....	223
スイッチ用 ストリップ.....	25	走行プログラム.....	117	ボルシェ コネクト.....	224
ルーフ コンソール.....	26	車両の始動、走行、駐車.....	120	スマート サービス.....	228
トピック.....	27	トランスミッション.....	121	スポーツ クロノ ストップ ウォッチ.....	229
開閉操作とロック		スポイラー.....	125	電話.....	232
警報システム.....	28	HOLD 機能.....	126	荷物および運搬	
キー.....	29	ライト.....	128	収納スペース.....	234
ウィンドウ.....	31	フロント アクスル リフト システム.....	134	ルーフ トランスポート システム.....	235
ラゲッジ コンパートメント リッド.....	33	ナイト ビュー アシスト.....	136	ドリンクホルダー.....	239
エンジン コンパートメント リッド.....	35	パーク アシスト.....	137	ラゲッジ コンパートメント.....	241
スライディング / チルティング ルーフ.....	36	一般的な安全に関する指示.....	141	スモーカーズ パッケージ.....	243
タルガ ルーフ システム.....	40	ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM).....	141	電気ソケット.....	245
コンバーチブル トップ.....	46	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	142	モビリティおよび軽修理	
セントラル ロック.....	54	フロント ウィンドウ ワイパー.....	145	12V バッテリー.....	246
エアコンおよび人間工学		レーン キープ アシスト.....	149	けん引.....	254
エアバッグ.....	62	レーン チェンジ アシスト (LCA).....	153	ブレーキフルード.....	258
インテリア ライト.....	64	クルーズ コントロール.....	158	クーラント.....	259
チャイルドシート.....	65	警告およびブレーキ アシスト.....	160	エンジン オイル.....	261
エアコン システム (2 ゾーン エアコン).....	75	表示および入力		緊急電話システム.....	264
ステアリング ホイール.....	81	インストールメント パネル.....	164	車両のお手入れ.....	266
パーソナル設定.....	82	ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM).....	175	テスト スタンドでの測定.....	272
シートベルト.....	84	ボイス コントロール.....	181	タイヤおよびホイール.....	273
シート.....	86	警告および情報メッセージ.....	184	パンク.....	291
サンバイザー.....	90	操作および使用		ヒューズ.....	294
ミラー.....	91	Android Auto.....	206	補給.....	297
ロールオーバー プロテクション (カブリオレ).....	95	Apple CarPlay.....	208	ジャッキおよびリフティング プラットフォーム.....	300
		通知.....	210	ウォッシュャー液.....	301
		車両設定.....	211		

テクニカルデータ

テクニカルデータ.....	302
無線機器 (EU 地域外).....	317
索引.....	328

安全性とドライビング プレジャー

あなたの貢献

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

車両の損傷および正常な動作の点検



たとえば、技術的な損傷のある車両は不適正な作動により、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し [少なくとも 1 か月に 1 度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
 - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
 - エアロパーツに損傷がない
 - ワイパー ブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
 - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
 - クーリング エア ダクト、センサー、およびカメラの動きを妨げるものがない (フィルム、ストーン ガードまたはライセンス プレート ホルダーなど)
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないかを確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が極端に低いまは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が著しく増加し、可走距離が減少する可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。

- ▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
- ▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングメニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
- ▶ 273 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ インストルメントパネルに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したまま運転を**続け**ないでください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▶ 291 ページの「パンク」の章を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
 - 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
 - フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロパーツの点検



エアロパーツ (スポイラーまたはアンダーボディパネル) が損傷または紛失していると、ハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。
- ▶ スポイラーを持って車両を動かさないでください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードの不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
 - ▶ ワイパー ブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
 - ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントウィンドウに筋が残るようなら交換します。
- ▶ 145 ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。

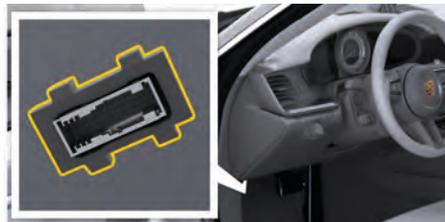
メンテナンスおよび仕様変更はポルシェ正規販売店以外では行わないでください



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずボルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

- ▶ 外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションをOFFにしたときにバッテリーを消耗させたり損傷（完全放電）させたりする恐れがあります。外部機器またはケーブルは、制動

時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

ボルシェのスペアパーツ



- ▶ ボルシェ純正スペアパーツ、またはボルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペアパーツのみを車両にはご使用ください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ テクニップメント シリーズのアクセサリ、またはボルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ボルシェ テクニップメントに関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ボルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

車室内の騒音レベル

ロシア、ベラルーシ、カザフスタンの場合：車両は、加速時に客室内の騒音レベル 77 dBA を超えることにより、関税同盟 No.018 / 2011 「車輪付き車両の安全性について」の技術規則の要件に準拠しています。車両を公共交通機関（タクシーなど）として使用することはできません。

荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ボルシェドライバーへの注意事項

ボルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、お出かけの前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは、正しく使用されていて完全に機能している場合にのみ、乗員を怪我から守ります。

i インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員1人だけです。
- ▶ だぶついた衣服、厚手の衣服（例：冬物コート）は脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください（例：メガネやボールペン）。
- ▶ シートベルトがねじれないようにしてください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。

- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。
 - ▷ 84 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

エアバッグ



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 乗員とエアバッグが展開する間のエアリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。

- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください（例：ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り）。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
 - ▷ 62 ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、投げ出される可能性があります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

i インフォメーション

たとえば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。たとえば、1.5 リットルの水が入っているペットボトルは 75 kg の力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ ラグジュアリーコンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。

- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください(引き裂き強度は最低 700 kg)。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくボルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 234 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
- ▶ 241 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

挟み込み防止



以下に記載されている車両構成部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり押しつぶされたりする可能性があります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式フロントシート
- ドア
- ウィンドウ
- カバーおよびリッド
- 小物入れのリッド

- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいないことを確認してください。

子供の行動を監視する



子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

子供は誤って自動設定(座席調整など)を 작동させて怪我する可能性があります。子供は緊急時(車内の過熱状態など)に車両から降りることができません。これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

- ▶ 高温部品(排気タールパイプなど)や 작동中の部品に子供が近づかないようにしてください。
- ▶ 有毒物質(タイヤシーラントやエンジンオイルなど)は子供の手の届かない所に置いてください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルドシートの安全な使用



チャイルドシートは、正しく装備された場合のみ効果を発揮します。

- ▶ ボルシェによって承認されているチャイルドシートを常に使用してください。
- ▶ チャイルドシートを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルドシートのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
▶ 65 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ボルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロール機能から緊急ブレーキ機能まで - この車で走り出せば、すべてが可能になります。しかしながら、その一方で、最終的にこの能力を常に制御下に置く責任はドライバーにあります。

注意力の低下を防ぐ



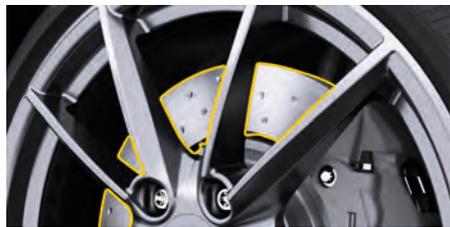
走行中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなるおそれがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリングホイールの調整は行わないでください。シートやステアリングホイールが思った以上に動く場合があります。

す。車両のコントロールを失うおそれがあります。ミラー、シート、ステアリングホイールの位置調整は運転前に行ってください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなるおそれがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失うおそれがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニング

を受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト(破裂)するおそれがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)するおそれがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ インストルメントパネルで最高許容速度を制限速度として設定します。
▶ 164 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

サマータイヤでの走行

外気温度が15℃以下のときに、駐車や操作、カーブからの加速などで騒音が出ることがあります。

- ▶ 外気温度が7℃を下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ(パフォーマンスタイヤ)がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。入手状況に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット(安全運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント)での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツタイヤは、約-7℃未満の非常に低い温度で硬化します。タイヤにひび割れや素材漏れが発生する可能性があります。

- ▶ 約-7℃未満の温度で車両を運転しないでください。

特殊なトレッドパターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります：

- スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。

- トレッドが浅いので、特に濡れた路面、特にハイドロプレーニング現象が発生しやすい状況(冠水路、水たまり、轍など)に十分に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性の増大を招くため、十分注意を払ってください。

- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

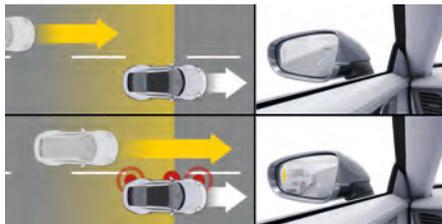
タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロプレーニング現象を起こす危険性が増大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

- ▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

アシスタンスシステムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

緊急ブレーキ機能



通常のブレーキ操作が機能しなくなった場合、エレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、ボタンⓍを押し続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。
 - ▶ 115ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

荷物積載時の運転



車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフトランスポートシステムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポートシステムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

ローンチコントロールを使用した発進



発進時にローンチコントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりするおそれがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。
▶ 121 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。
- ▶ スポーツエキゾーストシステムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください(特に夜間)。

警告音への適切な反応



システムが故障または不良部品を検知すると、インストルメントパネルまたはから警告灯の点灯またはメッセージによりドライバーに警告が行われます。PCM 車両の警告信号を無視すると、事故、怪我および車両の損傷のおそれが高まります。

- ▶ 警告に適切に対応できるように、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要であれば停車してください。
▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
▶ 164 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こるおそれがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
▶ 297 ページの「補給」の章を参照してください。

事故の際、燃料キャップが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながるおそれがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害なフルード



燃料だけでなく、エンジンオイル、トランスミッションオイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せず廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となるおそれがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こすおそれがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車するか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与えるおそれがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ 電動パーキングブレーキを有効にします。
 - ➡ PDK 装備車では、トランスミッションパーキングロックは同時に操作します。

- ▶ マニュアルトランスミッション装備車：1 速またはリバースギヤに入れてください。

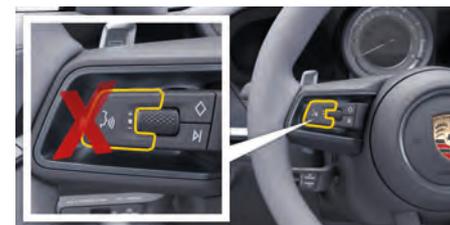
エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾーストシステムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至るおそれがあります。

- ▶ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾーストシステムに接触するおそれのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様かテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万が一の場合：故障および緊急時の安全確保

安全のため - 故障時には、以下の情報に注意してください。

緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。

車両への作業に関する注意事項



エンジンの作動中は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント リザーバーには圧力がかかっています。

ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンやドライブベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにクーラント リザーバー タンクを開けないでください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備（切り傷防止用の手袋など）を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。

さらに、自動的に始動する部品（ラジエーター ファンなど）により、エンジン コンパートメント内で負傷するリスクがあります。

ジャンプ スタートを提供または受ける前に：

▶ P. 248

けん引



PDK 装備車

けん引または押しがけによる始動により、車両に重大な損傷を与えるリスクがあります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：

▶ 254 ページの「けん引」の章を参照してください。

マニュアルトランスミッション 装備車 ▶ P. 14

けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワー ステアリング機能が作動しないため、ハンドル操作が難しくなります。ブレーキ ブースターが作動しない場合は、ブレーキ ペダルを踏むのに大きな力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワー ステアリング機能またはブレーキ ブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
 - ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 254 ページの「けん引」の章を参照してください。

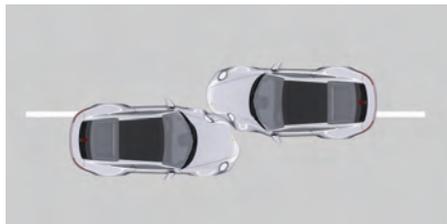
パンクしたとき



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで**走行しない**でください。
 - ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▶ 291 ページの「パンク」の章を参照してください。

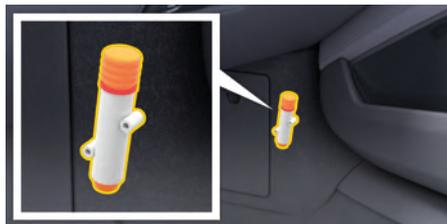
衝突後



衝突後は、安全装備（例：シートベルト プリテンショナーおよびエアバッグ）が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- ▶ 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発煙筒



発煙筒は、事故や道路の欠陥のために車両を停止する必要がある場合に、周辺地域に警告するために使用されます。発煙筒は、ドア側の助手席の足元に取り付けられています。

▲ 警告

使用すると火傷や火災の原因となることがあります。

- ▶ 発火の危険性があるため、可燃物の近くで発煙筒を使用しないでください。
- ▶ 火傷の恐れがありますので、使用中は発煙筒を顔や体に向けたり、顔や体の近くに持ったりしないでください。
- ▶ 発煙筒は子供の手の届かない所に保管してください。不適切な使用は、火傷や車両の損傷を引き起こす可能性があります。

▲ 注意

トンネルで発煙筒を使用すると、事故を引き起こす可能性があります。

- ▶ トンネルなどの空気循環の悪い場所で使用すると、発煙筒からの煙が視界を損なうため、事故の原因となることがあります。必要に応じてハザードライトを点灯します。

発煙筒を使用する

1. キャップを取り外します。ケースをひねって発煙筒をゆるめます。
2. 発煙筒の後端をケースに挿入します。
3. 発煙筒は、点火ヘッドをキャップの点火面にこすりつけることによって点火されます。

ⓘ インフォメーション

発煙筒の燃焼時間は約5分です。

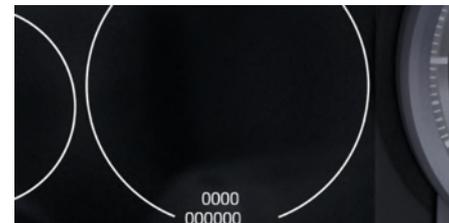
発煙筒には有効期限があります。印刷されている有効期限前に、発煙筒を交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。

お出かけの前に：車両に関する重要な情報

シート

軽量パッケージの車両には2つの座席があります。シート後部エリアに乗員は乗車しないでください。

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

- ▶ なるべく長距離走行をする。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避ける。
- ▶ モータースポーツ イベント、スポーツドライビングスクールなどに参加しない。
- ▶ エンジンを高回転域（4,000 rpm を超える）まで回さない。エンジン冷間時は低回転域で運転する。

新しいブレーキパッドの慣らし運転



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。

ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合もこれと同じ状況になります。

地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して走行してください。
 - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行する場合
 - 縁石がある場合

- 凹凸のある路面を走行する場合
- 段差台がある場合

フロントアクスルリフトシステム装備車両：本体は前部で約40mm上げることができます(フロントスポイラーの前端)。

- ▶ 水たまりや浅瀬の走行時は、車体の下側を水に浸さないようにしてください。

サーキット走行



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのボルシェ正規販売店にご確認ください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

サーキットの走行後は「クーリングラップ」走行を実施し、特に高い熱負荷にさらされる車両部品の温度を、温度上昇を抑制できる方法で下げる必要があります。車両をすぐに駐車すると、停止時の発熱によって構成部品の温度をさらに上昇させる結果につながります。この温度上昇は、個々の部品に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

レースサーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ レースサーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ボルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

エンジンオイル

- ▶ レースサーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを確認します。
 - ▷ 261ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。

セントラルホイールロック

- ▶ レースサーキットでの走行前、必要な場合は走行中、そして走行後には、センターボルトの締め付けトルクを点検してください。
- ▶ レースサーキットでの走行後は必ずすべてのセンターホイールロック部品の摩耗を点検し、必要に応じて交換してください。
 - ▷ 281ページの「セントラルロックでホイール交換」の章を参照してください。

海外での走行の前に



すべてのポルシェ モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいはポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか？
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？

▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

車両のデータ処理



図. 1: 車両のデータ処理

この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能 (ドライバー アシスタンス システム) を提供します。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有の車台番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両から収集されたデータを所有者またはドライバーにさかのぼって追跡する方法もあります。例：車両のライセンス プレートを使用する。

車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ メモリーを備えています。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げるコンポーネント、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システムコンポーネントの作動モード (例：給油レベル)
- 車両および個々のコンポーネント (例：ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータス メッセージ
- 重要なシステムコンポーネントの故障 (例：ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例：エアバッグの展開、スタビリティ コントロール システムの作動)
- 環境要因 (例：温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわず

かな一部分のみがイベント メモリーまたは故障メモリーに保存されます。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

テクニカルデータの読み出し

車両にローカル保存しかされていないデータは、ワークショップなどで専門家のサポートによって読み取ることができます。サポートは有料の場合があります。このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのポルシェに義務付けられる場合があります (例：犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービス ネットワーク 作業 (例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー) は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは車両の OBD (オンボード診断) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためポルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベント メモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは、車両にローカルに保存することも、車両に接続したデバイス（電話、USB スティック、MP3 プレーヤーなど）に保存することもできます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンラインサービス使用中、ユーザーが選択した設定に基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な機器が備わっている場合は、車両に統合されているコントロールを使用して、接続されている電話または別のモバイルデバイスを制御できます。携帯電話からの画像と音声は、マルチメディアシステムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの電話に転送することもできます。これには一般的な車両情報または位置データなど（装備品のタイプによって異なる）が含まれます。これにより、ナビゲーションシステムの使用やミュージックの再生など、電話で選択したアプリを最適に使用できます。電話は、車両データへ積極的にはアクセスできません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。このために構成できる設定の有無と設定は、スマートフォンのアプリとオペレーティングシステムによって異なります。

オンラインサービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯デバイス（電話など）により、ワイヤレス ネットワークに接続できます。このワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

ポルシェ オンラインサービスの場合、さまざまな機能が適切な場所に記述されています（例：ポルシェコネク ト ウェブサイト） および関連するプライバシー通知が提供されます。オンラインサービスの提供のために個人データが使用されることがあります。必要なデータの交換は、保護された接続を介して実施されます（例：この目的のためのポルシェ IT システム設定）。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われま ず。

通常、[料金ベース] サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

他のプロバイダーのオンラインサービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。ポルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの 使用の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。



センサーおよびカメラ

- A** サラウンドビュー ▷ P. 137
- B** アクティブレーンキープ ▷ P. 107
- レーンキープアシスト ▷ P. 149
- ダイナミック ハイビーム ▷ P. 128
- ポルシェ アクティブセーフ (警告および
 ブレーキアシスト) ▷ P. 160
- C** アクティブレーンキープ ▷ P. 107
- ポルシェ アクティブセーフ (警告および
 ブレーキアシスト) ▷ P. 160
- D** パークアシスト ▷ P. 137
- E** アダプティブクルーズコントロール
 (ACC) ▷ P. 96
- アクティブレーンキープ ▷ P. 107
- ポルシェ アクティブセーフ (警告および
 ブレーキアシスト) ▷ P. 160
- F** ナイト ビュー アシスト ▷ P. 136
- G** パークアシスト ▷ P. 137
- H** アクティブレーンキープ ▷ P. 107
- レーンチェンジアシスト ▷ P. 153

図. 2. センサーおよびカメラ

フィルター キャップ

- A** ブレーキフルード
B ウォッシャー液
C クーラント
D エンジンオイル

- ▷ P. 258
▷ P. 301
▷ P. 259
▷ P. 261

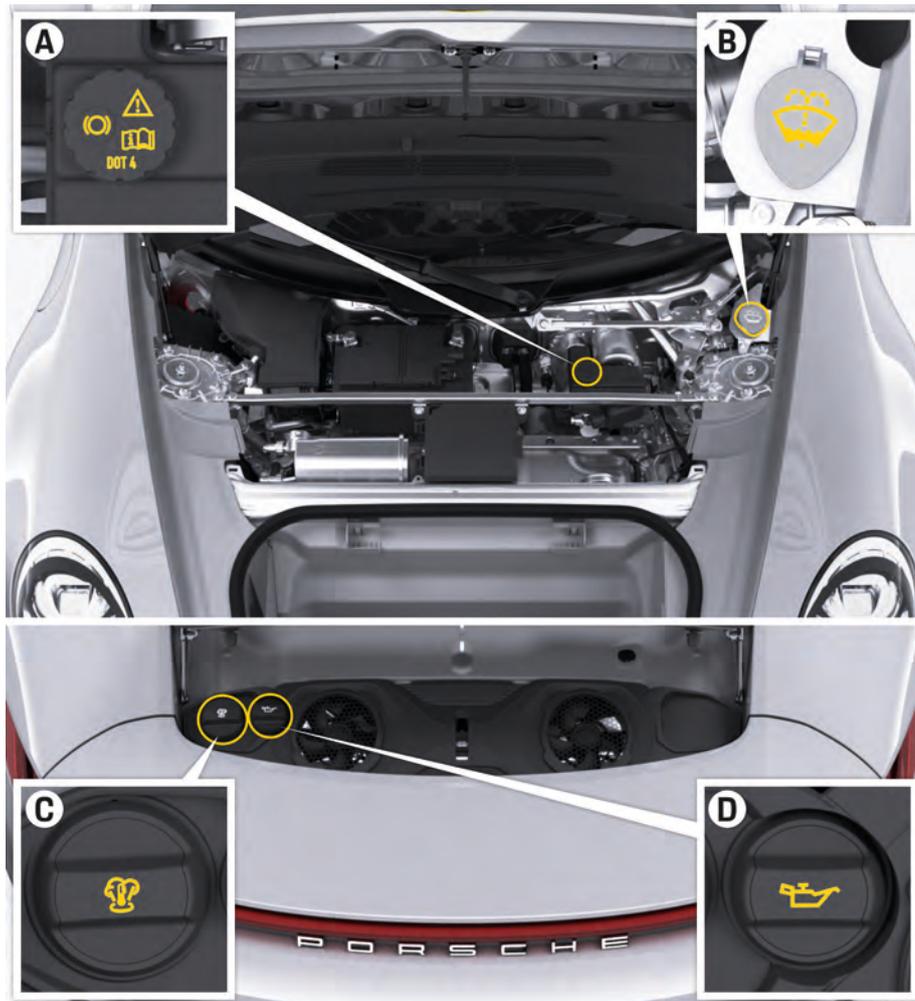
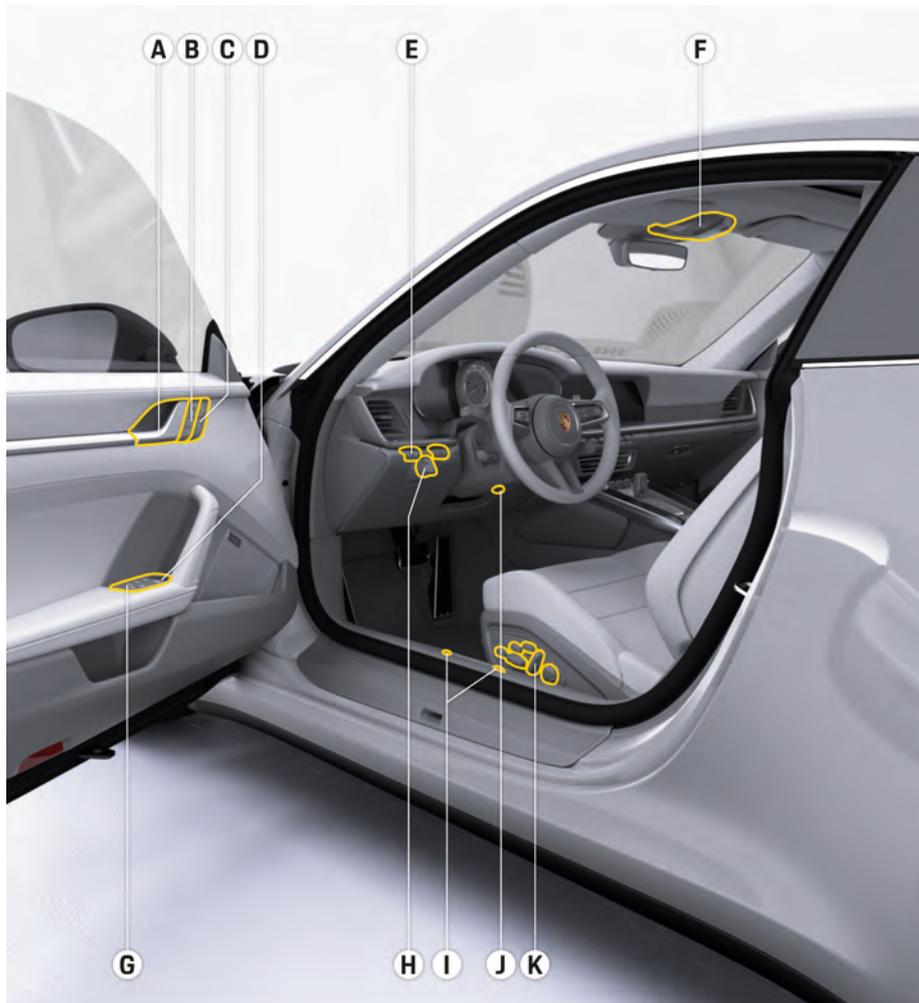


図 3: フィラーキャップ



運転席

- A インナー ドア ハンドル ▶ P. 54
- B メモリー ボタン ▶ P. 54
- 個人設定 ▶ P. 82
- C セントラル ロッキング システム ボタン ▶ P. 54
- D パワー ウィンドウ ▶ P. 31
- E ライト ボタン ▶ P. 128
- F ルーフ コンソール ▶ P. 26
- G ドア ミラー の 調節 ▶ P. 91
- H ステアリング ホイール 調節 ▶ P. 120
- I エンジン コンパートメント リッド の ロック解除 ▶ P. 35
- ラゲッジ コンパートメント リッド の ロック解除 ▶ P. 33
- J ステアリング ホイール 調節 ▶ P. 81
- K シート 調節 ▶ P. 86

図. 4: 運転席

コックピット

- A** 方向指示灯およびハイビームヘッドライト ▶ P. 128
- B** シフトパドル ▶ P. 121
- C** インストルメントパネル ▶ P. 164
- D** フロントウィンドウワイパー ▶ P. 145
- E** スポーツクロノストップウォッチ ▶ P. 229
- F** ボルシェ コミュニケーションマネジメントシステム (PCM) ▶ P. 175
- G** エアベント ▶ P. 77
- H** グローブボックスロック
グローブボックスのエアバッグの作動停止 ▶ P. 62
- I** クルーズコントロール
アダプティブクルーズコントロール (ACC) ▶ P. 158
- J** ボイスコントロール、インフォテインメント、インストルメントパネル ▶ P. 164
- K** ステアリングホイールヒーター ▶ P. 81
- L** 電話コントロール、インフォテインメント、インストルメントパネル ▶ P. 164
- M** モードスイッチ ▶ P. 117
- N** スイッチ用ストリップ ▶ P. 25
- O** エアコンアッパーコントロールパネル ▶ P. 24
- P** ロアコントロールパネル ▶ P. 24
- Q** 灰皿、ドリンクホルダー ▶ P. 243
- R** アームレスト、小物入れ ▶ P. 234
- S** エレクトリックパーキングブレーキ ▶ P. 116



図 5: コックピット



コントロールパネル

- A** ボルシェ コミュニケーション マネジメン
トシステム (PCM) ▷ P. 175
- B** エアコンコントロールパネル ▷ P. 75
- C** ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作
用) ▷ P. 175
- D** パーキング ロック ▷ P. 116
- E** マニュアル シフト モード ▷ P. 121
- F** シート ヒーター / シート ベンチレーター ▷ P. 89
- G** スライディング / チルティング ルーフ用
コントロールパネル ▷ P. 36
カブリオレ ソフト トップ ▷ P. 46
タルガ ルーフ システム ▷ P. 40

図. 6: コントロールパネル

スイッチ用ストリップ

- A** フロント アクスルリフト システム ▶ P. 134
- B** 個別の機能が割り当てられるクイック アクセス ボタン (◇ボタン) ▶ P. 211
- C** ハザード ライト ▶ P. 133
- D** ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) ▶ P. 142
- E** ポルシェ ダイナミック シャーシ コントロール (PDCC) を装備したポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) ▶ P. 141
- F** 運転プログラム WET モード ▶ P. 117
- G** SPORT 運転プログラム ▶ P. 117
- H** ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) ▶ P. 141
- I** スポーツ エキゾースト システム ▶ P. 117

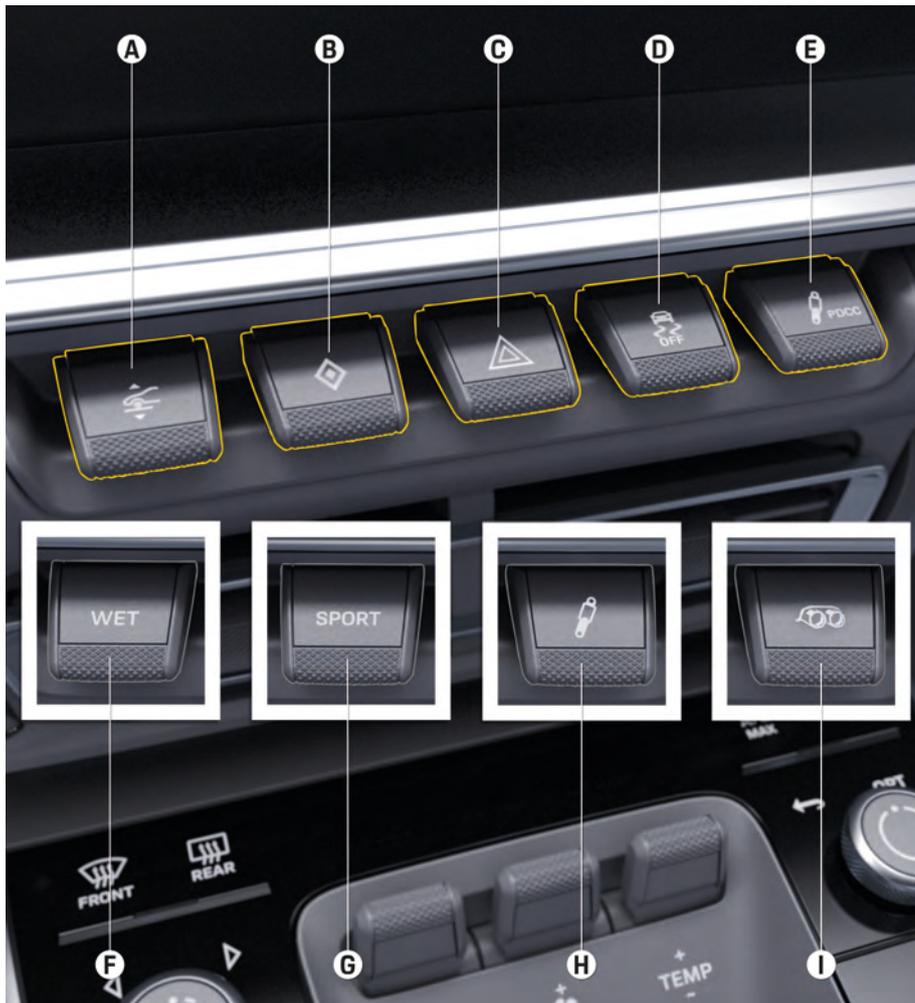


図. 7: スイッチ用ストリップ



ルーフ コンソール

- A 読書灯 ▷ P. 64
- B インテリア ライト / 読書灯用ボタン ▷ P. 64
- C インテリア ライト (コントロールパネル
のライト) ▷ P. 64
- D ルーム ミラーの自動減光ボタン ▷ P. 64
- E 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯 ▷ P. 62

図. 8: ルーフ コンソール

トピック

以下のページでは、さまざまな車両のトピックに関する内容を見つけることができます。

開閉操作とロック

警報システム

作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、フロントリッド、エンジンコンパートメントリッド、コンパチブルトップの警報接点。
- 室内モニタリングシステム：車両がロックされているときの車内への侵入（例：ウィンドウを壊して窃盗を行おうとしたとき）。
- 傾斜センサー：車両の傾き（例：車両をけん引して盗難しようとしたとき）。
- 故障診断用ソケット。

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラームホーンが約25秒間鳴り、ハザードライトが約300秒間点滅します。

5秒間警告が中断した後、再度音による警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

警報システム機能表示

フロントドアのインジケーターライトおよび警告灯の点滅速度によりロック状態が示されます。

警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケーターライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。ハザードライトが2回点滅します。

警報システムが起動、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーがスイッチOFF

車両をロックするときにインジケーターライトが素早く点滅した後、28秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。

セントラルロッキングシステムおよび警報システムの故障

車両をロックするときに、インジケーターライトは素早く点滅し、28秒間点灯し続けて、その後はノーマルモードで点滅します。

ハザードライトがゆっくり1回点滅します。

警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、約30秒後に警報システムが有効になります。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

PCMでは、中央表示を使用して、車両をロックするときに室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止したままにしておくかどうかも設定できます。

▶  ▶  ▶ 設定 ▶ 車両の車両ロックシステム ▶ 室内モニタリングシステム

インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの操作を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

国によっては、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ▶ キーの  ボタンを押してください。
- または -
イグニッションをONにします。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止する

人や動物が車両に残っている場合、車両をロックする際に室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止することができます。

▶ 54ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください。

- ▶ ウィンドウ、ルーフシステム、およびコンパチブルトップを閉じます。これは室内モニタリングシステムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- ▶ パーキングロックPと電動パーキングブレーキを作動します。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅の鍵を車両に残さないようにします。
- ▶ ドアおよびラゲッジコンパートメントリッドを閉じます。
- ▶ エンジンコンパートメントリッド/ガラスリヤウィンドウ(Targa)を閉じてください。
- ▶ 車両をロックします。

イモビライザー

すべてのキーに、コードが保存されたトランスポンダー(電装部品)が内蔵されています。イモビライザーを停止してエンジンを始動するのに、認定されたキーが必要です。

ステアリング ホイールのロック解除およびロック

ステアリング ロックは国別に利用可能です。

ステアリング ホイールの自動ロック解除

- ▶ 車両に乗って、運転席ドアを閉じます (キーは車内になければなりません)。
 - または -
 イグニッションを ON にします。

ステアリング ホイールの自動ロック

- ▶ イグニッションを OFF にした状態で、運転席ドアを開いてください。
 - または -
 車両をロックします。

キー キーの使用

情報

キーが損傷する恐れがあります。

- ▶ キーを湿気から保護してください。
- ▶ キーに汚れやゴミが付着しないようにし、鋭利な物体に近付けないでください。

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

ボタンを押すと、キーのポルシェ クレストが点灯します。また走行中には、キーが作動してなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。

走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。このため走行中には、キーが作動してなくてもキーのポルシェ クレストが点灯する場合があります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモート コントロールが機能しない場合があります。

- データ伝送中 (例えば、コンフォート アクセス装備車両の場合、キーと車両間の無線通信中) に電磁波が干渉している場合。
- 故障のためにリモート コントロールに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。
- ▶ キーが、作動中の電子機器 (例えば、携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブル) と一緒に保管されている場合。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。

- ▶ キーは車両から 6 m 以上離してください。



図. 9: キー

- A** 車両のロック解除
- B** 車両のロック
- C** ラゲッジコンパートメント リッドのロック解除
- D** コンバーチブルトップの開閉 (カブリオリ) ルーフ システムの開閉 (タルガ)
- E** エマージェンシー キー

すべてのキーにエマージェンシー キー **E** (図. 9) が内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いに注意し、特別の場合を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

キーのバッテリー交換

⚠ 警告

リチウム ボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウム ボタンセル(バッテリー)が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2 時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開けて、バッテリーを取り外す可能性があります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

① インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要がある場合、メッセージがインストルメント パネルに表示されます。キーが作動しても、キーのボルシェ クレストは点灯しなくなります。



図. 10: バッテリーの交換

バッテリーの交換 (CR 2032、3 V)

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キーハウジングの左右 2 箇所のクリップを外します。
3. バッテリーカバーを反時計回りにゆるめて取り外します。
4. バッテリーを交換します (極性を確認してください)。
5. バッテリーカバーを再セットして、しっかりと時計回りに締め戻します。
エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キーハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
7. エマージェンシー キーを挿入してください。

キーのバッテリーが切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動。

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーのバッテリーが切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この場合に車両の電源を入れるには、次の手順に従ってください。

1. センター コンソール アームレストの小物入れを開きます。
▶ 234 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
2. センター コンソールにキーを置きます – ロア コントロール パネルとアームレストの小物入れの間の部分。
3. コントロールユニットをイグニッションロック位置 2 まで回し、その後位置 0 に戻します。
4. コントロールユニットを再度イグニッションロック位置 2 まで回します。
▶ 120 ページの「エンジンの始動」の章を参照してください。

エマージェンシー キーの使用 エマージェンシー キーの取り出し



図. 11: エマージェンシー キーの取り出し

- ▶ エマージェンシーキーを押し上げ、キーから取り出してください。

エマージェンシーキーの挿入

- ▶ しっかりとハマるまで、エマージェンシーキーをキーに挿入します。

スペアキーの注文と登録

キーの注文は、ポルシェ正規販売店からのみ行えます。これには時間がかかる場合があります。

- ▶ スペアキーを常に利用できるようにしてください。
- ▶ スペアキーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

① インフォメーション

合計8個のキーを登録することができます。

① インフォメーション

- ▶ キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ポルシェ正規販売店に依頼し、車両のキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ キーの紛失または盗難について保険会社に通知し、追加または交換用のキーを作成したことを知らせます。

ウィンドウ

ウィンドウの開閉

▲ 警告

ウィンドウの開閉

サイドウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイドウィンドウを開閉するとき、作動中のサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。ポルシェコンフォートアクセス装備車は、直ちにドアハンドルのタッチセンサーを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

▲ 警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイドウィンドウを手動で閉じると、このウィンドウは最大力で閉じられます。そのため、動くサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

① インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動閉鎖操作で一度完全に閉じてください。

ウィンドウの開閉



図. 12: 運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A パワーウィンドウ、運転席側
- B パワーウィンドウ、助手席側
- C フロント/リヤウィンドウの切り替えスイッチ (カブリオレ)

- ✓ 作動待機がONになっている。
-または-
イグニッションをOFFにしてから10分以内。

- ✓ 運転席 / 助手席ドアがまだ開いていない。

ロッカースイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

第1段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。
➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2段階目 - ワンタッチ操作

1. ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。
➡ ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
2. ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉



図. 13: キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動している。
▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで、キーの または を押し続けてください。

カブリオレ：ウィンドウを選択する

- ▶ ボタン **C**(図. 12) を押して、フロントウィンドウまたはリヤウィンドウを選択してください。
➡ リヤウィンドウを選択すると、ボタン **C**(図. 12) のインジケータライトが点灯します。

コンバーチブルトップが開いているときは、フロントウィンドウが閉じているときのみリヤウィンドウを閉じることができます。

ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ コンフォートアクセス装備車
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ 機能が作動している。
▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ 車両をロックするときウィンドウが希望の位置になるまで、ドアハンドルの近接センサーに触れ続けてください。

サイドウィンドウの停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消えてしまいます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の手順を行ってください。

1. ロッカースイッチを2段階目まで引いて、一度サイドウィンドウを完全に閉じてください。
2. サイドウィンドウが完全に閉じたら、ロッカースイッチを再度短く2段階目まで引いてください。
3. ロッカースイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。

ラゲッジコンパートメント リッド ラゲッジコンパートメント リッドの開閉 車内のボタンでラゲッジコンパートメント リッドを開く

情報

ラゲッジコンパートメント リッドまたはフロント ウィンドウワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメント リッドを開くときは、フロント ウィンドウワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF (ワイパーレバーを **0** の位置) にしてください。

▶ 145 ページの「フロント ウィンドウワイパー」の章を参照してください。

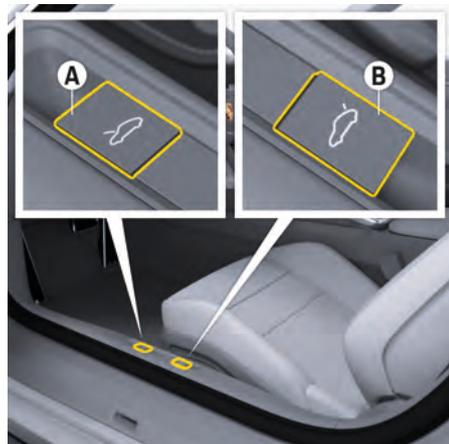


図 14: ラゲッジコンパートメント リッドを開く

- A** ラゲッジコンパートメント リッド ボタン
B エンジンコンパートメント リッド ボタン

1. ボタン **A** (図. 14) を引いてください。
➔ リッドがロック解除されます。



図 15: ラゲッジコンパートメント リッドのロック解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティ ラッチ (矢印) を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
➔ ラゲッジコンパートメント リッドを開くと、ラゲッジコンパートメント内のライトが点灯します。

キーでラゲッジコンパートメント リッドを開く



図 16: キーでラゲッジコンパートメント リッドを開く

1.  ボタンを押してください。
2. リッドを少し持ち上げ、セーフティ ラッチを解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
➔ ラゲッジコンパートメント リッドを開くと、ラゲッジコンパートメント内のライトが点灯します。

i インフォメーション

キーを使用してラゲッジコンパートメント リッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

コンフォートアクセス(キーレス)でラゲッジコンパートメント リッドを開く



図 17: コンフォートアクセスでラゲッジコンパートメント リッドを開く

- ✓ コンフォートアクセス装備車。
 - ✓ キーを車両の前部に持っていきます。
 - ✓ 手とセンサエリア間の最大距離は約5 cm です。
1. センサ・エリアに手を左右に動かしてください。
必要に応じてこの手順を繰り返し、センサーエリアとの距離と移動速度を変更してください。
➔ ボンネットのロックが解除されます。
 2. リッドを少し持ち上げ、セーフティ ラッチを解除してください。
 3. リッドを完全に開いてください。
➔ ラゲッジコンパートメント リッドを開くと、ラゲッジコンパートメント内のライトが点灯します。

ラゲッジコンパートメント リッドを閉じる



注意

重いラゲッジコンパートメント リッド

半分開いた状態のラゲッジコンパートメント リッドを閉じるとき、それ自体の重さが原因でロックされます。

▶ 可動部品(ヒンジ)付近やラゲッジコンパートメント リッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドをロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。
➔ リッドが正しく閉じていない場合、車両が動いている間インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

ラゲッジコンパートメント リッドの緊急ロック解除

バッテリー上がりの場合、ラゲッジコンパートメント リッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

▶ 248 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

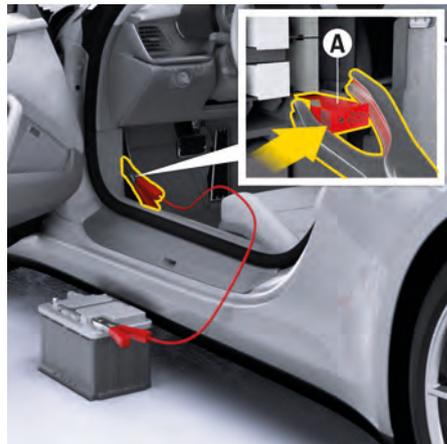


図 18: ラゲッジコンパートメント リッドの緊急ロック解除 – プラス端子の接続

1. エマージェンシー キーを使用して、ドア ロックを解除してください。
2. 左側ヒューズボックスのプラスチック カバーを取り外してください。
3. ヒューズボックスのプラス端子 A(図 18) (赤色) を引き出してください。
4. ⓘ **インフォメーション**

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

赤いブースター ケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子とヒューズボックスのプラス端子 A(図 18) を接続します。



図. 19: ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 - マイナス端子の接続

5. 黒色のブースターケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子とドアストッパーのジョイント **B**(図. 19) を接続してください。
6. キーの  ボタンを約 2 秒間押し続けてください。ラゲッジコンパートメントリッドがロック解除され、警報システムが OFF になります。
7. マイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。
8. プラス端子 **A**(図. 18) をヒューズボックスに押し込み、ヒューズボックスのプラスチェックカバーを取り付けてください。

エンジンコンパートメントリッド エンジンコンパートメントリッドの開閉 操作とロック

エンジンコンパートメントリッドを開く

情報

タルガルーフを開くときにガラス リヤウィンドウがボディ面から突出します。ガラス リヤウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 開閉するときは、車両後方に人がいないことを確認してください。車両の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください(ガレージ内など)。

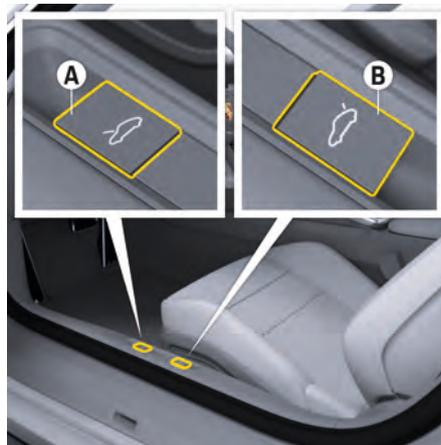


図. 20: エンジンコンパートメントリッドを開く

- A** ラゲッジコンパートメントリッドボタン
B エンジンコンパートメントリッドボタン

- ✓ イグニッション ON (タルガ)。
- ▶ ボタン **B** (図. 20) を引いてください。
クーペ: エンジンコンパートメントリッドはロック解除され、持ち上げることができます。
カブリオレ: エンジンコンパートメントリッド(コンバーチブルトップコンパートメントリッド)が自動的にサービスポジションまで開きます。
タルガ: リヤウィンドウが自動的にサービスポジションまで開きます。
➡ センターコンソールのボタンまたはエンジンコンパートメントリッドのスイッチを使用してタルガルーフまたはガラスリヤウィンドウを開閉する場合、リヤパーキングアシスタントが同時に作動します¹。

センサーが約 50 cm 以下の距離に障害物を検出すると、開閉が停止します。

インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

車両付近に障害物がなければ、手動で作業を続行できます。

- ▶ 約 10 秒以内にスイッチを 2 回引きます。

1. アクティブパーキングサポートとは連動していません。

エンジンコンパートメントリッドを閉じる

クーペ:

1. エンジンコンパートメントリッドを下げ、ロックに落としてください。ロック部分を手のひらで押し、エンジンコンパートメントリッドを閉じてください。
2. エンジンコンパートメントリッドが確実にロックされていることを確認してください。
エンジンコンパートメントリッドが正しく閉じていない場合、車両の発進時にインストルメントパネルにメッセージが表示されます。

カブリオレ:

- ▶ ボタン **B** (図. 20) を引いてください。
 - ➡ エンジンコンパートメントリッド (コンパネチブルトップコンパートメントリッド) が自動的に閉じます。

タルガ:

- ▶ リヤウィンドウが完全に閉じるまでボタン **B** (図. 20) を引き続けてください。
-または-
ガラスリヤウィンドウが完全に閉じるまで、タルガルーフを閉じるボタンを引いたままにします。
▶ 40 ページの「タルガルーフシステム」の章を参照してください。

スライディング / チルティング ルーフ

スライディング / チルティング ルーフの開閉



警告

スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドの開閉

スライディング / チルティング ルーフまたはサンブラインドを開閉するときは、作動中のルーフまたはサンブラインドと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ操作で開閉するときは十分に注意してください。

- ▶ スライディング / チルティング ルーフまたはサンブラインドを操作するときは、誰も怪我をしないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。危険を十分理解していない人 (お子様など) がスライディング / チルティング ルーフまたはサンブラインドを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、スライディング / チルティング ルーフまたはサンブラインド ボタンを押すか、車両の開閉またはロックを行っている場合は、直ちにキーのボタンを放してください。

情報

ルーフトランスポートシステムを装着している場合に、スライディング / チルティング ルーフを開いたり上げたりすると、ルーフや荷物が損傷します。

- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着している場合は、スライディング / チルティング ルーフを開いたり上げたりしないでください。

① インフォメーション

スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドは挟み込み防止機能を備えています。これらの開閉操作中に障害物があると、すぐにもう 1 回開きません。

スライディング / チルティング ルーフは、極端に速度を出している場合や気温が極端に低い場合作動しません。

スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドの操作

- ✓ 作動待機が ON になっている。
-または-
イグニッションを OFF にして (10 分以内)、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態。

スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドの開閉ボタンには **2 段階の作動位置** があります。この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

スチールスライディング / チルティングルー フを開く



図 21: スチールスライディング / チルティングルー
フの操作

- A スライディング / チルティングルー
フを開く
- B スライディング / チルティングルー
フを上げ下げ
する
- C スライディング / チルティングルー
フを閉じる

第 1 段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタン A (図. 21) を 1 段
目で引き続けてください。
➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止ま
ります。

2 段階目 - ワンタッチ操作

1. ボタン A (図. 21) を短く 2 段階目まで引いてくだ
さい。
➡ スライディング / チルティングルーフが自動
的にいっぱいまで開きます。
2. 再度ボタン A (図. 21) または C (図. 21) を引くと
作動が中断します。

ガラススライディング / チルティングルー フを開く



図 22: ガラススライディング / チルティングルー
フの操作

- A スライディング / チルティングルー
フを開閉する
- B スライディング / チルティングルー
フを上げ下げ
する
- C サンブラインドを開閉する

第 1 段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタン A (図. 22) を 1 段
目で押し続けてください。
➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止ま
ります。

2 段階目 - ワンタッチ操作

1. ボタン A (図. 22) を短く 2 段階目まで押してくだ
さい。
➡ スライディング / チルティングルーフが自動
的にいっぱいまで開きます。
2. 再度ボタン A (図. 22) を押すと作動が中断しま
す。

スライディング / チルティングルー フの上げ 下げ

1. ボタン B (図. 22) を押してください。
➡ スライディング / チルティングルーフがいっ
ぱいまで上がります / 下がります。
2. 再度ボタン B (図. 22) を押すと作動が中断しま
す。

スライディング / チルティングルー フを閉 じる

第 1 段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタン A (図. 22) または C
(図. 21) (スチールスライディング / チルティ
ングルーフのみ) を 1 段階目で引き続けてくだ
さい。
➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止ま
ります。

2段階目－ワンタッチ操作

1. ボタン **A** (図. 22) または **C** (図. 21) (スチールスライディング / チルティング ルーフのみ) を短く 2 段階目まで引きます。
 - ➡ スライディング / チルティング ルーフが自動的にいっぱいまで閉じます。
2. 再度ボタン **A** (図. 22) を押すと作動が中断します。

キーによるスライディング / チルティング ルーフの開閉

- ✓ 機能が作動している。
 - ▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ

- ▶ スライディング / チルティング ルーフが希望の位置になるまでキーのボタン  を押し続けてください。

スライディング / チルティング ルーフを閉じる

- ▶ スライディング / チルティング ルーフが希望の位置になるまで、またはスライディング / チルティング ルーフが閉じるまで、キーの  ボタンを押し続けてください。

ドアハンドルの近接センサーでスライディング / チルティング ルーフを閉じる

- ✓ コンフォート アクセス
- ✓ 機能が作動している。

▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

- ▶ 車両をロックする場合、スライディング / チルティング ルーフが希望の位置になるまで、またはスライディング / チルティング ルーフが閉じるまで、ドアハンドルの近接センサーを押してください。

挟み込み防止機能が繰り返し介入した後、スライディング / チルティング ルーフを閉じる



警告

挟み込み防止保護無効

スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドは、最大の力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品の間には身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

スライディング / チルティング ルーフの開作動が障害物に妨げられた場合、手で強く押し手で閉じることができません。

1. 障害物を取り除いてください。
2. スライディング / チルティング ルーフが開閉位置で止まるまで、ボタン **A** (図. 22) または **C** (図. 21) (スチールスライディング / チルティング ルーフのみ) を引きます。

サンブラインドの開閉操作

第1段階－手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタン **C** を 1 段階目まで引いた状態、または押した状態で保持してください。
 - ➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2段階目－ワンタッチ操作

1. ボタン **C** を 2 段階目まで短時間引くか、または押し続けてください。
 - ➡ サンブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉じます。

2. ボタン **C** をもう 1 回押すと作動が中断します。

スライディング / チルティング ルーフを途中まで、または完全に開いた場合、サンブラインドはスライディング / チルティング ルーフのフロント端までしか閉じません。

サンブラインドが閉じている場合は、スライディング / チルティング ルーフを開くと自動的に開きます (一緒に引っ張られます)。

スライディング / チルティング ルーフの上昇または下降は、サンブラインドの位置には影響しません。

挟み込み防止機能が繰り返し介入した後、サンブラインドが閉じます。



警告

挟み込み防止保護無効

スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドは、最大の力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

サンブラインドの開閉動作が障害物に妨げられる場合、手で強く押し手で手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. サンブラインドが閉位置で止まるまで、ボタンCを引いてください。

ルーフドライブメカニズムが故障している場合のスライディング / チルティング ルーフの開閉操作

スライディング / チルティング ルーフを修理するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドの停止位置の保存

緊急操作後、スライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドの停止位置は消去されます。



警告

停止位置の保存

停止位置の保存時はスライディング / チルティング ルーフおよびサンブラインドが最大の力で閉じます。

- ▶ 停止位置の保存作業を行うときは乗員がケガをしないように注意してください。

✓ 車両は停止状態。

1. イグニッションをONにします。
2. スライディング / チルティング ルーフが閉位置で止まるまで、C ボタンを引いたままにしてください。
3. C ボタンを解除し、再度ボタンを引いたままにしてください。
 - ➔ 約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。ここでスライディング / チルティング ルーフが 1 回自動的に開閉します。停止位置が保存されます。

- ▶ A ボタンを使用して、サンブラインドの手順 1~3 を繰り返します。

スライディング / チルティング ルーフが完全に停止する前にボタンから手を放した場合。

- ▶ 保存手順をもう一度やり直してください。

エアデフレクターの清掃

スライディング / チルティング ルーフを開いた状態でエアデフレクターを清掃する

1. イグニッションをONにして、スライディング / チルティング ルーフを完全に開いてください。エアデフレクターが完全に伸張していない場合は、

完全に伸張するまでスライディング / チルティング ルーフを開状態で短い距離を走行してください。

2. 水を含んだスポンジでウィンドデフレクターとカバーを清掃してください。

サンブラインドの清掃

✓ 車両は停止状態。

✓ 作動待機をONにします。

1. スライディング / チルティング ルーフを完全に開きます。
2. 可能な限りサンブラインドを閉じます。
3. サンブラインドのC ボタンを押します。
 - ➔ サンブラインドが 10 秒後に閉じ始めます。
4. サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
5. 汚れを取り除きます。

清掃機能の終了

- ▶ 発進します。
 - または-
 - スライディング / チルティング ルーフを操作します。
 - または-
 - サンブラインドを操作します。

タルガ ルーフ システム

一般的な安全に関する指示

情報

タルガ ルーフおよびルーフ ドライブ メカニズムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 以下の場合、タルガ ルーフを操作しないでください：
 - 温度が0℃以下のとき。
 - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
 - ルーフの作動する範囲に荷物などがあるとき。
- ▶ バッテリーの消耗が早くなるため、エンジン停止時にルーフの操作を繰り返す行ことは避けてください。
- ▶ 走行するときは、タルガ ルーフを必ず完全に開いた状態または完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、タルガ ルーフは乾いた清潔な状態のときのみ開いてください。
- ▶ 日光を長時間浴びると、布地やラバーが傷んだり色褪せが起こったりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。

▷ 266 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

タルガ ルーフの開閉

警告

タルガ ルーフの開閉

タルガ ルーフを開閉するときは、ルーフ メカニズム、コンパチブルトップ エレメントまたはリヤ ウィンドウと車両の固定部品との間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ タルガ ルーフを開閉するときは、タルガ ルーフ、コンパチブルトップ エレメントまたはリヤ ウィンドウによって、誰もケガをしないように注意してください。
- ▶ 車両が見えない状況では、キーによるタルガ ルーフの操作は行わないでください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちに車両のスイッチもしくはキーのボタンから手を放し、ルーフの操作を中止してください。
- ▶ タルガ ルーフを閉じるときは、サンバイザーのバニティー ミラーのカバーを閉じておいてください。

情報

タルガ ルーフを開くときにガラス リヤ ウィンドウがボディ面から突出します。ガラス リヤ ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 開閉するときは、車両後方に人がいないことを確認してください。車両の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください(ガレージ内など)。

センター コンソールのボタンまたはエンジン コンパートメント リッドのスイッチを使用してタルガ ルーフまたはガラス リヤ ウィンドウを開閉する場合、リヤ パーキング アシスタントが同時に作動します。

センサーが約 50 cm 以内の距離に障害物を検出すると、開閉が停止します。¹ インストルメント パネルに通知が表示されます。車両付近に障害物がなければ、手動で作業を続行できます。

- ▶ 約 10 秒以内にボタンを 2 回引きます。

開閉が約 10 秒以内に 2 回停止した場合、3 回目を押すとリヤ パークアシストが停止します。つまり、障害物が検出されるとタルガ ルーフも動きます。

タルガ ルーフが完全に開閉されるとすぐ、または 10 秒以上経過した後、開閉中にパークアシストが自動的に再起動します。

タルガ ルーフを開閉するときに、ルーフが終端位置になった後もスイッチの操作を続けると、自動的にサイド ウィンドウが少し開いて再び閉じます。

車内のスイッチを使用したタルガ ルーフの開閉



図. 23: スイッチでタルガ ルーフを開く

1. アクティブ パーキング サポートと連動するときの自動停止はありません。



図 24: スイッチでタルガ ルーフを閉じる

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ✓ 車両が停止している状態。
- ▶ タルガ ルーフが停止位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでタルガ ルーフ開閉スイッチを引き続けてください。
 - ➡ マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。
 - ➡ ルーフは作動を停止します。

キーによるタルガ ルーフシステムの開閉

国によっては、キーを使用してタルガ ルーフを開閉できます。

1. 車両をロック解除します。
2. タルガ ルーフが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーのボタンを押し続けてください。

危険が発生した場合：

1. ボタンを放してください。
 - ➡ ルーフは作動を停止します。
2. 必要に応じてドアをロックしてください。

エア デフレクターの展開 / 格納

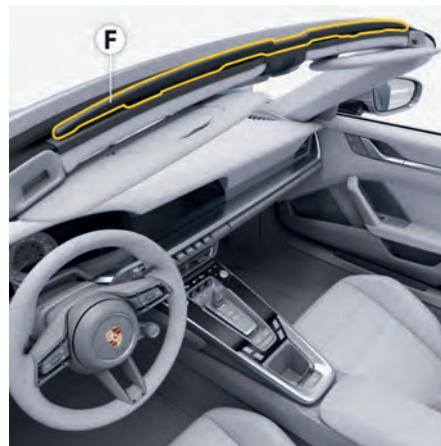


図 25: エア デフレクターの展開 / 格納

エア デフレクターの展開

- ▶ ルーフが開いているときに、エア デフレクターの F(図 25) を押してください。

エア デフレクターの格納

- ▶ ルーフが開いているときに、エア デフレクターのマーク F(図 25) がフロント ウィンドウのフレームにはまるまで押し込んでください。

i インフォメーション

車両の速度によって「こもり」音が発生することがあります(市街地の走行時など)。このような場合は、エア デフレクターを展開してください。高速走行をしているとき(郊外の走行時など)に、風切り音が発生することがあります。高速走行時には、エア デフレクターを格納してください。エア デフレクターは、車内に入る風の量を減少させることはできません。

タルガ ルーフの緊急操作

Targa ルーフの緊急操作：注



警告

緊急作動中のルーフシステム部品の作動。

- ▶ 緊急作動を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急作動中はタルガ ルーフを操作しないでください。

情報

ルーフおよびルーフ ドライブメカニズムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急作動中はタルガ ルーフを操作しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。Porsche は Porsche Partner のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ルーフシステムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検してください。

- タルガルーフをスイッチで操作するとき、イグニッションを ON にしましたか?
- ▶ イグニッションを OFF にし、タルガルーフが誤って作動することがないようにします。

リヤウォールライニングの取り外し

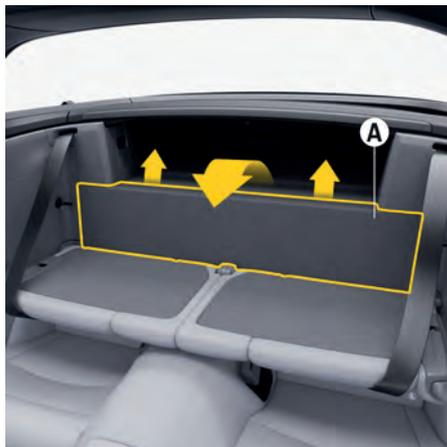


図 26: リヤウォールライニングの取り外し

1. フロントシートバックレストを前方に倒してください。
2. リヤシートバックレストを前方に倒します。
3. リヤウォールライニング A (図 26) を慎重に前方向に引いて固定ポイントから外し、持ち上げて取り外してください。
4. リヤウォールライニング A (図 26) の裏側からエマージェンシーキーを取り外してください。

ルーフドライブメカニズムの解除



図 27: ルーフドライブメカニズムの解除

- ▶ 緊急操作キー B (図 27) の六角部を使用して、エマージェンシーハンドスクリュー B (図 27) を約 180° 反時計回りに回してください。

情報

- ▶ エマージェンシーハンドスクリュー C (図 27) はゆるめるのみで、完全には取り外さないでください。
- ▶ 緊急操作キーを取り外してください。

ガラスリヤリッドのロック解除

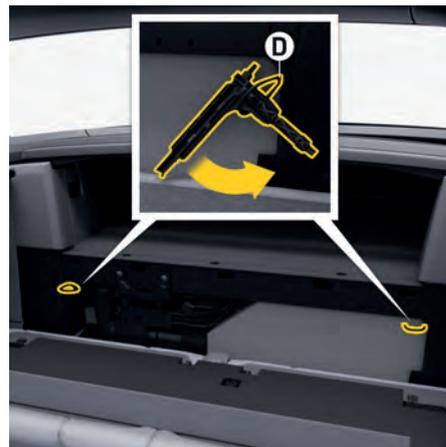


図 28: ガラスリヤリッドのロック解除

- ▶ 緊急操作キーを使用して、2 個のロック解除ループ D (図 28) をそれぞれ前方向に約 10 cm 引き出してください。

ガラス リヤリッドを開く



図. 29: ガラス リヤリッドを開く

- ▶ エアグリルの下端に手を入れて、ガラス リヤリッドを両手で上からつかんでください。まずリッドを持ち上げ、次に終端位置に到達するまで後方へ引いてください。

カバーの取り外し

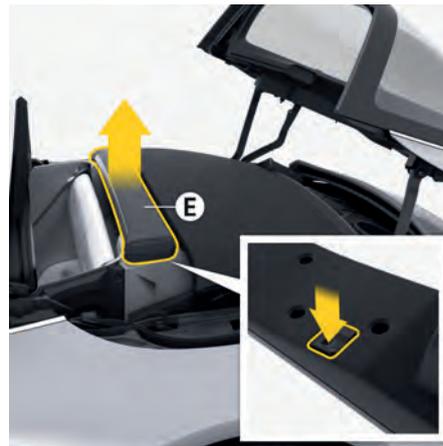


図. 30: カバーの取り外し

- ▶ カバーE(図. 30)の下部を外し、上方向に取り外してください。

エアデフレクターをロックする

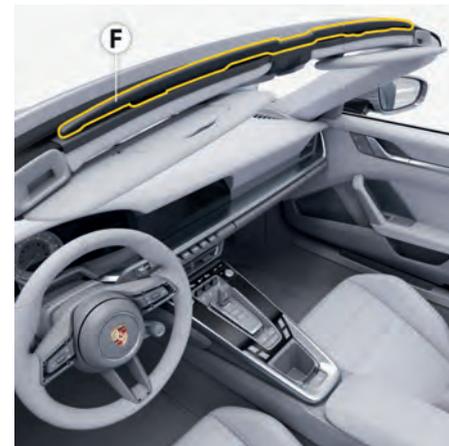


図. 31: エアデフレクターをロックする

情報

エアデフレクターを損傷する恐れがあります

- ▶ タルガルーフを閉じる前に、エアデフレクターを固定してください。
- ▶ エアデフレクターF(図. 31)が展開している場合、エアデフレクターをフロントウィンドウのフレームにはまるまで下方向に押しってください。

コンバーチブルトップエレメントを閉じる



図. 32: コンバーチブルトップエレメントを閉じる

1. フロントシートの背後に回り、車両後方を向ってください。
2. コンバーチブルトップエレメントの前端を握って、タルガバー上方で垂直な位置になるまで前方に動かしてください。コンバーチブルトップエレメントをタルガバーよりも前に動かさないでください（ルーフライナーを損傷する恐れがあります）。
3. コンバーチブルトップエレメントをこの位置で保持してください。

コンバーチブルトップエレメントをロックする



図. 33: ルーフキャッチ緊急操作アクセスポイントからのプラグの取り外し

1. ルーフキャッチ緊急操作アクセスポイントからプラグ**0**(図. 33)を取り外してください。



図. 34: コンバーチブルトップラッチフックの展開

2. 緊急操作キー**B**(図. 34)をルーフキャッチの緊急操作アクセスポイントに挿入し、左か右に回してマウントに挿入してください。
3. プラスチックアタッチメント**B**(図. 34)を反時計回りに回してラッチフックを完全に展開します(抵抗を感じます)。



図. 35: コンバーチブルトップエレメントを前方に引く

4. コンバーチブルトップエレメントをフロントウィンドウのフレームに引き寄せてください。



図. 36: コンバーチブルトップエレメントをロックする

5. コンバーチブルトップエレメントを完全に閉じるためには、緊急操作キー **B** (図. 36) をラッチフックが完全にマウントにはまるまで時計回りに回します (抵抗を感じます)。

カバーの取り付け



図. 37: カバーの取り付け

1. カバーを車両右側に差し込んでください。
2. 車両左側のカバーを押し下げ、ロックしてください。

ガラスリヤリッドを閉じる



図. 38: ガラスリヤリッドを閉じる

▲ 警告

ガラスリヤリッドを閉じる

ガラスリヤリッドを閉じるときは、ガラスリヤリッドと車両の固定部品との間に手が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ 閉じるときにガラスリヤリッドの後端部を持たないでください。

1. ガラスリヤリッドをエアグリルの上部から手を伸ばしてつかんでください。ガラスリヤリッドを前方に押し、ゆっくりと閉じてください。
2. エマージェンシーハンドスクリュー **C** (図. 27) を緊急操作キーを使用して時計回りに回します (抵抗を感じます)。
3. リヤウォールライニングを取り付けてください。

コンバーチブルトップ

一般的な安全に関する指示

- ▶ 266 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。
- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

情報

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップドライブを損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、コンバーチブルトップを操作しないでください。
 - 温度が0℃以下るとき。
 - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
 - 荷物の一部、またはその他の物(リヤシートの後ろ側など)がコンバーチブルトップの動作を妨げているとき。
 - ロールオーバーバーが展開しているとき。
- ▶ エンジンを停止した状態でコンバーチブルトップを何度も操作しないでください。車両のバッテリーがすぐに消耗します。
- ▶ 走行するときは、コンバーチブルトップは必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ コンバーチブルトップの開閉はコンバーチブルトップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップは乾いた清潔な状態のときにのみ開いてください。

- ▶ 日光を長時間浴びると、布地やラバーが傷んだり色褪せが起こったりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- ▶ コンバーチブルトップは、水平な路面を走行しているときのみ操作できます。
- ▶ 強風や嵐のときはコンバーチブルトップを 작동させないでください。

コンバーチブルトップの開閉



警告

コンバーチブルトップの開閉

コンバーチブルトップを開閉するときは、コンバーチブルトップメカニズムまたはコンバーチブルトップコンパートメントリッドと車両の固定部品との間に身体各部が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ コンバーチブルトップメカニズムまたはコンバーチブルトップコンパートメントリッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ 車両が見えない状況でキーによるコンバーチブルトップの操作はしないでください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにボタンもしくはキーのボタンから手を放し、操作を中止してください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じるときは、サンバイザーのパニティーミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブルトップが開くと、フロントおよびリヤサイドウィンドウは自動的に下がります。コンバーチブルトップが終端位置に達した後もコンバーチブルトップの操作を続けると、フロントサイドウィンドウが自動的に閉じます。

コンバーチブルトップが閉じると、フロントおよびリヤサイドウィンドウは自動的に下がります。コンバーチブルトップが終端位置に達した後もコンバーチブルトップの操作を続けると、それらは自動的に閉じます。

車内のボタンを使用したコンバーチブルトップの開閉



図. 39: ボタンによるコンバーチブルトップの開閉操作



図 40: ボタンによるコンバーチブルトップの開操作

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ✓ 速度が約 50 km/h 以下のとき、制限速度を超えると開閉操作は中断します。
- ▶ コンバーチブルトップが終端位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブルトップ開閉スイッチを引き続けてください。
 - ➡ 終端位置に達すると、インストルメントパネルの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。
- ➡ コンバーチブルトップは作動を停止します。

キーでコンバーチブルトップを開閉します

国によって異なりますが、コンバーチブルトップはキーを使用して開閉できます。

1. 車両のロックを解除します。
2. コンバーチブルトップが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーのボタンを押してください。
-または-
危険が発生した場合：ボタンを放してください。
➡ コンバーチブルトップは作動を停止します。
3. 必要に応じてドアをロックしてください。

ウィンド デフレクターを上げる / 下げる

▲ 警告

ウィンド デフレクターを上げる

ウィンド デフレクターを上げるとき、リヤシートの乗員が挟まれる恐れがあります。

- ▶ ウィンド デフレクターを上げるとき、誰もケガをしないように注意してください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにスイッチの操作を中止してください。

情報

ウィンド デフレクターおよびシートバックレストの損傷の恐れがあります。バックレストを極端な角度にすると、ウィンド デフレクターがシートバックレストと衝突する可能性があります。

- ▶ ウィンド デフレクターを上げる前に、両方のシートバックレストを垂直位置に調節してください。



図 41: ウィンド デフレクターを上げる / 下げる

- ✓ 作動待機を ON にします。
- ✓ 上げるときの最高速度は約 200 km/h 以下、下げるときは約 120 km/h 以下。この速度を超えた場合はできません。
- ▶ スイッチを押し続けてウィンド デフレクターが終端位置に達すると、インストルメント クラスタの関連するメッセージが消えます。

コンバーチブルトップとウィンド デフレクターの緊急操作

▲ 警告

緊急作動中のコンバーチブルトップの作動

- ▶ 緊急作動を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急作動中は、コンバーチブルトップまたはウィンド デフレクターをスイッチまたはキーで操作しないでください。

情報

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップドライブを損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急作動中または作動後は、コンバーチブルトップまたはウィンド デフレクターをスイッチまたはキーで操作しないでください。
- ▶ ゆっくりと慎重に運転してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コンバーチブルトップシステムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検してください。

- ウィンド デフレクターおよびコンバーチブルトップの操作中に、車室内のスイッチでイグニッションを ON にしましたか?
- ▶ ウィンド デフレクターおよびコンバーチブルトップが不意に作動しないよう、イグニッションを OFF にします。

リヤウォールライニングの取り外し

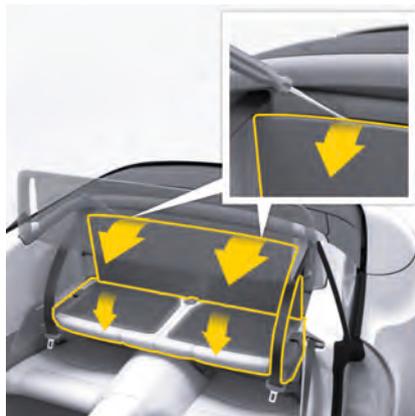


図. 42: リヤシートバックレストとリヤウォールライニングを前に倒す

1. ラゲッジコンパートメントにある工具セットからドライバーを取り出します。
 - ▶ 241 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
2. リヤシートバックレストを前方に倒します。
3. ドライバーを使用してリヤウォールライニングを固定ポイントから慎重にこじり外し、前方に倒します。
 - または-
 - 装備に応じて、リヤウォールライニング両側のストラップを引き出し、前に倒します。

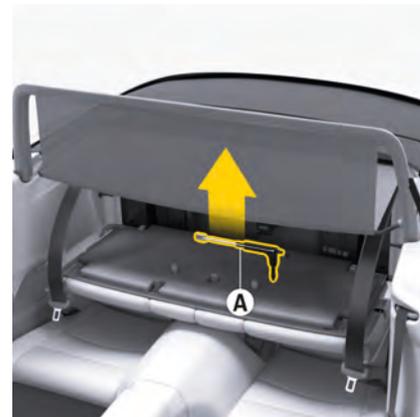


図. 43: 緊急操作キーを抜き取る

4. 緊急操作キー A(図. 43) をリヤウォールライニングから抜き取ります。

ウィンド デフレクターの緊急操作の実行

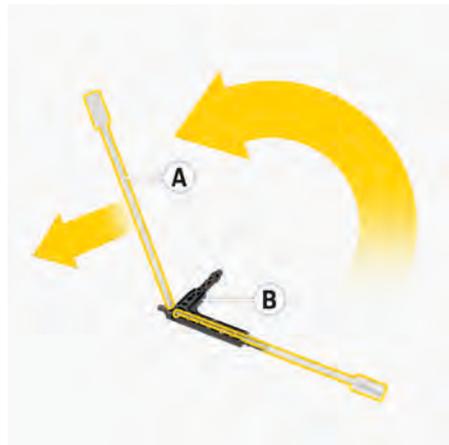


図. 44: 緊急操作キー

1. プラスチック アタッチメント **B** (図. 44) を緊急操作キー **A** から取り外します。
2. メタル インサートをプラスチック アタッチメント **B** (図. 44) から約 90° 上方に回し、前方に引き抜いて取り外します。

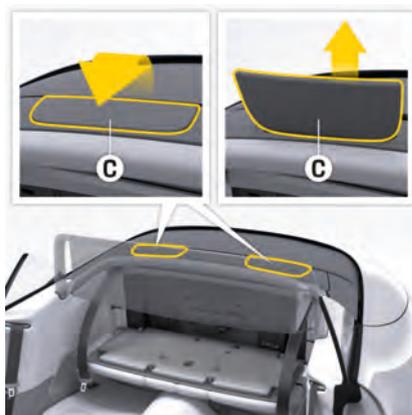


図. 45: ロールオーバー プロテクション カバーの取り外し

3. 両側のロールオーバー プロテクション カバー **C** (図. 45) を前方に倒し、上方に引いて外します。

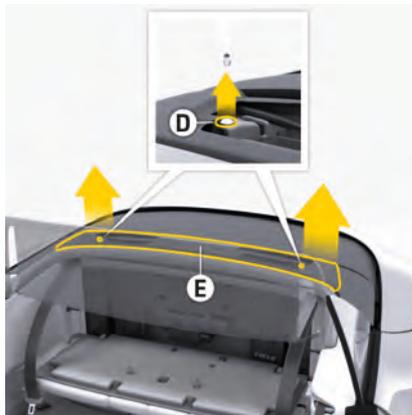


図. 46: ロールオーバー プロテクション カバーの取り外し

4. ドライバーを使用してロールオーバー プロテクション カバーの両側のスクリュー **D** (図. 46) を外します。
5. ロールオーバー プロテクション カバー **E** (図. 46) を上方に引き、固定ポイントから解除します。



図. 47: ウィンド デフレクターの格納

6. ウィンド デフレクター モーターのスクリュー **F** (図. 47) を緊急操作キーのメタル インサート **A** (TORX®) (図. 43) を使用してゆるめます。
7. リテーニング ブラケット **G** (図. 47) を前方に引き (必要に応じてドライバーでこじり外す)、ギヤの締結を解除します。
8. リテーニング ブラケットを取り外します。
9. ウィンド デフレクターを手動で格納します。

コンバーチブルトップドライブの解除

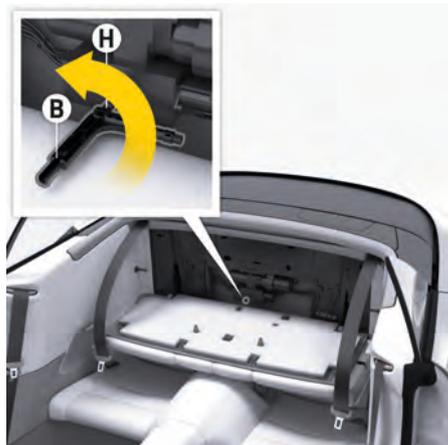


図 48: コンバーチブルトップドライブの解除

- ▶ プラスチック アタッチメント **B** (図. 48) の六角部を使用して、エマージェンシー ハンド スクリュー **H** (図. 48) を約 180° 反時計回りに回します。

情報

- ▶ エマージェンシー ハンド スクリュー **H** (図. 48) はゆるめるのみで、完全には取り外さないでください。

コンバーチブルトップコンパートメント リッドを開く



図 49: 緊急操作キーを挿入する

1. プラスチック アタッチメント **B** (図. 48) とメタル インサート **A** (図. 44) を再び組み立てます。
2. 緊急操作キーのメタル エンドをコンバーチブルトップコンパートメント リッドとコンバーチブルトップの間に挿入します。プラスチック アタッチメント **B** (図. 48) の曲がった部分が車両後方を向いていることを確認してください。
3. 緊急操作キーをプラスチック トリムに沿って前方向に移動させ、開口部 **K** (図. 49) にプラスチック アタッチメント **B** のマーク **1** (図. 48) まで挿入します。



図 50: コンバーチブルトップコンパートメント リッドのロック解除 (手順 1)

4. 緊急操作キーを進行方向に約 90° 回し、プラスチック アタッチメント **B** (図. 50) が上を向くようにします。



図 51: コンバーチブルトップコンパートメント リッドのロック解除 (手順 2)

5. 緊急操作キーをプラスチック アタッチメント B のマーク 2 (図. 51) まで挿入し (図. 51)、抵抗を感じなくなるまで進行方向に 90° 以上回します。
6. 緊急操作キーを進行方向と反対に約 90° 回して、取り外します。
7. 反対側でも同じ手順 (手順 2~6) を繰り返します。



図. 52: コンバーチブルトップコンパートメントリッドの上昇

8. 両手を運転席側と助手席側に置いて、コンバーチブルトップコンパートメントリッドを上方向にしっかり引き上げます。
9. 後ろからコンバーチブルトップコンパートメントリッドの中央を持って、直立位置にします。

リヤサイドトリムパネルフラップの緊急操作



図. 53: コネクター L の取り外し

1. 両方のコネクター L (図. 53) を取り外します。

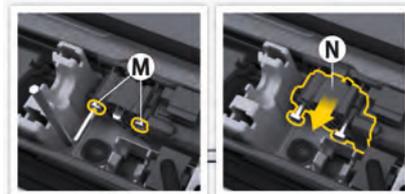


図. 54: スクリューをゆるめてモーター / ギヤユニットを前方に引く

2. モーター / ギヤユニットの両方のスクリュー M (図. 54) を緊急操作キーのメタルインサート A (TORX®) (図. 43) を使用してゆるめます。
3. モーター / ギヤユニット N (図. 54) を前方に引き (必要に応じてドライバーでこじり外す)、ギヤの締結を解除します。



図. 55: リヤサイドフラップの押し上げ

4. 停止位置に達するまでリヤサイドフラップを押し下げます。

コンバーチブルトップを閉じる



図. 56: コンバーチブルトップを格納コンパートメントから引き出す

- ▶ 車室内からコンバーチブルトップの中央部分を持ち、小物入れから約半分閉じるまで引き出します。

⚠ 注意

閉じるときに挟まれてケガをする恐れがあります

閉じるときに、コンバーチブルトップが作動する範囲内またはコンバーチブルトップロック付近に身体の一部があると、挟まれる恐れがあります。

- ▶ 以下に注意してください。
 - 閉じるときは、コンバーチブルトップの作動範囲内に誰もいないこと。
 - コンバーチブルトップの可動部やコンバーチブルトップロック周辺のエリアに手を入れてください。



図. 57: プラグの取り外し

1. プラグ O (図. 57) をコンバーチブルトップロック操作作用アクセスポイントから取り外します。



図. 58: コンバーチブルトップラッチフックの展開

2. プラスチックアタッチメント B (図. 58) を緊急操作キーから取り外します。
3. メタルインサート A (図. 43) をプラスチックアタッチメント B (図. 58) から約 90° 上方に回し、前方に引いて取り外します。
4. プラスチックアタッチメント B (図. 58) をコンバーチブルトップロックの緊急作用アクセスポイントに挿入し、かみ合うまで左または右に回します。
5. プラスチックアタッチメント B (図. 58) を反時計回りに回してラッチフックを完全に展開します (抵抗を感じます)。



図. 59: コンバーチブルトップを閉じる

6. コンバーチブルトップをフロントウィンドウのフレームに引き寄せます。
7. コンバーチブルトップを完全に閉じるためには、ラッチフックがキャッチに完全にかみ合うまで (抵抗を感じるまで)、プラスチックアタッチメント B (図. 58) を時計回りに回します。

コンバーチブルトップコンパートメントリッドを閉じる



警告

コンバーチブルトップコンパートメントリッドの閉操作

コンバーチブルトップコンパートメントリッドを閉じるとき、コンバーチブルトップコンパートメントリッドと固定車両部品の間には身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ 手をコンバーチブルトップコンパートメントリッドの上に置いて押します。



図 60: コンバーチブルトップコンパートメントリッドを閉じる

1. 車両の後方に立ちます。
2. ブレーキライト上のコンバーチブルトップコンパートメントリッドをしっかりとつかみ、抵抗を感じますが、完全に閉じるまで前方に押します。

3. コンバーチブルトップコンパートメントリッドを停止位置まで押し込みます。
 - ➡ コンバーチブルトップコンパートメントリッドはロックされていません。
4. 車室内のエマージェンシーハンドスクリューH (図. 48) を時計回りに手で締めます。

セントラルロック

概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要は「セントラル ロッキング システム」の章に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 61: キー

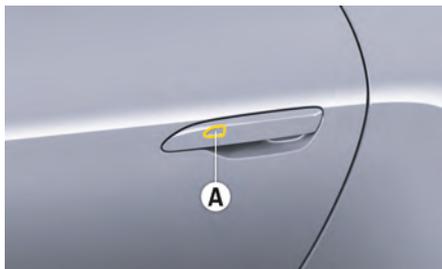


図. 62: コンフォートアクセス

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
解除	<p>キーを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 <p>コンフォートアクセスを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドア ハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。ドア ハンドルの近接センサー A (図. 62)に触れないでください。 <p>車両に接近する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両に接近します。 	<p>ハザード ライトが 1 回点滅します。</p> <p>車両は設定に従ってロック解除され、ドア ハンドルが展開します。</p> <p>ドアを開くことができます。</p>	▶ P. 56

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
ロック	キーを使用する： ▶ キーの  ボタンを押してください。 コンフォートアクセスを使用する： ▶ ドアハンドルの近接センサー A (図. 62) に触れます。	ハザードライトが 2 回点滅します。 ドアハンドルが格納します。 ドアがロックされ、ドアハンドルを引いて車内からドアを開くことができなくなります (セーフロック)。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。	▶ P. 56
人 / 動物を車両に残してロックする ▶ セーフロックと警報システムの車内モニタリングシステムを無効にします。	キーを使用する： ▶ キーのボタン  を 2 回押してください (約 2 秒以内)。 コンフォートアクセスを使用する： ▶ ドアハンドルの近接センサー A (図. 62) に 2 回触れます (約 2 秒以内)。	ハザードライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。 ドアハンドルが格納します。 ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引いて車内からドアを開くことができます。車内からドアハンドルを引くと、警報システムが作動します。	▶ P. 56
警告システムの警告音を OFF にする	▶ キーの  ボタンを押してください。 - または - イグニッションを ON にします。	警告音が OFF になります。	▶ P. 28

セントラル ロッキング システムの使用

インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているとだけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずにコンフォート アクセスで、ドアのロック解除およびロックができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアおよびフィラーフラップのみを解除するか、助手席ドアも含めて解除するか設定できます。

▶  ▶  ▶ 車両 ▶ 車両ロック システム ▶ ドアのロック解除

選択した設定にかかわらず、両側のドアがロック解除します。

- ▶ キーのボタン  を 5 秒以内に 2 回押してください。

インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されていません。

コンフォートアクセス¹

コンフォートアクセス装備車では、キーを使用せずにロック解除およびロックができます。そのためには、常にキーをズボンのポケットなどに入れて携帯する必要があります。

ドアハンドルの汚れがひどいと、コンフォートアクセス機能が制限されることがあります。

▶ 266 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

キーを使用するコンフォートアクセスの解除

第三者による車両の不正なロック解除および始動を防ぐため、キーを使用してコンフォートアクセス機能を一時的に停止することができます。

- ▶ キーのインジケータライトが点灯し続けるまで  および  ボタンを同時に押します。
 - ➔ キーのインジケータライトが点灯し続けている間は、解除されていることを示しています。

キーの任意のボタンを再度押すと、コンフォートアクセス機能が自動的に作動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。コンフォートアクセスが妨げられることがあります。

ドアのロック解除とロック

① インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを 45 秒以内に開かなかつた場合、車両は自動的に再びロックされます。

① インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

キーでドアのロック解除

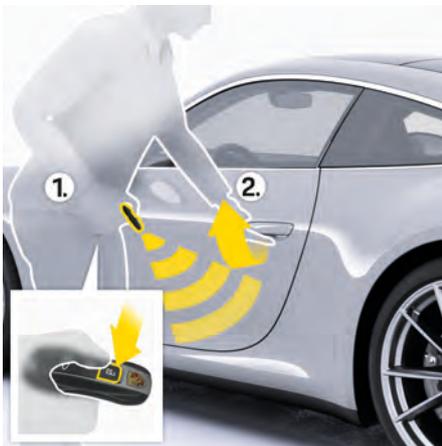


図 63: キーによるドアのロック解除

1.  ボタンを押してください。
 - ➔ ハザードライトが 1 回点滅します。
車両は設定に従ってロック解除され、ドアハンドルが展開します。
2. ドアハンドルを引いてください。

ドアハンドルの近接センサーによるドアのロック解除



図 64: コンフォートアクセスによるドアのロック解除

1. コンフォートアクセスシステムは最先端技術です。しかし、無線キーのキーコードが傍受されて、車両のロック解除や盗難に使用される可能性を完全に排除できるわけではありません。

- ✓ コンフォートアクセス装備車。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行していること。

1. 機能を事前に有効にします。

▶ 設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ ドアのロック解除

2. キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドアロックを解除することができます。ドアハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。

- ▶ ハザードライトが1回点滅します。

車両は設定に従ってロック解除され、ドアハンドルが展開します。

3. ドアハンドルを引いてください。

① インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は次第にOFFになります。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車両接近時のドアのロック解除

セントラルロッキングシステムは、車両に近づくと(約2mの距離から)ドアが自動的にロック解除されるように設定できます。

エンジンを停止して車両をロックするときは、キーを車両から6m以上放してください。こうすることにより、意図しないロック解除やキーのバッテリーが短時間で放電するのを防ぐことができます。

- ✓ コンフォートアクセス装備車。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行していること。

1. 機能を事前に有効にします。

▶ 設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ 接近時の自動ロック解除

2. 車両に接近します。
 - ▶ ハザードライトが1回点滅します。

車両は設定に従ってロック解除され、ドアハンドルが展開します。
3. ドアハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
4. ドアハンドルを引いてください。

車内からのドアのロック解除



図. 65: ドアパネルのセントラルロッキングシステムボタン

- ▶ ドアパネルの ボタンを押してください。-または-
- インナー ドアハンドルを引いてください。
- ▶ **すべてのドアがロック解除されます。** ドアハンドルが展開します。
- ▶ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

① インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

① インフォメーション

バッテリーが削除されたなどで車両の電源が入っていない、またはドアハンドルを引っ張るのが速すぎた場合には、ドアハンドルを2回引っ張る必要があります。

- ▶ ドアハンドルから手を放し、もう一度引きます。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。に注意してください。

車両の自動ロック解除

運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

バッテリーが切り離された状態でのロック解除

既にロックされていたドアは、バッテリーを切り離した後は、エマージェンシー キーのみ車外から開くことができます。

- ▶ バッテリーの切り離し前にウィンドウを開きます。
- ▶ インナー ドアハンドルを2回引っ張ると、ドアは車内外から開くことができます。そのため、インナー ドアハンドルを静止位置からいっぱいに停止する位置まで完全に引きま

ドアをロックする

情報

展開中のドアハンドルは、洗車機にかけると損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機にかける前に、車両をロックしてください。

セーフロックの使用

▲ 警告

車外からドアをロックする

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります〔セーフロック〕。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロック（国別仕様による）を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。

セーフロックが作動：インナー ドア ハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。

人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

キーでドアをロックする

- ✓ 作動モード **P** を選択している。
- ✓ すべてのドアが閉じられています。
- ▶ ㊦ ボタンを 1 回押してください。
 - ➡ ハザードライトが 2 回点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。

車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ボタン ㊦ を 2 秒以内に 2 回押してください。
 - ➡ ハザードライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。

ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

❶ インフォメーション

ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザードライトは点滅しません。

❶ インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度が警告音が鳴り、ハザードライトが 4 回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開かなかつた場合、車両はロックされ、スベア キーを使用でのみロック解除できる。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

ドアハンドルの近接センサーによりドアをロックする

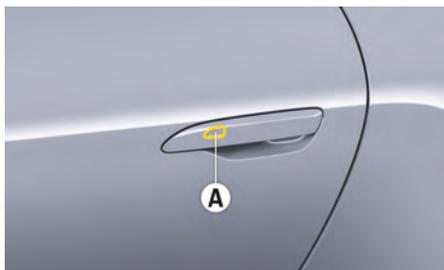


図. 66: コンフォート アクセスによりドアをロックする

- ✓ コンフォートアクセス装備車。
- ✓ 作動モード **P** を選択している。

- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行していること。
- ✓ すべてのドアが閉じられています。
- ▶ ドアハンドルの近接センサー **A** (図. 66) に触れます。
 - ➡ ハザードライトが 2 回点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。

車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ドアハンドルの近接センサー **A** (図. 66) に 2 秒以内に 2 回触れてください。
 - ➡ ハザードライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。

ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

❶ インフォメーション

- ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザードライトは点滅しません。
- 車両をロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあると車両をロックできません。

車内からドアをロックする



図. 67: ドアパネルのセントラルロックシステム ボタン

- ✓ ドアが閉じられています。
- ▶ ドアパネルの  ボタンを押してください。
 - ➡ **すべての**ドアがロックされます。フィラー フラップはロックされません。ドアハンドルが格納します。ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
 - インナー ドアハンドルを引くことによつてのみ、車内からドアを開くことができます。

自動ロック

- ✓ 機能が有効になりました。
 - ▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

セントラルロックの設定

セントラルロックシステム動作に関する設定は、PCM で行うことができます。例：

- ドアのロック解除 (運転席ドアのみ、すべてのドア)
- 速度が約 15 km/h を超えると、ドアが自動的にロックされます。
- ドアミラーが自動的に格納され、復帰します。

▶  ▶  設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム

ドアの緊急ロック解除および緊急ロック



図. 68: 緊急ロック解除 / 緊急ロックの実行

キーのリモートコントロールが機能しない場合、リモートコントロールなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

緊急ドアロック解除の実行

- ▶ フロント ウィンドウの上の進行方向右にキーを置き、 ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. キーからエマージェンシー キーを取り外してください。
 - ▶ 30 ページの「エマージェンシー キーの使用」の章を参照してください。
2. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシー キーをラウンド エッジが上を向くようにしてドアロックに挿入します (右ハンドル車ではラウンド エッジが下を向きます)。
4. エマージェンシー キーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 警報システムが作動しないように、15 秒以内にイグニッションを ON にしてください。

① インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

緊急ドアロックの実行

1. キーからエマージェンシー キーを取り外してください。
 - ▶ 30 ページの「エマージェンシー キーの使用」の章を参照してください。
2. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。

3. エマージェンシーキーをラウンドエッジが上を向くようにしてドアロックに挿入します(右ハンドル車ではラウンドエッジが下を向きます)。
4. 運転席ドアを開けた状態で、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じるまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 運転席ドアを閉じます。
7. 車両がロックされているか確認してください。

① インフォメーション

セントラルロックシステムが故障した場合、セントラルロックシステムのすべてのファンクションロックエレメントは運転席のドアロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロックシステムの故障は修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラルロックシステムが機能しなくなった場合のドアの緊急ロックの実行



図. 69: 助手席ドアの緊急ロック

1. ドアを開けます。
2. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
3. エマージェンシーキーを使用して、キースイッチを車両の外側方向に回してください。
4. ドアを閉じてください。
5. すべてのドアがロックしているか確認してください。
 - ➔ 乗客ドアはインナードアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

① インフォメーション

緊急ロック機能は、車両を駐車する際にドアをロックする場合にのみ使用してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

ラジオアンテナの取り付け位置



警告 電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナから約 22 cm の距離を維持してください。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。

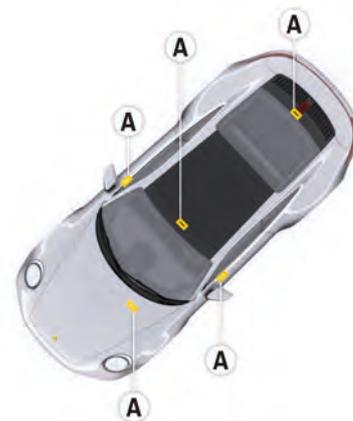


図. 70: ラジオアンテナの取り付け位置

車両装備により、アンテナ **A** の数は(図. 70)異なります。

▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

エアコンおよび人間工学

エアバッグ

一般的な安全に関する指示



危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

エアバッグは、衝突の強さおよび角度に応じて作動します。最適な保護機能を提供するため、エアバッグは非常に高速で展開する必要があります。シートベルトを着用していない、不適切なシート位置が想定される、または乗員がエアバッグに近すぎる場合、エアバッグの展開時に正しく保護効果を発揮できず、ケガや死亡の危険性があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようになってください。
- ▶ 保護効果を発揮するには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。シート位置が不必要にエアバッグに近くならないようにします。
- ▶ ドアの内側(エアバッグが膨らむエリア)にもたれかからないでください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。

- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ シートバックレストには何も掛けないでください(ジャケットやコートハンガーなど)。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、ドライバーや乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を保護します。

フロントエアバッグは、運転席側ではステアリングホイールのパッド内、助手席ではダッシュボードの中に取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバッグ**はシートボルトの側面に取り付けられています。

ヘッドエアバッグはサイドルーフレーム(クーペモデル)に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。



危険

作動済みのエアバッグを作動させることはできません

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに取替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



危険

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

助手席エアバッグをOFFにする



図. 71: 助手席エアバッグ OFF/ON インジケータ

⚠ 危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



図. 72: 助手席エアバッグを OFF にする

助手席エアバッグは、グローブボックス内のキースイッチで OFF にできます。キースイッチはエマージェンシーキーで操作できます。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。

▶ 68 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

故障の認識

エアバッグシステムが故障すると、赤いエアバッグ警告灯が  インストルメントパネルに表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない
- または -
- イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない
- または -
- 走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インテリアライト

インテリアライトのON/OFFの切り替え

インテリアライト / 読書灯のON/OFFの切り替え

- ▶ 該当するライトのボタンを押してください。

明るさを調節する(減光)

- ▶ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

インテリアライトのON/OFFの自動切り替え

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ドアを開いている間作動させる。

暗い場合、インテリアライトは以下の状況でONになります。

- 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合。
- イグニッションをOFFにした後で、運転席シートベルトが着用されていない場合。

インテリアライトは以下の状況では、再びOFFになります。

- すべてのドアを閉じた後。
- イグニッションをONにした直後。
- 車両をロックした直後。
- ONになってから約10分後自動で。

インテリアライトの遅延消灯が設定できます。

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ライト遅延時間を設定

インテリアライトの調節

明るさの調節

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ 明るさ

遅延消灯の設定

- ▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ライト遅延時間を設定

アンビエントライトの調節

アンビエントライトのON/OFFの切り替え

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. ライトONを選択する。

- アンビエントライトがONになっている。
 アンビエントライトがOFFになっている。

アンビエントライトの色の設定

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. 色を選択する。
3. 希望のライトの色を設定してください。

アンビエントライトの明るさ調節

車室内全体の明るさ設定

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. 全体の明るさを選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

車内の各エリアの明るさの設定

1.  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ アンビエントライト。
2. ドア、センターコンソール、フットウェルまたはリヤを選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

チャイルドシート

一般的な安全に関する指示

▲ 危険

チャイルドシートの誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フルパケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ推奨のチャイルドシートは、テストが実施されており、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用するときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてから行ってください。

▶ 70 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

ポルシェでは、ポルシェテイクアップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▶ www.porsche.com/tequipment

▶ 68 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▲ 危険

助手席のチャイルドシート

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お子様は致命傷または重傷を負う危険があります。
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▶ 68 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 62 ページの「助手席エアバッグをOFFにする」の章を参照してください。

- ▶ 身長 150 cm 未満または 12 歳未満の子供は、適切なチャイルドシートがないと乗車することができません。国別の法律を遵守してください。これらは異なる場合があります。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ずOFFにしてください。



図. 73: エアバッグ警告ラベル



図. 74: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグ警告と警告標識付きラベル A (図. 74) を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

この章の説明は UN-R 14 または UN-R 145 の要件に準拠しています。

チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の3つの項目すべてを注意深くお読みください。
1. 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。
 - ▶ 66ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
 2. チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。
 - ▶ 68ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
 3. チャイルドシートを正しく取り付けてください。
 - ▶ 70ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、チャイルドシートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。
 - ▶ 68ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
 - ▶ 70ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

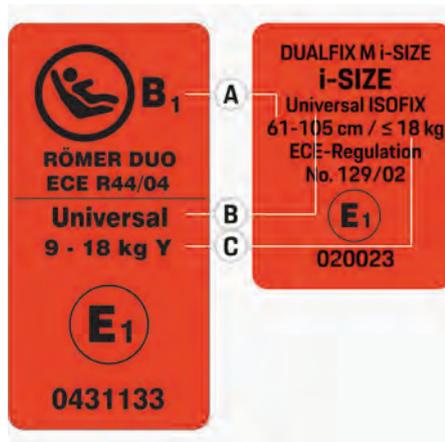


図. 75: チャイルドシートのECEラベルの例

- A** サイズグループ
 - B** 「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミユニバーサル)」マーク
 - C** 体重グループ
- ▶ 準汎用(セミユニバーサル)認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

グループ0および0+のお子様：13kgまで(i-Sizeシステム、ISOFIXシステム、車両のシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIのお子様：9～18kg(i-Sizeシステム、ISOFIXシステム、または車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIIのお子様：15～25kg(車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIIIのお子様：22～36kg(車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A** ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B** ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1** ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B2** ISO/B2：バックレスト付き前向きi-Sizeブースターシート
- C** ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D** ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- D1** ISO/R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- E** ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート

- F ISO/L1：左向きチャイルドシート〔ベビーキャリア〕
- G ISO/L2：右向きチャイルドシート〔ベビーキャリア〕

バックレスト装備または非装備のプースターシート

ISO/B2：前向きチャイルドシート〔バックレスト装備または非装備のプースターシート〕、減少幅440mm
 ISO/B3：前向きチャイルドシート〔バックレスト装備または非装備のプースターシート〕、全幅520mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重およびサイズグループの概要

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループ0 0～10kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1
グループ0+ 0～13kg	後ろ向き	C/R3
		D/R2
		E/R1
グループ1 9～18kg	前向き	A/F3
		B/F2

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループII 15～25kg	後ろ向き	B1/F2X
		C/R3
		D/R2
グループIII 22～36kg	前向き	—
	後ろ向き	—
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	-/R2X
	前向き	-/B2, F2X
プースターシート	前向き	-/B2, B3

チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。

▷ 66 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

▷ 70 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

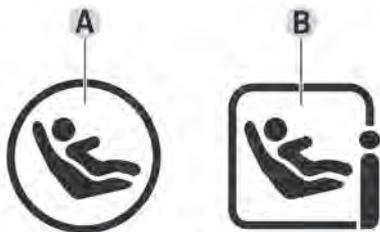


図. 76: ISOFIX および i-Size のシンボル

A ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

B i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

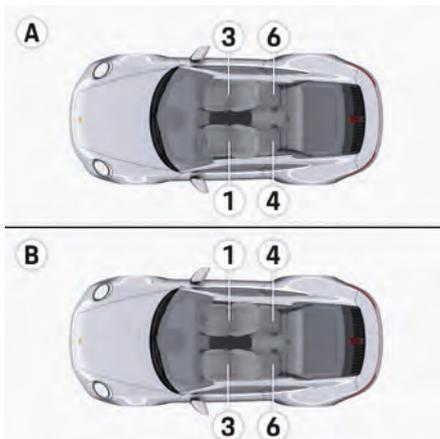


図. 77: チャイルドシート取り付けのためのシート番号、リヤシート装備車

A 左ハンドル車
B 右ハンドル車

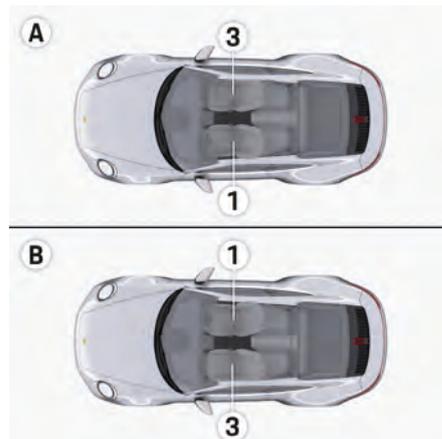


図. 78: チャイルドシート取り付けのためのシート番号、リヤシート非装備車

A 左ハンドル車
B 右ハンドル車

リヤシート装備車

	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	3、4 および 6	3、4 および 6

リヤシート非装備車		
	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定

シート番号に応じて許容される
取り付け位置¹

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 ²	4 ^{3,4,5}	6 ^{3,4,5}
シートベルトによる固定 ⁶	不可	可	可	可
ISOFIX の取り付け位置 ⁷	不可	可	可	可
i-Size の取り付け位置 ⁸	不可	不可	不可	不可
横向きのチャイルドシート	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R2X	このシートはボルシェ推奨のチャイルドシートにのみ適しています。	
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F2X	▷ 66 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。	
適切なチャイルドシートで最大のもの (バックレスト装備または非装備のブースターシート) (B2/B3)	不可	B3	▷ www.porsche.com/tequipment	

不可: シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

- アダプティブスポーツシート プラスにのみ承認済み。
- 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- 後部座席のある車両にのみ許可されます
- この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。
- 助手席とお子様、チャイルドシートまたはその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保するために、助手席を調節する必要があります。
- はい:** 車両のシートベルトによって固定する汎用タイプと準汎用タイプのチャイルドシートに対応。準汎用タイプのチャイルドシートの取り付けが可能かは、チャイルドシートに付属しているタイプ一覧 (インターネットでも入手可能) を参照してください。
- はい:** 汎用タイプと準汎用タイプの ISOFIX チャイルドシートに対応。準汎用タイプのチャイルドシートの取り付けが可能かは、チャイルドシートに付属しているタイプ一覧 (インターネットでも入手可能) を参照してください。
- はい:** 前向きおよび後ろ向き i-Size チャイルドシートに適しています。

チャイルドシートの体重とサイズグループの説明、およびi-Sizeチャイルドシートとバックレスト装備または非装備のブースターシートのカテゴリ:

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用 (U) または「準汎用」(L) 認定カテゴリのチャイルドシートを助手席に設置する場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを無効にする必要があるかどうかを確認してください。

承認カテゴリの情報は、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X: シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

U/L: 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

グループ	助手席エアバッグスイッチ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ0: 0 ~ 10 kg	X	U/L
グループ0+ : 0 ~ 13 kg	X	U/L
グループI : 9 ~ 18 kg 後ろ向き	X	U/L
グループI : 22 ~ 36 kg 前向き	U/L	U/L

▶ 66 ページの「チャイルドシートのサイズグループによる分類」の章を参照してください。

グループ	助手席エアバッグスイッチ ON	助手席エアバッグ OFF
9 ~ 18 kg 前向き		
グループII : 15 ~ 25 kg	U/L	U/L
グループIII : 22 ~ 36 kg	U/L	U/L

チャイルドシートの正しい取り付け

- ▶ チャイルドシートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズグループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
 - ▶ 66 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
 - ▶ 68 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。

チャイルドシートの各種シートへの取り付け



図. 79: フルバケットシート

フルバケットシート (図. 79) ではチャイルドシートを決して使用しないでください。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルドシートが使用できます。

▶ 86 ページの「シート」の章を参照してください。

▶ 66 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

ベビーキャリア

サイズカテゴリ F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート (ベビーキャリアなど) は、一般的にどのシートにも使用できません。

ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします (例: Porsche Babyseat ISOFIX GO+)。

助手席エアバッグの ON / OFF



危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



図. 80: 助手席エアバッグを OFF にする

- ✓ イグニッションを OFF にする

1. グローブボックスを開いてください。
 2. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
- ▶ 29 ページの「キー」の章を参照してください。

- 3.

情報

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシーキーは必ず、キースイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。
- ▶ キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときのみ、ON または OFF に切り替えてください。

エマージェンシーキーをキースイッチにいっぱいまで押し込んでください。

4. エマージェンシーキーを回し、助手席エアバッグをオフ (スイッチ位置 OFF) またはオン (スイッチ位置 ON) にしてください。

- 5.



危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。

6. グローブボックスを閉じます。

表示 PASSENGER AIR BAG OFF/ON



図. 81: 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター

助手席エアバッグ OFF/ON インジケーターは、ルーフコンソールにあります。

OFF 点灯 ライト作動点検

イグニッションを ON にすると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーターが約 5 秒点灯します。

OFF 点灯

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にすると、イグニッションが ON のときやエンジンが作動しているときは、PASSENGER AIR BAG OFF インジケーターが継続的に点灯します。

ON 点灯

助手席エアバッグスイッチ ON

助手席エアバッグを ON にすると、イグニッションが ON のときは PASSENGER AIR BAG ON インジケーターが点灯し、約 1 分後に消灯します。

危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

イグニッションをONにして、助手席エアバッグをOFFにしたときにPASSENGER AIR BAG OFFインジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両シートベルトを使用したチャイルドシートの取り付け

車両シートベルトを使用した助手席シートへのチャイルドシートの取り付け

1. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。86ページの「シート」の章を参照してください。
3. 助手席とその後ろに座っている乗員の間に十分な距離があることを確認してください。

車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

- ▶ リヤシートとチャイルドシートをしっかりと接触させるようにします。
- ▶ ブースターシートにバックレストがない場合は、ブースターシートとリヤシートバックレストが接触していることを確認します。

チャイルドシートのISOFIXシステムとの取り付け

- ▶ 66ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

助手席シートへのチャイルドシートのISOFIXシステムとの取り付け



図. 82: 助手席シートのISOFIXアンカーシステム

ISOFIXチャイルドシート用アンカーポイントのリテーニングラグA(図. 82)は助手席のバックレストとシート表面の間にあります。

1. グローブボックス内のエマージェンシーキーがOFFままで、助手席エアバッグをOFFにします。
 - ➡ ルーフコンソールの助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。

86ページの「シート」の章を参照してください。

3. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグA(図. 82)に固定してください。
4. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。
5. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
6. リヤシートに乗員が座っている場合、お子様、チャイルドシートまたは乗員およびフロントシートの間に十分な空間があることを確認します。お子様、チャイルドシートまたは乗員の前のフロントシートを調節し、できるだけ前方かつ高い位置になるように、シートバックレストができるだけ垂直になるようにします。

助手席へのサポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け



図. 83: サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け

1. チャイルドシートをISOFIX アンカー システムで、リテーニングラグ A (図. 83) と共に正しく取り付けます。
▷ 70 ページの「チャイルド シートの正しい取り付け」の章を参照してください。
2. チャイルドシート メーカーの指示に従って、サポート レッグを位置決めします。
3. チャイルドシートが助手席に対して面一に取り付けられているようにします。

チャイルドシートのリヤシートへの取り付け



図. 84: リヤシートの ISOFIX リテーニングラグ

チャイルドシート用 ISOFIX アンカー システムのリテーニングラグ A (図. 84) は、背もたれ下部の後方にあります。

1. まず中央上部 (マジック テープ) を外し、背もたれ下部をリテーニングラグ A (図. 84) からロック解除し、取り外します。
2. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A (図. 84) に固定してください。

3. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。
4. リヤシートとチャイルドシートをしっかりと接触させるようにします。
5. お子様またはチャイルドシートとフロントシートの間に十分な空間があることを確認します。お子様またはチャイルドシートの前のフロントシートを調節し、できるだけ前方かつ高い位置になるように、シートバックレストができるだけ垂直になるようにします。

クーペのみ: トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

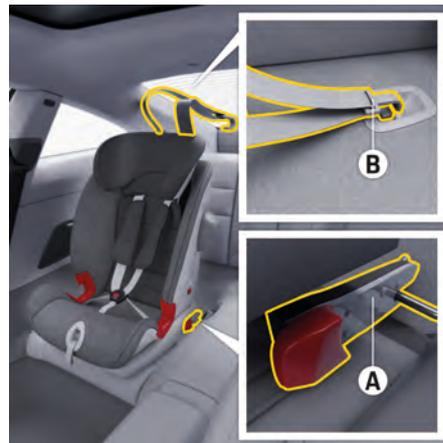


図. 85: トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

回転しないように、チャイルドシートをトップテザーでさらに固定する必要があります。

チャイルドシートをトップテザーと一緒に使用する場合、トップテザーはリヤシート後方のリヤシェルフ上の固定箇所に取り付けます。

1. チャイルドシートを ISOFIX アンカー システムで、リテーニングラグ A (図. 85) と共に正しく取り付けます。
▷ 70 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。
2. さらに、トップテザー B (図. 85) をリヤシート後方のリアシェルフ上の固定箇所固定し、トップテザーを締め付けます。

リヤシート非装備車 — 折り畳み式助手席シートへのチャイルドシートのトップテザーとの取り付け

▷ 70 ページの「チャイルドシートの各種シートへの取り付け」の章を参照してください。
チャイルドシートは、サポートレッグの代わりにトップテザーで固定することもできます。

- ▶ チャイルドシートをトップテザーと一緒に使用する場合、トップテザーは助手席後方のリヤシェルフ上の固定位置に取り付ける必要があります。

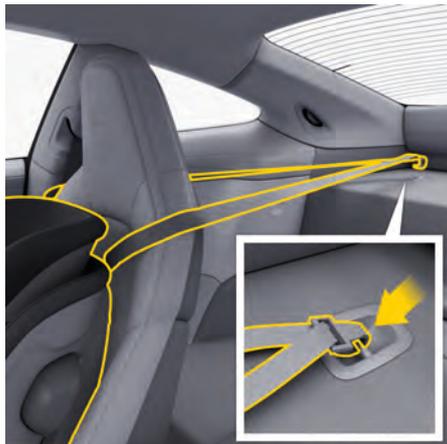


図 86: トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

1. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
2. 運転席シートを最後部位置に調整します。
86 ページの「シート」の章を参照してください。
3. トップテザーの長さを最大長に調整します。
4. チャイルドシートを ISOFIX アンカーシステムで、リテーニングラグ A (図. 82) と共に正しく取り付けます。
▷ 72 ページの「チャイルドシートの ISOFIX システムとの取り付け」の章を参照してください。
5. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
6. 運転席シートに膝をつき、助手席後方のリヤシェルフ上のアンカーポイントに届くようにします。

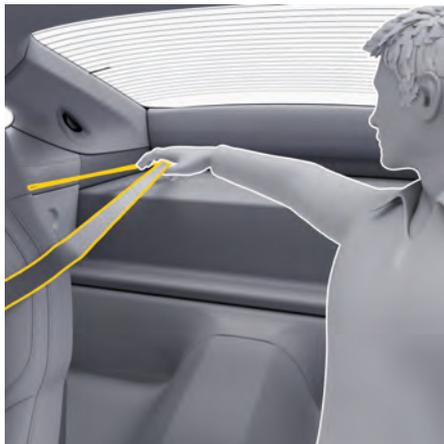


図 87: アンカーポイントへのトップテザーの固定

1. トップテザーを助手席後方のリヤシェルフ上のアンカーポイントに固定します。
2. トップテザーがねじれていないことを確認してください。
3. チャイルドシートメーカーの指示に従って、トップテザーを締め付けます。

エアコン システム (2 ゾーン エアコン)

概要

この概要説明は、「エアコンシステム (2 ゾーン エアコン)」に記載された包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

エアコンシステムは、PCM およびセンター コンソールのボタンで調整することができます。

▶ 175 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

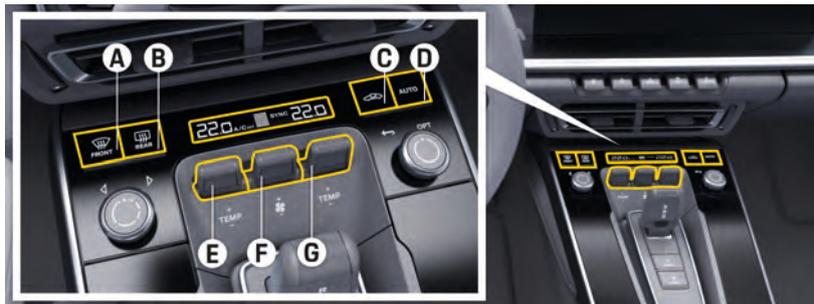


図. 88: エアコンの概要

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロント ウィンドウ デフロスター	▶ ボタン A (図. 88) を押してください。	▶ P. 80
リヤ ウィンドウ ヒーター および ドア ミラー ヒーターを ON にする	▶ ボタン B (図. 88) を押してください。	▶ P. 80
手動で内気循環モードを ON にする	<p>国によっては、内気循環モードはセンター コンソールのボタンまたは PCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。</p> <p>▶ ボタン C (図. 88) を押してください。 - または -</p> <p>▶ ▶ エアコン ▶ 空気質 </p>	▶ P. 77
A/C MAX モード (最大空調) を ON にする	<p>国によっては、A/C MAX モードはセンター コンソールのボタンまたは PCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。</p> <p>▶ ボタン C (図. 88) を押してください。 - または -</p> <p>▶ ▶ エアコン ▶ A/C 最大</p>	▶ P. 76
オート モードを ON にする	▶ ボタン D (図. 88) を押してください。	▶ P. 76

希望する操作	操作方法	操作箇所
温度の設定	▶ 左側はボタンE(図. 88)、右側はG(図. 88)を、上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。	▶ P. 77
送風量を手動で設定する	▶ ボタンF(図. 88)を上(強くする)または下(弱くする)に押してください。	▶ P. 77
オートモードで風量を設定する	▶  ▶ エアコン 	▶ P. 77
送風口を手動で切り替える	▶  ▶ エアコン  ▶  または 	▶ P. 77
フットウェル温度の設定	▶  ▶ エアコン  ▶ 	▶ P. 77
アップパー換気パネルの調節	▶  ▶ エアコン  ▶ 	▶ P. 77

作動原理

オートモードでは、さまざまな環境条件(車室内の温度、日射量、空気の状態など)に応じて、エアコンシステムが温度、送風口、送風量を全自動で調節します。

エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

エアコンシステムは、センターコンソールのボタンおよびPCMタッチディスプレイで操作することができます。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：

- ▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後OFFになります。

エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約2°Cを下回ると自動的にOFFになり、このときは手動操作でもONにできません。

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

2ゾーンエアコン

温度は、**左と右**のエアコンゾーンで個別に設定できます。送風口、エアコンの種類、およびフットウェル温度は、車室内全体に対して設定できます。

エアコンのON/OFFの切り替え

エアコンは、車内全体に対してON/OFFの切り替えができます。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ OFF
 - ➔ センターコンソールのエアコンディスプレイにA/C OFFと表示され、外気導入による送風が停止して、エアコンシステムがOFFになります。

オートモードをONにする

エアコンゾーンはオートモードに切り替えることができます。

- ▶ エアコンコントロールパネルの**AUTO**ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンの**AUTO**シンボルが点灯します。温度、風量および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、他の機能ボタンによりオートモードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または**AUTO**ボタンを押すまで設定が維持されます。

冷房機能の ON/OFF の切り替え

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房の出力は自動制御されます。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ **A/C**
- ➔ 冷房機能はONまたはOFFに切り替えることができます。

最大冷房出力の ON/OFF の切り替え - A/C MAX モード

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されます。

一部の地域では、A/C MAX モードのON/OFFをセンターコンソールのボタンおよびPCMタッチディスプレイを使用して切り替えることができます。



図. 89: 最大冷房出力

- ▶ エアコンコントロールパネルの  ボタンを押してください。
- ➔  ボタンが赤色に点灯するか、消灯します。
A/C MAX モードがONまたはOFFです。
-または-

- ▶  ▶ エアコン  ▶ **A/C MAX**
- ➔ **A/C MAX** モードがONまたはOFFです。

エアコンシステムの操作 温度の設定

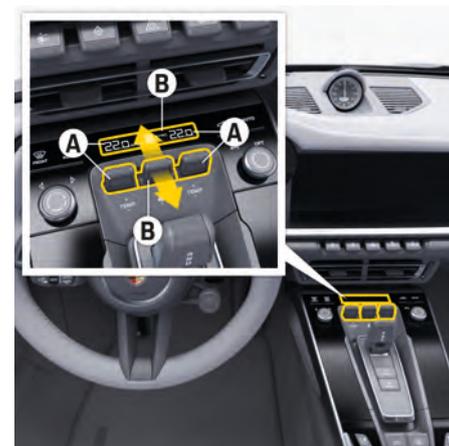


図. 90: 温度設定および送風量調節

- A** エアコンディスプレイで該当するエアコンゾーンの温度およびインジケータを調節する
- B** エアコンディスプレイで風量およびインジケータを設定する

各エアコンエリアの温度は 16.5°C~29°C の範囲で調整できます。

推奨：冷房機能 (**A/C**) が ON の状態で 22°C。

設定した温度が、センターコンソールのエアコンディスプレイに表示されます。

温度を上げる / 下げる

- ▶ 該当する気候帯ためボタン **A TEMP** (図. 90) を上方向または下方向に押してください。

センターコンソールのエアコンディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。ボタン **AUTO** は ON のままで、ファンが調節されます。

▶ 77 ページの「エアコンシステムの操作」の章を参照してください。

風量を設定する

設定した風量が、センターコンソールのエアコンディスプレイのボタン  の上部にバーディスプレイで表示されます。バーの数が多くなるほど、車室内への風量が多いことを示します。

送風量を上げる / 下げる

- ▶  ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

AUTO ボタンを押すと、オートモードに戻ります。

風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが **OFF** になります。



警告

風量 OFF による視界の低下

風量設定を OFF にすると、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再び強くしたい場合、 ボタンを上方向に押し、オートモードに戻してください。

エアベントの調整



図 91: エアベントの調整

情報

エアベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話クレードルやプラグイン式のエアフレッシュナーなど、エアベントには何も挟まないでください。

エアベントの開閉

- ▶ エアベントのダイヤルを上方向または下方向に回してください。

風向の変更

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

送風口を調節する

フロントの送風口の調節

1. エアコン

2. 送風口の選択:

-  フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
-  中央および左右エアベントからの送風を開始します。
-  フットウェルへの送風を開始します。

アッパーベンチレーションパネルの調節



図 92: アッパーベンチレーションパネルの調節

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。送風方向は手動で水平方向に調節できます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

送風のON/OFFの切り替え

▶ ▶ エアコン ▶

➔ 機能がONになると、アイコンが赤色に変わります。

風向の変更

▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

エアコンの種類の設定

オートモードでは、車室内全体に対して3段階で風量を調節できます。

1. ▶ エアコン ▶

2. 希望するエアコンのタイプを選択します。

フットウェル温度の設定

フットウェル温度は車室内全体の温度よりも低く設定できます。

1. ▶ エアコン ▶

2. 希望するフットウェル温度を選択します。

自動内気循環のON/OFF

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5℃を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

▶ ▶ エアコン ▶ ▶ 空気質 ▶

➔ 機能がONになると、アイコンが赤色に変わります。

内気循環モードのON/OFF



警告

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間ONにすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないでください。

一部の国では、内気循環モードのON/OFFはセンターコンソールのボタンまたはPCMタッチディスプレイを使用して切り替えることができます。

手動で内気循環モードをONにする



図. 93: 内気循環モードのON/OFF

▶ ボタンを押してください。

➔ 内気循環モードをONにすると、 ボタンが赤く点灯します。

-または-

▶ エアコン ▶ ▶ 空気質 ▶

➔ 機能がONになると、アイコンが赤色に変わります。

手動で内気循環モードをOFFにする

▶ ボタンを押してください。

-または-

AUTO ボタンを押してください。

-または-

▶ エアコン ▶ ▶ 空気質 ▶

イオナイザーのON/OFF

対象：イオナイザー装備車(装備仕様により異なる)。イオナイザーは、-大都市など-空気の状態が悪い地域において車室内の空気の状態を向上させることができます。

イオナイザーは無臭です。

1. センターベントを開けます。

2. ▶ エアコン ▶ ▶ 空気質 ▶

➔ 機能がONになると、アイコンが赤色に変わります。

– SYNC モードは車両全体の気候設定を引き継ぎます

▶ **エアコン** ▶ SYNC

▶ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。

SYNC モードが ON になると、助手席側エアコンゾーンの表示値が**運転席の値**に変わります。

ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- ▶ 車室内の快適性を最大限に高めるには、PCM で SYNC モードを ON にしてください。

フロントウィンドウ、リヤウィンドウ、ミラーヒーターの操作

フロントウィンドウデフロスター



図. 94: フロントウィンドウデフロスター

デフロストモードを ON にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンがオレンジ色に点灯します。
 フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロストモードを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのオレンジ色ライトが消灯します。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターの ON/OFF の切り替え



図. 95: リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターボタン

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターを ON にする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンがオレンジ色に点灯します。

外気温度によって、約 5~20 分後にリヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的に OFF になります。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンのオレンジ色ライトが消灯します。

インフォメーション

カブリオレのみ：コンバーチブルトップが開いた状態でリヤウィンドウ/ドアミラーヒーターを繰り返し ON にすると、ラバーシールを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヒーター機能が自動的に OFF になった場合、5~20 分の間はリヤウィンドウ/ドアミラーヒーターを繰り返し ON にしないでください。

ステアリングホイール

ステアリングホイールの調節



警告

運転中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

ステアリングホイールの手動調節



図. 96: ステアリングホイール調節レバー

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。

3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

ステアリングホイールの電動調節



注意

メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



図. 97: ステアリングホイール調節用コントロールスイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているコントロールスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリングホイール設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、ステアリングホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリーボタンに保存することができます。

- ▶ 82 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

インストルメントクラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 164 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

ステアリングホイールヒーターのON/OFFの切り替え



図. 98: ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 中央のステアリング ホイールのボタン (図. 98) を **ステアリングホイールヒーター ON** または **ステアリングホイールヒーター OFF** のメッセージがインストルメント クラスタに短時間表示されるまで押します。

パーソナル設定

機能

運転席ドアのメモリー ボタンを使って、手動で、人間工学に基づいた設定を保存して呼び出せます。また、PCM で個々のアカウントを作成し、人間工学に基づく設定やコンフォート設定を自動的に保存して呼び出すことができます。どちらの機能も、お互いに独立して使用できます。

パーソナル設定の保存と呼び出し

イグニッションを OFF にすると、その時点での設定が PCM により自動的にアカウントに保存され、使用したキーと関連付けられます。ドアのロックを解除すると、設定がキーにより自動的に呼び出されます。複数の人が車両を使用する場合、各自で別個にアカウントとキーを使用することをお勧めします。必要であれば、アカウントを手動で変更できます。

さらに、運転席ドアのメモリー ボタンにより、人間工学に基づいた設定を 3 件まで手動で保存して呼び出せます。

人間工学に基づいた設定の機能： シート、ドア ミラーおよびステアリング ホイールの設定。

コンフォート設定の機能： 人間工学、ライト、視界、アシスタント、インストルメント クラスタおよびインフォテインメントの設定。

インフォメーション

車両の損傷を避けるため、特定の機能については個人設定を行えません (例：リバース ギヤの使用時にリヤワイパーを自動的に作動させる)。

注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ メモリー ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、必要に応じて**人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能をキャンセル**できます。

コンフォート設定の保存と呼び出し

コンフォート設定の保存

- ▶ イグニッションを OFF にすると、事前にした設定は**自動的に** PCM のアカウントに保存されます。

コンフォート設定の呼び出し

- ▶ 車両のロックを解除します。
 - ➡ アカウント設定が呼び出されます。

–または–

- ✓ 車両が停止している状態。
- 1. PCM でアカウントを切り替えます。
- 2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

設定のロードが中断された場合：

- ▶ **PCM** でドライバーを有効にするを選択します。

アカウントを管理する

PCM で最大 7 つのアカウントを登録および管理できます。1 つのゲスト アカウントが利用可能です。これは削除できません。

PCMの初回起動時には**セットアップアシスタント**が表示され、PCM設定のための重要なステップが案内されます。最初のアカウントを正しく作成するために、**セットアップアシスタント**を完全に実行することをお勧めします。アカウントを設定して使用するには、**ポルシェ ID (Porsche Connect ユーザー)**が必要です。▶ 224 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

イグニッションを ON にした直後、およびイグニッションが ON のときはいつでも PCM を使用して、インストルメントパネルから登録済みアカウントを切り替えることができます。

キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは必ず作動中のアカウントに自動的に割り当てられます。

i インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ)は、www.porsche.com/connect で入手できます。

アカウントは PCM で管理することができます。

▶ 224 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

有効になった個人設定が現在のドライバーと一致しない場合、別の登録済みアカウントに切り替えることをお勧めします。ご自身のアカウントを使用することをお勧めします。必要であれば、新しいアカウントを作成して車両設定を調整できます。これにより、最初に選択したアカウントの車両設定を不用意に調整することを避けることができます。

人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し



図. 99: 運転席ドアメモリー ボタン

メモリー ボタンへの人間工学に基づいた設定の保存

1. 設定ボタンを押してください。
➡ ボタンの表記が点灯します。
2. 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を 10 秒以内に押してください。
➡ 設定が保存されます。
保存されると確認音が鳴り(運転席ドアのみ)、設定ボタンのライトが消灯します。

メモリー ボタンによる人間工学に基づいた設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を押し続けてください。
- または-
- ✓ イグニッションを OFF にする
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ▶ 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を短く押してください。
➡ 設定が自動的に適用されます。

人間工学に基づいた設定の呼び出しの中止

- ▶ ドアのいずれかのメモリー ボタンを押します。
- または-
- シートのいずれかのコントロールを操作します。
- または-
- PCMのシート調整をキャンセルをタップします(リバースカメラなどの他の有効な機能によって異なり、常に使用できるとは限りません)。

シートベルト

シートベルトの正しい使用方法

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服(ジャケットなど)は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物や壊れやすい物(メガネ、ボールペン、携帯電話など)の上からシートベルトを締めないでください。衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ すべてのおお客様に適切なチャイルドシートを使用してください。
- ▶ 身体の上半身と腰が前方にスライドしないよう、シートベルトを身体の正しい位置に着用してください。シートベルトを正しい位置に着用しないと、事故の際に重傷を負う可能性があります。
- ▶ 肩のストラップは必ず上半身に当てる必要があります。肩のストラップは背中の中の後ろや腕の下にるように着用しないでください。

- ▶ 最大限の効果を得るため、腰のベルトが腰の低い位置に当たるように着用してください。
- ▶ 妊娠中の方の場合、シートベルトは骨盤の上のできるだけ低い位置に着用する必要があります。腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- ▶ ベルトストラップの損傷を防ぐため、シートベルトが鋭利なものに擦れることがないようにしてください。

⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトは清潔に保つ必要があります。そうしないと、リトラクターローラーが正しく機能しない場合があります。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 清掃後は、シートベルトが乾くまでリトラクターに巻き取らないでください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。

▶ 270ページの「車内の清掃とお手入れ」の章を参照してください。

この章の説明はUN-R 14 およびUN-R 16の要件に基づきます。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が横転した場合

i インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルトの着用と取り外し シートベルトを着用する

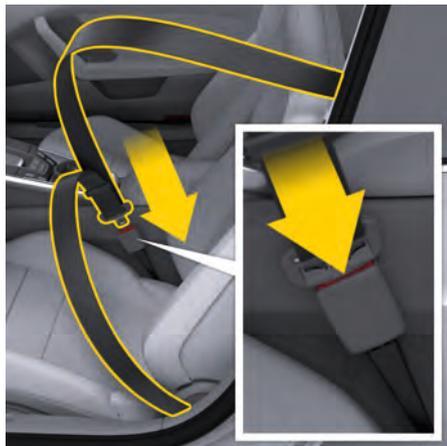


図. 100: シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座します。
2. シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
3. **i** **インフォメーション**

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 車両が傾いている。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

シートベルトのバックルプレートをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸と骨盤に回します。

4. シートベルトのバックルプレートを、シートの内側の適切なベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
5. シートベルトが引っかかり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置(骨盤)にぴったりとかがっていることを確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上へ引っ張ってください。
妊娠中の方：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにします。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにします。

ベルトバックルを解除してシートベルトを外す



図. 101: シートベルトを外す

1. シートベルトのバックルプレートを手で持ちます。
2. シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
3. シートベルトのバックルプレートをシートベルト引き出し口の約7 cm下の位置に持っていきます。
フロントシートとセンターリヤシート(装備している場合)では、ストッパーボタンによってシートベルトのバックルプレートが停止位置に保持されます。
外側のリヤシートでは、プラスチックスライドによってシートベルトのバックルプレートが手の届きやすい位置に保たれています。
4. プラスチックスライドをシートベルトのバックルプレートの下に押し込みます。

シートベルト警告灯および警告メッセージの確認

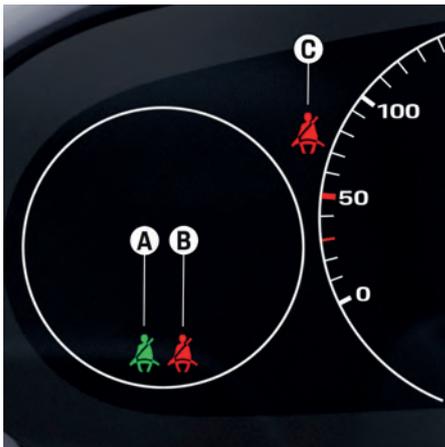


図 102: インストルメントパネルのシートベルトステータス表示

- A 左リヤシート用のシートベルトステータス表示
- B 右リヤシート用のシートベルトステータス表示
- C 警告シンボル：運転席または助手席のシートベルトが着用されていない

フロントシート

イグニッションを ON にした後、インストルメントパネルに赤色の警告シンボル **C** が点灯し、運転席側および助手席側(乗員が座っている場合)のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側(乗員が座っている場合)のシートベルトが着用されていない場合、インストルメントパネルに赤色の警告シンボル **C** が点滅し、警告音が鳴ります。

リヤシート

イグニッションを ON にした後、リヤシートのシートベルトステータス表示がインストルメントパネルに約 60 秒間表示されます(リヤシートシステム装備車のみ)。

緑色のシンボル **A** は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボル **B** はそのシートに座っている人がシートベルトを着用していないか、または誰もそのシートに座っていないことを示します。走行中にリヤシートのシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、該当するシンボルマークが赤色に変わって約 60 秒間点滅します **C**。

シート

適切なシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。運転席シート位置を個別に調節するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっばいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリングホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリングホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

ヘッドレスト

運転席と助手席にはヘッドレストが装備されています。運転席と助手席のヘッドレストは調節できません。

シートの調節



警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

事故が起きた場合、首に怪我を負うリスクを最小限に抑えるため、ドライバーを含むすべての乗員のシートバックレストが正しい位置に調節されてから運転するようにしてください。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。
- ▶ シートバックレストの角度を調節し、ヘッドレストが垂直になるようにします。
- ▶ ドライバーおよび他の乗員は背筋を伸ばしてシートの中央に座るようにします。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。
- ▶ 物や人が邪魔になっているときはメモリー ボタンを ON にしないでください。
- ▶ シート調整ボタンをどれか 1 つ押して、自動調整過程を終了します。

情報

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷するおそれがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。



インフォメーション

ISOFIX チャイルドシート装備車両では、チャイルドシートを助手席で使用した場合、助手席バックレストの調節範囲が制限されます。

スポーツシート / スポーツシート プラスの調整

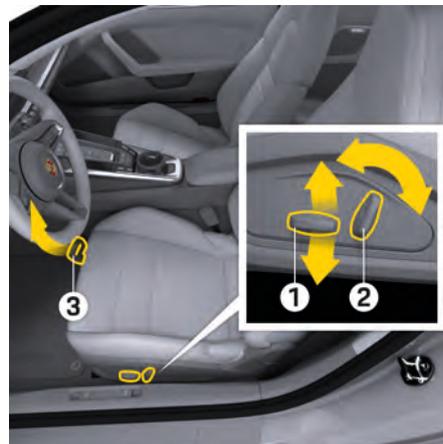


図. 103: セミエレクトリック スポーツシート / スポーツシート プラスの調節

- 1 シート高の調節
- 2 バックレストの角度調節
- 3 シートの前後調節

1. 各スイッチを矢印方向に押して、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。
2. ロックレバー **3** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。
 - ▶ シートがしっかりと固定されていることを確認してください。

フルバケットシートの調節



図. 104: フルバケットシートの調節

- 1 シートの前後調節
- 2 シート高さ調節



危険

チャイルドシートの使用

フルバケットシートでのチャイルドシートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。

フルバケットシートでチャイルドシートを使用すると、事故の際に保護効果がありません。

- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。

1. ロックレバー **1** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。
 ▶ シートがしっかり固定されていることを確認してください。
2. スイッチ **2** を矢印の方向に押し、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。

フル電動スポーツシート / アダプティブスポーツシート プラスの調節

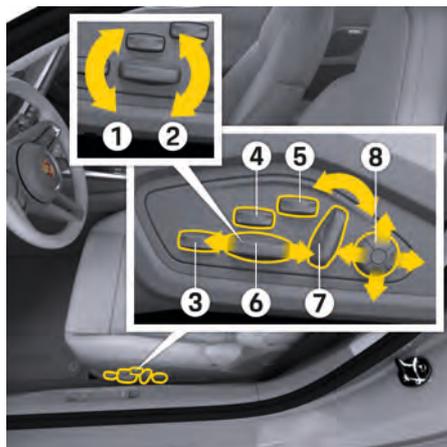


図. 105: フル電動スポーツシート / アダプティブスポーツシート プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シート高さ調節
- 3 サイサポートの調節
- 4 シートクッションのサイドサポートの調節 [アダプティブスポーツシート プラスのみ]
- 5 シートバックレストのサイドサポートの調節 [アダプティブスポーツシート プラスのみ]
- 6 シートの前後調節

- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランパー サポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 82 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

シートバックレストを倒す

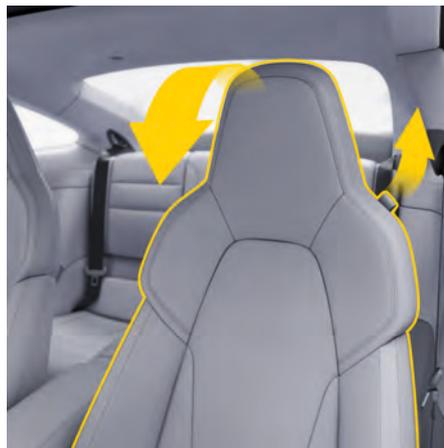


図. 106: シートバックレストを倒す

- ▶ バックレストの側面にあるループを引き上げて、バックレストを前方に倒してください。

バックレストを垂直位置に調節する



警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。

シートベルトを挟み込んでいないことを確認してください。

運転席からの助手席シート調整

1. 🏠 ▶ 車両 🚗 ▶ Comfort ▶ 助手席の調整
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を設定します。

調整を終えるには:

- ▶ シート調整を終了を選択します。

リヤシートバックレストを前方に倒す リヤシートバックレストを倒す



図. 107: リヤシートバックレストを倒す

- ▶ レバーを手前に引いて、バックレストを前方に倒してください。

リヤシートバックレストを垂直位置に調節する



警告

バックレストが固定されていない

シートバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▶ バックレストをカチッと音がして固定されるまで起こしてください。

シートベルトを挟み込んでいないことを確認してください。

シートヒーター/シートベンチレーター のON/OFFの切り替え

シートヒーターとシートベンチレーターは電動で作動します。シートヒーターは、シート表面およびバックレストのヒーターエレメントを暖めます。シートベンチレーターはシートを冷却し、乾燥させます。エアは内蔵ファンを介してシート表面とバックレストを通ります。

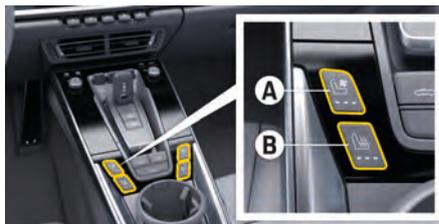


図. 108: シートヒーター/シートベンチレーターのON/OFFの切り替え

シートヒーター/シートベンチレーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 必要に応じて、ボタンA(図. 108) [シートヒーター] またはB(図. 108) [シートベンチレーター] を一押しします。
 - ➔ ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケーターライトが点灯します。

シートヒーター/シートベンチレーターをOFFにする

- ▶ インジケーターライトがすべて消灯するまで、必要に応じて、ボタンA(図. 108) [シートヒーター] またはB(図. 108) [シートベンチレーター] を一押しします。

① インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が15°Cより低いときは、シートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、まずシートヒーター/シートベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

シートヒーター/シートベンチレーターの設定

シートヒーターとシートベンチレーターに対し、シートクッションとバックレストのバランスを設定することができます。

1. ▶ 車両 ▶ 運転席 ▶ シート/助手席シート ▶ シートヒーターバランス/シートベンチレーターバランス
2. バランスを設定します。

イージーエントリー機能の利用

イージーエントリー機能は、車両への乗り降りを容易にするための装備です。

▲ 注意

運転席シートの自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調整された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージー エントリー機能を OFF にしてください。

機能を作動させる

PCM でイージー エントリー機能を作動させることができます。

- ▶ **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **エントリー**

- 機能が ON になっています。
- 機能が OFF になっています。

▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

降車するとき

- ✓ 機能が作動しています。
- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
 - ➔ ステアリングホイールが上方に移動します。運転席が後方に移動します。

乗車するとき

- ✓ 機能が作動しています。
- ✓ 運転席とステアリングホイールは、イージー エントリーで設定した位置にあります。
- ▶ 運転席のドアを閉じて、イグニッションを ON にします。
 - ➔ 運転席シートとステアリングホイールが保存した位置まで戻ります。

① インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリングホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

① インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー エントリー機能はキャンセルされます。

- ▶ ドライビングポジションを手動で調節してください。

サンバイザー

サンバイザーの使用

サンバイザーの調整



図. 109: サンバイザーの調整

横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。

1. サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。
2. 横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。
内側のブラケットからサンバイザーを外して回転させ、ドアウィンドウ側にセットしてください。

バニティー ミラーを開く



図. 110: バニティー ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのカバーを開きます。
 - ▶ バニティー ミラーのライトが点灯します。

情報

バニティー ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- ▶ カバーを全開位置から無理に開かないでください。

ミラー

ドア ミラーの使用

▲ 警告

ドア ミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルーム ミラーと併用して行ってください。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

情報

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

情報

洗濯機で洗車を行う場合にドア ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗濯機を使用する前にドア ミラーを格納してください。
- ▶ 電動格納式ドア ミラーを手動で格納 / 復帰しないでください。

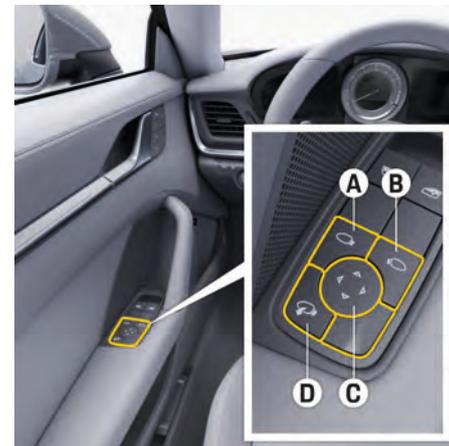


図. 111: ドア ミラーの操作

- A 左ドアミラーの選択
- B 右ドアミラーの選択
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰 (装備により異なる)

ドアミラーの調節



図 112: ドアミラーの調節

- ✓ 作動待機が確立されました。
- ✓ 車両を OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分)。
- 1. 左ドアミラーはボタン **A**(図 112)、右ドアミラーはボタン **B**(図 112) を押します。
 - ➔ 選択したボタンの  シンボルが赤色に点灯している間は、該当するドアミラーの角度を調節できます。
- 2. 調節ボタン **C**(図 112) を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

ドアミラーの格納および復帰



図 113: ドアミラーの格納および復帰

ドアミラーの手動格納

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドアミラーの手動復帰

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドアミラーの電動格納および復帰 (装備により異なる)

- ✓ 約 50 km/h の最高速度。
- ▶ ボタン **D** を押してください。
 - ➔ 両方のドアミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドアミラーを手で格納または復帰してください。

車外からのドアミラーの格納および復帰

車両がロックされるときに、ドアミラーを格納することが可能です。

- ▶ キーの  ボタンを少なくとも 1 秒間押し続けてください。

Komfortzugang 装備車の場合：運転席ドアハンドルの近接センサーに 1 秒以上触れてください。

- ➔ ドアミラーが格納します。

ドアミラーの自動復帰

- ▶ パワーボタンを押して、車両を ON にします。
 - ➔ ドアミラーが自動的に復帰します。

ドアミラーの自動格納および復帰 (装備により異なる)

ドアミラーの自動格納および復帰機能はセントラルディスプレイで作動できます。

機能を作動させる

- ▶  ▶  ▶ **設定** ▶  ▶ **車両** ▶  ▶ **ロック** ▶  ▶ **格納ミラー**

ドアミラーの自動格納

- ▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

- ✓ 機能が作動しています。
- ▶ 車両をロックします。
 - ➔ ドアミラーが格納します。

ドアミラーの自動復帰

- ✓ 機能が作動しています。
- ▶ ドアをロック解除します。
 - ➡ ドアミラーが復帰します。

i インフォメーション

ボタン **D** を使用して手動でドアミラーを格納した場合、イグニッションを ON にしてもドアミラーは自動的に復帰されません。

ドアミラー設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、個々のドアミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

▶ 82 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

自動減光機能を使用する

ドアミラーの自動減光機能の ON/OFF の切り替え

ルームミラーの自動減光機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの減光機能が作動します。

▶ 93 ページの「ルームミラーの自動減光機能の ON/OFF の切り替え」の章を参照してください。

ルームミラーの手動減光



図 114: ルームミラーの手動減光

ミラーを調節するときは、減光レバー **A** を車内側に向けてください。

1. 通常位置 – レバーを車内側に向けます。
2. 防眩機能 – レバーをフロントウィンドウ側に向けます。

ルームミラーの自動減光機能の ON/OFF の切り替え

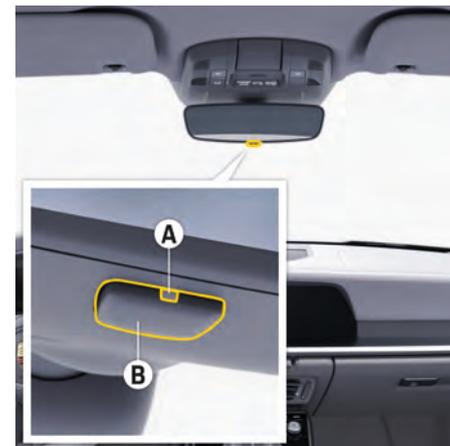


図 115: ルームミラーの自動減光機能

自動減光機能を ON にする

- ▶ ボタン **B** を押してください。
 - ➡ インジケーターライト **A** が点灯します。

光の強さに応じて減光機能が自動的に作動し、ルームミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

i インフォメーション

リバースギヤに入れた場合、またはインテリアライトが点灯している場合は、ルームミラーの自動減光機能は作動しません。

自動減光機能を OFF にする

- ▶ ボタン **B** を押してください。
 - ➡ インジケーターライト **A** が消灯します。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

情報

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

**パーキング エイドとしてのミラー ガラスの
下向き切り替え**

**パーキング エイドとしてのミラー ガラスの
下向き切り替え**

メモリー パッケージ 装備車両においては、ギヤをリバース (後退) に入れると**助手席側のミラー**が少し下向きになり、縁石を視認しやすくなります。



図. 116: パーキング エイドとしてのミラー ガラスの下向き切り替え

ドア ミラーを自動で下向きにする

助手席側のミラー ガラスの下向きの角度は、PCM で調節することができます。

機能を作動させる

- ▶ 車両 ▶ コントロール ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ リバース ▶ ミラーの降下

- ✓ 作動待機が ON になっています。
- ✓ ギヤがリバース (後退) に入っています。
- ✓ 機能が作動しています。

ドアミラーを手動で下向きにする

メモリー パッケージ 装備車では、ボタンを押すだけで助手席側のミラー ガラスを下向きにすることができます (一部の国で利用可能)。

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
▶ 助手席側ドアミラーの調整の シンボルが点灯します。
2. 右側のドアミラーを調整するには、ボタン **B** を押します。 (右ハンドル車ではボタン **A**)。
▶ 助手席のドアミラーが下向きになります。

ドアミラーの下向き角度の個別調整：

- ▶ 調節ボタン **C** を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

車両設定の取り出しおよび保存に関するインフォメーション：

- ▶ 82 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

ドアミラーを通常位置に戻す

次の場合、ミラー ガラスが通常的位置に戻ります：

- リバース (後退) 以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が 15km/h 以上になったとき

助手席のミラー ガラスを手動で通常位置に戻す：

- ▶ 運転席ドアミラーのボタン **A** を押してください。

ロールオーバー プロテクション (カブリオレ)

機能

転倒保護システムがリヤ シート後方に装備されており、横転する危険のある事故が起きた際には瞬時に展開します。

作動時に大きな音を伴います。必要な場合は、フロントシート用シートベルト テンショナーが作動します。

▶ 84 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

転倒保護システムは 2 本の格納式アセンブリーで構成され、万一車両が転倒しても、フロントウィンドウのフレームとともにすべての乗員の頭部を保護できるスペースを確保するシステムです。

⚠ 危険

ロールオーバー プロテクションの改造による不具合

変更を加えたり、作動が妨げられたりすると、ロールオーバー プロテクション システムに不具合が生じ、重傷または致命傷を負う危険があります。変更を加えたロールオーバー プロテクション システムは保護効果を十分に発揮できません。ロールオーバー プロテクション システムが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります

- ▶ ロールオーバー プロテクション システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ 身体の各部や物が格納式アセンブリーの作動範囲に入らないようにしてください。
- ▶ 格納アセンブリーのカバーを開かないでください。
- ▶ 車両を清掃する場合は、ロールオーバー プロテクション システムに水または洗剤が入らないように注意してください。

情報

コンバーチブルトップを開閉する際に、コンバーチブルトップおよびロールオーバー プロテクションを損傷する危険があります。

展開したロールオーバー プロテクションはコンバーチブルトップの作動を妨げます。

- ▶ ロールオーバー プロテクションが展開した状態でコンバーチブルトップの開閉操作を行わないでください。

ⓘ インフォメーション

コンバーチブルトップを閉じているときに転倒保護システムがトリガーされると、リヤウィンドウが破損します。

警告灯への対応

ロールオーバー プロテクション システムに故障がある場合、インストルメント パネル内の赤色の**エアバッグ警告灯**で示されます。ロールオーバー プロテクション機能は保証されません。

1. ボルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
2. ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

作動済みロールオーバー プロテクション システム

1. 格納式アセンブリーを元の位置に押し戻さないでください。格納式アセンブリーは格納位置にとどまらず、跳ね返ります。
2. ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転 / ドライバー アシスタンス アダプティブクルーズコントロール (ACC)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。システムが作動している場合でも、ドライバーは安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

▲ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、このシステムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できません。

- ▶ 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、システムを使用しないでください。
- ▶ 車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、システムを一時的にOFFにしてください。

▲ 警告 覆われたレーダー センサー

レーダー センサーが覆われると、システムの機能に悪影響が及んだり、無効になったりする可能性があります。

- ▶ レーダー センサーは常に汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。



図. 117: レーダー センサーの取り付け位置

▲ 警告 レーダー センサーへの損傷

駐車場の段差などで、バンパー、ホイールアーチ、アンダーボディに衝撃や損傷が発生すると、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▲ 警告 アクセルペダルに足が置かれている

アクセルペダルに足が置かれている場合、システムが自動的にブレーキをかけることはありません。足をアクセルペダルに置くと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

- ▶ システムが作動している場合は、アクセルペダルから足を離してください。

▲ 警告 システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメント パネルに警告シンボルが表示されます。この場合、システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに十分ではありません。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

システム制限

▲ 警告

路面状態や天候が悪い状況

雨、雪、氷、霧、緩い砂利、水しぶきなどでレーダーセンサーの視界が妨げられる場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなる場合があります。

氷、豪雨、ガードレール、トンネルの入り口などの反射物は、レーダーセンサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメントパネルに、システムが使用できないことを示すメッセージが表示されます。

- ▶ このような状況ではシステムを使用しないでください。

▲ 警告

検出されない車両または物体

レーダーセンサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域を検出します。その結果、以下の状況では、検出が遅くなるか、検出できない場合があります。

- ▶ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

▲ 警告

システムの電源が OFF になります

以下の状況が発生した場合は、システムの電源が消えます：

- ▶ PSM が無効になります
- ▶ 運転席ドアが開いている。
- ▶ 運転席シートベルトが着用されていない。
- ▶ **N** または **R** のシフトポジションが選択されている。
- ▶ パーキングロックまたはパーキングブレーキが作動している。
- ▶ 私道および野道、または交通静音化対策の対象となっている場所 (住宅街など) を走行している場合。
- ▶ 車両がシステムによって明確に検出できない位置にある場合。
- ▶ 有効化の対象ではない国内。
- ▶ 制限速度が 30 km/h 未満である。

以下の状況では、検出が遅くなるか、検出できない場合があります。

- 車線変更、または割り込みをする車両の場合
- 投影面積が小さな車両、または幅の狭い車両の場合
- コーナーへの進入および脱出時
- 停車中の車両の場合
- オーバーハングの長い車両の場合
- 歩行者、自転車、動物の場合
- 道路上に障害物がある場合
- 対向車および交差車両の場合

車線変更または割り込みをする車両、および幅の狭い車両

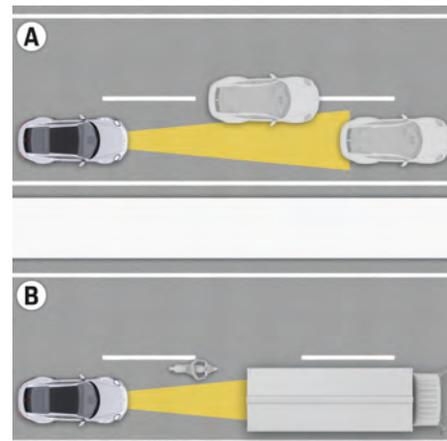


図. 118: 車線変更や割り込みをする車両 (A) および幅の狭い車両 (B)

車線変更や割り込みをする車両は、完全に同一走行車線に入るまで検出されません。

幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

コーナリングおよび停車中の車両

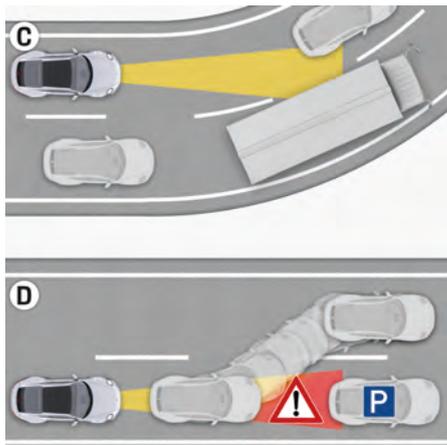


図 119: コーナリング中の車両 (C) および停止中の車両 (D)

コーナーにさしかかったときやコーナーから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングがかなり遅くなったりする場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

レーダーセンサーの視界範囲内に車両または障害物が突然に表示される、例：前の車両が突然出た場合、または車両がスポイラ・エンドにある場合、アダプティブクルーズ・コントロールが制限として検出されます。

オーバーハングの長い車両



図 120: オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどのオーバーハングの長い前走車の場合、レーダーセンサーは車両の後部を検出することができなかったり、間違って検出することがあります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

1 アダプティブクルーズコントロール (ACC/ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセルペダルを踏まなくても、約 30 – 210 km/h の範囲で希望する速度と距離を維持したまま走行できます。設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。アダプティブクルーズコントロールは、前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。

また ACC は、前の車両が停止すると自車両を減速して停止させ、前の車両が 15 秒以内に再び動き始めると自動的に運転を再開します。それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と車間距離制御を再開できます。

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。保存した希望の速度と車間距離が保持され、アクセルペダルを放すと復元されます。車両の速度はブレーキをかけることでいつでも減速できます。これにより、システムは停止状態に切り替わります。

表示部と制御部 各操作部



図 121: ドライバー アシスタンス システムのコントロールレバー

R システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く

S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

1. 利用可否は国によって異なります

- 1 設定速度の設定 / 加速
- 2 設定速度の引き下げ
- 3 再開：制御を再開し、速度を適用する
- 4 中断：制御のキャンセル

ディスプレイ

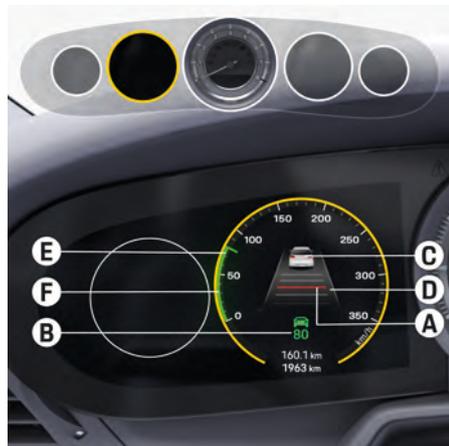


図. 122: スピード & アシスト ディスプレイの ACC

- A 前走車との目標車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 前走車の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 設定目標速度の表示

アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONになっている場合、ステータス表示 **B** (図. 122) がインストルメントパネルのスピード & アシスト ディスプレイに表示されます。

ステータス表示シンボル

記号	意味
	ACC は停止中です。
	ACC は設定目標速度で停止中です。
	ACC は設定目標速度で作動中です。
	目標速度が設定されている間に前方に車両が検出されました。スピードメーター シンボルの代わりに車両シンボルが表示されます。

操作ステータス

停止状態

スイッチをONにした後、ブレーキペダルを踏んでからACCを起動したとき、コントロールレバーを押込んだとき (**位置 4、キャンセル**) に、このステータスが設定されます。

- ステータス ディスプレイ **B** はグレーです。
- 制御は行われません。
- 設定されている目標速度および目標車間距離は保持されます。

作動中

速度を設定した後、制御を再開した後 (**位置 3、再開**)、およびアクセルペダルを踏んで一時的に制御を無効にした後に、このステータスが設定されます。

- ステータス ディスプレイ **B** は緑色です。
- 速度および前走車との車間距離が制御されます。

一時停止状態

このモードは、ACC が作動しているときにアクセルペダルを踏むと設定されます。

- インストルメントパネルにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
- ステータス ディスプレイ **B** はグレーです。
- 制御は行われません。
- 設定されている目標速度および目標車間距離は保持されます。
- アクセルペダルを放すと、制御が再び作動します。

ACCのON/OFFの切り替え

常に、前回選択されたドライバーアシスタンスシステムがONになります。ONになった時点では、ドライバーアシスタンスシステムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

ACCをONにする

- ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだONになっていません。
- 1. レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➔ ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- 2. ACCをまだ選択していない場合は、ステアリングホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確定します。
 - ➔ ACCがONになっていて、**停止中**。

既に作動中のドライバー アシスタンス システムから ACC への切り替え

- レバーの **S** ボタンを押します。
 - ➔ ドライバー アシスト システムのオプションメニューがインストルメント クラスタに表示されます。
- ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確認します。
 - ➔ ACC が ON になっていて、**停止中**。

i インフォメーション

作動したドライバー アシスタンス システムは、OFF にして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

ACC を OFF にする

- レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➔ 設定速度目標が削除されます。目標車間距離が保存されています。

ACC を有効にする

- ✓ ACC が ON になっています。
- アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
 - コントロールレバーを前方に短く押し (**位置 1**)、アクセルペダルから足を放します。
 - ➔ ACC が**作動**しています。

現在の走行速度が目標速度として設定されます。

現在の目標速度はステータス ディスプレイに緑色で表示され、より低速の車両が前方で検出されない限り自動的に維持されます。

ACC の操作

目標速度の変更

設定目標速度は、コントロールレバーを押して変更できます。

- ✓ ACC 作動中。

速度を上げる

- ▶ コントロールレバーを前方 (**位置 1**) に押します。
 - 短く押す = 1 km/h 単位
 - 押し続ける = 10 km/h 単位で速くなる

速度を下げる

- ▶ コントロールレバーを引きます (**位置 2**)。
 - 短く引く = 1 km/h 単位
 - 引き続ける = 10 km/h 単位で遅くなる

ステータス ディスプレイ **B** に新しい設定速度が表示されます。

緑色のバー **F** は車両の設定目標速度を示します。

目標車間距離の変更

前走車との車間距離は **5** 段階に設定できます。段階 **3** をお勧めします。実際の車間距離は速度に応じて変化します。車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。

i インフォメーション

WET 走行プログラムに切り替えると、設定距離が以前よりも短かった場合、アダプティブクルーズコントロールの設定距離が中程度の設定 [「走行速度の半分の距離」] に変更されます。

- ▶ 117 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。



図. 123: 車間距離の設定

i インフォメーション

システム ディスプレイが作動していない場合、初めてロッカー スイッチ **Z** (図. 123) を押すと、目標距離が変更されず、ドライバー アシスタンス システムのメインメニューが表示されます。

車間距離を長くする

- ▶ ロッカー スイッチ **Z** (図. 123) を上方向に短く押しします。
 - ➔ 前走車 **C** までの設定車間距離表示 **A** の該当距離セグメントが表示されます。

車間距離を短くする

- ▶ ロッカー スイッチ **Z** (図. 123) を下方向に短く押しします。
 - ➔ 前走車 **C** までの目標車間距離表示 **A** の該当接近セグメントが表示されます。

前走車との車間距離を表示する

記号	120 km/h での	走行に適した車間距離
	流れに乗った高速走行	約 33 m [△ 1 秒]
	少し進んでは止まる交通状況での運転	約 47 m [△ 約 1.4 秒]
	「前走車との車間距離が 2 秒」相当	約 60 m [△ 約 1.8 秒]
	郊外道路での走行	約 73 m [△ 約 2.2 秒]
	交通量が少ない道路での走行	約 87 m [△ 約 2.6 秒]

速度および車間距離制御を一時的に無効にする

速度および車間距離制御は、アクセルペダルを踏むと一時的に無効にできます。これは、たとえば追い越し中に役に立ちます。

✓ ACC 作動中。

1. アクセルペダルを踏み込んでください。
 - ➔ アクセルペダルが踏まれている間、システムは**停止状態**になります。
2. アクセルペダルから足を離してください。
 - ➔ システムは**作動中**。

速度および車間距離制御の中断と再開

この中断が原因で、システムは停止状態のスタンバイモードに切り替わるので、手動で再び作動させる必要があります。

制御のキャンセル

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
-または-
コントロールレバーを下方 (位置 4、キャンセル) に押しします。
- ➔ システムは**停止状態**です。目標速度および目標車間距離の設定は保存され続けます。
ステータスディスプレイ B が緑色から灰色になります。

インフォメーション

停車時は、速度および車間距離制御はコントロールレバーを使用してのみキャンセルできます。

制御の再開

- ▶ コントロールレバーを押し上げてください (位置 3、RESUME)。
➔ システムは**作動中**。目標速度および目標車間距離の設定が再度適用されます。
ステータスディスプレイ B が灰色から緑色になります。

インフォメーション

コントロールレバーを短く押すことにより、車両が停止中でも ACC を作動させることができます。

ブレーキによる車両停止と再発進

車間距離制御が作動している場合、前走車が停止すると、車両はシステムの制限内でブレーキをかけて停止します。

インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

自動再発進

 **警告** 障害物がある場合の発進

渋滞走行時に、自分自身の車両と前走車との間に障害物がある場合でも、車両が再発進する可能性があります。その結果、衝突するおそれがあります。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

自動的にブレーキがかかり車両が停止した後、システムは 15 秒以内に自動的に再発進してドライバーを支援します。

インストルメントパネルのメッセージは、車両の走行準備が完了していることを知らせてくれます。

手動発進

✓ 前方に検出された障害物なし。

1. コントロールレバーを押し上げてください (位置 3、RESUME)。
-または-
自動的にブレーキがかかって車両が停止した後、走行準備が完了していることを示すメッセージが消える場合、アクセルを踏むことによって再発進することができます。
2. アクセルを短く踏んでください。

アクティブパーキングサポート

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

▲ 警告

センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

▲ 注意

不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

情報

このシステムでは、縁石を越えて車両を誘導することがあるため、車両のタイヤとリムが損傷する恐れがあります。

- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

① インフォメーション

パーキングアシスタンスシステムの使用に関する各国の法律を遵守してください。

駐車操作中に反対側の車線が使用される場合があります。

▶ 137 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。

▶ 139 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

システム制限

下記の場合、システムは使用できません。

- 10%以上の傾斜の場合。
- 急カーブの場合。

下記の限られた範囲で、システムを使用できます。

- 悪天候中 (降雨、降雪または凍結) またはスノーチェーンが取り付けられました。
- オフロード、舗装されていない道路、緩い土、傾斜した路面、わだちなど、通常ではない路面の場合。
- 悪い照明条件 (夕暮れ、暗闇、強い日光など)。
- 車線の境界 (縁石の前など) に、重い植物や蓄積された落ち葉がある場合。
- 外部超音波を発する機器 (他車のエアブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する可能性がある

情報

- ▶ システムは次の物体および状況を検出できないことに注意してください。
 - 低い物体、細い物体、および突き出ている物体 (トレーラー ヒッチ、駐車しているトレーラーのドローパー、チェーンバリア、ポール、フェンスなど)。
 - 検出領域より上にある物体 (駐車車両のバンパー、半開きのガレージドア、地面に接していない物体など)。
 - 音波を吸収する、または音波を反射する表面や構造を備えた物体 (布、好ましくない状況における立体駐車場のポールや支柱など)。
 - 検出領域にすばやく移動してくる物体 (他の通行者など)。
 - 駐車場の盛り上がったスピードリミッター (スピードバンブなど) が障害物として検出される場合があります。
 - 崖および堤防。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

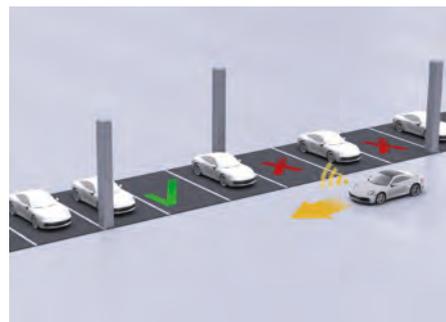


図. 124: 立体駐車場の支柱や柱

- ▶ 立体駐車場で支柱や柱がある駐車エリアは選択しないでください。

機能

このシステムは、適切な駐車スペースの検索をサポートし、駐車と発進を引き継ぎます。ドライバーは、駐車スペースが駐車に適しているかどうかを個別に確認する必要があります。システムは、センサーを使って車両の周りを監視します。障害物が検出されると、システムがブレーキ介入を実行します。

駐車スペース検索

駐車スペース検索の操作条件：

- 前進している場合。
- 駐車している車両までの距離が最大約 1.5 m の場合。
- 道路に並行する駐車スペースで、速度が最大 40 km/h の場合。
- 道路に垂直な駐車スペースで、速度が最大 20 km/h の場合。
- 駐車している 2 台の車両の間の駐車スペース。

ちゅうしゃ

駐車機能の操作条件：

- 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。

発進

発進機能は、車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進する場合に機能します。

駐車スペース検索

駐車スペース検索の開始



図 125: アクティブパーキングサポート、駐車スペース検索

- A 駐車または発進する側を選択する
- B 駐車方向を選択する
- C 駐車操作の開始

駐車スペース検索はバックグラウンドで実行されます。駐車スペース検索を開始したのが駐車スペースを通過した後でも、その駐車スペースを選択できます。

1. PCM の をタップします。
2. 駐車車両をゆっくり通過します。
3. PCM の指示に従います。
4. 駐車スペース検索は、最初は助手席側で作動します。
駐車する側を変更するには、対応する方向指示灯(左/右)を作動させます。
-または-

PCM で関連する記号 A (図. 125) をタップします。

5. 目的の駐車スペースを確認したら、車両を停止します。
見つかった駐車スペースが PCM にオレンジ色の領域として表示されます。駐車する方向が複数ある場合、それらも表示されます。
6. ディスプレイ上の車両の前に矢印が表示されたら、車両をさらに前進させます。

駐車操作は、駐車スペースへのルートが表示されないと開始できません。

7. 駐車スペースの選択：

- レーンに沿って駐車することができる場合は、右側の希望するオレンジ色のエリア (図. 125) をタップして PCM に切り替えます。
- PCM の希望する駐車方向の駐車スペースシンボル B (図. 125) をタップします。

駐車スペース検索の中止

- ▶ PCM の をタップします。

駐車操作

駐車操作の開始

- ✓ 車両が停止している。
 - ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
 - ✓ 駐車スペースが PCM で選択されている。
1. ステアリングホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
 2. PCM のボタン C (図. 125) をタップします。
 3. ブレーキペダルを放します。
➡ 駐車操作が開始されます。
 4. 交通状況と車両の周囲を確認します。
 5. 障害物が現れたり、表示されたルートに障害物があったりする場合はすぐにブレーキペダルを踏みます。
➡ 駐車操作が中断されます。
▶ 104 ページの「駐車操作を中断する：」の章を参照してください。

6. 車両が目的位置に達したら車両のコントロールを行ってください。
 - 通知が表示されます。
 - 坂道では、ホイールが縁石に向かって操縦されます。
 - トランスミッションパーキングロックが作動し、パーキングブレーキがかけられます。
- ➔ ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、エンジンがOFFになります。

発進手順の開始

- ✓ エンジンが作動している。
 - ✓ 車両がまだ動いていない。
 - ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
1. ステアリングホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
 2. PCMのをタップします。
 3. 発進する方向を変更するには、対応する方向指示灯(左/右)を作動させます。
 - または -
- PCMで関連する記号 **A** (図. 125) をタップします。
4. PCMのボタン **C** (図. 125) をタップします。
 5. ブレーキペダルを放します。
 - ➔ 発進手順が開始します。
 6. 交通状況と車両の周囲を確認します。
 7. 障害物が現れたらすぐにブレーキペダルを踏みます。
 - ➔ 駐車操作が中断されます。
 - ▷ 104 ページの「駐車操作を中断する:」の章を参照してください。
 8. 車両が目的位置に達したら車両のコントロールを行ってください。

- 衝突の恐れのない発進ができるよう、車両は、駐車スペースから十分離れた場所まで走行し、通知が表示されます。
- ➔ ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、エンジンがOFFになります。

駐車操作を中断する:

- ▶ ブレーキペダルを踏み、車両を停止させます。その後、駐車操作を続行できます。

1. PCMで、 **駐車操作の続行** をタップします。
2. 必要に応じてブレーキペダルを放します。

駐車操作の終了:

- ▶ ステアリングを操作します。
 - または - 作動モードを変更します。
 - または - パーキングブレーキをかけます。
 - または - アクセルペダルを踏み込んでください。

駐車操作を再度開始する必要があります。

そのためには、エンジンをOFFにしてから再びONにして、駐車スペースから操作して出ます。

リモートパークアシスト

一般的な安全に関する指示



危険

有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 閉鎖された空間では、エンジンを作動したままの状態にしないでください。
- ▶ 駐車後、エンジンが停止していることを確認してください。



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。電話でアクティブパーキングサポートを操作する人は、車両の運転者と見なされ、有効な運転免許証を持っていないければなりません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 車両までの適切な距離を確保してください。
- ▶ 駐車操作中に人や動物を車に乗せていてはなりません。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報:

- ▷ 137 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。

- ▷ 139 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。
- ▷ 102 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。
- ▷ 137 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。

① インフォメーション

パーキングアシスタンス システムの使用に関する各国固有の法律を遵守してください。

システム制限

アクティブパーキングサポートのシステム制限が適用されます。

- ▷ 102 ページの「システム制限」の章を参照してください。

さらに、次の条件が適用されます。

下記の場合、システムは使用できません。

携帯電話と車両間の Bluetooth® 接続が他のデバイスからの干渉の影響を受けた場合。

システムは下記を検出できません。

- ガレージ内の検出領域より上にある物体 (ガレージドアリンクージ、地面に接していない他の物体など)。
- 背が非常に低いか、地面に横たわっている物体。
- 非常に狭い、または突き出た障害物 (駐輪している自転車など)。
- ダブルガレージ:

機能

リモートパーキングでは、アクティブパーキングサポートの機能を車外にあるリモートコントロール機能を備えたアプリを介して制御できます。

- ▷ 102 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。

駐車スペースに入るとき

駐車機能の作動条件:

- 道路に並行する駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。
- 車両がシングルガレージの前でできるだけまっすぐの位置にあるとき、シングルガレージ内 (最も狭いポイントでの最小幅 2.60 m) に前進する場合。

駐車スペースから出るとき

発進機能の作動条件:

- 車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進で発進する場合。
- 道路へ直角に左折または右折で前進する場合。
- 道路に直角にまっすぐバックで発進する場合。
- シングルガレージ (最も狭い箇所で最小幅 2.60 m) からバックで発進する場合。

電話の準備

- ✓ アプリが電話にインストールされていること。
- リモートパーキングに携帯電話を使用するには、アクティブパーキングサポートとペアリングする必要があります。

1. PCM でアカウント管理を呼び出します。
2. 新しいアカウントを作成します。
3. 電話でアプリを開きます。

4. ユーザーアカウントを使用して、アプリにログインします。
 5. アプリでリモート駐車を選択します。
 6. アプリの指示に従います。
- ▷ 車載の取扱説明書で「アプリ」の章を参照してください。

① インフォメーション

Porsche Connect に関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、Porsche Connect 取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

駐車スペースの検索

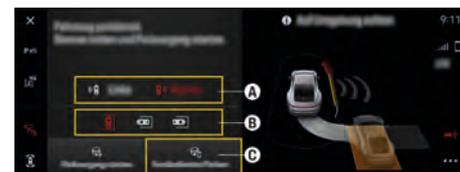


図. 126: リモートパーキング、駐車スペース検索

- A** 駐車または発進を選択する
- B** 駐車方向を選択する
- C** リモート駐車を開始する

駐車スペース検索はアクティブパーキングサポートの記載のとおり作動します:

- ▷ 103 ページの「駐車スペース検索」の章を参照してください。

リモートパーキング操作の開始

① インフォメーション

キーと携帯電話は車から約 3 m 離れていなければなりません。そうしないと、駐車操作が中断されます。

- ✓ 車両が停止している状態。
- ✓ PCMで駐車スペースまたはシングル ガレージが選択されている。

1. PCM ボタン **C** (図. 126) をタップして、指示に従います。
2. セレクター レバーの **P** ボタンを使用して、トランスミッションパーキング ロックを操作させます。
3. メッセージを確認して、リモートパーキングを有効にします。
4. キーと電話を持って、車両から離れます。
5. ドアおよびラゲッジ コンパートメント リッドを閉じます。
6. アプリを起動し、 を選択し、操作指示に従います。
7. 電話で駐車操作を開始します。
8. 障害物が現れたらすぐに、電話のボタン  を放します。
 - ➔ 駐車操作が中断されます。
 - ▷ 106 ページの「駐車操作のキャンセル」の章を参照してください。
9. 電話に表示される操作指示を確認してください
 - ➔ 車両が駐車位置に達すると、メッセージが表示されます。
 - 到達した駐車位置は、電話を使用して前後に修正できます。

駐車操作を正常に完了した後：

- 作動モード **P** を選択します。
- パーキング ブレーキをかけます。
- エンジンを OFF にします。
- 車両をロックします。

リモート発進操作の開始

- ✓ 停車している状態。
 - ✓ 最大傾斜 10 %。
 - ✓ エンジンが OFF の状態。
 - ✓ 車内にキーがありません。
 - ✓ キーと電話が車両から約 3 m 離れています。
1. アプリを起動し、 を選択し、操作指示に従います。
 2. 電話を使用してエンジンを始動します。
 3. 発進方向と発進側を選択し、発進操作を開始します。
 4. 障害物が現れたらすぐに、電話のボタン  を放します。
 - ➔ 駐車操作が中断されます。
 - ▷ 106 ページの「駐車操作のキャンセル」の章を参照してください。
 5. 車両が希望の位置に到達したら、電話の  ボタンを放して車両に近付きます。
 6. 車両のロックを解除します。
 - ▷ 54 ページの「概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック」の章を参照してください。
 7. ステアリング ホイールを動かさずに車両に乗り込み、ブレーキペダルを踏んで、イグニッション ロックのコントロールユニットをイグニッション ロックの位置 **2** まで回します。
 - ▷ 120 ページの「イグニッション ロック」の章を参照してください。

インフォメーション

ドライバーが引き継いだ後、エンジンはオート スタート / ストップ機能を使用して OFF にすることができます。

駐車操作のキャンセル

- ▶ 電話のボタン  を放します。
 - 駐車操作が中断されます。

以下の場合に駐車操作は自動的に中断されます。

- 車両の経路に障害物が検出された場合。
- キーまたは電話が駐車操作の範囲外の場合。
- ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドが開いている場合。
- アプリが着信や他のアプリによってバックグラウンドに押しやられた場合。

原因が解消された後、駐車操作を続行できます。

- ▶ 電話のボタン  を押します。

駐車操作がキャンセルされます。

- キーのボタンが押された場合。
- 車室内で相互作用が検出された場合。
- 駐車操作の制限時間を超過した場合。
- 駐車操作の最大許容距離がカバーされた場合。

車両は停止し、電動パーキングブレーキが作動し、作動モードが **P** になり、駐車操作は終了しました。

インフォメーション

駐車操作が終了した場合、車両の制御を引き継ぐ必要があります。駐車スペース検索を再開して、車両を駐車してください。

操作アシスト

一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自分で制御してブレーキをかけてください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

- ▶ 102 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。
- ▶ 137 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▶ 139 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

システム制限

- アクティブパーキングサポートを使用している間、システムは利用できません。
- 10 km/h 以上の車速でシステムは使用できません。
- システムは、走行経路にある高さが約 10 cm 以下の物体および動いている物体を検出できません。

機能

操作アシストは、センサーを使用して車両の後方および側面のエリアを監視します。静止している物体との衝突の危険が検出された場合、システムはブレーキをかけて車両を停止させます。

システムは使用できません：

- ✓ トランスミッションレンジ R が選択されている。
- ✓ シンボル  が PCM で有効です (シンボルが白色に点灯する)。

操作アシストによる自動ブレーキ操作後：

- ▶ ブレーキペダルまたはアクセルペダルを踏んで、車両のコントロールを行います。
 - ➔ 操作アシストは一時的に無効になりますが (シンボルはグレー)、ON の状態が保持されます。

操作アシストの ON/OFF の切り替え

- ▶  ▶ **アシスタンス** 
 - ➔ 操作アシストが ON または OFF になります。

操作アシストを一時的に OFF にする

- ▶ リバースカメラのタッチディスプレイにある  ボタンをタップします。
 - ➔ リバースカメラタッチディスプレイの  シンボルが赤色に点灯します。システムは、現在の操作状況に対して OFF になります。

10 km/h の走行速度を超えるか、走行方向を変更すると、一時的なスイッチ OFF が終了します。システムは次の操作状況で再度 ON になります。

アクティブレーンキープ

一般的な安全に関する指示

アクティブレーン ガイダンスは一部の国で利用可能です。



警告

集中力の低下

アクティブレーン ガイダンスは、高速道路やよく整備された主要道路でのみ使用することを想定して設計されています。アクティブレーン ガイダンスを使うとより快適に運転できますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリングホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。

次の状況が発生する可能性があります：

- 急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。
- ドライバーの積極的なハンドル操作中には、ステアリング介入による補助が制限されたり、まったく作動しなかったりする場合があります。
- システムは周辺状況を完全には検出できません。この場合、ステアリング介入が作動しないことがあります。

- システムは周辺状況を正確に解釈することができません。不必要なステアリング介入が生じる可能性があります。
- わだち、カーブの多い道、坂道または横風などがあると、ステアリング介入だけでは、車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。これらの状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。
- 右左折専用レーン、高速道路の出口、道路工事または市街地といった不確実な道路状況においては、システムが想定通りに作動しない可能性があります。ステアリング介入が行われなかったり、意味をなさなかったりすることがあります。
- システムは、不必要なまたは予期せぬ状況で作動したままとったり、突然停止モードに切り替わったりする可能性があります。

警告

車両周辺の検出の制限

- センサー (カメラ、レーダーなど) が検出できるエリアは、影響を及ぼすさまざまな要素 (降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など) により制限される場合があります。この場合、ステアリング介入が作動しなくなったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。
- ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
 - ▶ フロントカメラレンズおよびフロントレーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
 - ▶ センサーの視野を覆わないでください。
 - ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

警告

予期しないシステムの挙動

ある状況では、ステアリング介入機能による補正だけでは車両を車線内に維持できません。さらに、機能は、いつでも作動中から停止中に切り替わることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

警告

警告メッセージを伴うシステムの誤作動

システムエラーが発生した場合、アクティブレーンガイダンスは自動的に OFF になることがあります。ステータス表示が消えて、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

システム制限

警告

事故につながる危険がある運転状況

システムがアクティブレーンキーピングを保証できない運転状況がいくつかあります。従って、システムを使用する際に事故が起きる危険があります！

これらには、以下の運転状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合

- スポーツ走行中

- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)

- 路面状態が悪いとき (路面状況、または路面標示がはっきりしないときを含む)

- 道路工事区間の近く

- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合

- 市街地での走行

- カーブの多い道および細い道での走行

- 交通状況が不確実な場合、分岐点または料金所

- オフロード走行中や未舗装または滑りやすい道路を走行中の場合

システムは、常に、車両を車線の中央部分または前の車の中央位置に保持できるわけではありません。

アクティブレーンガイダンスは、人や動物、車線を横切る車、または同じ車線の対向車には反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

- ▶ 上記の特定の状況では、絶対にアクティブレーンガイダンスを使用しないでください。
- ▶ アクティブレーンガイダンスは、路上にある障害物を回避するよう車両を誘導する目的で使用しないでください。

① インフォメーション

システムに不具合がある場合、またはレーンキープONがこの章に記載のとおりには操作しない場合には、アシスト機能を使用しないでください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、トレーニングを受けた作業スタッフと必要な部品とツールが備わっているため、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めします。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

アクティブレーン ガイダンスは、フロント カメラならびにフロントおよびリヤレーダーを使用して車両の周囲を連続的に監視し、車両が選択した車線に留まるようドライバーを支援します。

- システムが作動している場合、ドライバーは車線内での希望する位置を設定できます。ドライバーが車両を希望する位置に数秒間保持すると、システムは車線中央維持機能を終了し、選択した位置での走行を開始します。システムが停止するかOFFにされると(方向指示器を作動させる、車線変更、ブレーキ作動など)、位置の変更は再度リセットされます。
- システムは、他の物体(車両など)よりも車線区分線を常に優先します。このため状況によっては、システムを作動させるのに、ドライバーが車両を車線の中央位置にしなければならない場合があります。ドライバーが、システム作動直後にステア

リングホイールの強い動きを感じることはないよう、車線中央以外の位置ではシステムが作動しないようになっています。

- ドライバーには、緊急車両のために路肩に移動して車線を空ける責任があります。このような状況では、ドライバーは、システムをOFFにするか、ステアリングホイールを使って停止させることができます。

方向指示器が作動したときの挙動

方向指示器を作動させると、ドライバーが車線変更しようとしていることをシステムに警告します。したがって、この場合、アクティブレーン ガイダンスはステアリングに介入しません。

一方で、レーンチェンジアシストは、方向指示器が作動した場合の車線変更でもドライバーをアシストします。

▶ 153 ページの「レーンチェンジアシスト(LCA)」の章を参照してください。

ステアリングが操作されない場合の挙動

ドライバーのステアリング操作は、アクティブレーンガイダンスが作動している場合に監視されます。ステアリングが操作されない場合(ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されません。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止モードに切り替わりません。緊急停止機能装備車では¹、ブレーキがかかり車両が停止する可能性があります。

ディスプレイ



図. 127: アクティブレーンガイダンスステータス表示

A ステータス表示

ステータス表示シンボル

記号	意味
表示なし	アクティブレーン ガイダンスがOFFになっています。
	アクティブレーン ガイダンスはONになっていますが、停止しています。
	アクティブレーン ガイダンスはONになっており、作動しています。

1. 一部の国で利用可能です。

記号	意味
	アクティブレーン ガイダンスおよびレーンキープアシストはONになっていますが、両方とも停止しています。
	アクティブレーン ガイダンスおよびレーンキープアシストはONになっており、両方とも作動しています。
	アクティブレーン ガイダンスは作動しており、レーンキープアシストは停止しています。
	アクティブレーン ガイダンスは停止しており、レーンキープアシストは作動しています (例: ACC ステータスが「走行可能」の場合)。



図. 128: ドライバー アシスタンス システムのコントロールレバー

▷ 96 ページの「アダプティブクルーズコントロール (ACC)」の章を参照してください。

アクティブレーンキープの選択と選択解除

1. コントロールレバーの **S** (図. 128) ボタンを押してください。
 - ◆ ドライバー アシスト システムのオプションメニューがインストルメント パネルに表示されます。
2. ステアリングホイールのロータリー ノブを使用して **アクティブレーンキープ** を選択し、ノブを押して確定します。
- または -

 ▶ アシスタンス ▶ アクティブレーンキープ

インフォメーション

ブレーキを踏むかステアリングを操作して無効にすることで、いつでもアクティブレーンキープを停止できます。

追加情報

レーンキープアシストとアクティブレーン ガイダンスの比較

ポジション	レーンキープアシスト	アクティブレーンキープ	レーンキープアシスト+アクティブレーンガイダンス
ステータスアイコン			
車線中央維持機能	不可	可	可
車線逸脱警告	可	不可	可
ステアリング介入により車線逸脱を防止 (車道外側線ガイダンス)	可	不可	不可
速度範囲	約 65~250 km/h	約 0~210 km/h	詳しくは各機能の説明を参照
ACC による	不可	ACC が作動している場合のみ	詳しくは各機能の説明を参照

リヤクロストラフィックアラート 一般的な安全に関する指示



警告

不注意な操作または発進

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。発進の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物または車両が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

- ▶ 137 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▶ 139 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。
- ▶ 102 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。



警告

検知されない状況

システムの機能制限により、システムが反応しなかったり、誤った警報を発したりする場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります：

- 車両が後方に突き出ている車両の隣に駐車している。
- ルートを横切る他の道路利用者が非常に速く接近している。
- リヤバンパーが汚れている。

操作原理

リヤクロストラフィックアラートは、車両の後方を監視し、車両の発進中に車両の後ろを横切る通行者（乗用車、オートバイ、自転車、歩行者など）についてドライバーに警告します。



図. 129: リヤクロストラフィックアラートディスプレイ

このシステムは以下の条件で利用できます。

- ✓ リヤクロストラフィックアラートがONになっている。
- ✓ ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) がONになっている。
- ✓ 操作モード **R** を選択している。
- ✓ 車両速度が約 15 km/h 未満であるが確かめます。

操作モード **R** を選択すると、ドライバーは交差点のユーザーに近づくことを、PCM に矢印を表示して認識します。危険な状況が発生する可能性があることを視覚と音により警告します。ドライバーが警告に反応しない場合、差し迫った衝突リスクについてドライバーに警告するために、システムが短い振動によるブレーキを実行します。

後退車両検知情報の ON/OFF

▶  ▶ 後退車両検知情報 ▶ のアシスト

車両の電源を OFF にした後、システムステータスが選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

▶ 82 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

オートスタート/ストップ機能

オートスタート/ストップ機能

たとえば、信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オートスタート/ストップ機能が燃料の消費を節減します。エンジンが自動停止しているときもイグニッションは ON の状態のまま、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ 車両が作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。

PDK 装備車

- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている
- ✓ 作動モード **D**、**M**、**N** または **P** が選択されている。
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または運転席ドアを閉じている。

マニュアルトランスミッション装備車

- ✓ 運転席ドアを閉じている。
- ✓ シフトレバーがニュートラル位置で、クラッチペダルを踏んでいない。

オートストップおよびオートスタート

マニュアルトランスミッション装備車

エンジンの停止

1. ブレーキペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ギヤシフトレバーをニュートラル位置に動かします。
3. クラッチペダルから足を放してください。エンジンが停止します。

エンジンの始動

- ▶ クラッチペダルを踏み込んでください。
- ▶ エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。シフトレバーはニュートラル位置になっている必要があります。場合により、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントパネルに表示されます。

降車後の作動

エンジンの自動停止中に運転席ドアを開けた場合、エンジンが**自動で始動することはありません**。エンジンの自動始動は、クラッチペダルを完全に踏み込むことで実行できます。以下の要件のうちの1つが検出された場合、オートスタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキペダルが踏まれており、運転席ドアが閉まっていて、運転席シートベルトが着用されている場合。
- または -
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

エンジンが自動停止している(運転手ドアが開いていて、ペダルが解除されている)間に運転手が車両から降車した場合、エンジンが始動してオートスタート/ストップ機能が再開するには上記の要件が30秒以内に検出される必要があります。

車両を離れてから30秒以内にオートスタート/ストップ機能をOFFにした場合、運転席ドアを閉めて運転席シートベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて30秒後にエンジンを**手動で始動する**必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントパネルに表示されます。

▶ 120ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

PKD 装備車

エンジンの停止

1. ブレーキペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。
- または -
停車中にセレクターレバーのボタン**P**を押してください。

i インフォメーション

停車中にブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

エンジンはアクセルペダルを踏み、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONの場合、前走車が停車したら車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

エンジンの始動

- ✓ 作動モード**D**、**M**、**N**または**P**が選択されている。
- ▶ ブレーキペダルを放してください(作動モードが**P**の位置にない場合)。
- または -
アクセルペダルを踏み込んでください。
- または -
ステアリングホイールを動かしてください。
- または -
作動モード**R**を選択してください。
- ➡ エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。場合によっては、ドライバーにブレーキペダルを踏むよう指示するメッセージがインストルメントパネルに表示されません。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動しません。

降車後の作動

エンジンの自動停止時に降車する(運転席シートベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合)と、エンジンは**自動的に始動しません**。作動モード**D**、**R**または**M**：

- エレクトリックパーキングブレーキがかかりません。
- トランスミッションのパーキングロック**P**に入っています。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。

作動モード**D**、**R**または**M**でパーキングブレーキが解除された場合、またはブレーキを踏んだ状態で作動モード**D**、**R**または**M**に切り替えた場合、エンジンは再始動します。

降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、オートスタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

車両を離れてから 30 秒以内にオートスタート/ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを開けてシートベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントパネルに表示されます。

▶ 120 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

▶ 84 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

オートスタート/ストップ機能の ON/OFF 切り替え

▶  ▶ 車両  ▶ 車両タイプを選択し、テスターを開始します。

- エンジンの自動停止が無効になります。
- 停車すると、エンジンが自動的に停止します。

オートスタート/ストップ機能の例外

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。

- スポーツ/スポーツ プラス走行プログラムが有効な場合。
- PSM が OFF またはスポーツ モードの場合。
- フロント アクスル リフト システムが有効な場合。
- 「最大冷房出力」機能が有効な場合。
- 「フロント ウィンドウ デフロスター」の機能が有効な場合。
- 高地の場合。

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させている場合。
- バッテリー充電が少ない場合。
- 上り坂または下り坂。
- オートエンジンチェック機能など車両の内部点検を実行している場合。
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高い場合。

インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オートスタート/ストップ機能の表示

自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止し、エンジンの自動始動が利用できる場合、インストルメントパネルのインジケーターライトが緑色に点灯します。



自動停止または再始動の準備ができていない
エンジンの自動停止が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動できない場合は、停車中にインストルメントパネルのインジケーターライトが黄色に点灯します。

オートスタート/ストップシステムは、次の状態を検出します：

- エンジン自動停止の前提条件が 1 つ以上満たされていない。
- または -
オートスタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも 1 つ以上満たされている。

▶ 112 ページの「オートストップおよびオートスタート」の章を参照してください。

▶ 114 ページの「オートスタート/ストップ機能の ON/OFF 切り替え」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

故障したときは、オートスタート/ストップ機能が停止していることがインストルメントパネルに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

フットマットの固定が不適切であるか、正しく固定されていないと、アクセルペダルやブレーキペダルが誤って操作されたり、ペダルが固定される可能性があります。

その結果、意図せず車両が加速または減速したり、加速や減速が困難になる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

▲ 警告

ブレーキ ブースターの機能停止

ブレーキ ブースターは、エンジン作動時に作動準備完了状態になります。エンジン停止時やブレーキ ブースターに不具合がある場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに大きな力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両は、必ず車両輸送専用車かトレッラーでけん引してください。

▲ 警告

ブレーキディスクの水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したときや洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

▲ 警告

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われてブレーキの効きが悪くなる場合があります。

車両を長時間駐車するとブレーキディスクが腐食し、結果としてブレーキが「激しく振動」することがあります。

- ▶ ブレーキ効果の低下がはっきり感じられる場合は、ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードとブレーキフルードレベルの点検に関する情報：

- ▶ 258 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステム関連部品の摩耗は、運転スタイルや使用状況によって異なるため、必ずしも実際の走行距離で表すことはできません。

特定の速度、制動力、車両を取り巻く環境(気温、湿度など)によってブレーキから異音が発生することがあります。

ボルシェ社が宣言している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行または対応する運転スタイルで車両を使用すると、摩耗が特に大きくなります。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、最新のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

ボルシェサーフェスコートッドブレーキディスク(PSCB)

PSCB ブレーキのブレーキディスク摩擦面は特徴的な外見で、標準的なブレーキディスクとはまったく異なります。車両が通常の交通状況で一般的な方法で運転されている場合は、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。このように車両を運転すると、摩耗、亀裂、光沢のある銀色の摩擦面の黒ずみが増加します。これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、数千キロ走行した後で一部軽減します。

ハードコートされたブレーキディスクは、技術的にわずかなブレーキノイズを引き起こすことがあります。

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは停車中に車両が動き出さないよう固定するために使用します。



パーキング ブレーキの作動

- ✓ 車両が停止している状態。
- ▶ P ボタンを引いてください。
 - ➔ スイッチのインジケータ ライトおよびブレーキ警告灯 が点灯します。

パーキング ブレーキを手動で解除する

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- 1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
- 2. P ボタンを押してください。
 - ➔ ブレーキ警告灯 が消灯します。

パーキング ブレーキの自動解除

作動モード **D**、**R** または **N** を挿入すると、エレクトリック パーキング ブレーキが自動的に解除されます。

パーキング ブレーキの自動ロック

- ✓ PDK 装備車
- ✓ 車両が停止している状態。
- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** が選択されている。
- ✓ 運転席ドアが開いている。
- ✓ 運転席シートベルトが外れている。

エレクトリック パーキング ブレーキが自動的に入り、トランスミッションパーキングロックが挿入されます。

P ボタンのインジケータ ライトとブレーキ警告灯が点灯します。

緊急ブレーキ機能の作動



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時以外作動させないでください。

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合は急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ P ボタンを引いたままにします。
 - ➔ ブレーキ警告灯と P ボタンのインジケータ ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

- ▶ P ボタンを放します。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両を ON にすると、ブレーキ機能によって自動的に作動状態が点検されます。警告灯とインジケータ ライトが短時間点灯し、再び消灯します。ブレーキ警告灯が常時点灯している場合は、故障が発生しています。

- ▶ 直ちに故障を修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

停車中にエレクトリック パーキング ブレーキを完全に作動させることができない場合、P ボタンのインジケータ ライトとブレーキ警告灯が点滅します。

ブレーキパッドの摩耗限界

ブレーキパッドが摩耗限界に達すると、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

走行プログラム

はじめに

車両には、さまざまな要件と走行状況に合わせた走行モードが用意されています。

WET

濡れて滑りやすい路面にコントロールシステムが最適化されます。

NORMAL

日常の走行において、コントロールシステムは快適性と経済性が両立するように作動します。

SPORT

日常の走行において、躍動感とダイナミズムを向上させるようコントロールシステムを切り替えます。

スポーツプラス

レースサーキット走行のように、性能を最大限に発揮できる設定に切り替わります。

INDIVIDUAL

個別調整のための走行モード。

走行プログラムの選択

① インフォメーション

走行プログラムを自動させていない場合、車両は自動的にノーマル走行プログラムになります。

イグニッションを OFF にした後に、選択された走行プログラムは自動的にノーマル走行プログラムに戻ります。

走行プログラムの PCM での選択

1.  ▶ 走行 ▶ 走行モードを選択 を選択します。
2. 希望する走行プログラムを PCM で選択します。

スイッチパネルでの走行プログラムの選択

- ✓ スポーツクロノパッケージ非装備車。

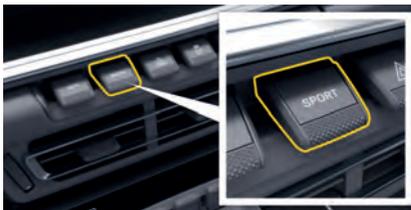


図 130: 走行プログラム (SPORT など) のボタン

- ▶ 希望する走行プログラムのボタンを押します。
 - ➡ 該当するボタンが赤色に点灯します。インストルメントパネルに選択した走行プログラムが表示されます。

モードスイッチでの走行モード選択

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車。



図 131: ステアリングホイールの走行プログラム

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
 - ➡ インストルメントパネルに選択した走行プログラム (WET、NORMAL、SPORT、SPORT PLUS または INDIVIDUAL) が表示されます。

ボルシェ WET モード

ボルシェ WET モードは著しく濡れた路面を検出することができ、走行システムをより安定した操作特性に設定します。

十分な湿気が検出された場合、システムは自動的にシャーシシステムをシステム制御内で制御します。外気温度に応じて WET シンボル  または  がインストルメントパネルに表示され、同時にドライバーに WET 走行プログラムを ON にするように促すメッセージが表示されます。ドライバーが WET 走行プログラムを動作させる場合、シャーシシステムはよりしっかり制御され、ドライブ、スポイラー位置およびクーリングエアフラップ位置もシステム制御内で制御されます。

WET 走行プログラムが作動している場合、SPORT Response モードおよびスポーツサスペンション設定は使用できません。PSM は ON で、無効にできません。アダプティブクルーズコントロール (ACC) の設定距離が以前は短かった場合、アダプティブクルーズコントロールの設定距離が中程度の設定 [「走行速度の半分の距離」] に変更されます。

▶ 100 ページの「ACC の操作」の章を参照してください。

システムの限界

雪が原因で、ホイールアーチ内の湿気センサーが遮断されている場合、システム機能は制限されます。インストルメントパネルのオートコントロールおよび警告メッセージは 250 km/h (156 mph) の速度まで使用可能です。

十分な濡れ路面の検出は、走行速度と路面により異なります。

ボルシェ WET モードはハイドロブレーキングを検出することも、回避することもできません。

システムは雨天候を示す表示を行ったり、ワイパーを作動させたりすることはありません。

検出した濡れに関するメッセージを無効にすることができます。

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンス システムの設定 ▶ 湿度検出アシスト

INDIVIDUAL 走行モードの設定

✓ スポーツクロノパッケージ装備車。

INDIVIDUAL 走行プログラムでは、シャーシ、車両レベル、スポーツ排気システム、リヤスポイラーおよびオートスタート/ストップ機能を、NORMAL、SPORT、SPORT PLUS 走行プログラムに基づいて組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを INDIVIDUAL に切り替えるか PCM を介して再び呼び出すことが可能です。

INDIVIDUAL での設定の選択と保存

- ▶  ▶ 走行 ▶ ... ▶ 走行モード Individual の設定を選択します。

スポーツレスポンスモードの使用

✓ スポーツクロノパッケージ装備車。



図. 132: SPORT Response ディスプレイタイマー

SPORT Response モードでは、エンジンおよびトランスミッションがタイマーコントロールで最大レスポンスに設定されます。

スポーツレスポンスモードの作動



図. 133: ステアリングホイールの SPORT Response ボタン

- ▶ モードスイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
- ▶ インストルメントパネルの車両 & 情報表示のタイマーは、機能がまだ利用可能である時間を示します。その後、以前選択した走行プログラムが再度有効になります。

スポーツレスポンスモードの作動停止

- ✓ SPORT Response モードが作動している
- ▶ モードスイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
- ▶ 以前選択した走行プログラムが再度有効になります。

選択した走行モードの車両設定の概要

以下の表は、関連する走行プログラムで利用可能な走行設定の一部のみを示しています。

走行プログラム	WET	NORMAL	SPORT	スポーツ プラス
アイドル回転数上昇	無効	無効	有効	有効
シフトダウン時のスロットル ブリッピングの適用	有効	無効	有効	有効
車内のエンジン サウンド最適化	無効	無効	有効	有効
バックファイアー	無効	無効	有効	無効
ローンチコントロール	作動不可	作動不可	作動不可	有効化可能
オート スタート/ストップ ボタン	有効	有効	無効	無効
スポーツレスポンス	作動不可	有効化可能	有効化可能	有効化可能
スポーツ エキゾースト システム	有効化可能	有効化可能	有効	有効

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

スポーツ エキゾースト システムの ON/OFF

スポーツ エキゾースト システムはイグニッションが ON のときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

スイッチ パネルでのスポーツ エキゾースト システムの選択

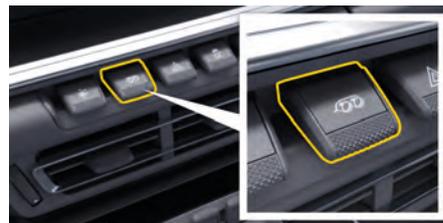


図. 134: スポーツ エキゾースト システムのボタン

- ▶ スポーツ エキゾースト システムのボタンを押してください。
- ➡ スポーツ エキゾースト システムが ON になると、ボタンが赤色に点灯します。

PCM を介したスポーツ エキゾースト システムの ON / OFF

- ▶ 走行 ▶ スポーツ エキゾースト システムを選択 を選択します。

- スポーツエキゾースト システムが ON です。
- スポーツエキゾースト システムが OFF です。

車両の始動、走行、駐車

イグニッションロック

キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに変更されました。必要なのはキーを携帯していることだけです。



図 135: イグニッションロックの位置

- 0 基本設定
- 1 イグニッション ON
- 2 エンジン始動

0-イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置0のとき、エンジンとイグニッションはOFFになっています。

1-イグニッション ON

すべての電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

① インフォメーション

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。初めにコントロールユニットをイグニッションロック位置0(初期位置)に回します。

2-エンジン始動

エンジン始動後、コントロールユニットが位置2から1の位置に自動的に戻ります。

エンジンの始動

1. ブレーキペダルを踏んでください。
 2. マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
 3. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤシフトレバーをニュートラル位置に動かします。
 4. PDK 装備車：セレクターレバーのPボタンを押すか、作動モードのNを選択してください。
 5. アクセルペダルは踏まないでください。
 6. コントロールユニットをイグニッションロック位置2に回してください。エンジンスターターを約10秒以上連続して作動させないでください。
- ➔ イグニッションロック位置2(エンジン始動)にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
- ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。まずコントロールユニットをイグニッションロック位置0(初期位置)に戻してください。

停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

エンジンの停止



警告

作動停止状態のパワーステアリングおよびブレーキブースター

パワーステアリングおよびブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンがOFFになると、ステアリングホイールを回すことやブレーキングに普段より大きな力が突然必要になります。

▶ イグニッションは、車両が停止している場合のみ、OFFにしてください。

1. 停車してください。
 2. ブレーキペダルを踏んでください。
 3. コントロールユニットをイグニッションロック位置0に回してください。
- ▶ 車両を離れるときは、PDK 装備車では電動リックパーキングブレーキをかけてPボタンを押し、マニュアルトランスミッション装備車ではギヤを1速またはリバースギヤに入れます。

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

8速 Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチックシフトモードとマニュアルシフトモードで搭載したトランスミッションです。

オートマチックシフトモード(作動モード **D**)では、ギヤは自動的にシフトされます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックシフトモードからマニュアルシフトモードに切り替えることができます。

マニュアルシフトモード(作動モード **M**)では、ギヤの変更がステアリングホイール上にあるシフトパドルを操作してします。**D**と**M**の作動モードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、ステアリングホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生してしまいます。

作動モードの変更

作動モード **P** はイグニッションを OFF にすると有効になります。

P から **N**、**D** または **R** に切り替えるためブレーキペダルを踏む必要があります。**D** から **R** または **R** から **D** 切り替えるためブレーキペダルを踏む必要があります。

作動モード **M** は、作動モード **D** になっている場合のみ有効にできます。**P** 作動モードに切り替えるには、セレクターレバーの **P** ボタンを押すか、イグニッションを OFF にします。

P ボタン

セレクターレバーの **P** ボタンは、トランスミッションパーキングロックを作動させます。イグニッションが OFF のとき、**D**、**M** または **R** 作動モードでトランスミッションパーキングロックが自動的にがかかります。

エンジン始動

エンジンは、ブレーキペダルが踏まれており、モード **P** または **N** が作動中の場合に限り始動できます。

車両の発進

- ▶ 発進するために希望する走行作動モード (**D**、**M** または **R**) は、エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ選択してください。
- ▶ ギヤが入ると車両はゆっくりと動き出そうとするので、発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないください。

坂道での発進

- ▶ 126 ページの「HOLD 機能」の章を参照してください。

車両の停止

- ▶ しばらく止まる場合、例: 信号待ちなどでは、セレクターレバーを作動モード **D** または **M** のままにしておいて、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 加速するのではなく、ブレーキペダルまたは電動パーキングブレーキを使って、車両を傾斜させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ず電動パーキングブレーキを作動させ、作動モードを **P** にしてください。

駐車

- ▶ アクセルペダルをやさしく踏んでください。
- ▶ 狭い場所での駐車時や操舵時は、ブレーキペダルを慎重に使用し速度をコントロールしてください。

作動モードと締結ギヤのインジケーターを読み取る

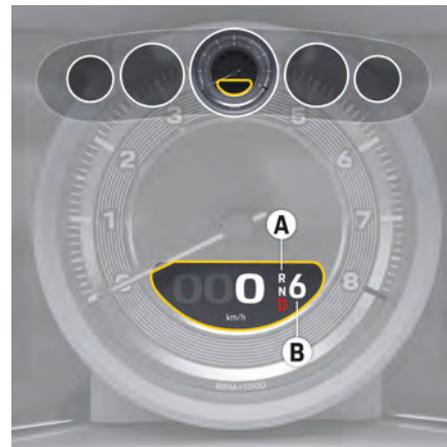


図. 136: 作動モードと締結ギヤのインジケーター

エンジンが作動中には、作動モード **A** (図. 136) と締結ギヤ **B** (図. 136) が表示されます。ブレーキを踏まずに誤って **P** または **N** から別の作動モードに切り替えた場合、作動モードは変わりません。インストルメントパネルに通知が表示されます。

- ▶ エンジンを始動するには、ブレーキペダルを踏んで、再度 **P** または **N** から希望する作動モードを選択します。

インストルメントパネル内での作動モード R または D の点滅

最高許容速度以上で作動モード R の選択が試みられました。

- ▶ 車両を停止させ、ブレーキペダルを踏みながらセレクターレバーを **P** または **N** 位置から動かし、希望する操作モードに入れます。

操作モード

P - パーキングロック



図 137: パーキングロックに入れる

車両が完全に停止してからパーキングロックをかけてください。

1. **P** ボタンを押してください。
 - ▶ 作動モード **P** が点滅している場合、パーキングロックがかかっています。車両が動き出す可能
2. 再度 **R** から **P** を選択します。

R - リバースギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N - ニュートラル

例えば、けん引または洗車機を使用する時などは、作動モード **N** を必ず選択してください。

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、運転位置 (**D**、**M** または **R**) にシフトしてください。

① インフォメーション

車両が操作モード **N** で停止している場合、数分後に自動的に操作モード **P** が選択されます。インストルメントパネルに通知が表示されます。

D - オートマッチックシフトモード

- ▶ 「ノーマル」の走行時には、作動モード **D** を使用してください。
 - ▶ 車速とアクセルペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

① インフォメーション

ステアリングホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマッチックシフトモード **D** からマニュアルシフトモード **M** に切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき。
- 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき。
- 急加速のためにシフトダウンしたいとき。

① インフォメーション

次の場合は、マニュアルシフトモードが維持されます。

- オーバーランモードのとき
- 車両が交差点などで止まった場合
- 車両のシフトロジックが2段以上シフトダウンしたとき。

① インフォメーション

次の場合は、マニュアルシフトモードが解除されます。

- 自動的に6秒後。

M - マニュアルシフトモード

ステアリングホイールのシフトパドルにより、8速前進ギヤを選択することができます。



図 138: マニュアルシフトモード

- ▶ **M** ボタンを押してください。
- ➡ 現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

M から **D** に切り替える場合は、現在のドライビングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図. 139: シフトパドル付きステアリングホイール

右「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ 右シフトパドルを引きます。

左「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ▶ 左シフトパドルを引きます。

シフトパドルでN-ニュートラルにシフトする

- ▶ 両方のシフトパドルを同時に引いて、すぐに放してください。
- ➡ トランスミッションはN-ニュートラルにシフトします。車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンプレ

ーキの効果は得られません。直前の作動モードが**D**または**M**であった場合、ギヤシフトインジケータの数字が点滅します。

いずれかのシフトパドルを引くか、セレクターレバーを**D**、**R**、または**M**位置に動かすと、再びギヤが締結します。

① インフォメーション

速度しきい値を下回ると、クラッチは締結しません。その場合はブレーキペダルを踏みながら、**N**から希望する作動モードを再度選択します。

最適な燃費で走行するためのシフトアップインジケータ

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータは、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてシフトアップインジケータ▲が点灯し、1段上のギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータ▲が点灯したときは、1段高いギヤにシフトしてください。

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はモード**D**で作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセルペダルを素早く深く踏み込んで(キックダウン)ください。
 - ➡ 走行速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。
- そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

惰性走行モードで走行する

航行モードでは、締結しているギヤが自動的に解除され、それによってエンジンのブレーキ効果が避けます。車両はアイドル回転数で走行します。

惰性走行モードを開始する

- ✓ 走行プログラム **NORMAL** または **WET** が作動している。
 - ✓ 操作モード **D** または **M** が選択されている。
 - ✓ ボルシェスタビリティ マネージメント (PSM) が始動
 - ✓ クルーズコントロールが有効になっていない。
 - ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が有効ではない。
1. アクセルペダルから足を完全に離してください。
 2. シフトパドルを使用して、可能な限り高いギヤより上に手でシフトアップする
 - ➡ 惰性走行モードが開始されます。

惰性走行モードの終了

- ▶ アクセルペダルが踏み込まれています
-または-
シフトパドルを使用してギヤを変更します。
- ➡ エンジンが締結され、惰性走行モードが終了します。

ローンチコントロールを使用した発進

- ✓ 対象：スポーツクロノパッケージ装備車。

▲ 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況 (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど) では、車両の制御が失われることや、他の道路利用者に危険が及ぶ恐れがあります。

- ▶ ローンチコントロールの使用は、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合のみに行ってください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

① インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

ローンチコントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

- ✓ トランスミッションが作動温度に達している。
 - ✓ 道路の勾配が低い。
 - ✓ SPORT PLUS 走行プログラム作動中。
 - ✓ ステアリングホイールが直進方向位置にします。
1. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
 2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。
 - ➡ エンジン回転数は自動的に横ばい状態になります。
 インストルメントパネルにメッセージが表示されます。
 3. 1秒以内にブレーキペダルを解除します。

マニュアルトランスミッションによる走行

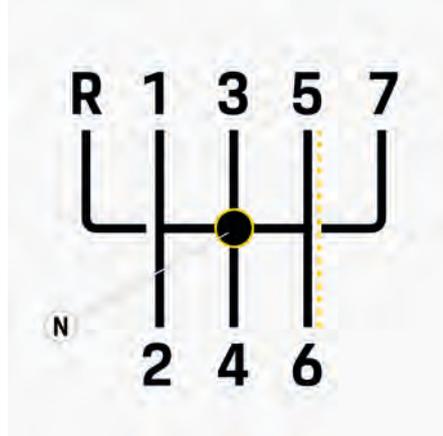


図. 140: ギヤレバー上のシフトパターン

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマット、およびその他の物により、ペダルの可動域が制限されたり、ペダル操作が妨げられたりする可能性があります。

- ▶ フロアマットやその他の物がペダルの可動を妨げることがないようにしてください。
- ▶ 変速するときはクラッチペダルをしっかりと踏み込み、ギヤレバーを確実に操作してください。
- ▶ 上り坂ではエンジンパワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジンブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

① インフォメーション

1~6速ギヤは通常の操作および性能を重視した操作に適しています (6速ギヤで最高速度に到達します)。

7速ギヤは高速走行での快適性を向上するようエンジン回転数を低減し、同時に燃費も向上するよう設計されています。

トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置 **N** は3速と4速ギヤの中間にあります。

7速にギヤシフト

スポーティーなドライビングスタイルで走行時に意図せず7速ギヤにシフトすることを回避するため、シーケンシャルギヤシフトロックが取り付けられています。

7速ギヤには、5速または6速ギヤからのみシフトできます (白/黄線(図. 140)を参照)。

7速から6速までギヤシフト

- ▶ 右へ少し力をかけながらギヤレバーを7速ギヤから6速ギヤへシフトしてください。

7速から5速まで、ギヤシフト

- ▶ 推奨: 7速ギヤからは、まずニュートラル位置 **N** (ギヤシフトロック再作動) にシフトしてから5速ギヤに入れてください。

締結ギヤを表示する

インストルメントパネル内のギヤシフトインジケータは現在締結されているギヤを表示しています。

リバース (後退) に入れる

- ▶ ギヤをリバース (後退) に入れるときは完全に停車してから行ってください。
- ▶ リバース ギヤには、ギヤレバーを左にいっぱいまで動かした後シフトすることができます。
イグニッション ON でギヤレバーをリバース (後退) に入れると、リバースライトが点灯します。

シフトアップインジケータを使用した走行

燃費重視の運転を促すインストルメントパネルのシフトアップインジケータは、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。

選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてシフトアップインジケータ ▲ が点灯し、1 段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータ ▲ が点灯したときは、1 段高いギヤにシフトしてください。

エンジン許容回転数を遵守する

- ▶ タコメーター (回転計) の指針が赤色のエリア (レッドゾーン) に到達する前に、1 段高いギヤにシフトアップするか、アクセルペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア (レッドゾーン) に到達すると、燃料の供給が遮断されず。

情報

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転 (オーバーレブ) が原因でエンジンを損傷するおそれがあります。

- ▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

スロットルブリッピング機能

スロットルブリッピング機能が ON のときは、シフトダウン時に最適なエンジン回転数補正を行い、荷重変化時により一層の車両安定性を確保します。これにより、負荷変化時の車両安定性が向上します。

スロットルブリッピング機能は、オートマチックドライブプログラム WET、SPORT、SPORT PLUS で自動的に ON になります。

運転プログラムに関する情報:

- ▶ 117 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

PCM でのスロットルブリッピング機能の ON/OFF

- ▶  ▶ 走行 Auto Blip を選択します

- 機能が ON にします
- 機能が OFF にします

インフォメーション

- スロットルブリッピング機能が PCM で ON になっている場合、運転プログラムの変更後も ON のままになります。
- スロットルブリッピング機能が PCM で OFF になっている場合、ドライブプログラム WET、SPORT、または SPORT PLUS に切り替わると、必ず ON になります。
- スロットルブリッピング機能は、車両プログラム WET で **OFF** に PCM することができません。

スポイラー

一般的な安全に関する指示

警告

エアロダイナミクスの変化

インストルメントパネルの警告メッセージにより、格納式スポイラーの故障が示されます。走行安定性が損なわれる可能性があります。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。ボルシェは、トレーニングを受けた作業スタッフと必要な部品とツールが備わっているため、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めします。

注意

スポイラーの格納および展開

停車中にスポイラーを手動で展開または格納するときに、スポイラーの可動部分と車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ スポイラーの可動範囲に人や物がいないことを確認してください。

情報

スタータを損傷する恐れがあります。

- ▶ スポイラーを持って車両を動かさないでください。
- ▶ スポイラに、テンション・ストラップなどで物を固定しないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

- ✓ 911 Turbo
- ✓ 911 Turbo S

情報

スポイラーを手動で展開したり、スポーツ プラス モードを選択している場合は、停車時にスポイラーが格納されません。

- ▶ フロントスポイラーを展開する場合、例えば、駐車中または立体駐車場内では、地上高が低いにか注意してください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

スポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

スポイラーの展開と格納

(モデルによって異なる)

自動

車速および選択した運転プログラムに応じて、スポイラーは自動的に展開または折り畳みます。

手動

① インフォメーション

選択したスポイラー位置は、INDIVIDUAL モードに保存できます。

- ▶ 117 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。

リヤスポイラーを手動で展開と格納

- ✓ 911 Carrera
- ✓ 911 タルガ

▶  ▶ 走行 ▶ スポイラー展開済み を選択します。

- スポイラーが展開しています。
- スポイラーが収納されています。

フロントおよびリヤスポイラーを手動で展開と格納

- ✓ 911 Turbo
- ✓ 911 Turbo S

1.  ▶ 走行 ▶ スポイラーを選択します。
2. 現在の速度 < 15 km/h: スポイラーが停止位置に達するまでスポイラー ボタンを押し続けます。
-または-
現在の速度 > 15 km/h: スポイラー ボタンを短く押します。
➔ スポイラーは、格納後にオート モードになります。

スポーツ プラス モードでの作動

スポーツ プラス モードでは、車速が 15 km/h を超えると、スポイラーがパフォーマンス ポジションに展開します。この位置では最高速度に到達できません。

スポイラーは自動的に格納されません。

HOLD 機能

一般的な安全に関する指示

 **警告** 車両コントロールの喪失

HOLD 機能を使用している場合でも、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面 (凍結している、またはぬかるんだ路面など) での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット ブレーキを使用してください。
HOLD 機能が操作しない場合、ドライバーは坂道での発進時にアシストを受けられなくなります。
- ▶ フット ブレーキをかけて停車してください。

 **警告** 上り坂での僅かな後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD 機能が操作する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフットブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

- ▶ 停止をサポートするために、フット ブレーキでさらに制動力を上げます。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。HOLD 機能が作動すると、インストルメントクラスターのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。

HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないうちに自動的に固定されます。

HOLD 機能の作動

マニュアルトランスミッション装備車の HOLD

✓ エンジンが作動している。

1. 坂道でフット ブレーキをかけて車両を確実に静止させてください。
2. クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。
3. 坂道を登る方向に対応するギヤ (1 速またはリバースギヤ) に変速します。
4. クラッチペダルを踏んだまま、フットブレーキから足を放してください。車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。
5. 通常の操作で車両を発進させてください。

① インフォメーション

マニュアルトランスミッション装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動**しません**。

- クラッチを踏んでいないとき。
- 作動モードが **N** のとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。

PKD 装備車の HOLD

HOLD 機能は車両が停止状態にあるとき作動します。この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。

① インフォメーション

PKD 装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動**しません**。

- 作動モードが **P** および **N** のとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。

① インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。これにより、ブレーキペダルを踏み続けなくても車両の停止状態を維持することができます。この場合、セレクターレバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。

✓ エンジンが作動している。

1. 坂道でフットブレーキをかけて車両を確実に静止させてください。
2. クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。
3. 坂道を登る方向に対応するギヤ (1 速またはリバースギヤ) に変速します。

4. クラッチペダルを踏んだまま、フットブレーキから足を放してください。車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。

5. 通常の操作で車両を発進させてください。

① インフォメーション

HOLD 機能作動時は、ドライバーがブレーキペダルに違和感を感じる場合や、油圧作動音が聞こえる場合があります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

ライト

概要説明 - ライト

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 141: ライトコントロールパネル

希望する操作	操作方法	操作場所
オートマチックヘッドライトをONにする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ AUTO ボタンを押してください。 <p>AUTO ボタンが赤色に点灯します。</p> <p>オートマチックヘッドライトとボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) がONになります。</p>	P. 129
パーキングライトをONにする	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ボタンを押してください。 <p>ライセンス プレート ライト、インストルメント照明、および車幅灯がONになります。</p>	-
ロービームを手動でONにする	<ul style="list-style-type: none"> ✓ イグニッションをONにする ▶  ボタンを押してください。 <p>ロービームがONになります。オートマチックヘッドライト、デイトタイムドライビングライト、およびボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) がOFFになります。</p>	-

希望する操作	操作方法	操作場所
リヤフォグライトをONにする	▶ ボタンを押してください。	-
エクステリアライトを完全にOFFにする	▶ ボタンを約2秒間押してください。 AUTO ボタンが消灯します。すべてのエクステリアライトは、速度が10 km/h または距離が100 m を超えるまでは消灯したままです。	P. 129

一般的な安全に関する指示



警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界が大幅に制限されるばかりでなく、他の道路利用者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 特定の国では、ロービームヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。



警告

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを操作させて運転している際の集中力低下

走行時、ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じ、ハイビームをライト、視界、交通状況に手動で合わせてください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- 自転車など、照明が暗い道路利用者がいる場合
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道。
- 照明の暗い市街地。
- 道路標識などの強い反射がある場合。
- フロントウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている

次のような状況では、ロービームは自動的にONになります：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時

ロービームがONのときは、インジケーターライトが点灯します。 インストルメントパネル内。

インフォメーション

霧は検出されません。

- ▶ 霧の場合には、ロービームとリヤフォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリアライトを完全にOFFにする

- ▶ ボタンを約2秒間押してください。
➡ ボタン のインジケーターライトが消灯します。

次のような状況では、自動ヘッドライトは再度ONになります(国により異なる)：

- 10 km/h 以上の速度。
- エクステリアライトをOFFにした後100 m以上走行した場合。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

オートマチックヘッドライト / エクステリアライトのON/OFF

オートマチックヘッドライトをONにする

- ▶ ボタンを押してください。
➡ オートマチックヘッドライトがONになります。

雨機能

ワイパーの連続作動が検出されると、ロービームが自動的にONになります。ワイパーが一時停止すると、ロービームがOFFに戻ります。

i インフォメーション

気温と湿度によっては、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。

この曇りは十分な距離を走行すると乾燥して消えます。

ライト機能を使用する

自動ホームライトの調整

✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。

暗闇の中で車両に乗降するとき視認性が高まるため一定時間、以下の車両ライトが点灯したままにします。

- デイタイムドライビングライト
- ロービームカーテシー (PDLS Plus)
- 開いた状態の格納式ドアミラーのドアカーテシーライト
- フロントおよびリヤの車幅灯
- ライセンスライト

イグニッションがON、またはオートマチックヘッドライトがOFFになると、再度OFFになります。

残光時間はPCMで設定できます。

▶  ▶ **設定**  ▶ **車両** ▶ **光と視力** ▶ **外光** ▶ **残光**

(PDLS Plus) LEDヘッドライト装備ボルシェダイナミックライトシステム

✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。

ダイナミックコーナリングライト

速度が約5 km/hを超えている場合、車両速度とステアリングホイールの角度に応じて、ロービームまたはハイビームの向きが変わります。

状況に応じたライト配光

状況に応じたライト配光 (国別仕様) により、ロービームおよびハイビームヘッドライトの配光は、市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適応します。

悪天候のライト

速度が約60 km/h未満でフォグライトが点灯している場合、ロービームの配光特性が変化します。このときドライビングライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ハイビームアシスト



図. 142: フロントウィンドウカメラ

車内ミラー付近に取り付けられたカメラA (図. 142) は、他の道路利用者の光源を検出できます。

他の車両の位置、スピード、および他の環境や交通状況に応じて、ロービームからハイビームに切り替わり、再び戻ります。

ハイビームヘッドライトは約30 km/hから約60 km/hの間で利用可能です。カメラが街路灯を検出することも、フルハイビームライトからロービームに切り替わります。

i インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること:

- ▶ ルームミラーのカメラの視界をステッカーなど外部物で遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

LEDマトリックスヘッドライト搭載のボルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus)

✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。

PDLS Plus LEDマトリックスヘッドライトには、LEDヘッドライトPDLS Plusの機能も含まれています。

▶ 130ページの「LEDマトリックスヘッドライト搭載のボルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus)」の章を参照してください。

ダイナミックハイビーム



図. 143: フロントウィンドウカメラ

カメラ A (図. 142)は他の通行者からの光源を検出することができます。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイビームヘッドライトの各LEDセグメントを有効または無効にすることができます。車両の前方周囲のビームは低く、残りは高いままです。これにより他の通行者が眩惑することなく、確実に最も効果的な方法で環境を照らすことができます。

ダイナミックハイビームは、車速 30 km/h から 60 km/h の間で航行データに応じて ON または OFF に取り替え。カメラが街路灯を検出すると、フルハイビームライトからロービームに切り替わります。

① インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること：

- ▶ ルームミラーのカメラの視界をステッカーなど外部物で遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

パッシングライト

- ✓ 対向車なし。
- ✓ 前走車。
- ▶ 運転中の場合、指示灯を作動させてください。
 - ➔ 前方走行車両の隣の領域が明るく照らされます。これにより、前方の道路が見やすくなります。

ターニング信号が OFF になった場合または対向車が検出された場合、パッシングライトは自動的に再び OFF になります。

検知ライト

- ✓ 前走車なし。
- ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。

走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようにします。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

シールドトリム低減機能

- ✓ ダイナミックハイビームが ON になっている。

反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって (特にハイビームを使用して運転する際) ドライバーが眩惑する場合があります。

シールドトリム低減機構は、ヘッドライトの個々の LED 部分を短時間減光します。運転者は、交通標識と刻印の反射による眩惑を低減します。

自動ヘッドライト較正

- ✓ 車両の直ぐ近くに障害物はありません。
- ✓ 車両が壁などの照射面に対して可能な限りまっすぐ配置されている (距離 > 5 m)。
- ✓ 基準走行中の停止時にロービームは作動します。

状況が適切だと、自動ヘッドライト較正は自動的に開始します (アンビエントライト、照射対象の表面が適切)。ヘッドライトの LED 部分は較正中のときに、右から左へ繰り返し自動的に作動および停止し、カメラ A (図. 143) により検出されます。

較正はヘッドライトアライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

指示灯 / ハイビームレバーの操作



図. 144: 方向指示器、ハイビーム、およびヘッドライトパッシングの操作

- 1 方向指示器 / 左側パーキングライト
- 2 方向指示器 / 右側パーキングライト
- 3 ハイビーム / ダイナミックハイビーム
- 4 へっどらいとばっしんぐ

方向指示器の操作

- ▶ 圧力ポイント 1 または 2 (図. 144) までレバーを押してください。指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動続きます。

コンフォート方向指示

- ▶ 圧力ポイント 1 または 2 (図. 144) までレバーを 1 度押してください。
 - ➔ 方向指示器が 3 回点滅します。

- ▶ コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。

ハイビームヘッドライトのON/OFF

- ✓ 対象：ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) 非装なし備車。
- または -
ハイビームアシスト / ダイナミックハイビームが停止している。

ONにする

- ▶ 圧力ポイント 3 (図. 144) までレバーを 1 度押してください。
➡ インジケーターライト  が点灯します。

OFFにする

- ▶ 圧力ポイント 4 (図. 144) までレバーを 1 度引いてください。
➡ インジケーターライト  が消灯します。

ハイビームアシストの作動および停止

- ✓ 対象：LEDヘッドライト搭載のポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus)
- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。
- ✓ ハイビームアシストが作動している。
▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

有効にする

- ▶ 圧力ポイント 3 (図. 144) までレバーを 1 度押してください。
➡ インジケーターライト  が点灯します。他の車両の位置、スピードなどの様々な要因に応じて、システムはロービームヘッドライトがハイビームヘッドライトに切り替わったり戻ったりします。
ハイビームヘッドライトをONにしている場合、インジケーターライトが点灯します .

無効にする

- ▶ 圧力ポイント 4 (図. 144) までレバーを 1 度引いてください。
➡ インジケーターライトがONになっているときのみ、ハイビームアシストを  無効にできます。

手動でONにする

ハイビームアシストの作動条件が満たされない場合、手動でハイビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

- ▶ 圧力ポイント 3 (図. 144) までレバーを 2 度押してください。
➡ インジケーターライト  が点灯します。

手動でOFFにする

- ▶ 圧力ポイント 4 (図. 144) までレバーを 1 度引いてください。
➡ インジケーターライト  が消灯します。

ダイナミックハイビームのON/OFF

- ✓ 対象：LEDマトリックスヘッドライト搭載のポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus)
- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。
- ✓ ダイナミックハイビームが作動しています。
▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

有効にする

- ▶ 圧力ポイント 3 (図. 144) までレバーを 1 度押してください。
➡ インジケーターライト  が点灯します。他の車両の位置、スピードなどの様々な要因に応じて、ハイビームヘッドライトの各LED部分が点灯したり消灯したりします。
ハイビームヘッドライトをONにしている場合、インジケーターライトが点灯します。
.

無効にする

- ▶ 圧力ポイント 4 (図. 144) までレバーを 1 度引いてください。
➡ インジケーターライトがONになっているときのみ、ダイナミックハイビームを  無効にできます。

手動でONにする

ダイナミックハイビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

- ▶ 圧力ポイント 3 (図. 144) までレバーを 2 度押してください。
➡ インジケーターライト  が点灯します。

手でOFFにする

- ▶ 圧力ポイント 4 (図. 144) までレバーを1度引いてください。
 - ➡ インジケーターライト  が消灯します。

ヘッドライトパッシングを操作する

- ▶ 圧力ポイント 4 (図. 144) までレバーを短く1度簡単に引いてください。
 - ➡ インジケーターライト  が短時間点灯します。

パーキングライトのON/OFF

- ✓ イグニッションをOFFにする
- ▶ 圧力ポイント 2 (図. 144) または 1 まで操作レバーを押すと右または左側の駐車ライトが点灯します。
 - ➡ パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとインストルメントパネルにメッセージが表示されます。

ハザードライトのON/OFF

 **危険** 衝突の危険

危険な場所で停止すると衝突の危険があります。

- ▶ 安全かつ適切な場所で停車してください。
- ▶ 車両から離れてください。
- ▶ ハザードライトをオンにして、停止表示板を設置します。



図. 145: ハザードライトのON/OFF

ハザードライトのON/OFF

- ▶ センターコンソールのボタンを押してください。
 - ➡ すべての方向指示器とボタンが点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザードライトが自動的に作動します。ブレーキ中にブレーキライトが点滅します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。

事故後のハザードライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザードライトが自動的に作動します。

トラベルモードの作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。配光の適応は、通常、ナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。変更後は、イグニッションをONにするたびにインストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

自動的に変更が行われない場合：

- ▶  ▶  設定 ▶  車両 ▶  ライトと視界 ▶  エクステリアライト ▶  反転

- ▶ 帰国するときは、ヘッドライトを元の設定に戻すことを忘れないでください。

バルブの交換

車両のエクステリアライトおよびインテリアライトにはLEDが取り付けられています。LEDは個別に交換できません。

ライトの取り外しおよび取り付けには、大きな労力を必要とします。

- ▶ 壊れたバルブとライトの交換または修理は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

情報

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライトにカバー (ストーンガードやフィルムなど) を装着しないでください。

① インフォメーション

LEDマトリックスヘッドライトを備えた車両では、ロービームの設定を確認するにはボンネットを開ける必要があります。

- ▶ ヘッドライト調整は、必ず専用の調整装置を使用しているボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

フロントアクスルリフトシステム ポジション

フロントアクスルリフトシステムによって、フロントエンド〔フロントスポイラーの前端部〕を約40mm上昇させることができます。これにより、地下駐車場への乗り入れや減速帯を乗り越えるときなどに起こる可能性のあるボディの損傷を防ぐことができます。

作動条件および挙動

- フロントアクスルリフトシステムは、エンジンが作動している状態で停車しているとき、または車速が約35km/h以下(国によっては約60km/h以下)のときにシステム制限の範囲内で作動します。
- システム制限を超える速度では、車両が自動的に再び通常のレベルに下降します。
- 車両を上昇させると、フロントアクスルのダンピング特性が変化し、ステアリングを操作する際にフロントアクスル周辺からノイズが発生することがあります。
- 気温が約-10℃を下回ると、車両前部を完全に上昇させるまでの時間が長くなります。ノイズも大きくなる恐れがあります。

車両前部の上昇と下降

車両前部を上昇させる

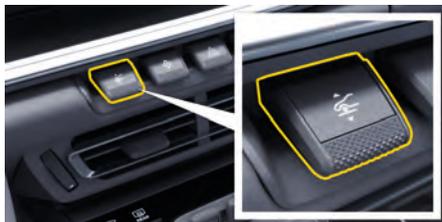


図. 146: リフトシステム用ボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ ㇿ ボタンを押してください。
- ➡ 車両前部が上昇します。
ボタンが赤色に点滅し、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

車両前部が完全に上昇すると、

- ボタンは赤色に点灯します。
- インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

情報

車両前部の意図しない下降により、損傷が起こる恐れがあります。

システムによっては、エンジンが作動していない場合、しばらくすると車両前部が自動的に下降します。

- ▶ 必ず下降させた状態で駐車してください。

車両前部を下降させる

- ✓ すべてのドアが閉じている
- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ ㇿ(図. 146) ボタンを押してください。
- ➡ 車両前部が下降します。
ボタンが赤色に点滅し、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

車両前部が完全に下降すると：

- ボタンの赤色ライトは消灯します。
- インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

① インフォメーション

下降中にドアを開くと、車両前部が自動的に再び上昇します。

情報

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 障害物の上などで車両を下降させないでください。

リフトシステムの故障

フロントアクスルリフトシステムに故障が発生すると、インストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

自動リフト機能

自動リフト機能は、場所に応じて車両前部を自動的に上昇させるために使用されます。

情報

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。適切な速度で走行するなどの安全運転に努めるのはドライバーの責任です。自動リフト機能はドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

リフトが完全に展開した状態であっても、不適切な速度で走行しているときには障害物との接触を防ぐことができません。

保存された位置が認識されず、自動リフト機能が作動しない状況が発生する可能性があります。

リフトシステムに故障がある場合、自動リフト機能を作動することができません。

- ▶ 登録した位置に近づくと、車両前部が上昇していることを確認してください。
- ▶ 適切な速度で障害物乗り越えてください。

自動リフト機能の登録

障害物に初めて近づくと、フロントエンドリフト機能を手動で開始し、位置を保存する必要があります。

1. 𠂇 ボタンを押してください。
2. タッチディスプレイで**保存**をタップします。

- ▶ PCM に位置が保存されたことを示すメッセージが表示されます。

i インフォメーション

往路と復路など、障害物への接近経路が複数ある場合は、すべての接近経路で障害物に接近して位置を保存する必要があります。

i インフォメーション

自動リフト位置は、車両のすべてのユーザープロフィールに保存されるため、すべての車両ユーザーが確認できます (個人のユーザープロフィールにはリンクしません)。

- ▶ 車両を販売する前には、保存したリフト位置を削除してください。

自動リフト機能の実施

車両前部を自動的に上昇させる

- ✓ 自動リフト機能が作動している。
- ✓ 自動リフト機能に位置が登録されている。
- ✓ 速度がシステム制限内。

保存された位置に近づくと、車両前部が自動的に上昇します。インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

i インフォメーション

自動リフト中に 𠂇 ボタンを押すと、自動リフト機能は中断されます。PCM タッチディスプレイにメッセージが表示されます。

車両前部を下降させる

- ▶ 𠂇 ボタンを押してください。
- または -
リフトシステムのシステム制限を超える速度での自動制御。

自動リフト機能の設定

この機能は PCM で作動 / 停止を切り替えることができます。保存した位置は名前の変更や削除ができます。

- ▶  ▶  ▶ **設定** ▶ **車両** ▶ **スマートリフト**

ナイトビューアシスト

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

集中力の低下、およびナイトビューアシストにより障害物が検出されない

ナイトビューアシストはサポートシステムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っていることを警告するものではありません。事故を起こす恐れがあります

適時ブレーキをかけること、および状況に適した車両ライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

▲ 注意

ナイトビューアシストの制限または使用不可

パーキング分路などによるバンパーへの衝撃や損傷により、センサー位置がずれる場合があります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

システム制限

▲ 警告

システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

人物や動物をいつも検出できるわけではありません。

外気温が 28 °C を超える場合、システムは自動的に無効になります。外気温が 25 °C よりも下がると、再び自動的に有効になります。

豪雨、降雪、凍結など、悪天候によって、カメラの動作に支障をきたし、結果として衝突リスクの検出能力が低下する場合があります。

システムの内部制限により、複雑な走行状況では、人物および動物警告が不意に作動することがあります。

- ▶ 進行方向と周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

フロントバンパーのサーマルイメージングカメラが周囲のサーマルイメージを捉えて、インストルメントクラスターに表示します。システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。

周囲がかなり暗く、外気温が 28 °C 未満で、速度範囲が 250 km/h 以下の場合、ナイトビューアシストが人および動物を検知します。

カメラの画像は、人間の目で知覚できる映像とは大きく異なります。

歩行者警告

システムが人物との衝突の可能性を検知した場合、警告音とインストルメントクラスターの表示によりドライバーに注意を促します。カメラ画像は人を赤色で表示します。

歩行者警告は、歩行者が走行車線内で立ち止まっているか、走行車線内に入ってくる場合に行われます。

LED マトリックスヘッドライト装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

動物警告

システムが市街地の外で大型の野生動物（シカなど）との衝突の可能性を検知した場合、警告音とインストルメントクラスターの表示によりドライバーに注意を促します。カメラ画像は動物を赤色で表示します。

動物警告は、走行車線内かそのすぐ近くに動物がいる場合に作動します。

市街地走行中、動物警告は自動的に無効になり、リードにつながれた犬などによる警告の誤作動を防止します。

ディスプレイ



図. 147: ナイトビューアシスト サーマルイメージ



図. 148: インストルメントパネルの作業者警告または動物警告

記号

記号	インストルメントパネル	意味
	車両 & 情報ディスプレイ	カメラ画像が表示されている場合、車外の状況(外気温度や明るさ)が原因でシステムが人や動物を確実に検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。

ナイトビューアシストのON/OFF

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ 標準アシスト ▶ ナイトビューアシスト

警告時間の設定

- ▶ ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ ナイトビューアシスト

ナイトビューアシストカメラの清掃

- ✓ ロー/ハイビームが作動している。

イグニッションをONにした後、フロントウィンドウウォッシャーシステムが初めて作動するとき、および10回作動するごとに、ナイトビューアシストカメラは自動的に清掃されます。

- ▶ 147 ページの「フロントワイパーの操作」の章を参照してください。

パークアシスト

一般的な安全に関する指示

警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物を取り回しの範囲内にないことを確認してください。
- ▶ 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。

警告

センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

注意

不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

システム制限

システムは以下を検出できません。

- 音波を吸収する障害物 (例: 冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音波を反射する障害物 (ガラス面やなめらかな塗装面など)。
- 非常に細い障害物 (細い支柱など)。
- その他の超音波を発する機器 (他車のエアブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

機能

ドライバーが車庫入れ操作をしているとき、パーキングアシスタントは車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。

パークアシストはPCMに視覚的に表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の位置や車両との距離がわかります。

距離測定



図. 149: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤバンパーの超音波センサー A (図. 149) が、最も近くにある障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。車両が障害物に近づくにつれて警告音の断続間隔は短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。警告音の音量はPCMで設定できます。

▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

パークアシストの有効化と無効化

パークアシストの作動

自動作動

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ✓ 車両速度が約 15 km/h 未満である。

- ✓ 作動モード R を選択している。
 - または -
 - 前方の距離が約 8 cm 以下です。
 - または -
 - 車両が後退していることを検出している。

手動での作動

▶  ▶ 支援 駐車支援

PCM 中の表示



図. 150: 駐車支援の表示

カラー	前側の距離	後ろ側の距離
白	車両の経路にない障害物の距離	
オレンジ	< 120 cm	< 180 cm
赤	< 40 cm	< 40 cm
赤 + 連続音	< 30 cm	< 30 cm

記号	意味
	現在の駐車操作では、パークアシストを無効にします。15 km/h の速度を超えるか、操作モード R を再度選択した場合、無効化はキャンセルされます。

	オーディオ再生を OFF にします。
<p>ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：</p> <p>▶ 175 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。</p>	

Targa モデルの警告作動

情報

タルガ ルーフを開くときにガラス リヤ ウィンドウがボディ面から突出します。ガラス リヤ ウィンドウを損傷するおそれがあります。

- ▶ 開閉するときは、車両後方に人がいないことを確認してください。車両の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください(ガレージ内など)。

センター コンソールのボタンまたはエンジン コンパートメント リッドのスイッチを使用してタルガ ルーフまたはガラス リヤ ウィンドウを開閉する場合、リヤ パーキング アシスタントが同時に作動します。

センサーが約 50 cm 以内の距離に障害物を検出すると、開閉が停止します。¹ インストルメント パネルに通知が表示されます。

車両付近に障害物がなければ、手動で作業を続行できます。

- ▶ 約 10 秒以内にボタンを 2 回引きます。
- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

パークアシストの停止

- ▶ PCM  をタップします。
-または-
セレクター レバーの **P** ボタンを押します。

パークアシストの音量調整

- ▶  ▶ 車両  ▶ アシスト ▶ ... ▶ アシスタンス システム設定 ▶ パークアシスト

カメラの使用

リバース カメラ

一般的な安全に関する指示



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。リバース カメラ画像には車両の後方全体が映っているわけではありません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にあることを確認してください。

システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、使用範囲が限定されます。

機能

リバース カメラは駐車操作時の車両後方エリアのモニタリングを容易にします。リバース カメラ画像は PCM に表示されます。

リバース カメラの作動

自動

- ✓ イグニッションが ON になっており、作動モード **R** が選択されている。
-または-
車両の後退が検出されている。

手動

- ▶  ▶ 車両  ▶ アシスタンス ▶ パークアシスト

1. アクティブ パーキング サポートと連動するときの自動停止はありません。

リバースカメラの停止

自動

- ✓ 速度が 15 km/h を超過。

手動

- ▶ セレクトレーパーの **P** ボタンが作動している。

サウンドビュー

一般的な安全に関する指示



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが検出した物体はゆがんで見えます。スクリーンウィンドウの多くには、車両周囲全体が映っているわけではありません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にあることを確認してください。

システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、使用範囲が限定されます。

機能

サウンドビューは車両を上方から見た映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。サウンドビューとロービームが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシーライトのスイッチが ON になります。



図. 151: サウンドビューカメラの位置

- A** フロントバンパーのセンターにあるカメラ
- B** 両方のドアミラーのカメラ
- C** ライセンスプレートライト間のカメラ

サウンドビューを有効にする

自動

- ✓ パークアシストがアクティブになっている。

手動

- ▶ ▶ ▶ ▶ ▶

ビューの変更

- ▶ 表示したいビューのシンボルを PCM でタップします。
 - ➔ 有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

記号	意味
	駐車 <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。
	パノラマ <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。
	ページ (装備仕様により異なる) <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。
	3D ビュー (装備仕様により異なる) <ul style="list-style-type: none"> ▶ サイドカメラシンボルのいずれかをタップして、視点を切り替えます。 ▶ 画面下部にあるカメラシンボルをタップして、オールラウンドビューを選択します。カメラ画像をスワイプして視点を 360° 回転させることができます。
	インフォメーション <p>カメラ画像に加え、フロントおよびリアカメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。</p> <p>これらのガイドラインは、ステアリングホイールが現在位置にあるときに車両が進むことのできる方向を示しています。ガイドラインは前輪の位置の変化に応じて変わります。</p>

サラウンドビューを無効にする

- ▶ パークアシストの停止。

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

システムが使用できないか、使用が制限されています

システムはその制限内でドライバーをサポートしますが、すべての状況で事故を防ぐことはできません。

事故を回避するために適切な運転を心がけるのは、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ システムを利用できない、または期待どおりに機能しない場合、ドライバーは常に車両を制御できるよう備えていなければなりません。

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

一般的な安全に関する指示

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

Porsche Active Suspension Management (PASM) システムはショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル ダンパー システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます。

- 「ノーマル シャーシ」
- 「スポーツ シャーシ」

ノーマル モードでは、車両はスポーティで快適な設定となります。

スポーツ モードは、レース サーキットの走行などのために、非常にスポーティなショック アブソーバーの設定になります。

走行状況に合わせて、マニュアル モードに加えて、PASM もショック アブソーバー 設定を調整し、スポーティまたは快適な走行を可能にします。

PASM モードの選択



図. 152: スイッチパネルの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2. P ボタンを (何度も) 押します。
 - P ボタンが赤色に点灯します: 「ノーマル シャーシ」 (標準設定)。
 - P ボタンが赤色に点灯します: 「スポーツ シャーシ」 の選択。

i インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告メッセージへの対応

PASM の故障はインストルメント クラスターに表示されます。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

車両コントロールの喪失

PSMは、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、より大きな安全上のリスクを冒すことを誘発するものではありません。PSMが装備されている場合でも、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSMの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

機能説明

Porsche Stability Management (PSM) ABD は、極端な条件下での運転時に車両を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジンが始動すると、自動的に有効になります。PSM ASR は、アンチロックブレーキシステム (ABS) とエンジン ドラッグトルクコントロールシステム (MSR) の機能と共に、オートマチックブレーキ ディファレンシャル (ABD) とアンチスリップコントロール (ASR) システムの両方を利用します。

PSM 以下のことでコントロールの作動を知ることができます。

- インstrument クラスターの PSM 警告灯  が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえることがあります
- 車両が減速し、ステアリングホイール力が PSM のブレーキコントロールに伴って変化します
- 駆動力が低下します
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します

オートマチックブレーキ ディファレンシャル

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

アンチスリップコントロール

アンチスリップコントロールシステムは、駆動力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

エンジン ドラッグトルク コントロール

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい状況では、エンジン ドラッグトルク コントロールシステムが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリングトルク パルス

ステアリングトルク パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリングアシストを行います。

カウンターステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSM の操作

PSM スポーツの作動

- ✓ 対象：スポーツクロノパッケージ装備車

PSM スポーツモードにすると、システムは非常にスポーティなモードで作動するようになります。

▲ 警告

PSM サポート制限

PSM スポーツモードの場合、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況では PSM によるサポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることを勧めます。

- ▶  ボタンを短く押してください。
 - ➔ Instrument クラスターの PSM OFF 警告灯  が点灯します。 ボタンが赤色に点灯します。

Instrument クラスターの表示は PSM スポーツが作動中であることを示しています。

PSMをOFFにする



図. 153: スイッチパネルのPSM OFF ボタン



警告

PSM アシスタンスなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況での PSM によるサポートは行われなくなります。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。
- ▶  ボタンを短く押してください (スポーツクロノパッケージ装備車: ボタンを 2 秒以上押してください)。
 - ➔ PSM は若干の遅れの後 OFF になります。

インストルメント クラスターの PSM OFF 警告灯  が点灯します。 ボタンが赤色に点灯します。

インストルメント クラスターに PSM が OFF であることを示す警告メッセージが表示されます。

インフォメーション

ABS コントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSM が OFF の状態でも車両は安定性を維持します。PSM を OFF にしていても、片方のホイールの空転は抑制されます。

ただし、次の例外的な状況では、一時的に PSM を OFF にすると効果があります。

- 柔らかい路面や深い雪道を走行する場合。
- 「車両を揺らして脱出する」とき。

スライディング / チルティング ルーフが開いていて、PSM が OFF の場合、速度が約 160 km/h を超えると PSM が再度 ON になります。

インフォメーション

PSM スポーツモードの作動中は、PSM が事前に作動していた場合にのみ PSM OFF モードに切り替えることができます。

PSM とブレーキ

PSM を再度 ON にする

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ 直ちに PSM が ON になります。

インストルメント クラスターの PSM OFF 警告灯  および  ボタンの赤色ライトが消灯します。

インストルメント クラスターに PSM が ON であることを示すメッセージが表示されます。

ABS ブレーキシステム (アンチロック ブレーキシステム)



警告

車両コントロールの喪失

ABS は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。アンチロック ブレーキ システムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABS の特徴:

- ステアリングの操作性の確保: 安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性: ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮: ほとんどの状況で制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避: タイヤのフラット スポットを回避できます。

ポジション

ABS の決定的なメリットは、危険な状況で走行安定性と車両の操作性を維持できることにあります。

ABS は、フルブレーキをかけた際に、実質的にあらゆる路面において車両が停止する直前までホイールがロックすることを防ぎます。

ホイールが 1 本でもロックしそうな場合は、ABS が適切に制御し始めます。

このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整するようという警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合：

- ▶ ブレーキをかける際、ブレーキペダルが小刻みに動いても、ブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。ブレーキ圧力を低下させないようにしてください。

警告メッセージへの対応

ABS 警告灯に関する情報：

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 164 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

マルチ コリジョン ブレーキング

事故の際、マルチコリジョン ブレーキングにより自動的にブレーキが作動し、ドライバーは横滑りや二次衝突の危険性を低減させることができます。

前提条件

マルチコリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時。
- 事故の際に、エアバッグ コントロール ユニットが該当する作動しきい値を検出する場合。
- 車速約 10 km/h 以上で走行しているときに事故に遭った場合。

インフォメーション

事故の際に油圧ブレーキ システム、PSM および電気系統に損傷がなく機能している場合、PSM によって自動的に車両にブレーキがかかります。

例外

事故時の自動ブレーキは、以下の場合に抑制されます：

- ドライバーがアクセルペダルをはっきりと踏み込んだ場合。
- ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだ際のブレーキ圧力がシステムによって加えられるブレーキ圧力よりも強い場合。

フロントウィンドウワイパー

概要

この概要説明は「フロントウィンドウワイパー」の項の詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 154: フロントウィンドウワイパー レバー



図. 155: リヤワイパー用のボタンAおよびレインセンサー感度のスイッチB

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロント部のワイパーを自動で作動(レインセンサー/間欠作動)	▶ 操作レバーを 1 の位置にしてください。	P. 147
レインセンサー/間欠作動の感度設定	▶ 操作レバー B を上方向(作動回数が増える)または下方向(作動回数が減る)に押してください。	P. 147

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロント部のスワイブ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 遅い：操作レバーを押して 2 の位置にしてください。 ▶ 速い：操作レバーを押して 3 の位置にしてください。 ▶ ワンタッチ：操作レバーを短く押して 4 の位置にしてください (4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。 	P. 147
フロントワイパー&ウォッシャー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 操作レバーをステアリング ホイール方向 5 に引いて、保持してください。 	P. 147
リヤ部のワイパーを作動させる (間欠作動)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボタン A を押してください。 	P. 147
フロントワイパー サービス ポジション アイスまたはサン シールドの装着とワイパー ブレードの交換	<ul style="list-style-type: none"> - イグニッションを OFF にして、ワイパー レバーを 4 の位置に 1 回押し下げます。フロント ウィンドウワイパーが上方に約 90° 移動します。 	P. 147

一般的な安全に関する指示



警告

ワイパーの不意の作動

フロント ウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レインセンサー モードでは、フロント ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロント ウィンドウワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ [レイン センサー機能により] 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF にしてください。

情報

ボンネット、フロント ウィンドウ、およびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

フロントワイパーの操作



図 156: フロントウィンドウワイパーレバー

0 フロントウィンドウワイパー OFF

フロントワイパーまたはイグニッションを OFF にすると、ワイパーアームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパーブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レインセンサー / 間欠作動、フロントワイパー

▶ ワイパーレバーを最初の位置にまで動かします。

2 フロントワイパー低速

▶ ワイパーレバーを2番目の位置にまで動かします。

3 フロントワイパー高速

▶ ワイパーレバーを3番目の位置にまで動かします。

4 フロントワイパーのワンタッチ機能

▶ ワイパーレバーを押し下げます。
フロントワイパーがワイプサイクルを1回実施します。

5 フロントワイパー / ウォッシャーシステム

- ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールの方向に引いてください。
ワイパーレバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。
イグニッションを ON にした後、フロントウィンドウウォッシャーシステムが初めて作動するとき、および10回作動するごとに、ナイトビューアシストカメラが自動的に清掃されます。

① インフォメーション

- ▶ フロントウィンドウが非常に汚れている場合は、洗浄プロセスを繰り返します。
- ▶ 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

フロントウィンドウワイパーブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

▶ 269ページの「ワイパーブレードのお手入れ」の章を参照してください。

ワイパー作動間隔の設定



図 157: レインセンサー / 間欠作動の切り替えスイッチ A

レインセンサー非装備車では、フロントウィンドウワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパーの作動間隔を短くする

- ▶ スイッチ A を上方向に押してください。
 - ➔ フロントウィンドウワイパーが1回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチ A を下方向に押してください。

レインセンサー作動の調節

レインセンサー装備車の場合、フロントウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔を自動調節します。

フロント ウィンドウ ワイパーを ON にしているときに速度が約 4 km/h 以下になると、レイン センサーが自動的に作動します。

速度が約 8 km/h を超えると、システムが設定したワイパー作動に切り替わります。

① インフォメーション

- ▶ イグニッションを ON にしたとき、ワイパーレバーがすでに **1** の位置にあった場合、速度が 4 km/h を超えるまでレイン センサーは作動しません。
- ▶ イグニッションを ON にしたときに、すでにワイパーレバーが **2** または **3** の位置にある場合、フロント ウィンドウ ワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

② インフォメーション

ラゲッジ コンパートメント リッドを開くとワイパーが停止します。

- ▶ 再度ワイパーを ON にするには、フロント ワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レイン センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます：

1. スイッチ **A** を上向きに押す - **高感度**
 - ➔ フロント ウィンドウ ワイパーが 1 回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。
2. スイッチ **A** を下向きに押す - **低感度**

リヤ ワイパーの操作



図. 158: リヤワイパー用のボタン A

リヤ ワイパーの間欠作動を ON にする

- ▶ ボタン **A** を押してください。

リヤ ワイパーの間欠作動を OFF にする

- ▶ ボタン **A** を押してください。

リバース機能を ON にする

フロント ウィンドウ ワイパーが作動しているときにリバース (後退) ギヤを選択すると、リヤワイパーが自動的に数回作動します。PCM でこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

- ▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

ワイパー ブレード

情報

ワイパー アームを誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻すと、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。

情報

ワイパー ブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

ワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

⚠ 注意

正しく取り付けられていないワイパー ブレード

ワイパー ブレードが適切に交換されていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

フロントウィンドウワイパーブレードの交換

ワイパーの展開

- ✓ イグニッションを OFF にする
- 1. ワイパーレバーを1回押し下げてください (位置4)。
 - ➡ フロントウィンドウワイパーが上方に約90°移動します。
- 2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパーブレードを交換してください。ワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーの格納

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ▶ ワイパーレバーを約2秒間押し下げます (位置4)。
 - ➡ フロントウィンドウワイパーが通常位置に戻ります。

① インフォメーション

必要な場合は、ボルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

レーンキープアシスト

一般的な安全に関する指示

レーンキープアシストは一部の国でのみ利用可能です。

▲ 警告 集中力の低下

ドライバーは走行中、レーンキープアシストが有効な場合であっても、意識的に走行車線内に留まるなど、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ システムは車両を走行車線に留めるよう、システムの性能範囲内でドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。常にステアリングホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。インストールメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。
- ▶ ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が発動しない、または発動が制限されることがあります。
- ▶ 車線区分線が一部検出されない場合もあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。

- ▶ 道路構造物や路上の物体などが、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。
- ▶ わだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。これらの状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。

▲ 警告 レーンキープアシストの誤った使用

- ▶ 以下の状況では、レーンキープアシストを決して使用しないでください。
 - 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
 - スポーツ走行中。
 - 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)。
 - 道路状況 (悪路、道路のくぼみ、汚れている路面を含む) が悪い場合。
 - 道路工事区間。
 - 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合。
 - 市街地での走行。
 - カーブの多い道および細い郊外の道での走行。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリングホイールには物を取り付けしないでください。

▲ 警告

車線を検出するカメラの不良

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。特に、カメラがレーンマーカを認識できない、または正しく認識しない場合があります。それによって、ステアリング操作ができなかったり、あるいは不意の介入が行われるおそれがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

i インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店で整備をお受けください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▲ 警告

ステアリング介入による補正なし

急カーブでレーンキープアシストが作動している場合、ステアリング介入機能による補正だけでは車線を維持できません。カーブの前または途中でレーンキープアシストが自動的に停止して、ステアリング介入が行われないということも起こり得ます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

i インフォメーション

レーンキープアシストがONの場合、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリング操作が行われていないことが検知され、車両が車線から何度かそれかけた場合には、インストルメントパネルから音と視覚による警告が行われ、ドライバーにステアリング操作を行うよう促します。

ドライバーがこれに反応しない場合、レーンキープアシストは停止モードに切り替わります [ステータスディスプレイを参照]。ドライバーがステアリングを操作することで、レーンキープアシストは再びONになります。

レーンキープアシストによる介入が長時間必要になった場合には、インストルメントパネルから音と視覚による警告が行われ、ドライバーに車両を車線の中央の位置に合わせるように促します。

システム制限

▲ 警告

物理的な限界とシステム制限

状況によっては、システムが車線を適切に検出できず、ステアリング介入による補正が不十分で車両を車線内に維持できなかったり、機能ステータスが操作中から停止中に突然変わったりすることがあります。事故を起こす恐れがあります!

- ▶ これらの状況ではシステムを使用しないでください。

以下のような状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
- 道路状況 (悪路、道路のくぼみ、汚れている路面を含む) が悪い場合。
- 道路工事区間の近く
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い道での走行

▲ 警告

カメラの視界の低下

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。その他の道路構造物や障害物なども、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

システムの使用には制限があります

以下の状況では、システムが停止状態になる場合があります。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行している。
- 現在のレーンの車線区分線が検出されない (例：降雪、土砂、濡れた状態、前方車両との距離が近いなどの条件が発生した場合)
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できない。
- カーブの半径が小さすぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。

- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われている。
- 方向指示灯が操作中。
- システムにより、ドライバーがステアリングホイールを握っていないことが検出された。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理



図. 159: フロントウィンドウカメラ

レーンキープアシストは、ドライバーが車両を車線内に維持するのをアシストする機能です。そのために、システムはフロントカメラ (A[図. 159]) を使用し、車線区分線に基づいて前方の道路のコースを検出します。さらに、車両が検出された車線区分線に接近して車線を逸脱する危険がある場合、ステアリング補正介入を開始して車両を車線内に維持します。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にできます。

方向指示灯を使用せずに車両が車線区分線を横切る場合、システムがドライバーに警告音を発するよう設定することができます。このためには、セントラルディスプレイで警告音を有効にする必要があります。車線変

更前にドライバーが方向指示灯を使用すれば、システムは警告やステアリング補正を行いません。こうした状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での走行を想定して設計されており、約 65 km/h – 250 km/h の速度範囲で作動します。

レーンチェンジアシスト装備車

車両がレーンチェンジアシストを装備している場合、危険な状況の可能性のある車線変更を行おうとすると、作動しているシステムがステアリング補正介入を行ってドライバーに警告します。該当する方向に方向指示灯を出す場合も、ステアリング介入が行われます。ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (作動している場合)。

ステアリングが操作されない場合の挙動

レーンキープアシストが ON で有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合 (ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じず操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。

レーンキープアシストの呼び出しおよび読み取り



図. 160: 速度 & アシスト ディスプレイ

- A レーンキープアシスト表示
- B 車線区分線の表示
- C ステータス表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車

速度 & アシスタンス ディスプレイのメインメニュー ASSIST に、車線区分線 B (図. 160) およびステータス ディスプレイ C (図. 160) が表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータス ディスプレイ C (図. 160) にのみ表示されます。

システム ステータスの読み方

表はレーンキープアシストのシステム ステータスおよびインストルメント パネルにおけるその表示を示します。

レーンキープアシスト表示	ステータス表示	意味
表示なし	表示なし	レーンキープアシストが OFF になっています。
		レーンキープアシストは ON になっていますが、停止しています。
		レーンキープアシストは両側とも ON で作動しています。
		車線区分線は片側でも検出されます。
		レーンキープアシストは、ステアリング介入による補正を実施します (右の例を参照)。

① インフォメーション

システムが ON であっても停止モードである場合、下記のような原因が考えられます。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行している。
- 自車の車線のレーン マーカーが認識できない (例えば、積雪、汚れ、降雨、反射光、または先行車により)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できない。
- カーブの半径が小さすぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。
- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われている。
- 方向指示灯が作動中。
- システムにより、ドライバーがステアリング ホイールを握っていないことが検出された。

警告シンボルへの対応

故障発生時の作動停止：システム エラーが発生した場合、レーンキープアシストは自動的にスイッチ OFF になります。インジケータ ライトが消灯し、メッセージが表示されます。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

表示部と制御部

レーンキープアシストの ON/OFF

レーンキープアシストは、PCM でオンとオフを切り替えることができます

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ レーンキープアシストアシスト

警告音の設定

警告音は ON と OFF に切り替えることができます。警告音の音量も選択できます。

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ 車線逸脱警告

レーンチェンジアシスト (LCA)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

集中力の低下

レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

▲ 警告

レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

▲ 警告

車両が検出されない

- ▶ 次のような状況では、タイミングよく車両を検出できない場合があります。
 - 車両が後方から高速で接近する場合や車両が後ろに遠ざかる場合、車両の動きを検知できません。
 - レーンチェンジアシストは、急カーブでは車両を検出できません。
 - レーンチェンジアシストは約 15 km/h 以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
 - リヤターンアシストでは、車両と動いている物体、あるいは車両と静止している物体との間の速度差が小さい場合、据え付けられている物体（例：金属柱）が警告を作動させたり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。
 - リヤターンアシストは発進時に作動します。したがって、すでに移動するか発進している車両を検出しなかったり、遅れて検出したりする場合があります。すぐ真横の車両も、センサーの検出エリア外にあるために検出されないことがあります。
 - リヤ衝突警告は、交差車両、断面が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。
 - 脇道に入ろうとする場合など、車両が走行レーンの方向を向いておらず、走行レーンに対して斜めまたは直角になっている場合、接近する車両をセンサーで検出することはできません。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

システム制限

- システムは車速が約 15 km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- 15 km/h 以下の速度で、リヤターンアシストがドライバーをサポートします。ただし、方向指示灯が作動している車両の側に対して発進時のみ作動します。
- 約 20 km/h までリヤターンアシストは有効になります。
- レーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーンチェンジアシストとリヤターンアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは、車両以外の他の障害物(高いまたは隆起した中央分離帯など)を検出する場合があります。
- このディスプレイはドライバーがドアミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

① インフォメーション

例えば、レーダーセンサーの位置が事故によって変わった場合などは、レーンチェンジアシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部をステッカーなどで覆わないでください。また、この周囲から汚れや雪、氷を取り除いてください。
- ▶ ドアミラーの警告インジケーターを(ステッカーまたは接着式の死角ミラーなどで)覆わないでください。
- ▶ バンパーに上塗りすると、塗料の厚みが増すことにより、センサーの反応が悪くなる可能性があります。新しい塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。



図. 161: リヤバンパーのレーダーセンサー

作動原理

リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、レーンチェンジアシストは、検出した車両と自車との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方 70 m までの範囲(アプローチゾーン)および死角を監視しています。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラーに表示されます。車両の右側および左側に個別に表示されます。例えば、左ドアミラーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり(速度差約 15 km/h 未満)と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

発進直後は、レーンチェンジアシストの速度範囲には達しません。速度範囲に達するまで、ドライバーはリヤターンアシストによりサポートされます。

方向指示灯が作動すると、リヤターンアシストは車両の側方および後方の物体を検出しますが、インジケーターが作動している側に対してのみ作動します。危険の可能性を検知すると、ドアミラーの各警告インジケーターが点灯します。自車の計算された運転経路が、インジケーターが作動した車両側で検出された車両の経路を横切る場合、ドアミラーの該当する警告インジケーターが明るく、短く数回点滅します。

① インフォメーション

レーダーセンサーは左右の隣接する車線を検出します。他の車線は検出しません。

情報および警告ステージ

方向指示灯が設定されたかに応じて、レーンチェンジアシストには適切に作動する2つのインジケータレベルがあります。

情報ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、車線変更する場合に検出した車両が危険であると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドアミラーの警告インジケータが弱い光で点灯します。

警告ステージ

方向指示灯がONで、その側でレーンチェンジアシストが危険とみなす車両を検出した場合、その側のドアミラーの警告インジケータが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

表示要素

レーンチェンジアシストは、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラーに一体化されている警告インジケータAが直ちに点灯します。

脇道に入る状況でレーンチェンジアシスト作動範囲を下回る速度で走行している場合、追加のリアターンアシストも車両の後方を監視することでドライバーをサポートします。リアターンアシストとレーンチェンジアシストは常に自動でスタンバイ状態に切り替わりま



図. 162: ドアミラーの警告インジケータA

① インフォメーション

- 車両の接近が高速であるほど、ドアミラーの警告インジケータは早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも死角に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラーの警告インジケータがまだ作動していなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。
- その他のアシスタンスシステム装備車で、インジケータがONでない場合でもドアミラーの方向指示器が数回短く点滅する場合があります。車両が走行している車線から隣の車線へそれているのをレーンキープアシストが検出する場合、レーンチェンジアシストは短く明るく数回点滅することにより危険な状況が発生する可能性があることを知らせます。

レーンチェンジアシストのON/OFF

レーンチェンジアシスタントは、PCMでオンとオフを切り替えることができます

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ レーンチェンジアシスト
 - ▶ レーンチェンジアシストが有効な場合、イグニッションをONにするとドアミラーのインジケータが短く点灯します。

レーンチェンジアシスト画面の明るさの設定

情報と警告の画面の明るさは、どちらも周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。ドアミラーの警告インジケータの基本的な明るさも調節可能です。

- ▶ ▶ アシスタンス... ▶ アシスト走行の設定
 - ▶ レーンチェンジアシスト ▶ LEDの明るさ

運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストおよびリアターンアシストの警告インジケータを、運転状況に応じて以下に説明します。

急速に接近する車両

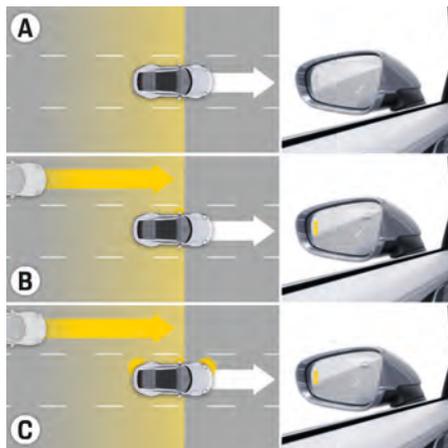


図. 163: 急速に接近する車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
センサーは車両を検出しません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する
高速で接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、既に車速変更を行うには危険であると判断されます。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

ゆっくりと接近する車両

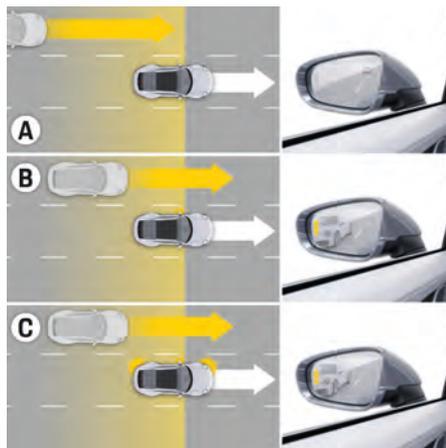


図. 164: ゆっくりと接近する車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
ゆっくりと接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。速度差が小さくて車間距離が大きいため、ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する
車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。レーンチェンジアシストが速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合、ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも死角に入るまでにドライバーに警告されます。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

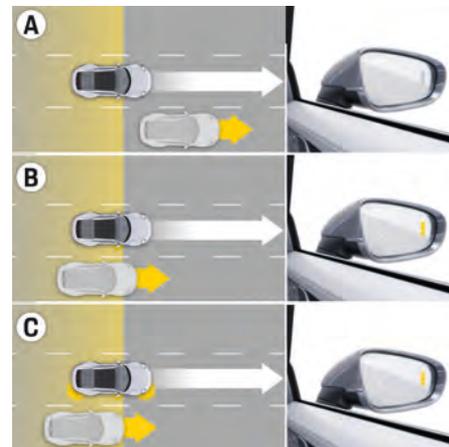


図. 165: ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない
追い越される車両はまだ検出されません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する
ゆっくりと後方へ遠ざかる右側の車両 (速度差約 -15 km/h - 未満、例では右側車線) を検出しました。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

急速に後ろに遠ざかる車両

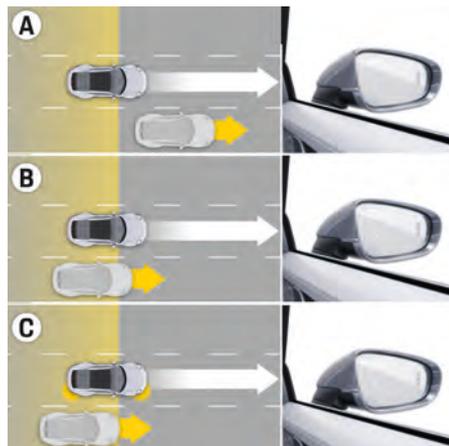


図. 166: 急速に後ろに遠ざかる車両

A - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

追い越される車両はまだ検出されません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。

B - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

急速に後方に遠ざかる右側の車両 (速度差約 -15 km/h 以上、例では右側車線) を検出しましたが、急速に後ろに遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。

C - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケータは作動しません。

車両が脇道に入る

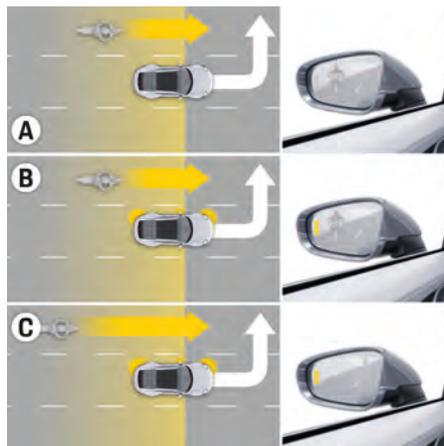


図. 167: 車両が脇道に入る

A - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない

方向指示灯が ON にならなかったため、脇道に入った後にリヤターンアシストは作動しておらず、死角のバイクは検出されません。同様に、高速で接近する車両が検出されない場合があります。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。

B - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

運転状況 A で該当する方向指示灯のスイッチを ON にした場合、ドアミラーの警告インジケータが点灯します。リヤターンアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

C - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 B の場合、ドライバーは脇道に入るために片側へステアリング操作を行った結果、検出された車両の計算された運転経路を横切ることになり、ドアミラー

の警告インジケータが数回明るく点滅し、点灯します。これにより、見落とした可能性のある車両との衝突の可能性を警告します。

コーナリング

コーナリング時に、レーンチェンジアシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケータを点灯することがあります。

レーンチェンジアシストは急カーブ上では車両を検出できません。

- ▶ レーンの幅が異なるカーブを走行するときは十分に注意してください。

車線幅

狭い車線を走行する場合、検出範囲にはより多くの車線が含まれます (特に車線の端を走行している場合)。このような状況では2つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーンチェンジアシストが情報ステージまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、とても幅広い車線を走行している場合、隣接車線の車両が検出範囲外にあるために検出されないことがあります。

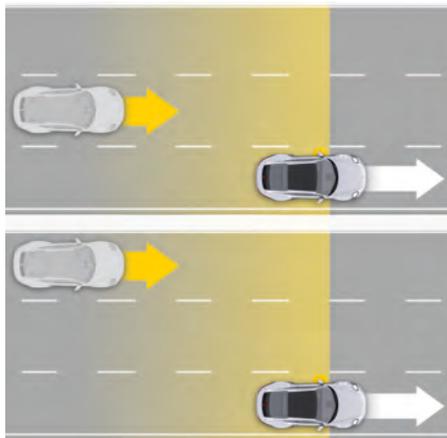


図. 168: 車線幅および検出範囲

クルーズコントロール 一般的な安全に関する指示



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など) ではクルーズコントロールを使用しないでください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

クルーズコントロールを使用すると、約 30 km/h – 240 km/h の範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

① インフォメーション

- 対象：PDK 装備車：アクティブダウンシフト機能とアクティブブレーキ介入機能は、(特に下り坂などで) 設定速度を維持するため、自動的に作動しません。
- 対象：マニュアルトランスミッション装備車：ギヤチェンジ中にクラッチペダルを踏み込んでクルーズコントロールは中断されません。

表示部と制御部 各操作部



図. 169: ドライバー アシスタンス システムのコントロールレバー

- R** ドライバー アシスタンス システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く
- S** オプションメニューを開く (ドライバー アシスタンス システムが ON になっている場合)
- 1** 設定速度の設定 / 加速
- 2** 設定速度の引き下げ
- 3** 再開：制御の再開
- 4** 中断：制御のキャンセル

① インフォメーション

装備によっては、レバーのボタン **S** とオプションメニューを利用できます。

ディスプレイ

ステータス表示シンボル

記号	意味
	クルーズコントロールが停止中です。
	クルーズコントロールが停止中です。コントロールがキャンセルされ、目標速度が表示されません。
	クルーズコントロールは、設定目標速度で有効になります。

クルーズコントロールのON/OFFの切り替え

常に、前回選択されたシステムがONになります。ONになった時点では、システムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

クルーズコントロールをONにする

- ✓ コントロールレバーにSボタンがない車両
 - ▶ レバーの**R**ボタンを押してください。
 - ➡ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。
- ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

- ✓ コントロールレバーに**S**ボタンがある車両
 - ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだONになっていません。
 1. レバーの**R**ボタンを押してください。
 - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
 2. クルーズコントロールがまだ選択されていない場合は、ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して、**GRA**を選択し、ボタンを押して確定します。
 - ➡ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。
- ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

すでに有効化されたドライバーアシスタンスシステムからACCへの切り替え

1. レバーの**S**ボタンを押します。
 - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
 2. ステアリングホイールのロータリーノブを使用して**クルーズコントロール**を選択し、ノブを押して確定します。
 - ➡ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ**停止中**になります。
- ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

インフォメーション

作動したドライバーアシスタンスシステムは、イグニッションをOFFにして再度ONにした後でも、再び作動します。

クルーズコントロールをOFFにする

- ▶ レバーの**R**ボタンを押してください。
 - ➡ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

クルーズコントロールの作動

- ✓ クルーズコントロールがONになっています。
- ✓ 速度が30 km/hを超えています。
 1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
 2. レバーを前方(1の位置)に短く押します。
 - ➡ クルーズコントロールが**作動**します。
- ➡ 現在の速度はステータスディスプレイに緑色で表示され、自動的に維持されます。

クルーズコントロールの使用

目標速度の変更

- 目標速度は、コントロールレバーを押すことで調整できます。
- ✓ クルーズコントロールが作動しています。

速度を上げる

- ▶ コントロールレバーを前方(位置1)に押します。
 - 短く押す = 1 km/h 単位
 - 押し続ける = 10 km/h 単位で速くなる

速度を下げる

- ▶ コントロールレバーを引きます(位置2)。
 - 短く引く = 1 km/h 単位
 - 引き続ける = 10 km/h 単位で遅くなる
- ➡ 新しく設定した速度がインストルメントクラスターに表示されます。

① インフォメーション

アクセルペダルを使用して加速することができます。こうしても保存された値は変更されません。アクセルペダルから足を離すと、保存された値はリセットされます。

クルーズコントロールのキャンセル - キャンセル

クルーズコントロールを停止するとスタンバイモードに切り替わります。手動で再度作動されるまで、スタンバイ状態のままになります。

- ▶ コントロールレバーを下方 (位置 4、CANCEL) に押します。
 - または -
 - ブレーキペダルを踏みます
 - または -
 - クラッチペダルを約 7 秒以上踏み続けます (マニュアルトランスミッション装備車)。
 - または -
 - セレクターレバーを作動モード **N** にします (PDK 装備車)。
- ➡ クルーズコントロールが停止中です。目標速度の設定値は保存されたままです。ステータスディスプレイが緑色からグレーに変わります。

次のような状況では、クルーズコントロールは自動的にキャンセルされます。

- 車両が設定速度を超える速度、または設定速度未満の速度で一定時間走行している。
- ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) が有効。

クルーズコントロールの再開 - RESUME

- ▶ コントロールレバーを上方 (位置 3、RESUME) に押します。
 - ➡ クルーズコントロールは、設定速度になるまで加速するかブレーキをかけます。

警告およびブレーキアシスト

システム制限

システムの限界内で、システムは正面衝突しそうな場合に警告を発し、適切なブレーキ操作を開始することが可能です。すべての露道使用者および危険な状況を正確に素早く認識できるわけではありません。

車両の横および後方は監視されていません。

複雑な走行状況では、システムが不適切な警告を発したり、不必要なブレーキ介入を行う可能性があります。

危険な状態に応じて、すべての警告とブレーキアシストの保護措置を起動できるわけではありません。

このシステムは歩行ペースから利用でき、時速 85 km までの速度で歩行者や自転車に反応することができます。速度が時速 250 km まで反応できます。

このシステムは、動物、交差する車両、およびポール、フェンス、鉄道車両などの物体には**反応しません**。

この機能は無効です

- 逆転するとき
- ...ブレーキライトが故障している場合
- PSM に障害が発生か PSM がオフになっている場合。
- エアバッグコントロールユニットが過失がある場合

次の場合は、機能は制限されるか、無効になる可能性があります。

- イグニッションを ON にしてから、10 秒後まで。
- 乗員がシートベルトを着用していない場合
- 急カーブで
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物がある場合
- 大雨、降雪、霧、着氷の場合。

- フロントウィンドウが損傷を受けた場合。
- フロントウィンドウが非常に汚れている場合（フロントカメラの見地）。
- バンパーがパーキング分路などにより破損される場合
- レーダーセンサーが損傷しているか汚れている場合
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) が故障している場合

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

警告およびブレーキアシスト (WBA) は、特定の危険な状況で、乗員および他の通行者を保護するための措置を開始できます。

警告およびブレーキアシスト (WBA) には、国によって次の機能が含まれます：

- 距離警告 (装備仕様により異なる)
- 衝突警告
- ブレーキ時の振動
- 自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス
- 予防的乗員保護機能 (装備仕様により異なる)

フロントウィンドウの後ろのカメラとアダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサー (装備によって異なる) は、車両前方のエリアをスキャンします。他の道路利用者 (車両、歩行者、自転車) と正面衝突しそうな状況を検出できます。

① インフォメーション

- ▶ 特に、走行、車間距離、速度などに関して、該当する国固有の規制を遵守してください。ドライバーは常に、各国で適用される関連規制を遵守する責任があります。
- ▶ 警告およびブレーキアシストを OFF にするための指示に従ってください。
- ▶ 機能設定に関する情報を遵守してください。

▶ 162 ページの「警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える」の章を参照してください。

▶ 163 ページの「警告およびブレーキアシスト機能の設定」の章を参照してください。

距離警告¹

警告およびブレーキアシスタントが、近づきすぎて安全に危険があることを検出した場合、ドライバーは  インストルメントパネルでの表示によって警告されません。

速度が約 65 km/h - 250 km/h の場合に検知できます。

衝突警告¹



図 170: インストルメントパネルの衝突警告

システムが衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメントパネルに警告を表示してドライバーに注意を促します。

ブレーキ時の振動¹

ドライバーが衝突警告に反応しない場合、警告音およびインストルメントパネルのシンボルの表示に加えて、振動による警告が発生します。振動による警告により、システムはドライバーの注意を喚起し、衝突の危険が高まっていることを知らせます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。

1. 一部の国で利用可能です。

自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス¹

ドライバーがブレーキ時の振動に反応しない、またはブレーキを十分にかけしていない場合、警告およびブレーキアシストは徐々にブレーキを強めていき、ドライバーのブレーキングをサポートしたり、車両を停止させることができます。

さらに、警告音が発せられ、インストルメントパネルにシンボルマークが表示されます。車両を減速させることにより、事故の被害を軽減することができます。

インフォメーション

自動ブレーキ介入は、次のようにキャンセルできます。

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。
- ▶ 積極的にステアリング操作します。

インフォメーション

車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- ▶ 必要であれば、ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

予防的乗員保護機能

シートベルトシステム最適化

発進すると、フロントシートベルトは徐々に締め付けられます。

ドライブスピードが約 30 km/h に達するか、シートベルトを再度締めるこの機能が作動します。

シートベルトおよび車内のプレコンディショニング

危険な状態になると、予防的乗員保護システムの効果を高めるために、衝突に備える保護措置が開始されます。そのため、状況に合わせてフロントのシートベルトの張力調整が行われたり、ウィンドウを開いて (装置によっては) サルーフが閉じられたり、(装置によっては) フロントシートの両側のボルスターが膨らまされたりします。

次の状況において、システムの制限内で予防的乗員保護措置を作動できます。

- ドライバーによる約 30 km/h の速度からの緊急停止中
- 車両による自動ブレーキ介入の作動中

衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シートベルト張力はもう一度緩められます。

システム制限

- 繰り返し作動により (例えば、安全運転トレーニングにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。この場合、シートベルトを外して再度着用するか、警告およびブレーキアシストを無効にします。
- リパーシブルシートベルト プリテンショナーが故障している場合、予防的乗員保護機能は限られた範囲でのみ使用可能です。
- 事故後、シートベルト プリテンショナーは損傷している可能性があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニング

を受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- PSM の機能が制限されているか OFF になっていると、警告およびブレーキアシストの予防的乗員保護機能も無効になります。

警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える

情報

- ▶ 次の状況では、警告およびブレーキアシストを OFF にしてください。
 - 公道以外を走行する場合。
 - 復旧車両、車両輸送専用車、電車、船舶などの輸送中。
 - 車両をけん引するとき。

▶ アシスタンス ▶ ベーシックアシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト

- ◆ 警告およびブレーキアシストが制限されているか OFF になっている場合、それを示すアイコンがインストルメントクラスターに表示されます。

▶ 164 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

インフォメーション

この機能は、イグニッションが ON になると自動的に作動します。

1. 一部の国で利用可能です。

警告およびブレーキ アシスト機能の設定

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ベーシック アシスタンス
 - ▶ 警告およびブレーキ アシスト ▶ 距離警告

以下の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

- **距離警告**
警告時間も設定できます。
- **衝突警告**
警告時間も設定できます。

表示および入力

インストルメント パネル

インストルメント パネルの概要

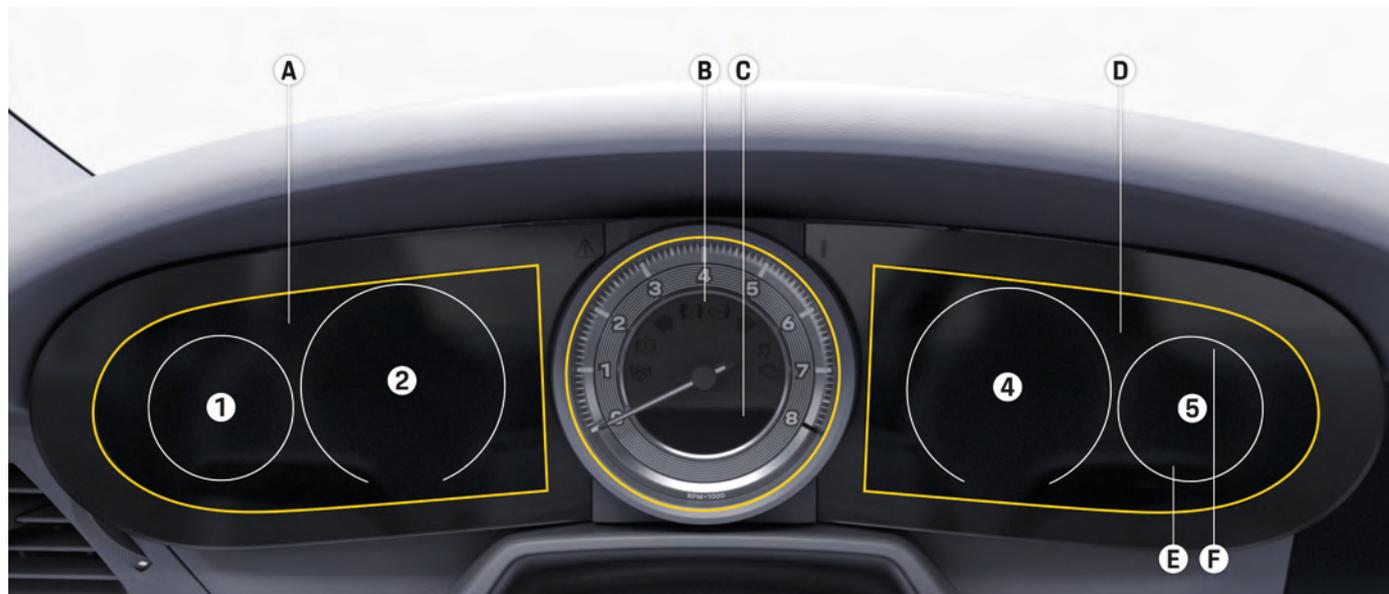


図. 171: インストルメント パネル

A-速度 & アシスト画面

時刻、外気温度、速度、ナビゲーションおよびアシスタンスシステムに関する情報は、チューブ1と2に表示されます。

速度&アシスト表示の設定:

▷ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

B-タコメーター(回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C-デジタルスピードメーター

速度、セレクターレバーの位置および締結ギヤに関する情報は、デジタルスピードメーターに表示されています。

D-車両 & 情報画面

走行プログラム、車両ステータス、ナビゲーション、アシスタンスシステム、およびドライバーアシスタンスに関する情報は、チューブ4と5に表示されます。

車両 & 情報画面の設定:

▷ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

E-燃料計

情報

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

車体の傾きが変化する場合（上り坂や下り坂の走行など）、表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、残燃料低下警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
 - ▶ 297 ページの「補給」の章を参照してください。

フィルターフラップ位置の表示



矢印は車両のフィルターフラップの付いている側面を示しています。

F-クーラント温度計

情報

クーラント温度が高すぎるとエンジンが損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。警告灯  が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

バーが左部分にあるとき - エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

バーが中央部分にあるとき - 通常の作動温度

- ▶ 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッドゾーンを示すことがあります。

バーがレッドゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

- ▶ クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。
 - ▶ 259 ページの「クーラント」の章を参照してください。

F-ブースト圧表示

車両の装備仕様により、ブースト圧はディスプレイに表示されます。

インストルメントパネルの操作

警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメントパネルは、イグニッションがONのときのみ有効です。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

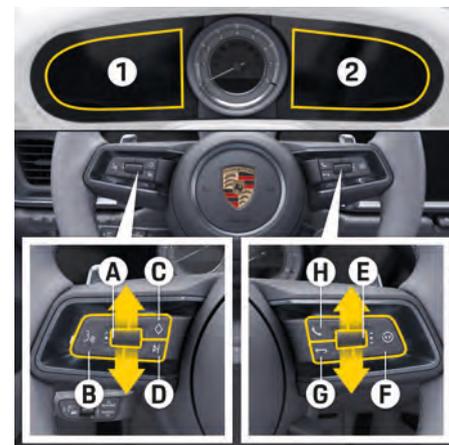


図 172: マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントパネルの操作

A-音量の調節またはオーディオソースのミュート

- ▶ 音量調節：ロータリーノブ A (図. 172) を上方向または下方向に回します。
- ▶ ミュート：ロータリーノブ A (図. 172) を押しします。

B-ボイスコントロールの呼び出し

- ▶ ボタン B (図. 172) を押しします。

C-ショートカット ボタンを割り当てる

ショートカット ボタンを割り当てる

- ▶ ボタン C (図. 172) (◇ ボタン)。ステアリングホイールのボタンおよびスイッチパネルのボタンは個別に割り当てることができます。
 - ▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

D-次の放送局 / トラックを再生する

- ▶ ボタン D (図. 172) を押ししてください。

スピード & アシスタンス 1 展示および車両 & 情報 2 の展示 E-メニューおよび機能をスクロールし、選択します

- ▶ スクロール：ロータリーノブ E (図. 172) を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択 / 入力：ロータリーノブ E (図. 172) を押しします。

スピード & アシスト 1 展示と車両 & 情報 2 展示の作動の間にある F-を切り替える

- ▶ ボタン F (図. 172) を押しします。

G-展示での 1 つ以上前の選択レベルへの移動

- ▶ ボタン G (図. 172) を押しします。

H-着信を受ける

- ▶ ボタン H (図. 172) を押しします。

オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボルマークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

複数のオプションから 1 つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

機能の有効化および無効化

- 機能は作動しています。
- 機能が無効になりました

インストルメント パネルでの調整ビュー

押して、長押しして、移動させると、車両情報が異なる 4 つのフィールドに入力できるようになります。車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ インストルメント
パネル ▶ 情報表示設定

次に、インストルメント パネルのカスタマイズ ビューを選択できます。

- ▶ 車両 ▶ 表示 ▶ カスタム

インストールメントパネルの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

すべての機能に関する詳細がこの取扱説明書で説明されているわけではありません。例は機能を明確に説明し、メニュー構成を説明するために記載されています。最初のレベルでは、ロータリーノブを上下に回してメニューを表示します。2番目のレベルでは、ロータリーノブを押してメニューをスクロールします。バックボタンを押して、2番目のレベルを終了し、表示内容を表示します。



図. 173: インストールメントパネルの表示項目

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
1	▶ 時刻、外気温度、日付	デジタルまたはアナログ時計、外気温度、および日付を表示します。表示の選択は、PCM から設定できます。	▶ P. 211
1	▶ コンパス	コンパスを表示します。	–
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	–
2	▶ 走行距離および区間走行距離	オドメーター (積算距離計) およびトリップメーターを表示します。トリップメーターは、9,999 km を超えた後、「0」に戻ります。 トリップメーターをリセットする ▶ マルチファンクションステアリングホイールの右ロータリーノブ E (P. 165) 長押ししてください。トリップメーターが点滅します。3回の点滅後、トリップメーターは「0」に戻ります。	–
2	▶ アシスタンススクリーン	アダプティブクルーズコントロール (ACC) を調節および表示します。	▶ P. 96

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
		レーンチェンジアシストを表示します。	▷ P. 153
		レーンキープアシストを表示します。	▷ P. 149
		クルーズコントロールを表示します。	▷ P. 158
2	▶ ナビ	ナビゲーション情報 (分岐メッセージなど) を表示します。	▷ P. 219
4	▶ 電話	接続した電話を使用します。	▷ P. 232
4	▶ 車両	車両情報 (情報、メッセージ、サービスインターバル、給油レベル) を表示します。	▷ P. 170
4	▶ トリップ	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	▷ P. 167
4:3	▶ マップ	地図画面を表示および調整します。	▷ P. 219
4	▶ スポーツクロノ	ストップウォッチで時間を計測します。	▷ P. 229
4	▶ G-Force	現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	—
4	▶ 駆動力分配	フロントアクスルとリアアクスルの間の現在のトルク配分を棒グラフ形式で表示します。	—
4	▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧モニタリングシステムを表示します。	▷ P. 273
4	▶ ナイトビューアシスト	熱画像検出機能付きのナイトビューアシストを表示します。	▷ P. 136
4	▶ 実行	出力とトルクを表示します。	—

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
4	▶ ギヤシフトアシスト	パフォーマンスを重視した走行のためのギヤシフトアシストを表示します。	▶ P. 124
4	▶ メディア	現在のメディア (ラジオなど) を表示します。	▶ P. 216
4	▶ 走行プログラム	選択した走行プログラムを表示します。	▶ P. 117
4	▶ 簡略表示	縮小表示にします。 マルチファンクションステアリングホイールの右スポークにある  ボタンでクラシックビューに切り替えることができます。	-
5	▶ 燃料計と走行可能距離	燃料計と走行可能距離を表示します。	-
5	▶ 水温計	水温計を表示します。	-
5	▶ 目的地までのキロメートル	目的地までのキロメートルを表示します (ルート案内中)。	-

ギヤシフトアシストによる走行



図. 174: ギヤシフトアシスト/ギヤのシフトアップの例

- ✓ マニュアルトランスミッション装備車
- ▶ ギヤシフトアシスト

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップインジケータが表示されます。ギヤシフトアシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加にしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

すべてのセグメントが赤になると、+ 記号が現在のギヤの横に表示され、次のギヤへのシフトアップを促します。

速度警告を伴うカスタム速度制限の設定

PCM で、速度警告を伴うカスタム速度制限を設定し有効にすると、制限を超えた場合に警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、装着しているタイヤの種類に許容される最高速度を守るために、ドライバーに注意を喚起する場合などに利用できます。

PCMでカスタム速度制限を選択する

1.  ▶ **設定**  ▶ **アシスト走行** ▶ **カスタム速度制限**

2. **制限 1** か **制限 2** を選択します。

速度を調整するには、 を選択して希望の速度を設定してください。

➔ 速度制限が有効になっているときは、インストールメントパネルの速度 & アシスト画面に選択されている速度が赤のマーカーで表示されます。

- 速度制限が作動しています。
 制限速度は無効です。

車両情報の表示

さまざまな車両情報の表示

▶ **車両** ▶ **表示** ▶ **車両**

メッセージの表示

▶ **車両** ▶ **通知**

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のエリアに表示される警告メッセージは、未解決の重要な警告メッセージの数を示します。

サービスインターバルの表示

▶ **車両** ▶ **サービス**

任意のサービスインターバルを選択します。

次のサービス時期が表示されます。

どらいびんぐでーたのひょうじ(とりっぷじょうほう)

ドライビングデータの表示

PCM とインストールメントパネルには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータを表示することができます。

PCM とインストールメントパネルの操作に関する情報：

▶ 165 ページの「インストールメント パネルの操作」の章を参照してください。

▶ 179 ページの「PCM の操作」の章を参照してください。

インストールメント クラスターの走行データの表示

車両 & 情報画面にドライビングデータを表示

1. **[トリップ]**メニューを選択します。
2. リストから表示内容を選択します。

トリップデータのリセット

1. **トリップ** ▶ **リセット**
2. リストから表示内容を選択します。

PCMにドライビングデータを表示

トリップデータの表示

1.  ▶ **車両**  ▶ **トリップ** を選択します。
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

トリップ設定をカスタマイズする

1.  ▶ **車両**  ▶ **トリップ** ▶ ... ▶ **トリップのカスタマイズ**
2. 長押しして移動させることで、各種ドライビングデータを4つのフィールドに割り当てることができます。走行データの1つの項目を複数のフィールドに割り当ててはできません。

トリップデータのリセット

- ▶  ▶ **車両**  ▶ **トリップ** ▶ ... ▶ **トリップデータをリセットする**

警告灯およびインジケーター ライト

情報

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください：

- ▶ エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する。
- ▶ ボルシェ社ではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両の装備に応じて、次の警告灯とインジケーターライトが表示されます。

 **ハイビームのインジケーターライト**
 ハイビームヘッドライトがONになっています。
 ▶ 128 ページの「ライト」の章を参照してください。

 **ダイナミックハイビームインジケーターライト**
 ダイナミックハイビームがONになっています。
 交通状況に応じて自動的にハイビームヘッドライトのONとOFFが切り替わります。
 ▶ 128 ページの「ライト」の章を参照してください。

 **ロービームインジケーターライト**
 ロービームヘッドライトがONになっています。



リヤフォグライト インジケータライト
リヤフォグライトがONになっています。

▶ 128 ページの「ライト」の章を参照してください。



ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 警告灯

ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)機能が故障しています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店に修理を依頼してください。¹



ライト警告灯

車両のライトが故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹



クーラント温度の警告灯

クーラント温度が高過ぎます。

- ▶ 安全な場所に交通規則に応じて停車し、運転を続けしないでください。
 - ▶ エンジンを OFF にして冷やしてください。
 - ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。クーラント レベルを点検してください。
 - ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
- ▶ 259 ページの「クーラント」の章を参照してください。



エンジン制御システム警告灯

車両の走行システムまたは充電システムに重大な不具合が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ 運転を続けしないでください。安全な場所に交通規則に応じて停車してください。エンジンを止めてください
- ▶ ロードサイド アシスタンスに連絡で、必要であれば車両をけん引して移動してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹



エンジンコントロール システム警告灯

車両の走行システムまたは充電システムに不具合が検出されました。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹



距離警告灯

前方車両に接近しすぎているという危険を知らせます。

▶ 161 ページの「作動原理」の章を参照してください。

1. ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**タイヤ空気圧警告灯**

ホイールまたはタイヤや新しく取り付けた空気圧センサーの登録プロセス中に、1つまたは複数のタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。

- ▶ 道路状況に合わせてスピードを落とし、運転スタイルを調整してください。急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを止めてください。該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてシーラントを追加してください。次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ 故障が頻繁に発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店に修理を依頼してください。¹

**警告およびブレーキアシスト警告灯**

警告とブレーキアシストの動作が制限されています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店に修理を依頼してください。¹
 - ▷ 161 ページの「作動原理」の章を参照してください。

**エレクトリックパーキングブレーキ警告灯**

警告灯が常時点灯：パーキングブレーキに故障があります。

警告灯が点滅：ブレーキシステムに不具合があります。

- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店に修理を依頼してください。¹
- ▶ 142 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。
- ▶ 115 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

**ボルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM) 警告灯**

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 機能が故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
 - ▷ 141 ページの「ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

**AWD システム警告灯**

車両の AWD システムで不具合が検出されました。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**アンチロック ブレーキシステム警告灯**

アンチロック ブレーキシステム (ABS) またはボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が機能しなくなりました。ブレーキブースターに不具合がある可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 可能な限り、急ブレーキを避けてください。制動距離が長くなることを考慮してください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
- ▶ 142 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

1. ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**パワーステアリング警告灯**

パワーステアリングは、機能しなくなった / 機能が制限された / 不具合がある状態です。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**中央の警報灯**

少なくとも1つの警告メッセージが表示または保存されています。

- ▶ 184ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**方向指示灯、左****方向指示灯、右****エアバッグ警告灯**

エアバッグシステムが故障している可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。
- ▶ 62ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

**シートベルト警告灯**

シートベルトが着用されていないか、正しく着用されていません。

- ▶ シートベルトをきちんと締めてください
- ▶ 84ページの「シートベルト」の章を参照してください。

**ブレーキシステム警告灯**

警告灯が常時点灯：パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキシステムが故障しています。ブレーキフルードレベルが低すぎる可能性があります。

警告灯が点滅：パーキングブレーキに故障があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
- ▶ 115ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- ▶ 258ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

**ブレーキシステム警告灯**

ブレーキシステムに不具合があります。ブレーキフルードレベルが低すぎる可能性があります。

- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
- ▶ 115ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- ▶ 258ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

**ブレーキパッドの摩耗を示す警告灯**

ブレーキパッドが摩耗しています。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。¹
- ▶ 115ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

**ポルシェスタビリティマネージメント警告灯**

警告灯が点滅：ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) の調整プロセス。142ページの「ポルシェスタビリティマネージメント (PSM)」の章を参照してください。

警告灯が常時点灯：ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が機能しなくなりました。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 限界条件でのコーナリングだけでなく、強い加速と減速も避けてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店に修理を依頼してください。¹
- ▶ 142ページの「ポルシェスタビリティマネージメント (PSM)」の章を参照してください。

1. ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



PSM OFF 警告灯

ボルシェスタビリティ マネージメント (PSM) が無効になっています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 142 ページの「ボルシェスタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

エミッションコントロール(チェック・エンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロールシステムの不具合を解消してください。



ナイトビューアシストインジケータライト
ナイトビューアシストが作動しています。

- ▶ 136 ページの「ナイトビューアシスト」の章を参照してください。

HOLD 機能インジケータライト

HOLD 機能が作動しています。車両は、自動的に停止状態を保ちます。

- ▶ 126 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。



エミッションコントロール警告灯(チェックエンジン)

汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良(エンジンの不点火など)が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

概要説明 - PCM

この概要説明は、本項に記載された完全な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 175: ポリウム スイッチおよびロータリー プッシュ ボタン

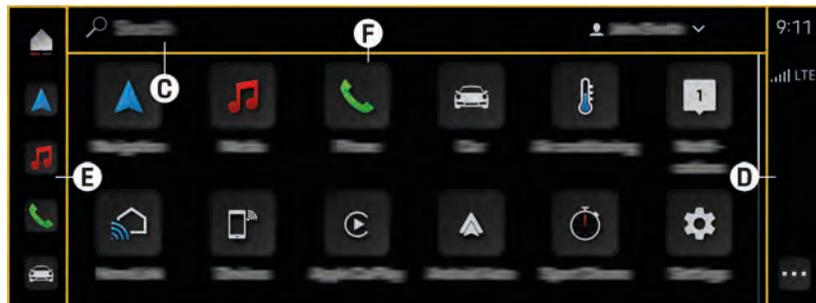


図. 176: タッチディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ポリウム スイッチ A (図. 175) を押してください。	-
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ポリウム スイッチ A (図. 175) を押し続けてください。	-
音量を調節する	▶ ポリウム スイッチ A (図. 175) を回してください。 - または - マルチファンクションステアリング ホイールのポリウム スイッチ (ロータリー ノブ) を回します。 ミュート: マルチファンクションステアリング ホイールのポリウム スイッチ A (図. 175) かポリウム スイッチ (ロータリー ノブ) を軽く押してください。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCMの操作	▶ ロータリー プッシュ ボタン B (図. 175) で PCM を操作します。	P. 179
グローバル検索を使用する	▶ 検索エリア C (図. 176) に検索テキストを入力するか、音声入力を使用してください。	—
時間、接続、ステータス シンボル、オプションを表示する	▶ ステータス エリア D (図. 176) を使用します。 ステータス シンボルを選択すると、該当する設定 (イオナイザー、ガレージ ドア オープナーなど) を直接呼び出すことができます。	P. 179
アプリのカスタマイズビュー	✓  が選択されています。 ▶ ステータス エリア D (図. 176) ... で アプリの並べ替えを変更 をタップします。	P. 215
個人画面を開く	▶ ホーム画面  で左にスワイプします。 MyScreen  が表示されます。	P. 215
個人画面の設定	✓ MyScreen  が表示されます。 ▶ ステータス エリア D (図. 176) ... で MyScreen の設定 をタップします。	P. 215
メインメニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メイン メニュー E (図. 176) とコンテンツおよびインタラクション エリア F (図. 176) を使用します。	P. 178
セットアップウィザードを呼び出す	PCM の初回起動時には セットアップ アシスタント が開き、PCM 設定のための重要なステップが表示されません。 セットアップウィザードを手動で呼び出すには: —  ▶ 設定  セットアップアシスタント	—

希望する操作	操作方法	操作箇所
プライベートモードを有効/無効にする(一部の国で利用可能)	-  ▶  ボルシェコネクト設定 ▶ プライベートモードの順にタップします。	P. 224
サービス間隔の表示	▶  ▶ [サービス]をタップします  をタップします。 次回のサービス時期が表示されます。	-
システムおよび車両設定を変更する	▶  ▶  ▶ システム/車両をタップします。	P. 211
車両情報の表示	▶  (E (図. 176)を参照) 走行をタップします。	-
通知を表示する	▶ コンテンツおよびインタラクションエリア F (図. 176) で  をタップします。	P. 210

セントラルディスプレイ

PCM 表示コンテンツ

ダッシュボードのタッチスクリーン

A – ホーム画面 / MyScreen

▶ 215 ページの「ホーム画面および個人画面」の章を参照してください。

B – メインメニュー (メイン操作エリア)

メインメニューは次の3つのメインエリアに分かれています。

- 🏠 ホーム画面 / 🏠 MyScreen
- 📍 ナビゲーション
- 🎵 メディア
- ☎️ 電話
- 🚗 車両

アイコンの並び替え

1. メイン操作エリアで任意のアイコンを長押しします。
➡️ **並び替えモード**はタップして選択します。
2. アイコンを任意に並び替えることができます。
3. **閉じる**をタップすると、並び替えモードが終了します。

▶ 179 ページの「PCM の操作」の章を参照してください。

メイン操作エリアは個別に設定することができます。

▶ 215 ページの「ホーム画面および MyScreen の設定」の章を参照してください。

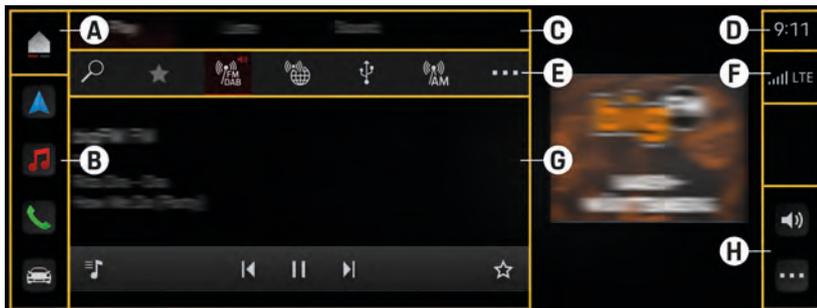


図. 177: ダッシュボードのタッチスクリーン各操作部

C – クイックフィルターバー / グローバル検索 (サブ操作エリア)

選択したメニューに応じて、このエリア (クイックフィルターバー) にメニュー項目が追加されたメニューバーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

D – 時刻 / 温度

▶ 179 ページの「PCM の操作」の章を参照してください。

E – フィルターバー

選択したメニューに応じて、フィルターバーが表示されます。

F – 接続およびステータス シンボル

▶ 213 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

G – コンテンツおよびインタラクティブエリア

H – コンテンツとインタラクティブエリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

[オプション] で、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェコミュニケーションマネジメントシステム (PCM) はセントラルコントロールユニットです。車両バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

PCMの操作

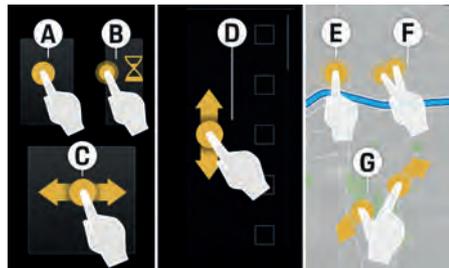


図. 178: タッチスクリーンの操作

A タップ (選択)

タッチスクリーンを指で軽くタッチします。
例: 機能をタップしたり、チェックボックスを有効 / 無効に切り替えます。

B 長押し

タッチスクリーンを指で長くタッチします。
例: マップから目的地を適用します (ナビゲーション)。

C スワイプ

- タッチスクリーン上で指を左右に動かします。
例: リストを横方向にスクロールします。
- D 上下にスワイプ (スクロールと切り替え)**
タッチスクリーンを 1 本の指で上下にスワイプします。例: コンテンツを上下にスクロールします。
- E 上下にスワイプ (切り替え)**
タッチスクリーンを 2 回軽くタップすると、そのセクションが拡大されます。
- F ズーム**
2 本の指をタッチスクリーン上で広げると、そのセクションが拡大されます。

ロータリー プッシュ ボタンとボタンを使った PCM の操作



図. 179: ロータリー プッシュ ボタンの操作

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタン **A** (図. 179) を回します。
2. ロータリー プッシュ ボタン **A** (図. 179) を押し、ハイライトされた機能を有効にします。
3. ボタン **B** (図. 179) で 1 つ前のメニューへ移動します。

4. 各メニュー項目の最も重要な設定を開くには、ボタン **OPT C** (図. 179) を使用します。

メニューを開く

メインメニューを開く

- ▶ メイン操作エリア (☺ など) のメニューをタップします。

サブメニューの呼び出し

- ▶ クイック フィルターバーのメニュー項目 (例: 連絡先) をタップします。

各メニュー項目の設定を開く

- ✓ 希望のメニューが選択されている。
- ▶ オプション... をタップします。
 - ▶ それぞれのコンテンツまたはインタラクティブエリアの設定およびその他の機能が表示されます。

時刻の表示または温度の設定

- ▶ ステータスエリアで時間 9:11 または温度をタップすると、ディスプレイを調整できます。

PCM の設定方法:

- ▶ ▶ 設定 ディスプレイ ▶ センターディスプレイ

テキストと文字の入力

テキストや文字を入力できる場合は、すぐに入力フィールドが表示されます (ナビゲーション目的地や検索ワードの入力など)。検索結果をタッチすると、検索結果リストが拡大表示されます。



図. 180: タッチスクリーンのキーボード

- A 戻る
- B 現在のカーソル位置
- C 自動訂正と提案された検索結果
- D オンライン検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)
- E 文字 / 数字と特殊文字の入力切り替え
- F 統合検索 (PCM メモリー内とオンライン コンテンツの検索)
- G スペースを挿入する
- H 検索結果リストの拡大
- I 検索エリア (国によってはご利用いただけない場合があります)
- J 入力データを削除する
- K 手書き入力 [タッチスクリーンからアルファベットや文字を入力](一部の国別仕様では使用不可)
- L 結果リスト

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります:

キーボードによる入力

1. 入力フィールドをタッチします。
➡ キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
➡ アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望の文字または記号がハイライト表示されるまで、ロータリー / プッシュ ボタン(図. 179)を回します。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3. ボタン  を使用して、文字入力フィールドから結果リストにジャンプします。
4. ボタン  を使用して、結果リストから入力フィールドにジャンプします。

手書き入力による入力

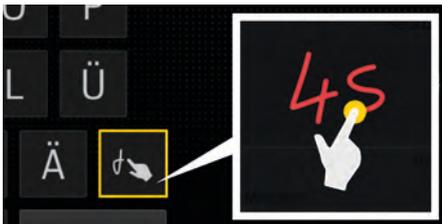


図. 181: 手書き入力

手書き入力 (一部の国別仕様では使用不可) では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

1.  を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
4. スペースを削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。

音声入力による入力

ボイス コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

ボイス コントロールの使用に関する情報:

- ▶ 181 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

PCM でマニュアルを開く

- ✓ 車両が停止している状態。

▶  ▶ 取扱説明書

ボイスコントロール

ボイスコントロールの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

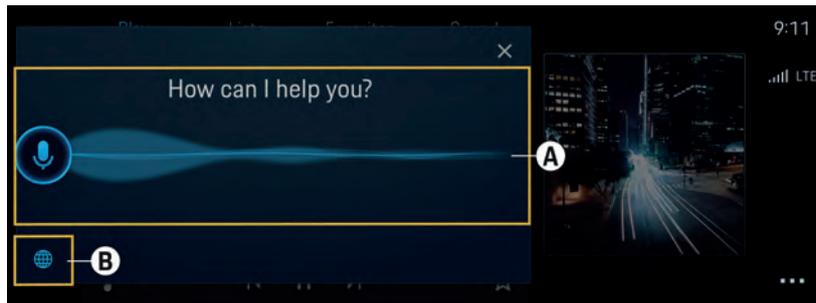


図. 182: ボイスコントロールを使用

希望する操作	操作方法	操作箇所
ボイスコントロールの起動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。 ▶ ハイ、ポルシェと話しかけます (機能が有効になっていること)。 ▶ PCMで  ▶  ▶  をタップします。 信号音が鳴り、PCM に対応するウィンドウ (A (図. 182) を参照) が表示されます。	▶ P. 181
ボイスコントロール設定の表示	<ul style="list-style-type: none"> ▶ PCMで  (B (図. 182) を参照) をタップします。 	▶ P. 181

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。



警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。特定の状況では、これにより電話接続に失敗したり、接続に時間を要してしまうおそれがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。
- ▶ セントラルディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

ボイスコントロールシステムはドライバーの指示を聞き取って、車両機能の利用や運転中のさまざまな操作をアシストします。

ボイスコントロールシステムは頼りになるパートナーであり、インタラクティブに利用できます。ボイスコントロールは、音声入力に対して反応し、提案を行い、ドライバーからの質問に応じて検索を実行し、さらに環境データを取り込みます。

選択したブレーキング/ヒーティング機能、人間工学に基づいた機能、メディア機能、ナビゲーション機能、電話機能を、簡単な音声コマンドによって手軽に利用できます。

ボイスコントロールはヘルプ機能も提供します。

ボイスコントロールの使用 オンラインモード

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっていること。
 - ✓ クラウドへのデータ転送が許可されていること。
 - ✓ データ接続が十分であること。
 - ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- オンラインモードでは、ボイスコントロール機能の全範囲にアクセスできます。

オンラインモードはPCMにアイコンで表示されま
す。

データ接続が不十分な場合、PCMは自動的にオフライン
モードに切り替えます。オフラインモードでは、一
部のボイスコントロール機能を限られた範囲でのみ使
用できます。

ボイスコントロールがオフラインモードになっている
場合、PCMにアイコンが表示されます。

- ✓ イグニッションがONになっていること。
- ✓ リバースギヤが選択されていないこと。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パークアシストが作動していないこと。

ステアリングホイールでボイスコントロールを開始する

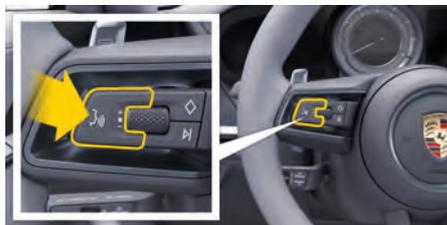


図. 183: ボイスコントロールボタンを備えたステアリングホイール

1. ステアリングホイールのボタンを押します。
➔ 信号音が鳴り、対応するウィンドウがPCMに
表示されます。
2. ボイスコマンドで発話してください。

PCMからのボイスコントロール起動

1. PCMで▶▶▶をタップします。
➔ 入力リクエストの音が鳴り、対応するウイ
ンドウがPCMに表示されます。
2. ボイスコマンドで発話してください。

検索結果は、そのとき選択されているクイックフィル
ターバーのみに限定されます。例えば、クイックフィル
ターバーの**メディア**が選択されている場合は、この
クイックフィルターバーの検索結果のみが表示されま
す。

「Hey, Porsche」と発話してボイスコントロ ールを開始する

1. ▶**設定**▶ボイスコントロール▶「Hey
Porsche」でボイスコントロール起動
2. 「Hey, Porsche」と言って、目的のボイスコマ
ンドを発話します。

ボイスコントロールの一時停止

- ✓ ボイスコントロールが作動しており、ボイスコマ
ンド待機中であること。
- ▶ をPCMでタップします。
➔ 会話が一時停止し、もう一度タップすると
再開できます。

ボイスコントロールの終了

- ✓ ボイスコントロールが作動しており、ボイスコマ
ンド待機中であること。
- ▶ ステアリングホイールのボタンを押します。
-または-
中断と発話します。
-または-
ウィンドウ以外の場所をタップします。
-または-
PCMでをタップします。
➔ 終了音が鳴ります。

ボタンによるボイスコントロールの中断

- ボイスコントロールの音声出力は、会話中に中断され
る場合があります。
- ▶ ステアリングホイールのボタンを短く押しま
す。

音声入力によるボイスコマンドの中断

ボイスコントロールのボイスコマンドは会話中でも中
断できます。これにより、他のボイスコマンドを発話
したり、すぐの実行したりできます。PCMで機能を有
効にします：

- ▶ ▶**設定**▶ボイスコントロール▶ボイスコ
ントロールの**読み込みを有効にする**をタップしま
す。

外部ボイスコントロール(SiriやGoogleアシ スタントなど)の起動

- ▶ 208 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してくだ
さい。

▶ 206 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

外部ボイス コントロール (Siri や Google アシスタントなど) の終了

▶ 208 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

▶ 206 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。
➔ 終了音が鳴ります。

インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイス コントロールが起動している状態で、ボイス コントロール、ロータリー / プッシュ ボタン、またはタッチ ディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイス コントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

ボイス コントロールを用いたコミュニケーション時の注意

ボイス コントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 長い間をおかずにもらなくボイス コマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフを閉じるなどして、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ボイス コントロールはドライバーのために最適化されています。

自然な音声コマンドを使用する

ボイス コントロール システムは、自然な音声コマンドを使用して操作でき、さまざまな種類の発話コマンドに対応します。

- 「エアコンを 22 °C に設定して」、「指圧マッサージを ON にして」、「ロンドンのパラメント ストリートまで連れて行って」など、自然な会話による指示を使用できます。
- 「寒い」、「ガソリン スタンドに行きたい」、「お腹が空いた」など、自分が希望することを伝えることができます。
- 「高速道路を避ける」、「ルート沿いのパン屋を検索」など、状況に関連する音声コマンドを使用できます。
- 「走行可能距離は?」、「東京の天気は?」など、情報を確認することができます。
- 「メディア エリアでは何ができるの?」、「音声認識ってどういう仕組み?」など、一般的な質問をして検索することができます。

- 「マップを表示したい」、「連絡先を表示して」など、主要な機能を使用することができます。
- マップを使った目的地設定: 希望する目的地を長押しして、「へい、ポルシェ、ここに連れて行って」と言ってください。

一般ボイス コマンド

以下の音声コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

- 修正
- 一時停止
- キャンセル / 中断
- ヘルプ

ボイス コントロールによるリストの使用

リストをブラウズする

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ **次のページ/前のページ**と発話します。

リストから項目を選択する

PCM に青色で表示されている行番号とリスト項目は、発話により選択できます。

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ **1 行目**と発話します。
-または-
リスト項目を発話します。

マルチモデルマップ

マルチモデルマップにより、ナビゲーション中にボイスコントロールとマップ間の操作が可能になります。これにより、言語によるより迅速で多様な目的地の検索が可能となります。▶ 184 ページの「コマンドの例」の章を参照してください。

ボイスコントロールによるマルチモードマップの起動

ボイスコントロールを使って起動する場合、PCM で呼び出されているメニューは関係ありません。

- ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- ▶ **マップ上に書き込みたい**と言います。
- または -
マルチモデルマップを表示してと言います。
- ➡ マップが開き、青いフレームが表示されます。

マルチモデルマップを手動で有効にする

1. **🏠 ▶ ナビゲーション**
2. ボイスコントロールを起動します。
- ➡ マップに青いフレームが表示されます。

コマンドの例

以下のリストでは、ボイスコントロールシステムが対応可能な自然な音声コマンドと指示の一部のみを示しています。適切なデータ接続を確保することで、検索結果が改善され、所要時間が短縮されます。

エアコンシステム/コンフォート機能

- シートヒーターをレベル 2 に設定して。
- フロントガラスが曇っています。
- マッサージをして欲しい。
- アンビエントライトを赤に変更して。
- リヤの温度を 24 °C に設定して。
- 助手席のシートベンチレーターをレベル 2 に設定して。

ナビゲーション/運転中/ファインダー

- ポルシェ ミュージアムに連れて行って。
- 給油が必要になるのはいつ頃?
- ルート沿い/目的地のレストランを検索。
- どれくらい時間がかかる?
- 駐車場を検索して。
- 職場まで連れて行って。
- 私は最近どこまで運転した?
- 東京都港区虎ノ門 1-23-1 まで案内して。

メディア

- Porsche Sounds で「Get a Life (例)」を再生して。
- マイケル・ジャクソンのアルバム「Bad」を再生して。
- 今聴いているのは何の曲?
- 音楽を検索したい。
- Apple Music で Nelly Furtado を再生して。
- クラシック FM を再生して。
- 次の曲をかけて。
- 別のソースを選択したい。

電話

- ✓ 通話中ではない。
- John Doe に電話して。
- 020 911 (例) をダイヤルして。
- Andreas Falk に電話をかけ直して。
- 通話履歴を表示して。
- 新しい電話を接続したい。

過去の会話に対応する

- ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- その他の音声コマンドを使用して、メイン機能 (電話など) の過去の会話に対応することができます。

- John Doe にもう一度電話して。

マルチモデルマップ

- ✓ 目的地が選択されている状態 (ピンがマップに配置されている)。
- そこまで案内して。
- 近くのレストランを検索して。
- 近くのパン屋を検索して。
- そこにある郵便局を検索して。

ボイスコントロールのヘルプ

システムはさまざまな方法でのアシストが可能で、質問をしたり、特定の問題について報告したりすることができます。

- (一般的な) ヘルプが必要
- ボイスコントロールの仕組み
- ナビゲーションエリアで行える操作
- 何ができるか

ボイスコントロール設定の変更

- ▶ **🏠 ▶ 設定 ⚙️ ボイスコントロール** 希望の設定を選択します。

警告および情報メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。

警告灯が表示されると、さらに警告音が鳴ります。

警告メッセージは、すべての測定条件が揃っていないと表示されません - そのため、定期的にすべてのフルードレベルを確認してください。

次の表は、主な警告および情報メッセージの抜粋です。

セキュリティ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>エアバッグ システム故障 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>エアバッグ システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 <p>ステアリング ロックを動かしてください</p>	<p>ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
	 <p>ステアリングがロックされています 要整備</p>	<p>ステアリング ロックが作動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 <p>パワー ステアリング故障 操舵力の増大 引き続き走行可能</p>	<p>パワー ステアリングは、故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点灯	 <p>ブレーキ液面低下 車両を安全な場所に停車してください</p>	<p>ブレーキ液面が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 <p>パワー ブレーキ故障</p>	<p>ブレーキ ブースターの故障またはエラー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 ブレーキ力配分故障 車両を安全な場所に停車してください	制動力配分が故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点灯	 ABS/PSM 故障 慎重に走行してください	ABS またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点灯	 ブレーキパッド摩耗 ブレーキパッド要交換 引き続き走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 サービスモードのパーキングブレーキ	パーキングブレーキがサービスモードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 P 位置使用不可 車両が動き出す恐れあり。電動 P ブレーキをかけてください	PDK 装備車：トランスミッションパーキングロック P 位置は使用できません。 ▶ 作動モード P を選択してください。 ▶ 121 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。
	 レイン/ライト センサー故障 要整備	レイン/ライト センサーが故障しています。 ▶ フロント ウィンドウワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 点滅	 例： 左スタティックコーナリングライト故障 スタティックコーナリングライト点検	表示されたコーナリングライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 ドライビングライト制御エラー 一時的な状態 引き続き走行可能	ドライビングライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	例：  左リヤ方向指示器故障 方向指示器を点検	表示されたライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ハイビームアシスト使用不可 引き続き走行可能 ハイビームを手動で操作	ハイビームアシストは一時的に使用できません。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ハイビームアシスト使用不可 カメラ視野無 必要であればフロントウィンドウを清掃	カメラの故障により、ハイビームアシストは一時的に使用できません。 ▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ヘッドライト範囲調整の故障 引き続き走行可能 要整備	ヘッドライトレベリングが故障しています。 ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ワイパー故障 要整備	フロントウィンドウワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 タイヤ点検が必要	<p>1つ以上のタイヤに著しい空気圧の低下があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 291 ページの「パンク」の章を参照してください。
 点灯	 タイヤの空気充填が必要	<p>1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 291 ページの「パンク」の章を参照してください。
 点滅または点灯	 タイヤ空気圧モニター エラー要整備	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
 点滅または点灯	 システムが一時使用不可 一時的な状態 引き続き走行可能	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) が一時的に無効です (センサーのオーバーヒートや信号の干渉など)。 タイヤ空気圧は監視されません。 エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
 点滅または点灯	 タイヤ空気圧は監視されません システムは xx mph 以上でないと登録できません	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。 このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
 点滅または点灯	 タイヤ交換を検出 新しい選択	<p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ タイヤ設定を更新してください。 ▶ 211 ページの「車両設定」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 タイヤ空気圧が低すぎます または コンフォートプレッシャー 減速してください	設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 ▶ 減速してください。 ▶ 次の機会にタイヤ空気圧を点検してください。
	 歩行者警告使用不可 要整備	歩行者警告は一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 オイルレベル限界 最大xxLまで補充してください	オイルレベルが最低値を下回りました。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。 ▶ インストルメントパネルのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 261ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 オイルレベル超過 引き続き走行可能 要整備	オイルレベルが上限を超えています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 オイルレベル測定エラー 引き続き走行可能 要整備	オイルレベル測定が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>オイルレベル低下 最大 xxL まで補充してください</p>	<p>最低オイル レベルに達しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ オイルを補充してください。 ▶ 261 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。
	 <p>油圧の低下 車両を安全な場所に停車してください</p>	<p>油圧が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 261 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。 ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>油圧測定エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>油圧測定が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>オイル温度超過 負荷を軽減してください</p>	<p>オイル温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ インストルメント パネルのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 261 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p style="text-align: center;">オイル温度表示エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>オイル温度表示が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
<p>クーラントの温度表示が最高マーク</p>	 <p style="text-align: center;">クーラントレベルが低すぎます 安全な場所に停車して車両を冷却してください</p>	<p>エンジンクーラントレベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ エンジンクーラントレベルを点検してください。 ▷ 259 ページの「クーラント」の章を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> - ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p style="text-align: center;">水温計エラー 引き続き走行可能 要整備</p>	<p>水温計が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
<p>エンジンクーラントまたはエンジンオイルの温度表示が最高マーク</p>	 <p style="text-align: center;">エンジン温度超過 エンジン冷却のため停車してください</p>	<p>エンジンクーラントまたは油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントレベルおよびオイルレベルを点検してください。 ▷ 261 ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。 ▷ 259 ページの「クーラント」の章を参照してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示		メッセージ	意味および必要な措置
		 クーラント ポンプ故障	クーラント ポンプが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	点灯	 エンジン出力減少 引き続き走行可能 要整備	エンジン出力が減少します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	点灯	 エンジン制御故障 車両を安全な場所に停車してください	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
		 エンジン制御故障 引き続き走行可能 要整備	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
		 微粒子フィルターを確認 ▶ 取扱説明書を確認してください	微粒子フィルターがすすで目詰まりしています。 フィルターの自動クリーニングが実行される条件を満たすように運転してください。 ▶ スポーツ走行プログラムを選択します。 ▶ クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロール (ACC) を OFF にします。 ▶ 最大 130 km/h (常に適用される制限速度を守り、それに応じて速度を調整) まで加速し、次にアクセルペダルから足を完全に離して減速します。 ▶ メッセージが消えるまで手順を繰り返します。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 	微粒子フィルター ▶ 引き続き走行可能 ▶ ポルシェ正規販売店に相談してください	微粒子フィルターがすでに目詰まりしています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 	微粒子フィルター ▶ 車両を安全な場所に 停車してください	微粒子フィルターがすでに目詰まりしています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ¹

車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	車両電気システム故障 車両を安全な場所に停車してください	車両電気システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	電気利用のため要エンジン作動 車両電気システム故障 車両を安全な場所に停車してください	車両電気システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	車両電気システム故障 または バッテリー低下 要整備	車両電気システムが故障しているか、バッテリーが低下しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	スタート/ストップ故障	現在スタート/ストップ機能が利用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>トランスミッション故障 車両を安全な場所に停車してください</p>	<p>PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 次に停車するまでは走行が可能です。 運転を続けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 254 ページの「けん引」の章を参照してください。
	 <p>トランスミッション温度が高すぎます トランスミッション冷却のため安全な場所に停車してください</p>	<p>PDK 装備車：トランスミッション温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>運転席ドア接触不良 降車前に P 位置に入れてください</p>	<p>PDK 装備車：運転席ドア接触不良。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 降車前に、P ボタンを押してパーキング ロックをかけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p>ギヤボックス温度が高すぎます 負荷を軽減してください</p>	<p>PDK 装備車：トランスミッション温度が高すぎます。 継続走行可能です。車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセルペダルの操作で車両位置を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまで作動モードを P または N の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
	 <p>トランスミッション故障 リバース ギヤが使用できない可能性があります</p>	<p>PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 リバース ギヤが機能しない可能性があります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 整備通知トランスミッション	PDK 装備車：トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 クラッチを踏んでください	マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はクラッチペダルを踏んでください。
	 緊急通話機能故障 要整備	緊急通話機能が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	 ドライバーカードが検知されません	ドライバーカードが検知されませんでした。 ▶ 必要に応じてセキュリティオペレーティングセンター (SOC) に連絡してください。
	 点検時期：xx 日後	サービスリマインダー。 ▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、整備手帳に掲載されているサービスインターバルを優先してください。
	 キーが見つからない、またはキーのエラー 小物入れにキーを置いてください。取扱説明書を確認してください または  キーの位置を変更してください	キーのバッテリーが消耗しています。 ▶ 車両を始動するには、左フロントのセンターコンソールの小物入れにキーを置きます。 ▶ バッテリーを交換してください。 ▶ 29 ページの「キー」の章を参照してください。 または キーのエラー / キーが見つからない / キーが認識できません。 キーの位置が正しくありません。 ▶ 干渉源となっている可能性のあるもののスイッチを OFF にしてください。 ▶ キーを携帯してください。 - 車内でキーの位置を変更してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	スポイラー故障 減速してください	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 または 	スポイラー故障 または スポイラー制御故障 慎重に走行してください	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エンジンを再始動させた後も、エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	リフト システムエラー 要整備	リフト システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	リフト システム現在使用不可 温度保護が作動中	リフト システムは使用できません。 システムの温度保護またはチャイルドロック プロテクションが原因で、車両を下降または上昇させることができません。エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	下降させることができません。ドア開 ドアを閉じてください	ドアが開いた状態で車両を下降させることはできません。 ▶ ドアを閉じてください。
	車両フロントが下がりませんでした 減速してください	速度制限「X km/h」を超過しています。車両は下降しません。 ▶ 「X km/h」に減速してください。
	コンバーチブルトップの移動が中断 減速してください	
	コンバーチブルトップ最終位置になし 減速してください	

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	コンバーチブルトップシステム使用不可 一時的に走行可能	
	コンバーチブルトップシステムのエラー 慎重に走行してください 要整備	

ドライビング システム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	シャーシ故障 慎重に走行してください。取扱説明書を確認してください。	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	シャーシ故障 要整備 慎重に走行してください	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	シャーシシステム故障 車両を安全な場所に停車してください	シャーシが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 PSM故障 要整備 慎重に走行してください	<p>ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
 点灯	 ABS/PSM故障 慎重に走行してください	<p>ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 PSMスポーツ 車両安定システム制限中	<p>ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) スポーツが有効である場合、車両安定性システムは制限された範囲でのみ利用可能です。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
	 駆動力分配システムエラー 慎重に走行してください	<p>ボルシェ トラクション マネージメント (PTM) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 駆動力分配システムエラー または 4WDに無理がかかっている 後輪駆動のみ 慎重に走行してください	<p>ボルシェ トラクション マネージメント (PTM) に一時的なエラーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 駆動力分配システム温度限界 負荷を軽減してください	<p>ボルシェトラクションマネージメント (PTM) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	リヤデフロック過負荷 慎重に走行してください	<p>ボルシェトルクベクトリングプラス (PTV プラス) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 負荷を軽減してください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	リヤデフロック故障 または リヤデフロック故障 慎重に走行してください	<p>ボルシェトルクベクトリングプラス (PTV プラス) が故障したか、不完全な状態です。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	リヤアクスルステアリング故障 または リヤアクスルステアリング故障 慎重に走行してください	<p>リヤアクスルステアリングが故障したか、不完全な状態です。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	カメラシステム使用不可 一時的な状態 慎重に走行してください	<p>アシスタンスシステムまたは車両カメラが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	カメラシステム制限あり カメラ視野無 必要であればフロント ウィンドウを清掃	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	システムエラー 引き続き走行可能 要整備	1つまたは複数の電気システムのシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	パークアシスト警告音故障 または インストルメントクラスタの音声故障 引き続き走行可能 要整備	警告音およびパーキング アシストなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	フロントパークアシスト故障 または リヤパークアシスト故障 引き続き走行可能 要整備	パークアシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	アクティブパーキングサポート使用不可 センサー制限あり 取扱説明書を確認してください	アクティブパーキングサポートが制限されているか、故障しています。 慎重に走行してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p style="text-align: center;">RCTA 制限中 振動による警告は使用不可 PSM 無効</p>	<p>リヤクロス トラフィック アラートが制限されています。 システムのすべての機能を使用する方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ PSM を ON にする <ul style="list-style-type: none"> ▷ 142 ページの「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。
	 <p style="text-align: center;">PAS 故障 要整備</p>	<p>ポルシェ アクティブセーフ (警告およびブレーキアシスト) が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p style="text-align: center;">PAS 制限中 取扱説明書を確認してください</p>	<p>ポルシェ アクティブセーフ (警告およびブレーキアシスト) が制限されているか、故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p style="text-align: center;">PAS 制限中 センサーが妨げられています。清掃してください</p>	<p>ポルシェ アクティブセーフ (警告およびブレーキアシスト) は、天候状態や車両のセンサーの汚れの影響を受けている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	 <p style="text-align: center;">ACC 使用不可 ドライバーの運転操作が必要です</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) が使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両のコントロールを行ってください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ACC 使用不可 ABS/PSM 介入	アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、ABSまたはPSM作動中はご利用いただけません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
	ACC 使用不可	アダプティブクルーズコントロール(ACC)システムエラー。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	ACC 使用不可 ギヤをDまたはMに入れてください	アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、 D または M 作動モードが選択されている場合のみ、利用可能です。 ▶ 作動モード(トランスミッションレンジ) D または M を選択してください。
	ACC 使用不可 センサーが妨げられています。清掃してください	悪天候またはセンサーの汚れにより、アダプティブクルーズコントロール(ACC)が一時的に利用できなくなっています。 ▶ センサーを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	アクティブレーンキープ故障 要整備	アクティブレーンキープが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	アクティブレーンキープ故障 センサーが妨げられています。清掃してください	悪天候、もしくはフロントカメラまたはACCセンサーの汚れにより、アクティブレーンキープが一時的に使用できません。 ▶ フロントカメラおよびACCセンサーを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p style="text-align: center;">制限速度表示現在制限中 カメラ視野無 必要であればフロントウィンドウを清掃</p>	<p>悪天候またはフロントウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。 <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p style="text-align: center;">制限速度表示使用不可 一時的な状態 引き続き走行可能 または サービスエリアの範囲外です または 利用可能なナビゲーションデータはありません</p>	<p>ナビゲーションデータを一時的に受信できません。 継続走行可能です。</p> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
	<p style="text-align: center;">SWA 使用不可 一時的なステータス、走行可能</p>	<p>レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態により一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を作動させてください。 ▶ 153 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。
	<p style="text-align: center;">SWA 使用不可 センサーが妨げられています。清掃してください</p>	<p>レーンチェンジアシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、氷結などにより覆われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ センサーの故障を修理してください。 ▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を作動させてください。 ▶ 153 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	車線の中央を維持してください	レーンキープアシストがより長時間にわたって介入します。 ▶ 車両を車線の中央の位置に合わせるか、車線区分線からの距離を増やします。
	車両操作を引き継いでください	車両が車線から何度かそれかけた場合に、ステアリング ホイールの操作が著しく少ない、またはまったくないことをレーンキープアシストが検知します。 ▶ 常にステアリング ホイールを保持し、積極的にステアリング操作を行ってください。
	レーンキープアシスト使用不可 引き続き走行可能 要整備	レーンキープアシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	レーンキープアシスト制限あり カメラ視野無 必要であればフロント ウィンドウを清掃	レーンキープアシストが天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	レーンキープアシスト制限あり 一時的な状態 引き続き走行可能	レーンキープアシストは一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
	ナイトビューアシスト使用不可	ナイトビューアシストを使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 ナイトビューアシスト 歩行者検知使用不可	歩行者検知を使用できません。 歩行者および大きい野生動物は検出されません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

PCM

メッセージ	意味および必要な措置
 重大な故障 ポルシェ正規販売店にお問い合わせください	ソフトウェアアップデートに失敗しました。 ディスプレイおよびパーキングアシスタントなどのコンフォート機能が作動しない可能性があります。 ▶ 車両を使用する前に、ディスプレイおよびコンフォート機能(パーキングアシスタントなど)が機能していることを確認してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 ¹
 アップデートを実行中 車両を使用しないでください	ソフトウェアアップデートをインストール中です。 ディスプレイおよびコンフォート機能(パーキングアシスタントなど)が完全に機能しない場合があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ソフトウェアアップデート中は車両を使用しないでください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

操作および使用

Android Auto

Android Auto の呼び出し

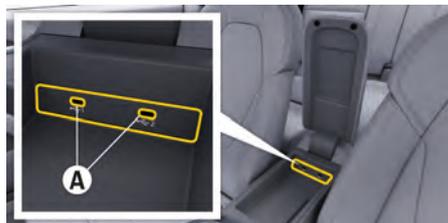


図. 184: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)

i インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボルマークが付いている USB ポート  を使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポート  を使用してください。

- ✓ Android 6 またはそれ以降。
- ✓ Android Auto が電話にインストールされていること。
Android 10 以降では Android Auto がすでに内蔵されています。
- ✓ 電話のモバイル データ接続が有効になっていること。
- ✓ 設定で Google アシスタントと Android Auto が有効になっていること。

- ✓ トラブルなく使用するため、USB アダプターなしの、損傷のない電話メーカーの純正ケーブルを使用してください。
- ✓ Android Auto のホームページに記載されている最新の要件を遵守してください。

1. 電話をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) **A**▶ (図. 184) に接続します。
2. 通知で Android Auto が使用されていることを確認します。
➔ Android Auto が呼び出され、利用可能なアプリが表示されます。
3. 電話に表示される通知を確認してください。

- ▶ 別のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには、 ▶ **Android Auto**  を選択します。

i インフォメーション

- 最新の Android バージョンをインストールするようお勧めします。
- Android Auto に対応している電話のアプリのみが表示されます。Android Auto で使用できるアプリは、Google Play ストアでご確認ください。
- この機能は Google がサポートされていない国ではご利用いただけません。対応している国に関する情報は、Android Auto のホームページをご確認ください。
- Android Auto の表示コンテンツと機能は、接続している電話でのみご利用いただけます。
- Android Auto の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (通話、メディア再生、またはメッセージなど) が自動的に解除されます。
- Android Auto をご利用いただくためには、有効なデータ接続が必要です。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

Android Auto の操作

PCM による Android Auto の操作

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

- ▶ **Android Auto** でメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。

- ▶ PCMのメイン機能に移動するには、**Android Auto**  を選択します。
-または-
任意の機能  など) を選択します。

Google アシスタント音声認識による Android Auto の操作

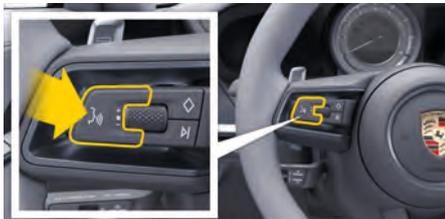


図. 185: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

Google アシスタントの起動

- ✓ お使いのスマートフォンの設定で Google アシスタントが有効になっていること。
 - ✓ イグニッションと PCM が ON になっています。
 - ✓ 通話中ではない。
 - ✓ パークアシストが作動していないこと。
 - ✓ PCM のボイスコントロールが有効になっていません。
1. ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
 2. 希望のボイスコマンドを発話します。

Google アシスタントの終了

- ✓ Google アシスタントが有効で、ボイスコマンド待機中であること。
- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押してください。
➡ 終了音が鳴ります。

ボイスコントロールに関する情報：

- ▶ 181 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

ワイヤレス Android Auto の呼び出し

ワイヤレス Android Auto (一部の装備と国別仕様ではご利用不可) では、ケーブルなしで Android Auto を使用できます。ワイヤレス Android Auto でサポートされるのは、有効なスマートフォン 1 台のみです。

- ✓ スマートフォンの Bluetooth® 機能と WiFi 機能が有効になっており、他のデバイスに表示されていること。
- ✓ スマートフォンのワイヤレス Android Auto が有効になっていること。
- ✓ 車両の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が作動しています。

1. ステータスエリア  または  (接続ステータスによる) と接続ウィザードのメニューから **Android Auto** ▶ **検索** を選択します。
-または-
デバイスをタップします  ▶ **Android Auto** 
-または-
検索が始まるまで、ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。

2. リストからデバイスを選択してください。

3. 通知で Android Auto が使用されていることを確認します。
➡ Android Auto が呼び出されます。利用可能なアプリが表示されます。

スマートフォンを一度接続すると、乗車時には自動的に Android Auto が作動します。そのため、スマートフォンはバッグやポケットに入れたままにしておくことができます (Bluetooth® 機能と WiFi 機能を有効にしておくこと)。

別のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには：

- ▶  **Android Auto**  を選択
-または-
ステータスエリアで **Android Auto**  を選択します。

ワイヤレス Android Auto の終了

1.  **Android Auto**  を選択します。
2. お使いのスマートフォンのアイコン  を選択します。
➡ ワイヤレス Android Auto が終了します。

Apple CarPlay

Apple CarPlay を開く

① インフォメーション

初めて接続する際に Apple CarPlay を必ず選択します。そうすると、望むとおり iPod と Apple CarPlay を切り替えることができます。

▶ 208 ページの「Apple CarPlay の操作」の章を参照してください。

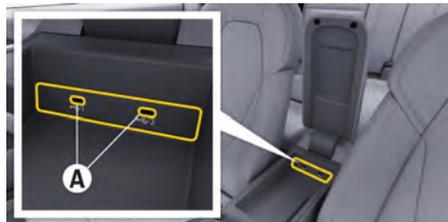


図 186: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)

① インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボル付き USB ポートを使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポート  を使用してください。

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 14 以上。
- ✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ トラブルなく使用するため、損傷のない Apple 純正ケーブルを USB アダプターなしで使用してください。

1. iPhone をアームレスト内の USB ポート A (図 186) に接続してください。
2. Apple CarPlay が使用されていることを確認します。
 - ➔ Apple CarPlay が開き、利用できるアプリが表示されます。

▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、 ▶ **Apple CarPlay**  を選択します。

① インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone アプリのみが表示されます。アプリの入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。国別の入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 175 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

Apple CarPlay の操作

PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

▶ **Apple CarPlay** のメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。

▶ PCM のメイン機能に移動するには、**Apple CarPlay**  **Porsche**  を選択します。
- または -
任意の機能  など) を選択します。

Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する

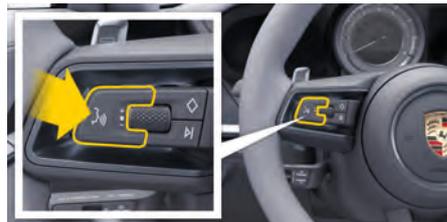


図 187: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

Siri の起動

- ✓ お使いの iPhone の設定で Siri が有効になっています。
- ✓ イグニッションと PCM が ON になっています。

- ✓ 通話中ではない。
 - ✓ パークアシストが作動していないこと。
 - ✓ PCM のボイス コントロールが有効になっていません。
1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
 2. 希望のボイス コマンドを発話します。

Siri の終了

- ✓ Siri が有効で、ボイス コマンドを待機しています。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押してください。
 - ➔ 終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報：

▶ 181 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

Apple CarPlay と、iPod として使用している iPhone の切り替え

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay を利用できません。デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。

1. デバイス マネージャーを呼び出すには、接続ステータスに応じて、ステータス エリアの  または  のいずれかを選択します。
 –または–
 デバイスをタップします  を選択します

2. 使用している iPhone の **Apple CarPlay**  マークを選択します。
 –または–
 お使いの iPhone の **iPod**  アイコンを選択します。
 ▶ 213 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。
 ➔ 現在有効になっている iPhone のアイコンがハイライトされ、現在の接続 (**Apple CarPlay** または **iPod**) が表示されます。

ワイヤレス Apple CarPlay の呼び出し

ワイヤレス CarPlay [一部の装備と国別仕様ではご利用不可] では、ケーブルなしで Apple CarPlay を使用できます。ワイヤレス CarPlay でサポートされるのは、有効な電話 1 台のみです。

- ✓ 電話の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が有効になっており、他のデバイスに表示されていること。
- ✓ 電話でワイヤレス CarPlay が有効になっていること。
- ✓ 車両の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が作動しています。

1.  または  ステータス エリア [接続ステータスによる] および接続アシスタントメニューで、**Apple CarPlay** ▶ **検索** を選択します。
 –または–
デバイスをタップします  ▶ Apple CarPlay 
 –または–
 検索が始まるまで、ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. リストからデバイスを **選択** してください。

3. **Apple CarPlay** を使用していることを確認します。
 ➔ **Apple CarPlay** が開きます。利用可能なアプリが表示されます。

iPhone を一度接続すると、乗車時には自動的に Apple CarPlay が作動します。そのため、電話はバッグやポケットに入れたままにしておくことができます。(Bluetooth® 機能と WiFi 機能を有効にしておくこと)

または、**ワイヤレス CarPlay** を以下のように接続できます：

1.  ▶ **デバイスをタップします **
2. 使用している iPhone の  マークを選択します。

他のメニュー項目から **Apple CarPlay** に切り替えるには：

- ▶  **Apple CarPlay**  を選択
 –または–
 ステータス エリアで **Apple CarPlay**  を選択します。

保存した iPhone をデバイス リストから削除する

1.  **デバイスをタップします ** を選択します。
2. 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
 ➔ デバイスがデバイス リストから削除されます。

ワイヤレス CarPlay の終了

1.  **デバイスをタップします ** を選択します。
2. 使用している iPhone の  マークを選択します。
 ➔ **ワイヤレス CarPlay** が終了します。

通知

通知の概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。



図. 188: 通知のメイン メニューの領域

希望する操作	操作方法
通知を表示する	▶ ■メインメニューでをタッチする。
通知のフィルタリング	▶ メインメニューの ■ で、クイックアクセスバーの車両など (A (図. 188) を参照) をタップしてください。
通知を開く	▶ メインメニューの ■ で、すべて (A (図. 188) を参照) の通知など (C (図. 188) を参照) を選択します。 通知は詳細エリアに表示されます (B (図. 188) を参照)。
コンテンツの表示方法を設定する	▶ メインメニュー...の ■

通知を開く

- 📞 接続されている電話の通知が表示されます。
- 📄 情報の通知の表示。

▶ ■メインメニューでをタッチする。

通知設定の変更

▶ 🏠 ▶ 設定 ⚙️ 通知センター ▶ 希望の設定を選択します。

通知のフィルタリング

通知は、クイック フィルターバーでフィルタリングできます (A を参照)。コンテンツは次の領域に分かれています。

- 📄 ALL 既存のすべての通知の表示。
- 🚗 車両の通知の表示。

車両設定

車両設定の概要

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここで説明した車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定は車両を OFF にしても引き続き保存されます。

▶ 82 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
ロックおよびロック解除オプションの設定	▶  ▶ 設定  車両 ▶ 車両ロックシステム	-
ライト、フロント ウィンドウワイパーおよびドア ミラーを調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界	-
シートヒーター、シートベンチレーターおよびシート位置を調節する	▶  ▶ 車両  ▶ コンフォート ▶ 運転席 / 助手席	-
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定	▶  ▶ 設定  車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▶ P. 273
マルチファンクションステアリングホイール / センター コンソールスイッチパネルのショートカットキー (◇ ボタン) を設定する	▶  ▶ 設定  車両 ▶ ショートカットボタン	-
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ サービス履歴 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示されます。	-
自動リフト機能の設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ スマートリフト	-
PCM 表示を調整する	▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ センターディスプレイ	-
インストルメントパネルディスプレイを調整する	▶  ▶ 設定  ディスプレイ ▶ インストルメントパネル	-
インストルメントパネルの情報表示設定を調整する	▶  ▶ 設定  ▶ ディスプレイ ▶ インストルメントパネル ▶ 情報表示設定 長押しして移動させると、各車両情報を 4 つのフィールドに割り当てることができます。車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当ててはできません。	-

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
追加機能の表示を変更する	▶ ▶ 設定 ディスプレイ ▶ その他の機器	—
日付と時刻の設定	▶ ▶ 設定 ▶ システム ▶ 日付と時刻	—
単位を設定する	▶ ▶ 設定 ▶ システム ▶ 単位	—
ボイス コントロール システムの設定	▶ ▶ 設定 ▶ ボイスコントロール	—
言語の設定	▶ ▶ 設定 ▶ システム ▶ 言語	—
警告シグナルおよびパークアシストの音量を調整する	▶ ▶ 車両 ▶ アシスタンス ▶ … ▶ アシスト走行の設定 ▶ パークアシスト	—
ソフトウェアアップデートを実行する	▶ ▶ 設定 ▶ システム ▶ ソフトウェアアップデート	—
システムを工場出荷時の状態にリセット	▶ ▶ 設定 ▶ システム ▶ 出荷時の状態 工場設定にリセットすると、すべての設定が削除されます。	—

ファンクションオンデマンド (FoD) の購入

- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ▶ ポルシェ コネクトストアで希望する FoD サービスを購入します。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

ファンクションオンデマンド (FoD) のダウンロードと作動

- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ✓ FoD サービス購入済み。
- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベート モードが無効です。

アクティベーションが正常に完了すると、メッセージが 1 度 PCM に表示され、メインメニューの に後で表示することができます。

FoD サービスはバックグラウンドで自動的にダウンロードおよび有効化されます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

インフォメーション

FoD の情報またはアクティベーション ステータスはいつでも PCM で呼び出すことができます。

1. ▶ 設定 ▶ システム ▶ ソフトウェア情報 ▶ バージョン情報
2. 希望する FoD を選択してください。

ファンクションオンデマンド (FoD) の無効化

- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ✓ FoD サービスを購入しており、車両で有効になっています。

- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベートモードが無効です。
- ▶ 希望する FoD サービスを My Porsche で無効にします。
 - ➡ 無効化が正常に完了すると、メッセージが 1 度 PCM に表示され、メインメニューの  に後で表示することができます。

ファンクションオンデマンド (FoD) の有効化または無効化の失敗

有効化または無効化プロセス中に故障が発生する場合があります。

発生した故障の重大度とその結果は、PCM に表示されます。

情報

アップデートの失敗による損傷と使用制限。

故障の重大度に応じて、車両の走行準備が整っていない場合があります。表示および車両機能が正常に機能しません。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ社ではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

デバイス マネージャー

デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

▶ ▶ デバイスをタップします

– または –

ヘッダーの  または  を選択してください (接続状態により異なります)。

接続ステータスの表示

シンボルの色と意味

- 赤色のシンボル：接続が有効
- 白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない
- シンボルがない：接続できません

選択できる機能：

-  電話：Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。
 - ▶ 232 ページの「電話」の章を参照してください。
-  音楽：外部メディアソースが Bluetooth® で接続されている。
 - ▶ 216 ページの「メディア」の章を参照してください。
-  データ (国により異なります)：WiFi アクセスポイント経由でデータ接続が確立されています。
 - ▶ 224 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
- メッセージ：Bluetooth® を介したメッセージ受信の ON と OFF を切り替えます。

-  Apple CarPlay：iPhone が USB 接続または無線で接続され、Apple CarPlay にアクセスしている。
 - ▶ 208 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
-  Android Auto：Android 電話が USB 接続で接続され、Android Auto にアクセスしている。
 - ▶ 206 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

▶ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディアソースに接続するためのアシスタンスを提供します：
 ▶ デバイスをタップします  ▶ 新しいデバイスを接続

外部機器を Bluetooth 経由で接続する®

1.  ▶ デバイスをタップします  ▶ 新しいデバイスを接続 ▶ 新しい電話を接続/新しい音楽プレーヤーを接続 タッチします。
2. リストからデバイスを選択してください。
 - ➡ 6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。
3. PCM とデバイスの Bluetooth® コードを比較します。
4. 携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。
 - ➡ 携帯電話が正常に接続されたら、デバイスリストに表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

デバイスをデバイスリストから削除

- ▶  ▶ デバイスをタップします  をタップします。削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
- ▶ デバイスがデバイスリストから削除されません。

デバイス マネージャーの設定

- ▶  ▶ デバイスをタップします  ▶ ...をタップします。

次の設定が利用可能です (国によって異なります)。

- **電話設定** : 232 ページの「電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth 設定** :
 - **Bluetooth** の ON/OFF を切り替えます。
 - PCM の **Bluetooth 名** を調整します。
- **WiFi 設定** :
 - **WiFi** の ON/OFF を切り替えます。
 - **インターネット アクセスを有効にする** : PCM の WiFi ホットスポットを有効にし、WiFi デバイスのデータ接続を有効にします。
 - **インターネットアクセスを有効にする** : PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。該当するデータ パッケージは www.porsche.com/connect からご購入いただく必要があります。
- **データ接続設定** :
 - **オンラインデータの表示** を表示する
 - **オンラインデータの表示** をリセットする

インターフェース

フロント アームレストには 2 つの USB インターフェース (タイプ C) が設けられています。PCM が ON の場合に USB インターフェースが有効になります。

USB を介した外部機器の接続

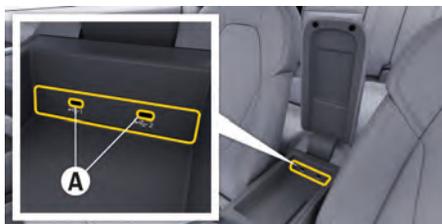


図. 189: アームレスト内のインターフェース

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェース (タイプ C) **A** (図. 189) に接続します。
3. **メディア**  **再生** で希望のメディア ソースを選択します。
▶ 216 ページの「メディア」の章を参照してください。
4. 必要に応じて、外部機器および PCM の音量を調節します。

各種ドライブおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ボルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ :

- ▶ 302 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

ホーム画面および個人画面

ホーム画面および MyScreen の設定

ホーム画面の設定

1. **🏠 ▶ … ▶ 並べ替えを変更する**
2. 希望のタイルを選択して長押しし、任意の位置に動かしてください。
3. **確定**をタップします。

i インフォメーション

- メイン操作エリアには最大5つのタイルを表示できます。
- コンテンツおよびインタラクティブエリアのタイルをメイン操作エリアに動かすと、そのタイルが両エリアに表示されます。

個人画面の設定



図. 190: MyScreen の領域

ホーム画面の2ページ目(MyScreen)のさまざまな領域をカスタマイズできます。

1. ホーム画面 **🏠** で左にスワイプします。
➔ MyScreen **🏠** が表示されます。
2. **… ▶ MyScreen の設定**
3. 希望のカテゴリーを選択して長押しし、任意のエリアに移動させます (A、B、C [図. 190] を参照)。

4. タイルは別のタイルと交換することで削除できません。

ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 175 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

メディア

メディアの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

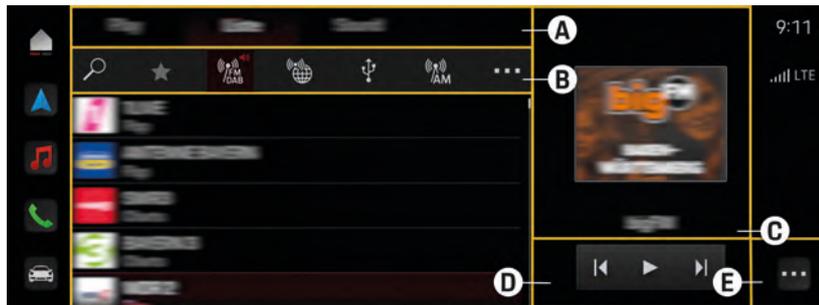


図. 191: メディアの再生

希望する操作	操作方法	操作箇所
メディアソースの接続	<ul style="list-style-type: none"> - 外部デバイスを Bluetooth® を介して接続します。 - USB を介して外部機器を接続してください。 	▶ P. 213
メディアの再生	▶ クイック フィルター バーで希望のメニュー オプションを開きます (A (図. 191) を参照) 希望の放送局/トラックを選択します。	-
メディアソースの選択	▶ フィルター バー (B (図. 191) を参照) で希望のメディアソースを選択します。	-
放送局/トラック/アルバムの検索 (現在使用可能なすべてのメディアソースを検索)	▶ 🔍 フィルター バーの 🎵 ▶ メディア (B (図. 191) を参照) で希望の放送局/トラックを入力します。	-
メディアソース/受信範囲を選択する	▶ 🏠 ▶ メディア 🎵 フィルター バー (B (図. 191) を参照) の再生 (A (図. 191) を参照) でメディアソースを選択します (📻 ラジオなど)。	-
メディアソース/受信コンテンツの表示	▶ 🏠 ▶ メディア 🎵 フィルター バー (B (図. 191) を参照) のリスト (A (図. 191) を参照) でメディアソースを選択します (📻 ラジオなど)。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
音楽を再生/一時停止する	▶ ▶ メディア 再生 (A [図. 191] を参照) ▶ または (D [図. 191] を参照) をタップします。	-
次/前の放送局/トラックを再生する	▶ ▶ メディア 再生 (A [図. 191] を参照) または (D [図. 191] を参照) をタップします。	-
お気に入りの放送局を保存する	▶ 希望の放送局を長押しします をタッチします。 - または - ▶ メディア 再生 (A [図. 191] を参照) をタップします。	▶ P. 217
放送局/トラックのリストを表示する	▶ ▶ メディア リスト (A [図. 191] を参照) 選択したメディアソースに応じて、 プレイリスト 、 アーティスト などのサブフォルダーを利用できます。	-
オンラインステーショントラッキングを起動	▶ ▶ メディア ... (E [図. 191] を参照) オンライン放送局トラッキング ¹ 受信状態が悪い場合は放送局が自動的にオンラインで受信され、放送局名の横に オンライン と表示されません。	-

メディアを再生する

利用できるラジオおよびメディアソース

ラジオはFM および AM (国による) 周波数帯をサポートしています。

車両の装備仕様により、次のメディアソースが利用可能です：USB または Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンラインメディアサービス。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

メディア再生中の他の機能

✓ ▶ **メディア** **再生** が選択されています。

概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です。

- 現在の再生リストを表示する：
- ランダム再生を有効にする：
- トラックをリピートする：

お気に入りの保存および編集

1. 必要条件: データ接続が確立されていること。ポルシェコネクトサービスが有効になっていること。

お気に入りの保存

- ▶  ▶ メディア  ▶ リスト ▶ 希望の放送局を長押し ☆ をタップします。
-または-
- ▶  ▶ メディア  ▶ 再生 ▶ ☆ をタップします。

お気に入りの整理

1.  ▶ メディア  ▶ お気に入り ▶ ... ▶ お気に入りの並び順を変更する
2.  をタップして編集モードに入ります。

お気に入りの削除

1.  ▶ メディア  ▶ お気に入り
2. 希望の放送局を長押しします。
➡ 削除マークが表示されます。
3. 削除マークをタップします。

メディア設定の変更

- ▶  ▶ メディア  ▶ ... ▶ 希望の設定を選択します。

メッセージ

メッセージの表示と編集

メッセージの表示

ショートメッセージ (SMS) を読むだけでなく、メッセージを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。一部の機能は電話でサポートされていない場合があります。この設定に関する詳細情報は、お使いの電話の取扱説明書を参照してください。

電話が接続されていると、通知センターにメッセージアプリケーションが表示されます。

インフォメーション

- 電話でデバイスのメモリーに保存されているショートメッセージしか表示できない場合は、車両で受信したショートメッセージが電話のメッセージリストに表示されない可能性があります。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
- PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

テキストメッセージの表示

1.  ▶ メッセージ ▶ SMS
2. リストから希望の SMS をタップしてください。
➡ SMS が PCM に表示されます。

ナビゲーション

ナビゲーションの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

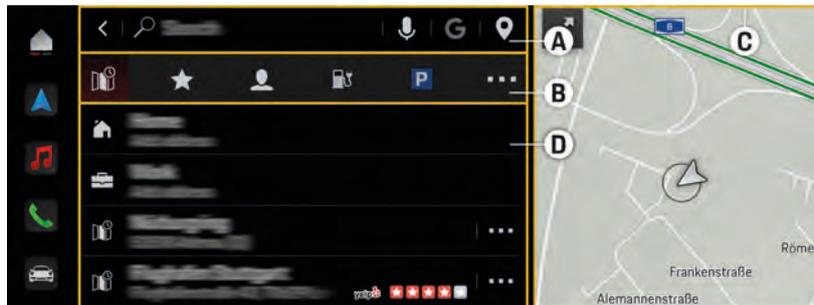


図. 192: 目的地の入力 / 検索

希望する操作	操作方法	操作箇所
目的地の検索 / 目的地の住所の入力	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ▶ ナビゲーション <p>コンテンツとインタラクション エリアに候補が表示されます (D (図. 192) を参照)。</p> <p>入力オプション (A (図. 192) を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 検索エリア: ルート沿いまたは付近を検索 - 検索 (国によってはご利用いただけない場合があります): インターネット検索 	-
目的地履歴から選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フィルター バー (B (図. 192) を参照) 上で、 を選択します。 	-
連絡先から目的地を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フィルター バー (B (図. 192) を参照) 上で、 を選択します。 	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
<p>検索結果を絞り込む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 検索結果はフィルターバーで絞り込むことができます (B (図. 192) を参照)。 - 前回の目的地 - お気に入り - 連絡先 - 駐車場 <p>フィルターバーのオプション... (B (図. 192) を参照) からはその他のフィルター (施設情報、充電スタンドなど) を表示できます。</p>	-
<p>マップビューを開く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション  	-
<p>ルート オプションを表示する (代替ルートなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション   ▶ オプション... ▶ ルートオプション 	-
<p>ルート案内を開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地の入力 ルート案内を開始 をタップします。 	-
<p>ルート案内の停止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マップ表示で  ▶ ナビゲーション  ▶ ストップ をタッチします。 	-
<p>目的地をお気に入りに追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地を入力するか候補リストから選択 (D (図. 192) を参照)... をコンテンツおよびインタラクティブエリア (D (図. 192) を参照) ☆ から選択してください。お気に入りはマップビューに ★ で表示されます。 	-
<p>交通情報を表示する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ルート案内が作動中です。 ▶  ▶ ナビゲーション  	P. 221
<p>オンラインナビゲーションを有効にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 設定  ポルシェ コネクト設定 ▶ ポルシェ コネクト サービス を選択します。購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。 	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
ナビゲーション音声案内の設定	▶ ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ 他のナビゲーション設定 を選択します。	-
ポルシェ コネクト サービスを使用する (オンラインマップアップデートなど)	✓ データ接続が確立されていること。ポルシェ コネクト サービスが有効になっていること。ポルシェ コネクト に関する詳細は、www.porsche.com/connect を参照してください。	▶ P. 224
ETC を表示する	- ▶ CAR ▶ ▶ ETC	▶ P. 223

ナビゲーションの使用



警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが該当する道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルと速度で走行してください。



警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に路面状態に注意してください。

地図からの目的地入力

1. ▶ ナビゲーション を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。

3. 表示された住所をタッチして、ルートナビゲーションを開始します。

代替ルート

マップビューには最大3つのルートが表示されます。

1. マップビューで、... ▶ 代替ルートを選択します。
2. 利用可能な代替ルートが表示されます。
3. 代替ルートをタップして選択します。
➡ 選択したルートが強調表示されます。
4. 開始を選択し、ルート案内を開始します。

ツアーの計画 (経由地の入力)

ツアーは、1つの目的地と最大8箇所の経由地からなります。

ツアーの入力および開始

1. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 目的地を入力 ▶ 開始。
2. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 経由地を入力 または 選択 ▶ ... ▶ 経由地として追加。
3. ツアーを開始。

ツアーの編集

経由地の順番は後で変更できます。

- ✓ ツアーが開始されています。

- ▶ オプション ... ▶ ルートの編集から該当する経由地のアイコン を押したままにし、目的の位置にドラッグします。

地図コンテンツの設定

1. ▶ ナビゲーション ▶ (サイドバーの左)
2. 希望の地図コンテンツを有効 / 無効にする (一部の国別仕様では不可) :

- 北向き：常に地図の上方が北になります。
- **3D マップ**：3D マップビュー（と 2D ビュー）の表示または非表示を切り替えます。
- **サテライトマップ**：地図のサテライトビューの表示 / 非表示を切り替えます。

地図設定の変更

1. ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ マップ設定

2. 希望の地図コンテンツを有効 / 無効にする（一部の国別仕様では不可）：

- **オートズーム**：地図の自動ズーム機能の有効と無効を切り替えます。
- **施設情報を表示**：地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
- **3D 建築物**：3D マップビュー（と 2D ビュー）の表示または非表示を切り替えます。
- **デイビュー/ナイトビュー**：マップ上のビューを選択します。

交通情報を表示する

地図上に交通情報を表示 P. 222

地図上に、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます：

- **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上ではない交通渋滞

以下の交通量情報が表示されます。

- フリーライン：円滑に流れる交通状態
- 黄色のライン：動きの遅い交通状態
- オレンジ色のライン：のろのろ運転状態

- 赤線：交通渋滞
- 濃い赤線：交通渋滞と封鎖されている道路

加えて、道路工事、事故、事故多発地点などに関する通知も地図上に表示されます。

交通渋滞の回避

ルート案内内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▶ ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ ルートオプション ▶ 道路交通案内の通知を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツプロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェは責任を負いかねます。

トリップ概要



図. 193: トリップ概要の情報

ナビゲーション作動中に をタップすると、トリップ概要を開いたり閉じたりすることができます。エリア **A** (図. 193) をタップすると、ルート概要が表示されます。現在のルート案内に関する以下の情報を確認できます：

- 目的地への到着時刻および距離 (**A** (図. 193) を参照)
- 交通渋滞などによる遅延。遅延の度合いも表示されます (**B** (図. 193) を参照)
- 経由地

以下の交通量情報が表示されます。

- 青色：円滑に流れる交通状態
- 黄色：流れの遅い交通状態
- 赤：交通渋滞

追加情報の表示

- ▶ 地図上またはトリップ概要の情報（渋滞による遅延 **B** (図. 193) など）を選択します。
 このメッセージに関する詳細情報が、PCMの詳細エリアに表示されます。

マップビューおよびナビゲーション情報をインストールメントパネルに表示する

インストールメントパネルの操作に関するインフォメーション：

▶ 165 ページの「インストールメントパネルの操作」の章を参照してください。

地図画面の表示および設定

1. インストールメントパネルの地図画面を選択します。
 ▶ 164 ページの「インストールメントパネルの概要」の章を参照してください。
2. マルチファンクションステアリングホイールから希望のビューオプションを選択してください：

- 手動ズーム：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- オートズーム：地図の縮尺は自動調節されます。
- 3D マップ：3 次元地図を表示します。
- 北向き：常に地図の上方が北になります。
- マップ情報：インストルメント パネルで車両 & 情報画面でマップ表示が選択されていない場合、ナビゲーション作動時にマップが自動的に表示されます。
- 矢印情報：インストルメント パネルで速度 & アシスト表示のナビゲーションメニューが選択されていない場合、ナビゲーション作動時にメニューが自動的に表示されます。

インストルメント クラスター上でのナビゲーション情報の表示

- ▶ インストルメント パネルで速度 & アシスト表示のナビゲーションメニューを選択します。
 - ▶ 164 ページの「インストルメント パネルの概要」の章を参照してください。

ナビゲーション設定の変更

- ▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ 希望の設定を選択します。

オンラインソフトウェアアップデートの実行

オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、以下をご覧ください：

- ▶ 223 ページの「オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール」の章を参照してください。

道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

ETC カードの挿入および取り出し



図. 194: グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードをカチッと音がするまでカードリーダーに差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、 を押してください
 - ▶ ヘッドラインに表示される  は、カードがないこと、またはカード エラーを示します。

ETC 設定

- ✓ ETC カードの詰まり

- ▶  ▶ 車両  ▶ ETC ▶ 支払い方法

- 通行料の表示
- 通行料の警告
- カード抜き忘れ警告

オンラインソフトウェアアップデート

オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール

オンラインソフトウェアアップデートのダウンロード

国別仕様のオンラインソフトウェアアップデート機能により、PCM と車両をアップデートできます。オンラインソフトウェアアップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

- ✓ ポルシェ コネクト スタアでポルシェ コネクト パッケージまたはポルシェ コネクト ケアを購入していること。
- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっていること。
- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが My Porsche で有効になっていること。
- ✓ データ接続が正常に完了していること。
- ✓ プライベート モードが無効になっていること。

ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続状況によって異なります。ダウンロードが完了すると、インストールを開始できます。

オンラインソフトウェアアップデートのインストール

インストールの準備ができると、PCM が再起動するたびに、利用可能なオンラインソフトウェアアップデートに関するメッセージが 1 回表示されます。通知で、いつでもメッセージを表示できます。

- ▶ オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、ホーム画面で **アップデート**  を選択してください。

情報

オンラインソフトウェアアップデート中の使用制限。

車両の走行準備が整っておらず、始動できません。 ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

- ▶ 車両を安全に駐車します。
- ▶ PCM のプロンプトに従ってください (すべての乗員が降車するなど)。
- ▶ オンラインソフトウェアアップデート中は、車両を使用しないでください。
- ▶ 車両はインストール後のみ使用してください。

1つのインストールプロセスのみ開始できます。このインストールプロセスは中断できません。インストール時間はオンラインソフトウェアアップデートの内容に応じて異なります。一度インストールしたオンラインソフトウェアアップデートは元に戻すことができます。

- ✓ オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードが正常に完了していること。
- ✓ 車両が OFF になっていること。
- ✓ パーキングロックとパーキングブレーキが作動していること。
- ✓ バッテリーが十分充電されていること。
- ✓ さらに条件が必要になる場合があります (ドアが閉まっている、車両がロックされているなど)。これらの条件は PCM に表示されます。

- ▶ **インストールでオンラインソフトウェアアップデートのインストールを確定します。**

再び走行可能状態を確立すると、PCM に通知が 1 度表示されます。車両を再びフル活用することができます。

ⓘ インフォメーション

インストールが確認されていない場合、または後で通知するを使用した場合、インストール時間は自動的に延期されます。

オンラインソフトウェアアップデートの失敗

オンラインソフトウェアアップデートの実行中に故障が発生する場合があります。

発生した故障の重大度とその結果は PCM に表示されます。

エラーが発生する場合、PCM の該当する情報を厳守してください。

情報

オンラインソフトウェアアップデートの失敗による損傷と使用制限。

表示および車両機能が正常に機能しません。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ コネクト

可用性

モデル、国、機器によって使用方法が異なる可能性があります。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。国によっては、内蔵 SIM カードまたは外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続は PCM のステータスラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

▶ 213 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

登録および有効化

Porsche ID アカウント (ポルシェ コネクト ユーザー) とポルシェ コネクトサービスの有効化

- ✓ Porsche ID アカウントを有効にするための E メールを受け取っていること。

1. Eメールの「Porsche ID アカウントを有効にする」ボタンをクリックし、確認コードを入力します (保存されている携帯電話番号に送信されます)。
2. Porsche ID アカウントのパスワードとセキュリティコードを設定します。
3. プロフィール情報を入力し、一部の国で設定されているポルシェ コネクトの無料ご利用期間を有効にします (該当する国ではバックグラウンドにて自動的に反映)。

① インフォメーション

Porsche ID を有効にするための E メールが届かないようであれば、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

暗証コード

車内で Porsche ID のログインを完了させ、アプリや My Porsche から一部のリモートサービスをご利用いただくためには、セキュリティコードを指定する必要があります。

1. My Porsche を開きます。[ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります。]
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. セキュリティコードは、ユーザー設定において設定、変更、またはリセットできます。

以下のサービスを使用する場合など、国によっては**セキュリティコード**を発行する必要があります。

- 乗車後に Porsche ID をロック解除 [「セキュリティコードでログイン」が設定されている場合]
- 車両のログイン設定を変更 [「セキュリティコードなしでログイン」などに変更]
- ポルシェ車両追跡システム (PVTS) の停止
- 追加ユーザーのためのリモート機能の作動

My Porsche 経由での追加サービスの有効化

✓ Porsche ID アカウントが有効になっている。

1. My Porsche を開きます。[ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります。]
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. サービス タブを選択します。
➡ 利用可能なサービスが表示されます。
4. ご希望のサービスを選択します。
5. アクティベーションと設定を行います。

▶ 223 ページの「オンライン ソフトウェア アップデートのダウンロードとインストール」の章を参照してください。

① インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス パッケージは、無料利用期間中、幅広いポルシェ コネクト サービスを無料で提供します。その期間はサービスと国ごとに期間が異なる場合があります。無料ご利用期間、ならびにそれ以降の費用やアクティベーション、ご利用、ご利用可能な各サービスに関する詳細情報については、www.porsche.com/connect をご覧いただくか、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 国によっては、ポルシェ コネクト サービスを内蔵 SIM カードまたは外部の WiFi ホットスポットで利用できます (ロシアでのみ利用可能)。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。

サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

車両での Porsche ID (ポルシェ コネクトユーザー) のログイン

一部のポルシェ コネクト サービスをご利用いただくためには、車両で Porsche ID のログインが必要となります。このログインを行うことにより、My Porsche のパーソナル設定を車両で呼び出すことができます。

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクト ユーザー (Porsche ID) が作成されていること。
- ✓ セキュリティコード (参照先: ▶ P. 225) が Porsche ID 用に My Porsche で作成されており、コードを把握していること。

1. 🏠 ▶ 設定 ⚙️ ▶ アカウント ▶ アカウントの設定

2. Porsche ID、E メールアドレス、My Porsche パスワードを入力し、**ログイン**で確認します。

ナビゲーションシステムおよびボイスコントロールシステムを使用する

- My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル施設情報やその他の施設情報カテゴリーをロードする場合のオンライン検索。
- 追加地図画面
- リアルタイム交通情報では、インターネット経由で事故、工事作業、渋滞情報およびその他の事象に関する情報が提供されます。
- オンライン音声検索

データ接続の確立

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する

国によっては内蔵 SIM カード経由のデータ接続確立オプションをご利用いただけない場合があります。

✓ プライベート モードが無効になっていること。

▶ 226 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

データ接続は、作動待機が確立されると自動的に確立されます。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- プライベート モードが無効です。
- 車両がネットワークからの電波を十分受信できる場所（電波の届かない場所ではない）にあります。

▶ 必要に応じて PCM を再起動してください。

外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立は、現在ロシアでのみ利用可能です。

インフォメーション

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続には、（データ ローミングなどによる）追加のコストが発生する場合があります。

✓ 電話の WiFi ホットスポットが公衆ホットスポットを利用できます。

1. ステータス エリア  または  において（接続ステータスによって異なる）、... ▶ WiFi 設定

▶ 外部ホットスポットを検索を選択します。

➔ WiFi ネットワークが検索され、表示されます。

2. WiFi ホットスポット（公衆ホットスポットや電話の個人ホットスポットなど）を選択し、PCM に WiFi アクセスデータを入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。

➔ 外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

PCM WiFi ホットスポットの有効化

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

1. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す：  ▶ 設定  接続ウィザード ▶ 車両ホットスポットに接続

➔ デバイス名と PCM WiFi パスワードがセントラルディスプレイに表示されます。

2. デバイスの WiFi 設定に PCM の WiFi アクセスデータを入力するか、デバイスを使用して PCM に表示された QR コードをスキャンします。

➔ PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

管理と設定

Porsche ID (ボルシェ コネクト ユーザー) の管理

✓ Porsche ID (ボルシェ コネクト ユーザー) がログインしている。

▶  ▶ 設定  ▶ アカウント 希望のアカウントを選択... ▶ アクションを実施：

- セキュリティコードでログイン：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID およびセキュリティ コードを確定する必要があります。
- セキュリティコードなしでログイン：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の確定のみが必要になります。
- 自動ログイン：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の再確認を必要とせずに自動的にログインします。
- アカウントの削除：Porsche ID は車両から削除されます。
- アカウントからログアウト：Porsche ID は車両からログアウトされます。ゲスト アカウントが有効になります。

サービス概要を表示

▶  ▶ 設定  ▶ プライバシーおよびボルシェ コネクト設定 ▶ すべてのボルシェ コネクト サービス一覧を選択します。
➔ 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

リモート アクセス権限の付与

車両で My Porsche またはボルシェ コネクト アプリ（国別仕様による）のサービス制御プログラムを使用するには、リモート アクセス認証が必要です。リモート アクセス認証は、メインユーザーが初めて車両にログインするとすぐに自動付与されます。

- ✓ メインユーザーが少なくとも 1 回車両にログインしています。

▶ 以下で登録済みユーザーを確認します：  ▶ **設定**  ▶ **アカウント**

アプリ

国によって利用可能なアプリが異なります (Apple App Store または GOOGLE Play Store からダウンロードできます)。



警告

運転中の使用および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ アプリを使用および操作するのは車両が完全に停止している場合だけにしてください。

My Porsche アプリ 1

一部の国で利用可能なアプリを使用して、携帯電話を車両に接続できます。これにより、車両の情報を携帯電話経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することができます。加えて、故障発信をアプリで起動することができます (利用可能性は国別仕様により異なります)。以下の機能などを利用できます：走行可能距離、燃料レベルやバッテリーステータスの確認、リモート操作による車両のロック・ロック解除、エアコンや補助ヒーターの作動と停止、パーソナル POI (施設情報) の管理と車両への送信、携帯電話のカレンダーから目的地を PCM に転送。さらにこのアプリを使用して、製品機能やイベントなど、ポルシェ ブランドに関する現在の情報にアクセスできます。

WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する

- ✓ アプリが電話にインストールされていること (Apple App Store または Google Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 電話で WiFi 機能が有効になっていること。
- ✓ PCM の WiFi 機能が作動している。

1.  ▶ **デバイスをタップします**  ▶ **WiFi 設定** ▶ **インターネット アクセスを有効にする** をタップします。

2. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す：  ▶ **デバイスをタップします**  ▶ **接続ウィザード** ▶ **PCM でホットスポットに接続** します。
➔ PCM のデバイス名および WiFi パスワードが表示されます。

3. デバイスの WiFi 設定に表示された PCM WiFi アクセス データを入力するか、表示された QR コードを電話でスキャンします。
➔ PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

車両とアプリ間の通信を無効にすることができます。

▶ 226 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワーク経由でデータが送信されるため、ご利用のサービス プロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

ポルシェトラック プレジジョン アプリ

▶ P. 227

ポルシェトラック プレジジョン アプリを使用し、無線通信 (WiFi) 経由でスマートフォンを車両に接続することができます (一部の国のみ)。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。ポルシェトラック プレジジョン アプリを使用するために、SIM カード / データ接続が必要ない場合があります。

PCM で WiFi 接続を確立するためのインフォメーション：

▶ 226 ページの「データ接続の確立」の章を参照してください。

ポルシェトラック プレジジョン アプリのインストール、機能および管理に関する詳細情報はアプリ内から入手するか、www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。



危険

車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況とドライビングスキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリはサーキット走行するときのみ使用してください。公道では使用しないでください。

インフォメーション

アプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

1. 名前と機能は変更される可能性があります

スマートサービス



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

機能

車両の一部のコンポーネントは、定期的なメンテナンスまたは交換を必要としています。スマートサービス(国別仕様による)を使用すると、メンテナンスおよび修理データ呼び出して更新できます。構成部品のメンテナンスまたは修理が必要な場合、PCMにメッセージが表示されます。

スマートサービスの作動

コネクストアのコネクタカーパッケージの一部として作動します。その後、この機能は自動的に車両で利用できるようになります。

▶ 224 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

インフォメーション

ポルシェコネクタに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェコネクタ取扱説明書およびヘルプ)は、www.porsche.com/connect で入手できます。

スマートサービスの使用

作動後、現在のスマートサービスデータをPCMで確認できます。

スマートサービスを開く

▶  スマートサービスを  をタップします。

➔ 以下の構成部品などに関するスマートサービスデータを含む概要が表示されます：

- ブレーキフルード
- キャビンフィルター
- 一般的な点検

コンポーネントの機能の呼び出し

✓ スマートサービスが開いていること。

1. 希望のコンポーネント横にある…をタップします。
2. 希望の機能を選択してください。

選択したコンポーネントに応じて、以下の機能が利用可能です。

- 手順を開きます。
- 最寄りの修理工場をPCMに表示します。
- コンポーネントをリセットします。
- 新しい有効期限を入力してください。

コンポーネントの停止または作動

✓ スマートサービスが開いていること。

1. 希望の構成部品を選択 ▶ 設定 
2. コンポーネントを停止 / 作動します。
 - ➔ 停止したコンポーネントに関する必要なメンテナンスまたは修理の通知は表示されません。

必要なメンテナンスまたは修理の通知の表示

▶ 次の機会にコンポーネントをメンテナンスまたは修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の機能を利用できます。

- メッセージを読み上げます。
- 最寄りの修理工場をPCMに表示します。
- メッセージを閉じます。メッセージはPCMを再起動すると再び表示されます。

コンポーネントのメンテナンスおよび修理に関する詳細情報は、My Porsche で開くことができます。

▶ 224 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

スマートサービスの停止

- ▶ プライベートモードを有効にして、スマートサービス(国により利用可能)を無効にします。
 - ▶ 226 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

インフォメーション

個々のサービスは、My Porsche のコネクタ設定から無効にすることができます。

スポーツクロノストップウォッチ 機能

スポーツクロノストップウォッチを使用して、インストルメントクラスター上で時間を停止、評価、表示できます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップタイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置や速度など）

記録中、以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 現在のラップタイムと最速ラップタイムの色分けでの比較
- 基準ラップに対して完了したラップの割合
- 現在のラップタイムが以前の最速ラップまたは選択したラップより速いか、遅いか、同じかを表示するカラーレート
- 燃料の残量および現在タンクに残っている燃料での走行可能距離および完了できるラップ回数。
- 残りの記録時間
- 現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗。

99時間、59分59.99秒まで記録および表示できます。

スポーツクロノストップウォッチの操作 ダッシュボードのストップウォッチ



図. 195: スポーツクロノストップウォッチ

ダッシュボードのストップウォッチに合計時間が表示されます。

アナログポインターは秒を表示します。デジタル表示は最初の1分までは1/100秒で表示します。その後、表示は2番目のステップに進みます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示およびライトの設定

▷ 170ページの「どらいびんぐでーたのひょうじ(とりっぷじょうほう)」の章を参照してください。▷ 211ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。

PCMのストップウォッチ



図. 196: PCMのストップウォッチ

- A** ラップタイム、ラップ回数およびタンクに残っている燃料で走行可能な距離などの記録に関する情報。
- B** トラック進捗状況またはラップカウンター付きのサークルダイアグラム：基準ラップと比較して既完了したラップの割合。現在のラップタイムが基準ラップより速い(緑色)、同一(黄色)、または遅い(赤色)のいずれであるかを示すカラーレート。

計時の開始

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ 開始**
 - ▶ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ 停止**

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ 継続**

ラップの停止 / 新しいラップの開始

1回の記録で最大で99ラップを記録することができます。

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ 新しいラップ
 - ➔ ラップカウンターの値が1ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が設定した差に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。

中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ 中間タイム
 - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチタイムのリセット

✓ 計時が停止されました。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ リセット
 - ➔ すべてのストップタイム表示は0にリセットされ、走行記録は停止されます。

基準ラップの読み込み

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ラップの読み込み

基準ラップの保存

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ 展示 ▶ 評価 希望する記録を選択参考ラップを保存する

記録の表示と編集および統計の記録

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されません。最大で10時間の記録が可能です。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ 展示 ▶ 評価

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

- ✓ オプション  ▶ スポーツクロノ 評価で選択されます。
- ✓ インポート/エクスポート用にUSBデータキャリアが接続された。データは、記憶媒体の「SportChrono」フォルダーに保存されています。データメモリはFAT32またはexFat(WindowsまたはLinux)にフォーマットされています。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ...

スポーツクロノの設定

追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップタイムとは別に、他の運転データ(速度など)を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ 設定 ▶ 拡張データ記録

許容距離差の設定

基準ラップの長さや任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ 設定 ▶ 許容された距離の偏差

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一(黄色マーク)と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ 設定 ▶ 最大評価のための時間偏差

最速ラップ(ゴーストカー)の車両位置の表示

- ▶  ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ 設定 ▶ 最速ラップの順位を展示

インストールメントパネルのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両&情報」ディスプレイに表示されます。



図. 197: インストルメントパネルのストップウォッチ

- A ラップカウンター
- B サークルディスプレイ：基準ラップと比較して既に完了したラップの割合。
- C コントロールコマンド
- D 基準ラップタイム
- E 現在のラップタイム

計時の開始

- ▶ **スポーツクロノ ▶ 開始**
 - ➔ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ 停止**

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ 継続**

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

1回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が開始されました。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ ラップ**
 - ➔ ラップカウンター A が 1 ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイムとして保存されます。

中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されました。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ 中間タイム**
 - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。サークルダイアグラム B の数字は設定された各中間タイムを示します。

ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止されました。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ リセット**
 - ➔ すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

ダッシュボードのアナログ時計



図. 198: スポーツクロノストップウォッチ

アナログ時計の時間とライトの明るさは、ダッシュボードのタッチディスプレイで設定できます。

- ▶ 170 ページの「どらいびんぐでーたのひょうじ(とりつぶじょうほう)」の章を参照してください。▶ 211 ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。

電話

電話の概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 175 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

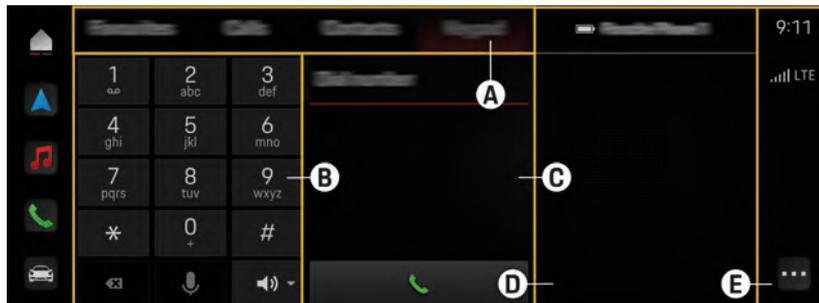


図. 199: 電話番号の入力 (キーボード)

希望する操作	操作方法	操作箇所
Bluetooth® を介した電話の接続	▶ ▶ 電話 、既知デバイスを選択または新規検索 ▶ 検索開始 をタップします。	▶ P. 233
接続されている2台の電話を切り替える	▶ ステータスエリア (D (図. 199) を参照) で現在接続されている電話を選択します。既に接続している2つのデバイスが表示されます。希望する電話を選択してください。 - または - ▶ ステータスエリア (E (図. 199) を参照) で をタップします。	-
電話をお気に入りに設定	▶ ▶ デバイスをタップします ☆ をタップします。	-
デバイスリストから電話を削除	▶ ▶ デバイスをタップします をタップします。 削除する電話の行を右から左にスワイプします。 デバイス リストから電話が削除されます。	-
接続済みオーディオ再生デバイスの切り替え	▶ ▶ 電話 ▶ キーボード (B (図. 199) を参照) をタップします。希望の再生デバイスを選択します。	-
ダイヤル番号	▶ ▶ 電話 ▶ キーボード (B (図. 199) を参照) をタップします。	-
連絡先をお気に入りに登録する	▶ ▶ 電話 ▶ お気に入り (A (図. 199) を参照) + お気に入りに追加 ▶ 希望の連絡先をリストから選択 ▶ ☆ をタップします。	▶ P. 233

希望する操作	操作方法	操作箇所
通話履歴を表示する	▶  ▶ 電話  ▶ 通話履歴 (A (図. 199) を参照)	—
連絡先を表示する	▶  ▶ 電話  ▶ 連絡先 (A (図. 199) を参照)	—
メッセージを表示する	▶  ▶ 通知  をタップします。	▶ P. 218
ボイスメールを聞く	▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド (B (図. 199) を参照) 選択ボタン1 を長押しします。	—
着信に応答する / 拒否する	▶ 応答  または 拒否  をタッチします。	—
通話を終了	▶ キーパッド (B (図. 199) を参照) かステータスエリア (C (図. 199) を参照) で 拒否  をタップします。 — または — マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを押します。	—

モデル、国、機器によって異なる使用方法が可能です。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

▲ 警告

電話の使用による事故の危険あり

走行中に電話を使用すると、注意力が散漫になり交通状況に集中できなくなります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

Bluetooth® を介した電話の接続

新しい電話を接続

▶ 213 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

▲ 警告

ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

- ✓ 電話の Bluetooth® 機能が作動しており、他のデバイスから検出可能になっていること。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっていること。

1.  ▶ デバイスをタップします  ▶ 新しいデバイスを接続 ▶ 新しい電話を接続 / 新しいオーディオプレーヤーを接続をタップします。
2. リストからデバイスを選択してください。
➡ 6桁の Bluetooth® コードがPCMと該当す

荷物および運搬

収納スペース

荷物の収納

▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

▲ 警告

センター コンソール内の荷物

小物入れやドリンクホルダーがセンターコンソールに挿入されていない場合、何かがパーキングブレーキボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- ▶ センターコンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をドリンクホルダーに収納しないでください。
- ▶ ドリンクホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

情報

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

情報

リヤシート後方に荷物を置くと、コンパチブルトップまたはルーフシステムを開いたときに損傷する恐れがあります。

- ▶ コンパチブルトップまたはルーフシステムを開く前に、リヤシート後方の荷物を取り除いてください。

車両装備により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- 2ドリンクホルダー
- グローブボックス
- ドアのボトルホルダー付き小物入れ
- 助手席足元の収納ネット
- センターコンソールの小物入れ
- アームレストの小物入れ
- リヤシート後方のリヤシェルフ

小物入れの開閉

グローブボックスの開閉



図. 201: グローブボックスを開く

グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
➡ グローブボックスは自動的に開きます。

グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。

小物入れの取り付けおよび取り外し



警告

センター コンソール内の荷物

小物入れやドリンクホルダーがセンターコンソールに挿入されていない場合、何かパーキングブレーキボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。これにより意図せずブレーキがかかってしまうおそれがあります。

- ▶ センターコンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をドリンクホルダーに収納しないでください。
- ▶ ドリンクホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。



図. 202: 小物入れの取り付けおよび取り外し

小物入れの取り付け

車両には、センターコンソールに挿入できる小物入れが付いています。

- ▶ センターアームレストの前の開口部に小物入れを挿入し、可能な限り下方に押し込みます。

小物入れの取り外し

- ▶ 小物入れを握って取り外します。

アームレストの小物入れを開く



図. 203: アームレストの小物入れを開く

小物入れを開く

- ▶ アームレストの右側のボタンを押してください。
➡ リッドが自動的に開きます。

ルーフトランスポートシステム

ルーフに物を載せて運ぶ場合



警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフトランスポートシステムまたは積載器具。

固定されていない、または不適切に固定されたルーフトランスポートシステムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こすおそれがあります。

- ▶ スキー/スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポート底部に対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフトランスポートシステムや積載器具が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニングスクリューを再度締め付けます。



警告

車両のハンドリング特性の変化

ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 運転スタイルを適応させてください
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムは装着しているものの荷物は載せていない場合、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェテイクアップメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。

▲ 警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合、走行中に荷物がルーフ トランスポート システム から外れ、重大な事故につながるおそれがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムに荷物を載せる際には、荷物がシステムの側面からはみ出さないようにしてください。荷物が車両の幅を決して超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフ トランスポート システム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に分散されるようにしてください。

情報

ルーフ トランスポート システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ トランスポート システムを損傷するおそれがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ トランスポート システムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

① インフォメーション

- ▶ ルーフ トランスポート システムを使用しない場合は、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外すことで、電力消費が最適化され、ノイズも低減できます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ トランスポート システムや他の補助アタッチメント (スキー/スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど) を使用してください。

ルーフ トランスポート システムについて詳しくは、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ルーフ トランスポート システムの取り付け

① インフォメーション

ポルシェは、ポルシェが試験および認定したルーフ トランスポート システムのみを使用することをお勧めします。



図. 204: ルーフ トランスポート システムの構成部品

- A** フロント キャリアー バー (ロング)
- B** リヤ キャリアー バー (ショート)
- C** カバー トリム
- D** トルク レンチ
- E** キー

初めて取り付ける場合：

- ▶ フロントおよびリヤ キャリアーを車両幅に合わせて調節します。

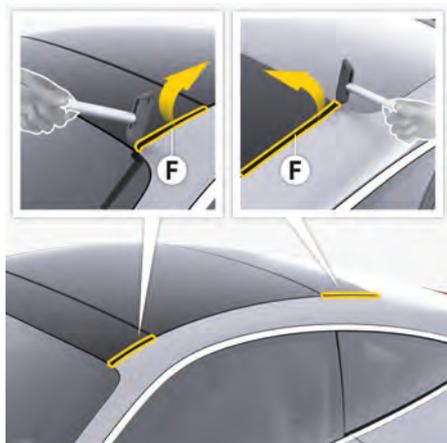


図. 205: ルーフ レールからシールを取り外す

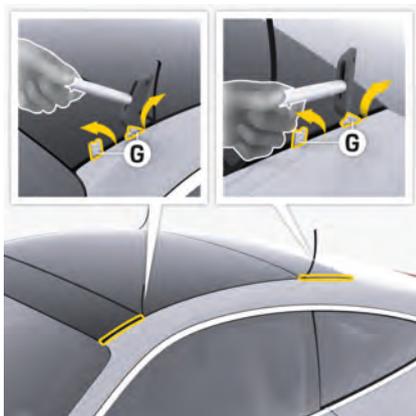


図. 206: ロータリー ホルダーを拡げる

1. トルク レンチのフックを使用して、ルーフ レールのシールFを持ち上げ、引き出します。



図. 207: カバー フラップのロック解除および持ち上げ

2. トルク レンチのフックを使用して 8 個すべてのロータリーホルダーGを拡げます。



図. 208: キャリアの下側のスクリーンをゆるめます。

3. キーを使用してカバー フラップHのロックを解除し、完全に上に持ち上げます。

初めての取り付け

1. トルク レンチからハンドルを取り外します。トルク レンチの短い方を使用して、キャリアの下側のスクリーンをゆるめます。



図. 209: キャリアの長さを調節する

2. 長いキャリアA(図. 209)をフロント側、短いキャリアB(図. 209)をリヤ側のロータリーホルダーG(図. 209)に配置し、可動式キャリアサポートで車両の幅に合わせます。

キャリアの下側に貼ってあるステッカーに従ってキャリアが配置されているかどうかを確認します。



図. 210: キャリアー下側のスクリューを締め付けます。

3. キャリアーの下側のスクリューをゆるく締め付けます。
4. キャリアーを取り外し、トルク レンチの短い方を使用して、キャリアーの下側のスクリューを手で締め付けます。
5. ハンドルをトルク レンチに取り付けます。

情報

シールがルーフとサポートの間に挟まることによるシール損傷のリスク。

- ▶ シール **F** (図. 211) をサポート底部に挿入します。

再組み立て

1. キャリアーをロータリー ホルダー **G** (図. 209) に配置します。

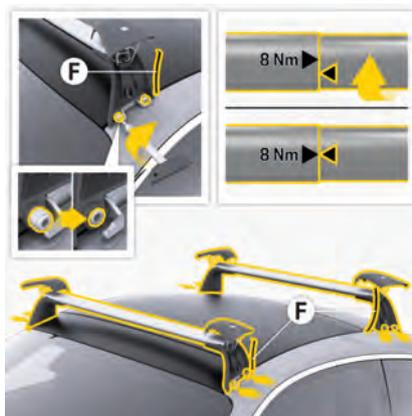


図. 211: キャリアーのファスニングスクリューを締め付ける

2. キャリアーの 8 個のファスニング スクリューすべてをトルク レンチで表面が面一になるまでねじ込みます。その後、トルク レンチの矢印マークが完全に揃うまで、8 個すべてのスクリューを締め付けます。



図. 212: 積載機器の挿入

3. キャリアーのカバー フラップ **H** (図. 212) を完全に下方に下げて、ご希望の積載機器 (ルーフボックス、バイク ラックなど) をキャリアーに押し込みます。



図. 213: カバー トリムをサイズに合わせて切り、取り付ける

- カバー トリム **C** (図. 213) をサイズに合わせて切り、横方向からスライドさせるか上から押してキャリアーにはめ込みます。カバー トリムは湿気やほこりからキャリアーを保護すると同時に、風切り音を防ぎます。
- カバー フラップを閉じ、キーでロックします。

i インフォメーション

50 km 走行後、キャリアーおよび積載機器のすべてのスクリーンを再度締め付けます。

ドリンクホルダー カップホルダーを使用する

▲ 警告

センター コンソール内の荷物

小物入れやドリンクホルダーがセンターコンソールに挿入されていない場合、何かがパーキングブレーキボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- ▶ センターコンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をドリンクホルダーに収納しないでください。
- ▶ ドリンクホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。

情報

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。

ドリンクホルダーは、センターコンソールに1個、助手席側のアウターエアベントの下に1個あります。

ドリンクホルダーのセンターコンソールへの挿入



図. 214: ドリンクホルダーのセンターコンソールへの挿入

- ▶ ドリンクホルダーを挿入し、カチッと音がして収まるまで押し込みます。
 - ➡ ドリンクホルダーが使用できます。

車両装備により、ドリンクホルダーに挿入できる灰皿が利用可能です。

▶ 243 ページの「スモーカーズパッケージ」の章を参照してください。

ドリンクホルダーのセンターコンソールからの取り外し



図. 215: ドリンクホルダーのセンターコンソールからの取り外し

- ▶ ボタンを押して、ドリンクホルダーを上方に取り外します。

助手席側のドリンクホルダーの使用



図. 216: ドリンクホルダー

1. 助手席側のアウターエアベントの下のパネルを押し込んで、開きます。
▶ ドリンクホルダーが自動的に開きます。
2. 閉じるには、ドリンクホルダーをカチッと音がして収まるまで挿入します。



図. 217: ドリンクホルダーを開く

ラゲッジコンパートメント

荷物の積載



警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。



警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントで輸送して、車室内(座席の上または前など)には絶対に入れないでください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れカバーを必ず閉じます。



警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を調整した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定も更新してください。

ラゲッジコンパートメントの開閉

▶ 33ページの「ラゲッジコンパートメントリッド」の章を参照してください。

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納

停止表示板の取り外し

停止表示板Aはラゲッジコンパートメントのリヤに収納されています(国別仕様により異なる)。

応急処置キットの固定と取り外し

応急処置セットB(国別仕様により異なる)は、ラゲッジコンパートメント内のカーペットにマジックテープで固定することができます。

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)および工具セットの取り外しと収納



図. 218: タイヤシーラントが入ったプラスチックの箱C



図. 219: タイヤシーラントおよび工具セット

- D タイヤシーラント (タイヤ モビリティ システム – TMS)
- E アダプターを取り付ける
- F けん引フックをゆるめる
- G 両口スパナ
- H ドライバー

タイヤシーラント (タイヤ モビリティ システム – TMS) および工具セットの取り外し

- ▶ ハンドルの取っ手部分のプラスチック カバーを取り外してください。

タイヤシーラント (タイヤ モビリティ システム – TMS) および工具セットの収納

1. ラグは下部に挿入してください。
2. プラスチック カバーは上部にはめ込みます。

タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し



図. 220: プラスチック カバーの解除と引き上げ

1. プラスチック カバーの取っ手 (矢印) を持って持ち上げ、ラッチを外します (外れる音が聞こえます)。
2. プラスチック カバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。



図. 221: プラスチック カバーの取り付け

3. プラスチック カバー下側の固定ストラップを外し、ラゲッジコンパートメントリッドに取り付けてください。



図. 222: タイヤ充填コンプレッサーの小物入れを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの小入れのリッドを開きます。
5. タイヤ充填コンプレッサーを小入れから取り出してください。

タイヤ充填コンプレッサーの収納

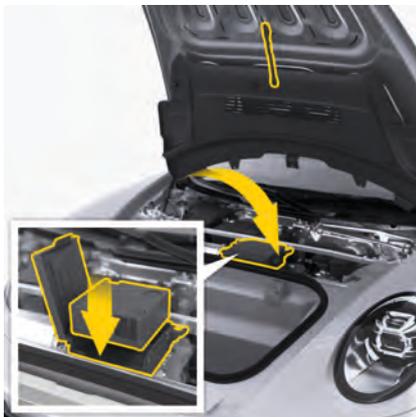


図. 223: タイヤ充填コンプレッサーの収納

1. タイヤ充填コンプレッサーを小入れに入れま



図. 224: プラスチック カバーを閉じる

2. 小入れのカバーを閉じてください。
3. 固定ストラップを外し、プラスチック カバーに取り付けてください。
4. プラスチック カバーの後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置きます。プラスチック カバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリング ピンが該当するガイドにはまっていることを確認します。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

スモーカーズ パッケージ 灰皿の使用



警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に紙類が入っていると引火する可能性があります。

▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

灰皿の挿入



図. 225: 灰皿の挿入

車両装備によっては、センター コンソールのドリンクホルダーで灰皿が利用可能です。

▶ 239 ページの「ドリンクホルダー」の章を参照してください。

▶ 灰皿をドリンクホルダーに挿入し、いっばいに押し込みます。

灰皿の開閉



図. 226: 灰皿の開閉

- ▶ リッドを持ち上げ、倒すことで灰皿を開閉します。

灰皿の取り外し

- ▶ 灰皿を握って取り外します。

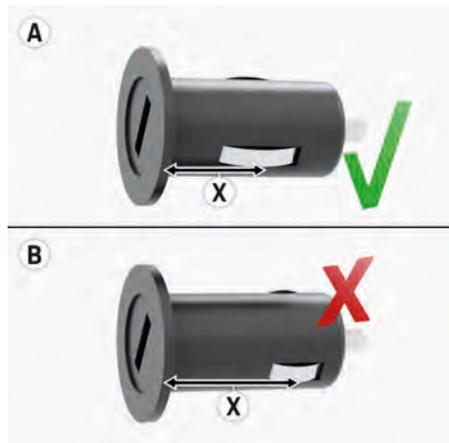


図. 227: 12 ボルト プラグ ソケット用充電アダプター

電気ソケット

12V プラグ ソケットの使用

12V プラグ ソケットには電装品 (アクセサリ) を接続できます。

12 ボルト プラグ ソケットは助手席側の足元にあります。

充電アダプターの接続

① インフォメーション

- 12V プラグ ソケットおよび接続している電装品 (アクセサリ) は、イグニッションが OFF のときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。
- エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを ON にしてください。
- 電装品が 1 つだけ作動している場合、12 ボルト プラグ ソケットの最大電流値は 20 A です。複数の電装品を同時に作動する場合は、12 ボルト プラグ ソケット当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

- A 適切な充電アダプター
- B 使用できない充電アダプター

情報

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください。
 グ라운드端子部から充電アダプター上端までの寸法 X は、約 16 mm 以下でなければなりません。
- ▶ グ라운드端子部から充電アダプター上端までの寸法 X が 16 mm 以上の不適切な充電アダプター (B) を使用すると、12 V プラグ ソケットが損傷することがあります。

モビリティおよび軽修理

12Vバッテリー

一般的な安全に関する指示

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

モデル、国、および装備により、車両には AGM Technologie (Absorbent Glass Mat) テクノロジーの鉛蓄電池または 12 V リチウム バッテリー (LiFePO4) のいずれかが装備されています。

リチウム バッテリー 装備車両では、バッテリーにステッカーが貼付されています。

- ▶ いかなる場合も、ステッカーをはがしたり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

リチウム バッテリー



警告 感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。

- ▶ 電気システムでの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告 電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

情報

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ 電気システムでの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。



図. 228: リチウム バッテリー

12V リチウム バッテリーはラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります。プラスチック カバーの取り外しに関するインフォメーション：

- ▶ 33 ページの「ラゲッジ コンパートメント リッド」の章を参照してください。

12V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両電気システムから自動的に切り離されます。電気システムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気システムは自動的に再作動します。12V リチウム バッテリーは車両電気システムに自動的に再接続されません。

- ▶ 248 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

- ▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。

リチウムバッテリーの安全シンボル



説明書をお読みください



保護眼鏡を着用してください



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています
電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください



爆発の危険があります



腐食性火傷の危険があります

電解液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。



応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。電解液が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収所に持ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



メンテナンス作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください

ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。この車両のリチウムバッテリーの交換には、ボルシェ指定のリチウムバッテリーのみを使用してください。他のリチウムバッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、エレクトロニカルシステムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。

バッテリー交換は必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リチウムバッテリーのお手入れ

希望する操作	操作方法
バッテリー上がりを避ける	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチをOFFにします。 ▶ 車両から離れるときは、イグニッションをOFFにしてください。
冬季走行の準備をする	▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
バッテリーを充電する	▶ 損傷したバッテリーは決して充電しないでください。

希望する操作	操作方法
車両を保管する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両をガレージやワークショップで長期間保管する場合は、ドアとリッドを閉めておきます。 ▶ イグニッションをOFFにしてください。

① インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはリチウムバッテリーに適したCC/CVまたはpure CV充電特性を持つトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェ テクニップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。

リチウムバッテリーの充電



図 229: リチウムバッテリー端子

⚠ 警告

損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使用すると、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。この場合、バッテリーが損傷して刺激性のガスが流出する恐れがあります。化学火傷およびブースター、充電器、または車両への深刻な損傷が発生する可能性があります。

- ▶ リチウムイオンテクノロジーのブースターは使用しないでください。
- ▶ 内蔵型電子保護回路付きの LiFePO₄ バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- ▶ 以下の最大値を絶対に超えないでください。
 - 最大充電電圧：14.8 V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
 - 最大充電電流：90 A
- ▶ 疑わしい場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。

1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
▶ 33 ページの「ラゲッジコンパートメント リッド」の章を参照してください。
2. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを開きます。
3. 充電器の赤色のプラス ケーブルを、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続してください。
4. 充電器の黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 - に接続します。

5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
7. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。

適切な充電器に関する情報は、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

外部電源の供給

モデルおよび装備により、車両には AGM (Absorbent Glass Mat: 吸収ガラス マット) テクノロジーの鉛蓄電池または 12 V リチウム バッテリー (LiFePO₄) のいずれかが装備されています。

リチウム バッテリー 装備車両では、バッテリーにステッカーが貼付されています。

- ▶ いかなる場合も、ステッカーをはがしたり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

鉛蓄電池のジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

- ✓ 鉛蓄電池装備車。

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー ケーブルを使用して外部電源を接続したりすることができます。両方のバッテリーの公称電圧が 12 V でなければなりません。支援車側のバッテリー容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリー容量に比べて小さすぎないようにする必要があります。上がったバッテリーは、必ず車両電気系統に正しく接続してください。

▶ 246 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

警告

不適切なジャンパー ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用した場合や、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品 (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用端子のみにしてください。

警告

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、**実行しないでください**。
- ▶ ジャンパー ケーブルを接続する前に、凍結したバッテリーを解凍することが重要です。

注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。



図. 230: 鉛蓄電池端子

ジャンプスタート

1. ラグゼッジコンパートメントを開いてください。
 - ▶ 33 ページの「ラグゼッジコンパートメント リッド」の章を参照してください。
2. ラグゼッジコンパートメント カバーを取り外してください。
 - ▶ 33 ページの「ラグゼッジコンパートメント リッド」の章を参照してください。
3. 赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続します。
4. 赤色のプラス ケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色のマイナス ケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。黒色のマイナス ケーブルは**絶対**にバッテリーへ直接接続しないでください。
6. 黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 - に接続します。

7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けなくてください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動している状態：まず黒色のマイナスケーブルをアース箇所 から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
10. エンジンが作動している状態：赤色のプラスケーブルを先に支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用のプラス端子 + から外します。

リチウム バッテリー ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

✓ リチウム バッテリー 装備車。

12V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両電気システムから自動的に切り離されます。電気システムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気システムは自動的に再作動します。12V リチウム バッテリーは車両電気システムに自動的に再接続されます。

他の車両のバッテリーを、ジャンパー ケーブルを介してエンジンを始動したり、外部電源にしたりするために使用できます。両方のバッテリーの公称電圧が 12V でなければなりません。支援車側のバッテリー容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリー容量に比べて小さすぎないようにする必要があります。上がったバッテリーは、必ず車両電気システムに正しく接続してください。

▶ 246 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を繰り返す行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。



警告

不適切なジャンパー ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用した場合や、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品 (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用端子のみにしてください。



警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

情報

完全放電したりリチウム バッテリーにジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が実施されると、損傷を起こす恐れがあります。

- ▶ リチウム バッテリーの完全放電が疑いがある場合、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を行わないでください。



図 231: リチウムバッテリー端子

1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
▶ 33 ページの「ラゲッジコンパートメントリッド」の章を参照してください。
2. ラゲッジコンパートメントカバーを取り外してください。
▶ 33 ページの「ラゲッジコンパートメントリッド」の章を参照してください。
3. 赤色のプラスケーブルをジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+に接続します。
4. 赤色のプラスケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色のマイナスケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. 黒色のマイナスケーブルをアース箇所-に接続します。
7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めます。

8. エンジンを始動してください。ジャンパーケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けしないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動している状態：まず黒色のマイナスケーブルをアース箇所-から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
10. エンジンが作動している状態：赤色のプラスケーブルを先に支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパーケーブルによるエンジンの始動用のプラス端子+から外します。

リチウムバッテリーの交換



警告

不適合な 12V リチウムバッテリーによる火災の恐れ

車両エレクトリカルシステムの著しい作動不良に加えて、不適合な 12V リチウムバッテリーの使用または誤った取り付けは特別な状況下で火災の原因になる恐れがあります(充電中など)。

- ▶ ご自身では絶対に 12V リチウムバッテリーを交換しないでください。この車両の 12V リチウムバッテリーの交換には、ボルシェ指定の 12V リチウムバッテリーのみを使用してください。他のリチウムバッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、エレクトリカルシステムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。
- ▶ 必ずボルシェ正規販売店に 12V リチウムバッテリーの交換を依頼してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ リチウムバッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、特定の機器では再初期化が必要です。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存します。
▶ 31 ページの「ウィンドウ」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
3. スライディング/チルティングルーフの停止位置を保存してください。
▶ 36 ページの「スライディング/チルティングルーフ」の章を参照してください。

鉛蓄電池



警告

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両エレクトリカルシステムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具(指輪、ネックレス、時計バンドなど)が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生します。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。

▲ 注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。

情報

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ エレクトリカルシステムの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なト

レーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。



図. 232: 鉛蓄電池

鉛蓄電池はラゲッジコンパートメント内のプラスチックカバーの下にあります。プラスチックカバーの取り外しに関するインフォメーション:

▶ 33 ページの「ラゲッジコンパートメントリッド」の章を参照してください。

- ▶ ジャンパーケーブルによるエンジンの始動時は、黒色のマイナスケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず黒色のマイナスケーブルを - アース箇所 に接続してください。

▶ 248 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

鉛蓄電池の安全シンボル

説明書をお読みください



保護眼鏡を着用してください



お子様を絶対に近づけたりしないでください



爆発の危険があります

バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します:



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています

電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。



腐食性やけどの危険があります

バッテリー液には極めて強い腐食性があります。そのため、保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。換気口から酸が溢れるおそれがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一バッテリー液(酸)を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者(医師)の診察を受けてください。



廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。

鉛蓄電池のお手入れ

① インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0°Cであっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40°Cまで凍結しません。

希望する操作

その操作方法は？

バッテリー上
がりを避ける

- ▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチをOFFにします。
- ▶ 車両から離れるときは、イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。

バッテリーの
お手入れ

- ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
- ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。

冬季走行の準
備をする

- ▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

バッテリーの
充電

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。

鉛蓄電池の充電



図. 233: 鉛蓄電池端子

- + プラス端子を押し込む
- アース箇所



警告

凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを決して充電しないでください。
- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ 十分に換気ができる場所でバッテリーを充電してください。

1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
▶ 33 ページの「ラゲッジ コンパートメント リッド」の章を参照してください。
2. ラゲッジコンパートメント カバーを取り外してください。
▶ 241 ページの「ラゲッジ コンパートメント」の章を参照してください。
3. 充電器の赤色のプラス ケーブルを、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続してください。
4. 充電器の黒色のマイナス ケーブルを - アース箇所 に接続してください。
5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
7. 適切な充電器に関する情報は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

鉛蓄電池の交換

バッテリー本体に表示された規格 / 仕様のみでは、そのバッテリーがボルシェの要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリー交換は必ずボルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ 鉛蓄電池は、必ず車両の特定の要件に合致する AGM (Absorbent Glass Mat : 吸収ガラス マット) バッテリーと交換してください。ボルシェでは、ボルシェ純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
- ▶ 新しいバッテリーは取り付け後、コントロールユニットに登録する必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分な

トレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、特定の機器では再初期化が必要です。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存します。
▶ 31 ページの「ウィンドウ」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
3. スライディング / チルティング ルーフの停止位置を保存してください。
▶ 36 ページの「スライディング / チルティング ルーフ」の章を参照してください。

けん引

けん引または押しがけによるエンジンの始動

① インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバー アシスタンス システムを OFF にします。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック パーキング ブレーキやステアリング コラム ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

情報

PDK 装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによるエンジンの始動は**行わないでください**。
- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。

情報

重大な車両損傷の危険。

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
- ▶ マニュアルトランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時のみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する可能性があります。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▶ 246 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。

▶ 248 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

マニュアルトランスミッション装備車のけん引¹



警告

パワーアシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引されている車両のエンジンが停止している場合、パワーステアリングを利用することはできません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。

4輪駆動/ボルシエトラクションマネージメントシステム (PTM) に関する重要なインフォメーション:

- ▶ けん引時は**4輪すべて**が接地するようにするか、車両輸送専用車で輸送しなければなりません。片側のアクスルを持ち上げた状態でけん引は**できません** (フロントとリアのいずれのアクスルでも同様です)。

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- ▶ バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▶ 246 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。

▶ 248 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

4輪が接地した状態でけん引時の注意事項

- ▶ けん引される車はイグニッションスイッチを ON にして、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングロックが解除されるようにしてください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でけん引に関する指示 (後輪駆動車のみ)

1. イグニッションを OFF にしてください。キーをイグニッションロックに残し、ステアリングロックがかからないようにしてください。
2. 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

車両のけん引

1. マニュアルトランスミッション装備車: ギヤシフトレバーをニュートラル位置に動かします。
2. けん引するときの速度は 50 km/h 以下にしてください。けん引距離は 50 km 以内 to してください。50 km を超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

1. 車両を救出するときは十分に注意してください。
2. 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
3. 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

PDK 装備車両のけん引

PDK 装備車両は、クレーン付きのけん引車両、車両輸送専用車、またはトレーラーを使用するのみけん引できます。



図. 234: けん引許可

1. 装備は、後でしか使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

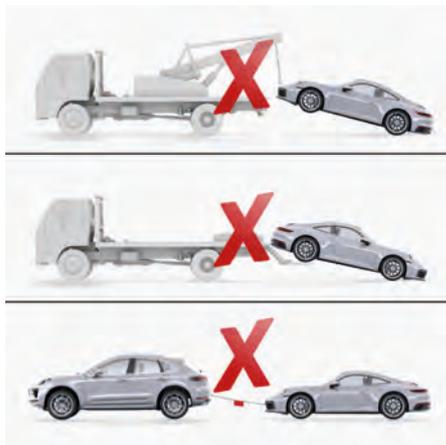


図 235: けん引不可

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- ▶ バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。
- ▶ 246 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。
- ▶ 248 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。
- ▶ 257 ページの「鉄道、船舶および積載車での車両輸送」の章を参照してください。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

1. これらの仕様と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
2. けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
3. けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
4. ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。
5. けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。

▶ 256 ページの「けん引フックの使用」の章を参照してください。

けん引ロープの使用

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーの使用

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

けん引フックの使用



図 236: けん引フックをゆるめず

けん引フックは工具セットに収納されています。

▶ 241 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

けん引フックの取り付け

1. プラスチックカバーの下端部をバンパー内に押し込んで取り外すか、または適切なツール(例: スクリュードライバー)で慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック A(図 236)を反時計方向いっぱいになじ込み(逆ねじ)、手で締め付けます。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック A(図. 236) を外します (時計回りに回転、逆ねじ)。
2. 開口部の下端にプラスチック カバーを差し込んでください。
3. プラスチック カバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押します。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶および積載車での車両輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
2. 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
 - ▷ 28 ページの「警報システム」の章を参照してください。

フラットベッドの使用

車両をフラットベッドに載せる

フラットベッドは、トランスミッションパーキング ロック (PDK 装備車両) またはエレクトリックパーキングブレーキを解除できる場合にのみ使用してください。故障 (バッテリーの放電など) が発生した場合は、車両をフラットベッドに積み込まないでください。



図. 237: 車両をフラットベッドに載せる

PDK 装備車

1. セレクター レバーを **N** の位置にします。
2. イグニッションを OFF にしてください。

約 30 分間、車両のタイヤを回転させることができます。その後、トランスミッションパーキング ロックが自動的に作動します。

3. 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。
4. ウインチ ケーブルを引き込み、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

マニュアルトランスミッション装備車

1. トランスミッションをニュートラルにシフトします。
2. イグニッションを OFF にしてください。
3. 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。

4. ウインチ ケーブルを引き込み、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

車両をフラットベッドに固定する



図. 238: 車両をフラットベッドに固定する

1. 後輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアを損傷しないように注意してください。
2. フラットベッドの後部にストラップを固定します。
3. ラッシングストラップに張力がかかる程度だけ、ウインチケーブルを引き込みます。

4. 前輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアを損傷しないように注意してください。
5. フラットベッドの前部にストラップを固定します。
6. ウィンチケーブルをゆるめますが、外さないでください。

ブレーキフルード ブレーキフルードレベルの点検



図. 239: ブレーキ液タンク

1. ブレーキ液タンクのブレーキフルードレベルを読み取ります。フルードレベルは必ずMINマークとMAXマークの間でなければなりません。
2. ブレーキフルードレベルがMINマークより下にある場合は、ブレーキフルード液を補充します。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードの交換



危険

ブレーキフルードの飲み込み

ブレーキフルードは健康に有害であり、飲み込むと死に至る可能性があります。

- ▶ カーケア用品はおお客様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ ペットをブレーキフルードに近づけないでください。ペットは、こぼれたブレーキフルードや開口容器に保管されている古いブレーキフルードに引き付けられる可能性があります。
- ▶ ブレーキフルードが皮膚や目に付着した場合は、すぐに患部をきれいな水で数分間すすいでください。直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ ブレーキフルードの補充容器に関するすべての情報に注意を払ってください。

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ ご自身ではブレーキフルードを交換しないでください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 15 ページの「お出かけの前に：車両に関する重要な情報」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストールメントクラスターに警告灯(⚠)と警告メッセージが表示されます。ペダルの可動域が大きくなり、警告灯が点灯する場合、ブレーキシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

クーラント

一般的な安全に関する指示



警告

エンジン コンパートメント
ブローアおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジン コンパートメント ブローアやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブローアはエンジン カバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジン コンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジン コンパートメント ブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブローア、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント リザーバーには圧力がかかっています。クーラント タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が60°Cを下回るまで待ってください。

情報

警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷却してください。
- ▶ クーラント レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37°C までの凍結防止の働きがあります。

クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

ボルシェが認定した不凍液のみを使用してください：

- Glysantin® G40®

クーラントレベルの点検と補充



図. 240: クーラントリザーバー タンクの表示

▶ 164 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

- ✓ 車両を平坦な場所にて駐車する。
 - ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度計が 60°C 以下である。
1. クーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルは必ず min と max の間でなければなりません。
 2. クーラントレベルが min マーク未満の場合は、クーラントを補充しなければなりません。
 3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
 4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
 5. クーラントを補充します。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。補充するときに max マークを超えないようにしてください。
 6. リザーバータンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
 7. クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。クーリングシステムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を解消してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。

▶ 早急に修理してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルの点検

走行スタイルや走行条件によってオイル消費量が1,000 km 当たり 0.8 L 以上になります。オイルレベルは定期的に点検してください(車両に燃料を補給するときなど)。

オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低すぎる場合、インストルメントパネルにシンボルが表示され、直ちにエンジンオイルを補充する必要がありますが示されます。

エンジンオイルレベルの測定と表示

情報

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

① インフォメーション

状況により、オイルレベルが測定されないことがあります。以下の場合に発生します：

- ▶ エンジン冷間時
- ▶ フルスロットル走行後のエンジン回転数が高い状態で車両を停車させた場合。
- ▶ エンジンオイル温度が高すぎ

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車する。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止している。

▶ 車両 ▶ オイルレベル

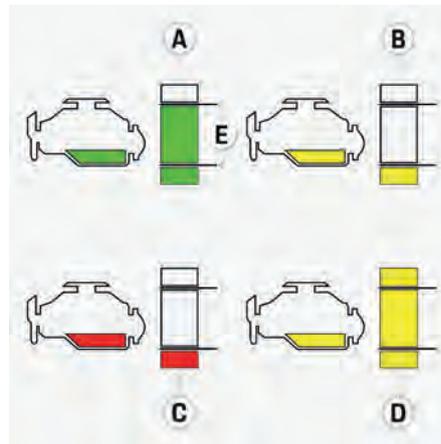


図. 241: オイルレベルインジケータ

- A オイルレベルは十分 – 上限に達している
- B オイルレベルが下限に達している
- C オイルレベルが下限を下回っている
- D オイルレベルが上限を超えている
- E 量の差異は約 1.3 リットル(911 Carrera、911 Targa)または約 1.0 リットル(911 Turbo、911 Turbo S)

表示が緑色 A(図. 241)の場合、オイルレベルは上限のマークに達していて、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 B(図. 241)で表示されている場合、オイルレベルが下限のマークまで達することを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメントパネルに表示されている量のエンジンオイルを補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差異は約 1.3 リットル(911 Carrera、911 Targa)または 1.0 リットル(911 Turbo、911 Turbo S)です。

最下部のセグメントが赤色 C(図. 241)で表示されている場合、オイルレベルが下限を下回っています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメントパネルに表示されている量のエンジンオイルを直ちに補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差異は約 1.3 リットル(911 Carrera、911 Targa)または 1.0 リットル(911 Turbo、911 Turbo S)です。

最上部 D(図. 241)まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行

サーキット走行時に増加する負荷を軽減するために、ポルシェではサーキット走行をする前に以下の対策を実施することをお勧めしています。

1. サーキット走行を開始する前に、必ずオイルレベルを点検してください。
2. 表示されるオイルレベルが中央と最大の間にあることを確認してください。
3. 表示されたオイルレベルが中央より下にある場合は、約 0.5 リットルのエンジンオイルを追加します。
4. 表示されたオイルレベルが最小と中央の間にある場合は、約 0.5 リットルのエンジンオイルを追加します。
5. サーキットで定期的に走行する場合は、エンジンオイルとオイルフィルターを最大でも 10,000 km ごとに交換してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの選択と補充



警告

エンジンコンパートメントブローアおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローアやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローアはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブローア、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 触れると火傷する危険があります。
- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分に注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメント内で作業するときは十分に注意してください。
- ▶ エンジンオイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。



警告

エンジンオイルの発火

エンジンオイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

情報

エンジンオイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジンオイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッションコントロールシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する際は、上限マークのところまでに行ってください。オイルを補充しすぎた場合は、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- Porsche は、Porsche が承認したエンジンオイルのみを使用することをお勧めします。定期点検時期 [サービスインターバル] を遵守してください。
- ポルシェが認定したオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。

- オイル添加剤を混ぜないでください。
- エンジン オイルの漏れが検出されたら、直ちにエンジンを点検してください。

エンジン オイルの選択

ポルシェは **MOBIL** を推奨します。

認定されたエンジン オイルの名称を示すラベルがエンジンコンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。

Porsche では、エンジン オイルの補充が必要な場合には、適切なエンジン オイルの情報をポルシェ正規販売店にお尋ねいただき、そのオイルを使用することをお勧めします。

車両	認定品	SAE 粘度等級
すべて	Porsche C40、 または: VW 511 00	SAE 0W-40

エンジン オイルを補充する



図. 242: オイルフィルター キャップ



図. 243: カブリオレのオイルフィルター キャップ

▷ 21 ページの「フィルター キャップ」の章を参照してください。

1. インストルメント パネルでエンジン オイルレベルを確認します。
2. エンジンコンパートメントリッド(カブリオレ: コンバーチブルトップコンパートメントリッド、タルガ: ガラスリヤウィンドウ)を開きます。
3. オイルフィルター キャップをゆるめて取り外します。
4. インストルメント パネルに表示されている量のエンジン オイルを補充します。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差異は約 1.3 リットル (911 Carrera, 911 Targa) または 1.0 リットル (911 Turbo, 911 Turbo S) です。
5. オイルフィルター キャップを慎重に取り付けます。

緊急電話システム

エマージェンシー・コール

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、さまざまな緊急電話システムが使用される場合があります。緊急状況または危険な状況で、緊急電話システムを介してヘルプを要求することができます。

プライベートモードを作動していても、故障時または緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両の位置情報が送信可能になります。

- ✓ 携帯電話ネットワークを利用可能。
- ✓ 緊急電話システムが作動している (車両を ON にしてから約 20 秒後)。

① インフォメーション

緊急電話システムには独立したモバイル通信モジュールがあるため、携帯電話が車両に登録されたことを必要としません。

緊急電話システムは、納車時に初期設定で有効になります。

悪い状況下では、緊急電話センターへの緊急電話を保証することはできません (利用可能な携帯電話ネットワークがないなど)。ボルシェの影響範囲外の技術的または組織的な制限のため (法的緊急電話システムの対象外の車両、または利用可能な公共緊急電話インフラストラクチャがないなど)、状況により公共の緊急電話センターに緊急電話をかけることができない場合があります。

国によっては、緊急電話は法廷または公共の緊急電話センターに設定されます。

車両バッテリーが切断されているか故障している場合、緊急電話センターからの問い合わせに応答するために一体型バッテリーで少なくとも 1 時間利用できます。

① インフォメーション

カバーフラップが開いているときに、SOS ボタンを誤って押して、緊急電話を不意に作動させてしまう場合があります。

- ▶ 走行中は、SOS ボタンのカバーフラップを必ず閉じてください。
- ▶ 緊急時のみ SOS ボタンを押してください。

緊急電話を SOS ボタンを介して作動



図 244: SOS ボタンとインジケータライト

- A SOS ボタン
- B インジケータライト

① インフォメーション

車両の電源が OFF の場合、緊急電話を作動させることはできません。

1. カバープレートを押して開きます。
2. SOS ボタン A (図 244) を 1 秒以上押します。SOS ボタンを 6 秒間以内に 1 秒以上再度押した場合に、緊急電話はキャンセルされます。
 - ▶ 緊急電話センターへの緊急通話を確立している最中に、インジケータライト B (図 244) は緑色に点滅します。
3. 状況が許す場合は、緊急電話センターへ通話が確立されるまで、車内でお待ちください。
 - ▶ 緊急電話センターへの緊急通話が確立されたときに、インジケータライト B (図 244) は緑色に点滅します。

緊急電話センターからの問い合わせに対応しない場合、レスキュー措置が自動的に始動する場合があります。

① インフォメーション

インジケータライトが点滅しても、スピーカーが故障しているなどの理由でスピーカーから緊急電話センターの音が聞こえない場合があります。しかし、緊急電話センターは声を聞き取ることができています。

インジケータライト ステータス表示

インジケータライト	ステータス
OFF	緊急電話システムは OFF
緑色に点灯	緊急電話システムを操作できます
赤色に点灯または点滅	エラー - 緊急電話が不可または制限された状態でのみ利用可能 ¹

1. ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インジケーターライト	ステータス
緑色の点滅	緊急電話作動中 – 緊急電話は確立され、緊急電話センターへデータを送信
オレンジ色に点灯	自動的に作動した緊急電話作動中 – 緊急電話は確立され、緊急電話センターへデータを送信

自動緊急電話

i インフォメーション

車両の電源がOFFの場合、自動緊急電話は**可能ありません**。

エアバッグの作動直後に、緊急電話センターへ接続が確立されます。SOS ボタン **A**(図 244) を押すことにより、自動緊急電話を中止することはできません。

緊急電話センターからの問い合わせに対応しない場合、レスキュー措置が始動する場合があります。

データ通信

必要なレスキュー措置を特定するための人と車両に関連するデータが利用可能な場合は、緊急電話中に緊急電話センターに送信されます。

データの収集と緊急サービス コントロール センターへの送信は、特定の緊急事態の下で適用される法的規定、特に GDPR の第 6 条 (1) (d) の文脈で緊急電話システムを使用する目的でのみ行われます。緊急電話システムは追跡可能ではなく、車両を恒久的に追跡することはできません。収集されたデータは、データ送信直後に削除されます。

以下のデータが送信されます。

- 車両識別番号
- 車両駆動タイプ
- 車両 衛星位置データ
- 緊急電話が確立した直前のルートの 衛星位置データ
- 作動した緊急電話の時刻
- 緊急電話が手動で、あるいは自動で有効にされたか
- 車両内の人数
- 車両進行方向
- 事故の重大度(法廷の緊急通話時は除く)
- 車両のメニュー言語 (法廷の緊急通話時は除く)
- 衝突方向 (法廷の緊急通話時は除く)
- Bluetooth® 接続電話の番号 (法廷の緊急通話時は除く)

i インフォメーション

- 電話番号の送信は、緊急電話センターが車両を離れた後に顧客に到達できるようにするために使用されます。
- テクニカル・コントロールがの対象外 Porsche の場合、データ送信はすべての電話番号に保証できません。

電話番号のデータ送信設定は PCM で変更できます。

▷ 233 ページの「電話設定の変更」の章を参照してください。

故障時電話

故障または事故が発生した場合、故障時電話によって援助を求めることができます (国別仕様および装備による)。

i インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

- ✓ 携帯電話ネットワークを利用可能。
- ✓ 故障時電話システムの作動準備が整っていること (車両を ON にしてから約 20 秒後)。
- ✓ プライベート モードが無効になっていること。
 - ▷ 224 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

i インフォメーション

故障時電話システムには独立した携帯電話モジュールが備わっているため、車内に電話が登録されている**必要はありません**。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限 (ローミングまたは有効なデータ接続がないなど) により、ポルシェ アシスタンスに故障時電話を確立することができない場合があります。

データ通信

故障時電話が発生した場合、必要な措置を決定するためのデータ (利用可能な場合) をポルシェ アシスタンスに送信することができます。これには以下が含まれる場合があります。

- 現在の車両位置
- 車両識別番号
- 車両タイプ
- 故障箇所を特定するための故障コードとその他のデータ

故障発信の作動

1.   電話  キーパッドをタップします。
2. スイッチ  を押します。
故障時電話を終了するには  を選択します。
3. 状況が許す場合は、ボルシェ アシスタンスへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

故障時電話はアプリから作動させることもできます (国別仕様によって異なる)。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意



警告

ブレーキディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

ボルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ボルシェでは、ボルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ カーケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

情報

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- ▶ コンパチブルトップ
- ▶ コンパチブルトップエレメント (Targa)

- ▶ タイヤ
- ▶ ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム、および塗装用の保護フィルム
- ▶ 塗装面
- ▶ オルタネーター
- ▶ エンジン コンパートメント内の電装部品およびプラグ接続
- ▶ パークアシストセンサー
- ▶ アダプティブクルーズコントロール (ACC) などのアシスタントシステムで使用される (レーダー) センサー
- ▶ リバースカメラ
- ▶ ワイパー ブレード

車両またはコンパチブルトップは、完全な防漏構造ではありません。車両の洗浄時、車内に水が入ることもあります。

- ▶ 機器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 塗装用の保護フィルムを清掃するときは、高圧洗浄機をフィルムの端に向けしないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを丸型ジェットノズルと組み合わせて使用することはしないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせると、車両に傷が付きます。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェットノズルを直接向けしないでください。

- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部（スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど）に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。車両は完全な防漏構造ではありません。車両の洗浄時、車内に水が入ることもあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- ▶ すず、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

自動洗車機

情報

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

危険	何に従う必要がありますか？
コンバーチブルトップの素材（カブリオレ / Targa）への損傷	▶ ホットワックス処理をしないでください。
ウィンドウ（カブリオレ / Targa）が下がっていると車内に水が入ります	▶ イグニッションをOFFにしないでください。 - または - 車両をロックします。
洗車機で洗車中、フロントウィンドウワイパーの不意の作動による損傷の可能性もあります。	▶ フロントワイパーのスイッチをOFFにしてください。

危険	何に従う必要がありますか？
外装部品への損傷	▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。 ▶ 車両をロックします。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイドレールの寸法を確認してください。タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

コンバーチブルトップ（カブリオレ）およびコンバーチブルトップエレメント（Targa）の清掃

情報

高圧洗浄機の洗浄ジェット、不適切な自動洗車機、またはホットワックス処理を行うと、コンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗浄機をコンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントの洗浄に使用しないでください。
- ▶ カブリオレでは、洗浄プログラムのある自動洗車機を使用してください。
- ▶ ホットワックス処理をしないでください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を遵守してください：

- ▶ コンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントは、車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。通常は、きれいな水でコンバーチブルトップ/コンバーチブルトップエレメントを洗うのみで十分です。
- ▶ 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- ▶ 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブルトップのほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプーおよびコンバーチブルトップクリーナーを混ぜたぬるま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- ▶ その後きれいな水でシャンプーおよびコンバーチブルトップクリーナーを残さず洗い流してください。
ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブルトップケア製品を使用してコンバーチブルトップカバーのお手入れを行ってください。コンバーチブルトップ用のケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。

- ▶ コンバーチブルトップカバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブルトップ専用ケア用品を使用してください。容器に記載されている指示に従ってください。
ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。排せつ物に含まれる酸はゴム部品を膨張させ、コンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントの水漏れを起こす原因になります。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントは天候が良いときのみ開いてください。
- ▶ コンバーチブルトップカバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー スポンジで慎重に擦って除去してください。

塗装面のお手入れ

情報

塗装された表面に付着したほこり粒子は、お手入れ方法を誤ると塗装を損傷する可能性があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

情報

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなり、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

塗装面のつや出し(研磨)

ペイント ポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。ヘッドライトは磨かないでください。

汚れ、染みの除去

タールの跳ねかき、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクトリムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー(防錆剤)を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

アンダー コーティングの補修

▲ 警告

エキゾースト システム付近の可燃物

エキゾースト システム エリア内に防錆剤またはアンダー コーティングを追加で塗布すると、運転時に過熱して発火する可能性があります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒート シールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェでは、ポルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

デコラティブフィルムの清掃

情報

洗浄時にデコラティブフィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- ▶ 高压洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

保護フィルムのお手入れの諸注意

情報

保護フィルムのお手入れを不適切な方法で行うと、損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護フィルムのメーカーが提供するお手入れの諸注意に従ってください。
- ▶ フィルムを貼った後、少なくとも 48 時間経過するまで、洗車を控えてください。
- ▶ 洗車機を使用する場合は、布製の洗車機でのみ洗車してください。洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 高压洗浄機の水流をフィルムの端に直接向けないでください。
- ▶ ゴミをできるだけ早く取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れを取り除くには、99% イソプロパノール溶液を使用します。
- ▶ ホットワックスを均等に塗ります。ワックスはスムーズかつ均一に塗布するようにしてください。

ウィンドウ、ヘッドライト、ライト、プラスチック部品および表面、センサーとカメラの清掃

情報

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、アシスタンス システム用レーダーセンサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と少量の液体洗剤または室内用ウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。

- ▶ タッチ センシティブ ボタンを有するセンター コンソールの清掃には、マイクロファイバー クロスのみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ウィンドウの清掃

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する (疎水性の) 撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
- ▶ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウを拭き取らないでください。保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- ▶ 虫の死骸はインセクト リムーバーで取り除きます。

ワイパー ブレードのお手入れ

情報

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィットコーティングが損傷することがあります。

- ▶ 高压洗浄機のノズルまたはスチーム クリーナーをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロント ワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロント ウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合(虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロント ウィンドウを清掃します。

ワイパーブレードは年に2回(寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

ホイールのお手入れ

▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

洗浄剤(ホイール洗浄剤など)がブレーキディスクにかかると、ブレーキディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ 洗浄剤がブレーキディスクにかかった場合は、強力なウォーター ジェットでブレーキディスクをしっかりと清掃してください
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗浄剤や不適切な pH 値の洗浄剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには中性洗剤のみを使用してください(pH 値: 4~10)。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

ドア、ボンネット、リッド、ウィンドウシールの清掃

情報

インナー ドアシールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃やカーケア製品の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ カーケミカル洗浄剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 定期的に、すべてのシールの汚れ(摩耗、ほこり、凍結防止剤、すべり止め剤など)を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- ▶ 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウトードアシールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

車内の清掃とお手入れ

革のお手入れ

情報

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な手入れをすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃とお手入れのために、次の点を遵守してください：

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ(水性の染みではない)は、革用洗浄剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。
- ▶ ボルシェでは、ボルシェ テクイップメント製のカーケア用品の使用を勧めます。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみお手入れするようにしてください。

シートベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染みおよび湿気による染みを取り除く

- ✓ シートヒーターおよびシートベンチレーターがOFFです。
 - ✓ 直射日光が当たらないようにしてください。
1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を湿る程度に拭いてください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
 2. シートカバーを直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションをONにしないでください。
 3. 乾いた後、シートカバーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

カーペットおよびフロアマットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

フットマットの固定が不適切であるか、正しく固定されていないと、アクセルペダルやブレーキペダルが誤って操作されたり、ペダルが固定される可能性があります。

その結果、意図せず車両が加速または減速したり、加速や減速が困難になる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 電気掃除機または柔らかすぎないブラシを使用して清掃します。
- ▶ 染み抜きを使用して、ひどい汚れや染みを取り除きます。
ポルシェでは、ポルシェテクイップメント製のカーケア用品の使用を勧めます。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ポルシェは適正なサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

不適切な洗浄剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに染み込む場合があります。不適切な取り扱いにより、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ 個々の部品(ステアリングホイールカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、ルーフレームパネルなど)にいかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

ファブリックライニングの清掃

ピラー、ルーライナーおよびサンブラインドなどのファブリックライニングは、素材に適した洗浄剤、ドライフォーム、柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

Alcantara® / Race-Tex / その他のテキスタイルの手入れ

Alcantara® / Race-Tex / 他のテキスタイルのマイクロファイバークバーは、レザーケア製品で洗浄してはなりません。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面が恒久的に変化してしまいます。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で湿らせて、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、汚れた部分の外側から内側へ軽くたたいてください。

Alcantara® / Race-Tex 製マイクロファイバー カバーの付いたステアリングホイールは、皮膚との恒久的な接触のせいで汚れやすくなります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で湿らせ、アウターステアリングホイールリムを拭き取ります。
- ▶ 汚れがひどい場合、洗剤メーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張り泡クリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽く擦ったり、たたいたりして清掃できます。

シートベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

画面とタッチディスプレイの清掃

情報

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切なお手入れを行うと画面およびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ 画面またはタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。液体が入り込むと、電子部品は修理不能になることがあります。代わりに布を湿らせて慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面をOFFにしてから行ってください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 画面とタッチディスプレイは擦ると傷が付くおそれがあります。時折、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)で慎重に画面とタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用して拭き取ります。

車両の保管

車両を長期保管する場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策(腐食予防、お手入れ、メンテナンス、保管など)についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

- ▶ 254 ページの「けん引」の章を参照してください。バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：
- ▶ 54 ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

テストスタンドでの測定

テストスタンドでのテストの実施

▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は低濃度でも人体に有害です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または車両排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかりと固定されていないか正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですでおやめください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下するおそれがあります。

パフォーマンステスト

ボルシェでは、ローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- テスト速度 7.5km/h
- 測定時間：20秒以内

エレクトリックパーキングブレーキのテスト

- ✓ PDK 装備車。

PDK 装備車の場合、診断テスターでエレクトリックパーキングブレーキを点検できます。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ✓ マニュアルトランスミッション装備車
- ▶ ブレーキテスターでエレクトリックパーキングブレーキのテストを行うときは、必ずイグニッションをONにし、ニュートラルにします。

車両が自動的にブレーキテストスタンドモードに切り替わり、エレクトリックパーキングブレーキのテストが可能になります。インストルメントパネルに通知が表示されます。

タイヤおよびホイール

積載荷重および速度の要件を満たす

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイールアライメントに加えて、お客様の運転スタイルにも左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 適切な速度で走行してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。
- ▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

情報

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを車両で同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム

タイヤ空気圧の点検

情報

— 不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところで損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても、目に見えないタイヤの損傷は取り除くことができません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない (空気を抜かない) ください。タイヤが温かい状態ではタイヤ空気圧が増加します。タイヤ空気圧が規定値を下回ってしまいます。



図. 245: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ 最低 2 週間ごとに、タイヤが冷えているときタイヤ空気圧を点検します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

▲ 警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメント クラスタに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペア ホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▲ 警告

コンフォート プレッシャーでの高速走行

コンフォート プレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメント クラスタに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリング システムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実測空気圧) の表示。
- 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車中に：規定空気圧からの空気圧偏差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 (🚗) とインストルメント パネルの対応のメッセージにより、空気圧が不足している場合、2 段階 (空気圧低下の程度に応じて黄色と赤色のタイヤ空気圧警告を使用) で警告が発せられます。

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧アラートは、車両を停止して OFF にした後、または車両の電源を再度 ON にしたときに、約 10 秒間表示されます。黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を ON にしたときに確認できます。赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ圧力が正常にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯してタイヤ圧力警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下と、タイヤに異物が刺さったことなどによる空気圧のゆっくりとした低下の両方について警告します。タイヤ空気圧モニタリングシステムは、突然のタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部からの影響によるパンクなど)。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、モニタリングは正常に機能しません：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、タイヤ設定を更新しなかった場合。
- タイヤの温度が高すぎる場合

タイヤ空気圧の確認

個々のタイヤの空気圧は、約 25 km/h の速度を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。車両が約 10 分以上停止した後にイグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 (-) が表示されます。

▶ タイヤ情報 ▶ 現在の空気圧

▶ 165 ページの「インストルメント パネルの操作」の章を参照してください。

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

空気圧偏差の表示



図. 246: 空気圧偏差の例

✓ 車両が停止している状態。

▶ タイヤ情報 ▶ 空気圧偏差

▶ 165 ページの「インストールパネルの操作」の章を参照してください。

該当するホイールについて規定空気圧からの偏差が表示されます。例：右リヤホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤ設定

タイヤのタイプとタイヤのサイズ、負荷およびコンフォートプレッシャー/標準プレッシャーの設定は、ダッシュボードのタッチディスプレイで行えます：

▶ 276 ページの「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章を参照してください。

タイヤ温度の表示



警告

車両コントロールの喪失

タイヤ温度表示がもたらすメリットがあるとしても、ドライバーには、路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

タイヤ温度表示は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

▶ 路面、天候および周囲の交通状況に応じた適切な運転と走行スタイルを心がけてください。

✓ スポーツクロノパッケージ装備車

✓ サマータイヤまたはウルトラハイパフォーマンスタイヤ (UHP タイヤ) 装着済み、および TPM システムで選択済み。

タイヤ温度表示は、ドライバーがタイヤの現在の温度を確認するサポートを行います。これにより、タイヤのグリップと固さが示されます。

① インフォメーション

タイヤ温度は、複数の要因 (加速度、ホイール回転数、外気温など) から算出されます。タイヤ温度表示には、トレッド表面、ベルトコア、およびタイヤ内側の温度の平均値が表示されます。そのため、表示されたタイヤの特定の位置の温度は確認できません。

表示

タイヤ温度は、各ホイールのタイヤ空気圧 (実測空気圧) の横にある色付きのバーとしてインストールメントパネルに表示されます。

冷間時のタイヤは青いバーで示されます。移行時間中は、バーの色が青から白に変わります。白いバーは、タイヤが温かいことを示します。バーが伸びるほど、タイヤ温度は上昇しています。



冷間時



移行時間



作動温度

① インフォメーション

ボルシェが承認したサマータイヤおよび UHP タイヤは、冷間時のタイヤであっても幅広い温度範囲で安全に走行できます。

▶ 路面、天候および周囲の交通状況に応じた適切な運転と走行スタイルを心がけてください。

▶ 走行ダイナミクスを最大限に高めるため、またはレースサーキットで走行する際には、タイヤが作動温度に達していることを必ず確認してください。

PCMでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定



警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が極端に低い場合または高い場合、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載条件に対応していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載量の変更後)。
- ▶ 新しく装着したホイールセットのタイヤ空気圧が以前の設定と一致している場合でも、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

空気圧偏差および充填情報の表示

- ✓ 車両が停止している状態。

- ▶ ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差

各ホイールの規定空気圧と規定空気圧からの空気圧偏差に加えて、負荷能力、タイヤの種類とサイズの情報が表示されます。

例：右リヤホイールの位置に -0.1 bar と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤがまだ登録されていない場合、現在の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ [タイヤ空気圧モニタリング]メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したタイヤおよびホイールのみを使用してください。

- ▶ ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ選択

全積載または部分積載の選択

- ▶ ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 全負荷

- 全負荷
全積載が選択されます。
- 全負荷
部分積載が選択されます。

- ▶ 選択した積載タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

インフォメーション

全負荷が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

コンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。

コンフォート プレッシャーを選択した場合、タイヤ空気圧モニタリング システムはタイヤ空気圧をモニタリングして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

- ▶ ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ コンフォート プレッシャー

- コンフォート プレッシャー
コンフォート プレッシャーが選択されます。
- コンフォート プレッシャー
標準プレッシャーが選択されます。

- ▶ タイヤ空気圧をコンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーに調整してください。

タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ / ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各ホイールとその装着位置を検出します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが検出した各ホイールに正しい装着位置を割り当てると、直ちにホイールの位置と空気圧情報が表示されます。

登録プロセス中、セントラルディスプレイには冷間時(20°C)の目標タイヤ空気圧が表示され、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

タイヤ空気圧警告灯 (U) すべてのホイールが学習されるまで、インストルメントパネルに点灯します。

タイヤ空気の充填



注意

高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはラゲッジコンパートメントのカバーの下にあります。

▶ 241 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

▶ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。

2. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、コンプレッサーを ON にしてください。

➡ タイヤに空気が充填されます。

3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要に応じてタイヤ空気圧を調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。

4. コンプレッサーを OFF にしてください。

5. コンプレッサー充填ホースを外します。

ⓘ インフォメーション

タイヤ空気圧はガスリンスタンドでも点検でき、空気の充填も行えます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーを OFF にしてください。

2. 充填ホースのエア抜きスクリューを適正なタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り

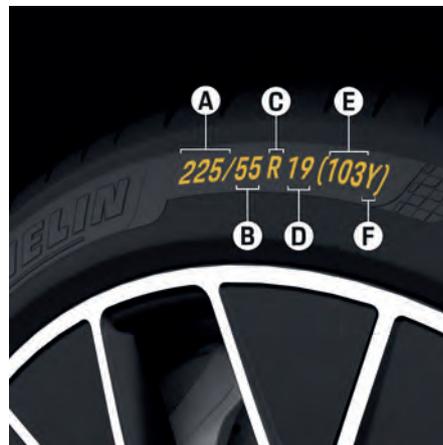


図 247: タイヤ表記

- A 公称タイヤ幅 (mm)
- B 扁平率 (%)
- C タイヤ構造記号

- D リム径 (インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで
Y	300 km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合) タイヤのロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

タイヤを点検する

タイヤの損傷の検出

▲ 警告

目に見えないタイヤ損傷とリムフランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 – 側面も含めて – を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体（石など）に強くぶついたり鋭角に乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき – 特に内側 – は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、機械的な負荷がかかった可能性があるとき。

バルブおよびバルブキャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかり閉めてください。バルブインサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

タイヤトレッドの点検

多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。スリップサインは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

① インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換

▲ 警告

車両の下に入っただけの作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面（上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など）に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。

▶ 300 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

① インフォメーション

ホイール交換に必要な工具(ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など)は車両の標準装備品ではありません。

- ▶ 必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

前輪と後輪それぞれのタイヤおよびホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 前輪/後輪には必ずそれぞれ認可されたサイズのホイール/タイヤを使用してください。
車両登録書類またはを参照してください 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

図. 248: ホイール取り付け面

情報

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷するおそれがあります。

- ▶ ブレーキディスクのホイール取り付け面 **B** とホイールハブ本体の取り付け面にはグリースを絶対に塗布しないでください。
- ▶ 表面 **A** にもみグリースを塗布できます。これらの表面に Optimoly® TA をごく薄く塗布します。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイールボルトのお手入れ

- ▶ ホイールボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。

- ▶ 損傷したホイールボルトは交換してください。このモデル専用のポルシェ純正ホイールボルト、またはポルシェが要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイールボルトは **160 Nm** の締め付けトルクで締め付けてください。
インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイールボルトの使用

図. 249: 盗難防止ホイールボルト用アダプター

盗難防止ホイールボルト用アダプターはツールキットの中にあります。

- ▶ 盗難防止機能付きホイールボルトを脱着するときは、このアダプターをホイールボルトとホイールボルトレンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイールボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備

1. 電動パーキングブレーキを有効にします。
➔ PDK 装備車では、トランスミッションパーキングロックは同時に操作します。
2. マニュアルトランスミッション装備車：1 速またはリバースギヤに入れてください。
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
5. 交換するホイールのホイールボルトまたはホイールナットをわずかにゆるめます。
6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
▶ 300 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

交換の実施

情報

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特に PCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。



図. 250: PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます

1. 非装備車の場合：PCCB ホイールボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます。
—または—



図. 251: PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます

2. 残りのホイールボルトを取り外してください。
▶ 278 ページの「ホイール交換」の章を参照してください。
3. ホイールを取り外します。
▶ 278 ページの「ホイール交換」の章を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイールボルトを挿入し、対角交互順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイールボルトを仮締めしてください。すべてのホイールボルトを対角交互順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイールボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. ホイールボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイールボルトを 160Nm の締め付けトルクで増し締めしてください。
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定が更新されました。
▶ 273 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

タイヤおよびホイールの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。



警告

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 装着するタイヤはすべて同一メーカーの同じタイプで、同一の仕様番号〔「NA...」など〕に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ボルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で実施してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 走行特性を改良されたハンドリング特性に調整します。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
 - ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。この車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
 - ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

インフォメーション

一方のアクスルのみ新しいタイヤを取り付ける場合、他方のアクスルと比較してトレッド深度が異なることにより、以前の運転挙動から顕著な変化が生じる可能性があります。新しいタイヤをリヤアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

タイヤの装着

タイヤをリムに正しく装着しないと、タイヤやリムが損傷する場合があります。これによってタイヤがバーストするおそれがあります。車両のコントロールを失うおそれがあります。

- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で実施してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイールのバランス調整

万一年に備えて、春 (サマー タイヤ) および冬の前 (「M+S」のタイヤ) にホイールのバランス調整を実施してください。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェは、ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラルロックでホイール交換



警告

セントラル ホイール ロックに関する注意点

セントラルホイールロック付きホイールの交換は、標準のホイール ボルト付きホイールの交換とは大きく異なります。

ホイール交換の方法が正しくなかったり不適切なツールを使用したりすると、損傷や作動不良が発生したりホイールがゆるんだりすることがあります。

- ▶ ホイールを交換する場合、以下に記載されている手順に厳密に従ってください。
- ▶ センター ボルトのゆるめと締め付けには、純正のソケットのみを使用してください。
- ▶ 600 Nm の高い締め付けトルクに適し、設定値からの公差が 15% 以内のトルク レンチを使用します。

▲ 警告

車両の下に入った作業

取り付けの際の強い力によって車両が動き、ジャッキから滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ 利用可能な場合は、必ずリフティングプラットフォームを使用してください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ ジャッキアップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面（上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など）に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。

▲ 警告

認定外部部品およびホイールの使用によるボルト接続の欠陥

不適切なサイズのホイールやアクセサリ ホイールのハブ部分に不適切な寸法の部品を使用すると、部品を破損する恐れがあります。追加でスペーサーを使用すると、ホイール取り付け全体の機能が損なわれます。

- ▶ ポルシェが承認した構成部品のみを使用してください。
- ▶ スペーサーは決して使用しないでください。

情報

インパクトレンチは、強い衝撃によってセンターボルトとキャプティブロックに損傷を与えます。

コードレスインパクトレンチのリアクションアームは、リムを損傷させる恐れがあります。

リアクションアームなしでコードレスインパクトレンチを使用すると、高トルクの回り止めができず、傾く恐れがあります。

- ▶ インパクトレンチは**使用しないでください**。
- ▶ コードレスインパクトレンチは**使用しないでください**。

情報

ボルトの締め付け中は、ホイールが地面に触れないようにして、自由に回転できるようにする必要があります。そうしないと、車両の重量により、ボルト接続部に応力と不均衡が生じます。

- ▶ 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。
- ▶ 適切なトルクレンチのみを使用してください。

ⓘ インフォメーション

ホイール交換に必要な工具とグリース（ジャッキ、トルクレンチ、アルミニウムペーストなど）は、車両に標準装備されていません。

詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ⓘ インフォメーション

前輪と後輪それぞれのタイヤおよびホイールのサイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

ホイールの準備

ポルシェセントラルホイールロックは、以下の構成部品が適切に組み合わされた完全なシステムです：

- ホイール
- キャプティブロック付きセンターボルト
- ブレーキディスク
- ホイールスタッド
- ホイールハブ
- キャップ

ホイールの交換はポルシェ正規販売店で行ってください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



図. 252: ラゲッジコンパートメントのソケット

1. ラゲッジコンパートメントを開き、プラスチックカバー **A** (図. 252) を開きます。
2. レンチソケットを取り出します。センターボルトをゆるめる際は必ずこの純正レンチソケットを使用します。このレンチソケットはラゲッジコンパートメントに常備して、故障したときにいつでも使用できるようにしてください。



図 253: 補助ツール付きソケット

レンチ ソケットには、キャップを取り外すための補助ツールC▶(図 253)が付属しています。この補助ツールは四角い部分から取り外して使用してください。使用した後は元に戻してください。

情報

カバー キャップは慎重に外さないと傷が付く恐れがあります。

- ▶ カバー キャップは慎重に取り外してください。

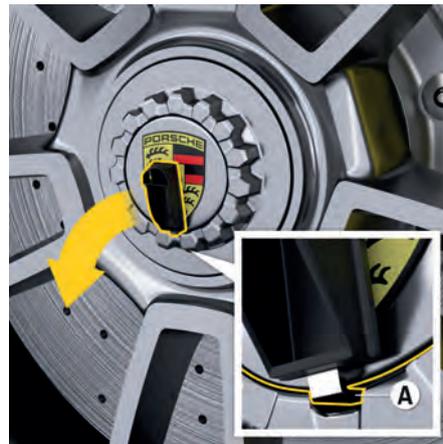


図 254: 補助ツールを使用してカバー キャップを取り外す

- ▶ 補助ツールを使用して、キャップを取付面から慎重に取り外します。そのために、その金属の突起部をセンター ボルトの開口部の溝A▶(図 254)に奥まで挿入します。次に、補助ツールを90°以上回転させて戻します。

車両の準備

1. 電動パーキングブレーキを有効にします。
 - ▶ PDK 装備車では、トランスミッションパーキングロックは同時に操作します。
2. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤシフトレバーはニュートラルにしてください。
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. キーを抜き取ってください。
5. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。

6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
 - ▶ 300 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から完全に浮かせませす。ホイールの取り付けが完了するまで、車両を下げないでください。

ホイールの取り外し



図 255: 持ち上げられた車両

- ▶ 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。

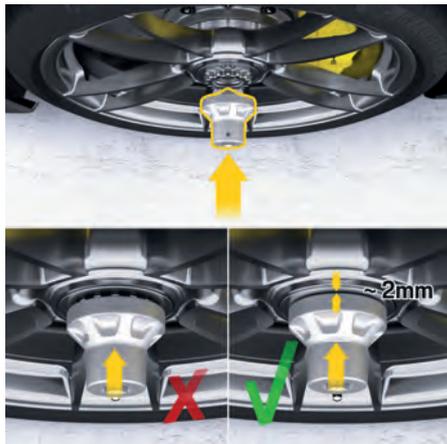


図 256: ソケットの押し込み

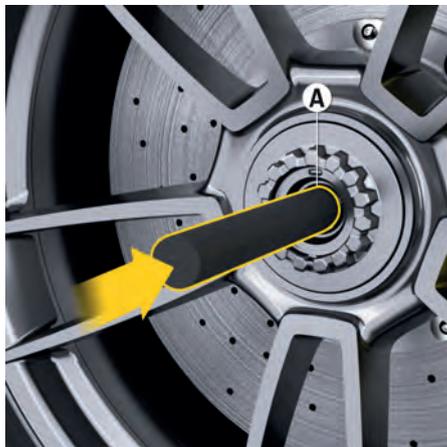


図 257: ソケットの押し込み

1. ⓘ インフォメーション

ソケットを押し込むことができない場合：

長期間使用したり、高い応力が受け続けたりした場合、ロックピンA▶(図. 257)が動かなくなる可能性があります。

- ▶ この場合、ロックピンA▶(図. 257)をゆるめるため、適切な補助ツール(細い丸棒など)を使用し、ゴムハンマーで軽く叩いてください。

ソケットを位置決めし、わずかな抵抗感がありますが、押し込みます。

- ▶ レンチソケットがカチッという音がしてロックします。これにより、センターボルトのキャプティブロックが解除されます。

2. トルクレンチまたは長いレバー(最適な長さは1.2m - 1.5m)を、1インチ角の取り付け具と共にレンチソケットに挿入します。

3. 別の作業員にブレーキペダルを踏んでもらい、ホイールにしっかりとブレーキをかけます。パーキングブレーキまたはトランスミッションだけでは、このトルクを回り止めできません。

4. ⚠ 警告

センターボルトは突然ゆるみます

センターボルトをゆるめるには、非常に高い解除トルクが必要です。解除トルクは、締め付けトルクよりも大幅に大きくなる場合があります。ボルトが急に動いてゆるむ場合があります。

ソケットの締結が不十分な場合、滑って外れ怪我をする恐れがあります。

- ▶ レバーで人が怪我をしたり車両部品が損傷したりしないように、十分な空間を確保してください。
- ▶ センターボルトをゆるめるときは、ソケットをしっかりと奥まで押し込み続け、滑って外れないようにしてください。

情報

ソケットが完全に押し込まれていない状態でセンターホイールロックを開くと、キャプティブロックが損傷する恐れがあります。

- ▶ センターボルトをゆるめるときは、ソケットをしっかりと奥まで押し込み続け、滑って外れないようにしてください。
- ▶ 回転方向に注意してください。
- ▶ フロントホイールをゆるめる際は、別の作業員にステアリングホイールをしっかりと保持してもらってください。



図. 258: センター ボルトを取り外す

強い力をかけてセンター ボルトをゆるめ、取り外します。その間ずっとレンチ ソケットは完全に押し込まれている必要があります。

5. 目に見える側を上にして、水、ほこり、汚れなどが付かないようにして、センター ボルトを置きます。
6. **情報**

ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車ではブレーキ ディスクが損傷する恐れがあります。

- ▶ ホイールの取り外し時に、ホイールを PCCB ブレーキ ディスクの上に置かないでください。
- ▶ PCCB 組み付け補助工具を使用します。

ホイールを慎重に取り外します。

ホイールの取り付け準備

ホイールを取り付ける前に、関係する構成部品を清掃および点検し、部分的にグリースを塗布する必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェはボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

センター ボルトの点検



図. 259: コーンリングの点検

- ▶ 大きな抵抗や不均一さが無い状態で、センター ボルトのコーンリング C▶ (図. 259) を回すことが可能でなければなりません。ほとんど回すことができない場合は、センター ボルトの内側に再びグリースを塗布します。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



図. 260: キャプティブロックの点検

- ▶ ロス防止装置 D▶ (図. 260) は時計回りに回すことが可能ではありません。これを回すと、金庫のダイヤル錠のようにカチカチと音がします。
- ▶ キャプティブロック D▶ (図. 260) を反時計回りに回してはなりません。不規則なカチカチ音、ロックの遅れ、スキップ、ジャミング [動かなくなる] が発生した場合、キャプティブロックが破損していると考えられます。このセンター ボルトは、どんな状況であっても使用しないでください。



図 261: ロックピンの点検

- ▶ ロックピンE▶ (図 261) をボルトに約 1 cm 押し込みます。ピンを放すと、ピンは元に戻ります。固着している場合は、キャプティブロックが破損していると考えられます。このセンターボルトとキャプティブロックは、どんな状況であっても使用しないでください。

ホイールの取り付け



図 262: ホイールをホイールハブに取り付ける

情報

ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車ではブレーキディスクが損傷する恐れがあります。

- ▶ ホイールの取り外し時に、ホイールを PCCB ブレーキディスクの上に置かないでください。
- ▶ PCCB 組み付け補助工具を使用します。

1. ホイールを傾げずに、ホイールハブに慎重に取り付けます。ホイールを少し回してホイールスタッドにはめ込み、ブレーキディスクに押し付けます。

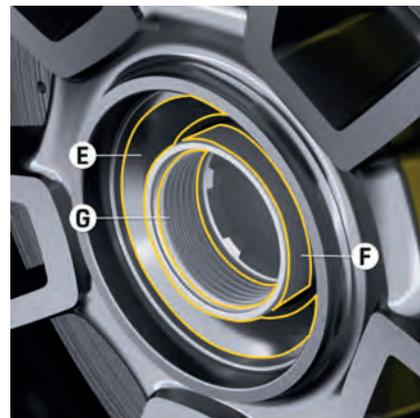


図 263: 構成部品にグリースを塗布する

2. ホイールの円錐面E▶ (図 263) とホイールハブのフロント外側F▶ (図 263) から古いグリースや汚れを拭き取ります。その後、アルミニウムペーストをごく薄く塗布します。これにより、ボルトを所定の位置にまでスライドさせるのが容易になります。
3. ホイールハブのネジ山G▶ (図 263) にグリースを十分に塗布する必要があります。そのため、ボルトをねじ込むときには、必ずアルミニウムグリースを塗布し直してください。古いグリースを除去しないでください。他のすべての部品と接触面には、グリースが付かないようにする必要があります。

ボルシェが承認したアルミニウムグリースのみを使用してください。



図. 264: センターボルトのねじ込み

4. センターボルトをホイールハブに挿入し、手でねじ込みます。

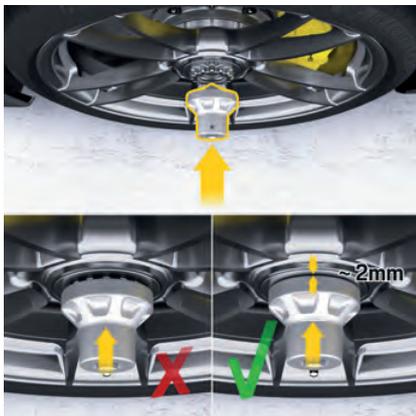


図. 265: ソケットの押し込み

5. ソケットを位置決めし、わずかな抵抗感がありますが、押し込みます。
 ➔ レンチソケットがカチッという音がしてロックします。これにより、センターボルトのキャプティブロックが解除されます。
6. 1インチ角の取り付け具が付いたトルクレンチをソケットに挿入します。
7. 別の作業員にブレーキペダルを踏んでもらい、ホイールにしっかりとブレーキをかけます。パーキングブレーキまたはトランスミッションだけでは、このトルクを回り止めできません。

フロントホイールを締め付ける際は、別の作業員にステアリングホイールをしっかりと保持してもらってください。

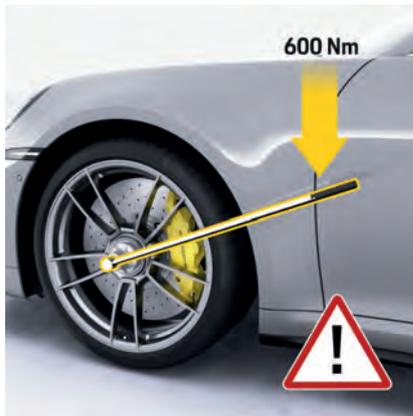


図. 266: センターボルトを締め付ける

8. センターボルトを **600 Nm** で締め付けます。

① インフォメーション

ホイールハブ、ブレーキディスク、ホイールスタッド、ホイール、またはセンターボルトを交換した場合、センターボルトを **2回** 締め付ける必要があります。

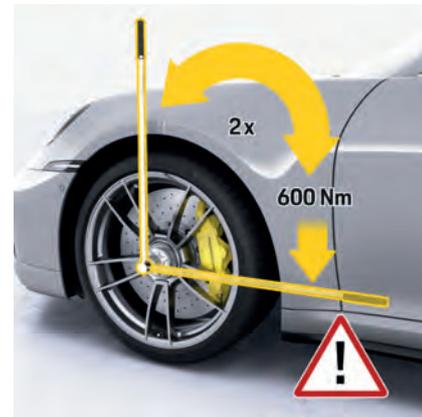


図. 267: 新品の部品の使用

1. センターボルトを **600 Nm** で締め付けます。
2. センターボルトを再度 **1/4** 回転ゆるめます。
3. センターボルトを再度 **600 Nm** で締め付けてください。

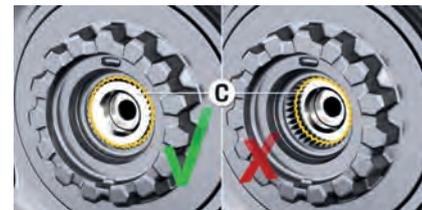


図. 268: ロックピンの位置の確認

4. ロックピン **C** (図. 268) が歯の面取りの前部にあることを確認します。
5. 車両を完全に降ろしてください。

6. ⓘ インフォメーション

後で (50 km 走行後など) センター ボルトを再度締め付ける必要はありません。



図. 269: カバー キャップの取り付け

キャップのラバーリングにグリースを薄く塗布します。これにより、キャップの取り付けと後の取り外しが容易になります。

7. 位置決めタブがねじ溝に向くように、キャップをセンター ボルトに位置決めします。その後、キャップを所定の位置まで押し込んでください。

カバー キャップが適正な位置にない状態では走行しないでください。これを守らないと、水や汚れが侵入して、キャブティブ ロックの機能が損なわれるおそれがあります。

ⓘ インフォメーション

- ▶ ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定を更新します。

センター ボルトの緊急締め付けの実施



警告

センター ボルトのゆるみ

センター ボルトがしっかり締め付けられていない状態で走行すると、事故を起こす危険があります。

- ▶ 急な加速やコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h 以上で走行しないでください。
- ▶ サーキット走行時に、緊急締め付け手順を絶対に実施しないでください。

緊急時に、センター ボルトの締め付けに必要な高いトルク (600Nm) をかけるための適切なトルク レンチを使用できない場合、必ず緊急締め付け手順でセンター ボルトを締め付けてください。

- 長いレバー (約 1 m) と 1 インチのアダプター。
- トルク レンチ (100 Nm 用) と 1 インチのアダプター。
- ▶ ホイールを交換します。
 - ▷ 281 ページの「セントラルロックでホイール交換」の章を参照してください。
- ▶ 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。

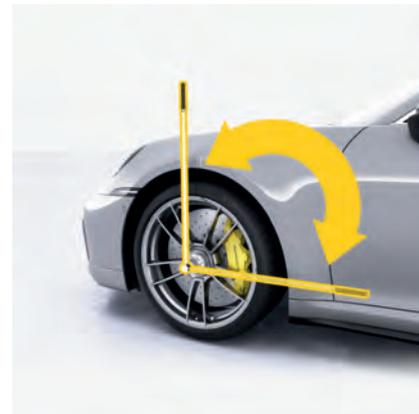


図. 270: センター ボルトを締め付けて再びゆるめる

1. 長いレバーを使用して大きな力を加えてセンター ボルトを締め付け、再び 1/4 回転ゆるめます。

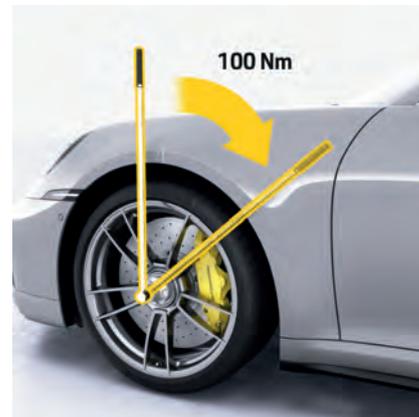


図. 271: センター ボルトを締め付ける

2. 適切なトルク レンチを使用して、センター ボルトを 100 Nm で締め付けます。



図. 272: センターボルトのマーク

3. センターボルトには■と■のマークが付いています。ペンを使用して、ホイール上の■マークの向かい側に基準線を付けてください。



図. 273: センターボルトを締め付ける

4. 長いレバーを使用して、■STOP マークが基準線に合うまでセンターボルトを締め付けてください。これにより、ボルトを十分に締め付けることができます。
5. ロックピンの点検とキャップの取り付けの手順を実施します。
- ▷ 286 ページの「ホイールの取り付け」の章を参照してください。
- ▷ 直ちにボルシェ正規販売店でセンターボルトを再度ゆるめ、適切なトルクレンチで **600 Nm** の規定トルクに締め付けてください。
- ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキットでの走行(スポーツドライビングスクール、モータースポーツイベントなど)

公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。

このため、サーキット走行時には、センターホイールロックに関する以下の仕様も遵守してください。

⚠ 警告

サーキット走行

点検、メンテナンス、交換措置を実施しなかったり、取り付け手順を誤って実施したりすると、構成部品の故障や事故につながる恐れがあります。

これは、特にサーキット走行で合計走行距離が長くなった場合に当てはまります。

- ▶ ツールが完全な状態であり、トルクレンチが正しく設定されていることを確認してください。
- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定と条件についてお近くのボルシェ正規販売店にご確認ください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

1. レースサーキットでの走行前、必要な場合は走行中、そして走行後には、センターボルトの締め付けトルクを点検してください。
2. ホイールを交換する場合、ここに記載されている手順に厳密に従ってください。
▷ 281 ページの「セントラルロックでホイール交換」の章を参照してください。
3. ホイールを交換する場合には、記載されているように必ず構成部品にグリースを塗布し直してください。高温になると、グリースはより早く消耗します。または、グリースを塗布したボルトのセットを追加で用意しておきます。
4. キャプティブロックが故障している状態では決して走行しないでください。
5. 緊急締め付け手順を使用してホイールを締め付けることはしないでください。
6. サーキットで走行した後は、センターホイールロックシステムのすべての構成部品(センターボルト、キャプティブロック、ホイール、ホイールハブ、ホイールスタッド、ブレーキディスクなど)の摩耗と損傷を必ず点検し、不安がある場合は交換してください。

7. ボルシェが指定した間隔で、高い応力がかかるアクスル構成部品を交換します。サーキットで走行する前に、現在の仕様を確認してください。
8. 摩耗によって車両操舵性が変わる場合があるその他の部品 (ボールジョイント、ラバーマウントなど) をすぐに点検し、不安がある場合は交換してください。

ウィンタータイヤとスノーチェーンの使用

ウィンタータイヤを使用する



最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
 - ▶ ウィンタータイヤの側面に M+S 指定、または雪の結晶のマークがある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。法定速度を遵守してください。
 - ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
 - ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。
-
- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
 - ▶ ボルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
 - ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

気温が低い時には、ドライ / ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤが原因のジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が 7°C を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ボルシェでは気温が 7°C を下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨しています。

さらに外気温度が -15°C を下回り極端に低くなると、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。またテクニカルデータの章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ / ホイールを使用しなければなりません。

▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

- ▶ ホイールハウジングとチェーンのクリアランスを十分に確保するため、ボルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ チェーンを装着する前に、ホイールハウジングに溜まった氷や雪を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤの保管

製造から 6 年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面の DOT コ

ードでわかります。例えば、最後の 4 つの数字が 3016 の場合、タイヤは 2016 年の第 30 週目に製造されたことを示します。

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が -15°C 以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

パンク 装備品

モデルと車両装備によっては、車両にはタイヤシーラントキット (Tire Mobility System –TMS) またはコパシブルスペア ホイールが付属しています。

タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングシステムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

安全な場所に停車してください

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを ON にします。
3. エレクトリックパーキング・ブレーキを操作させてください。
 - ▶ PDK 装備車では、トランスミッションパーキング・ロックは同時に操作します。
4. マニュアルトランスミッション装備車：1 速またはリバースギヤに入れてください。
5. フロントホイールをまっすぐにします。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。降車時には交通状況に注意してください。
7. 適切な距離に停止表示板を設置します。

8. 交換するタイヤの対角にある車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 300 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

損傷したタイヤの補修

対象：タイヤシーラント装備車 (Tire Mobility System –TMS)

▲ 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかると圧力を失ったり、バーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。

- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤシーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

タイヤシーラントキット (Tire Mobility System –TMS) はラゲッジコンパートメントにあります。

- ▶ 241 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

⚠ 警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

タイヤの空気圧低下が検出されな

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

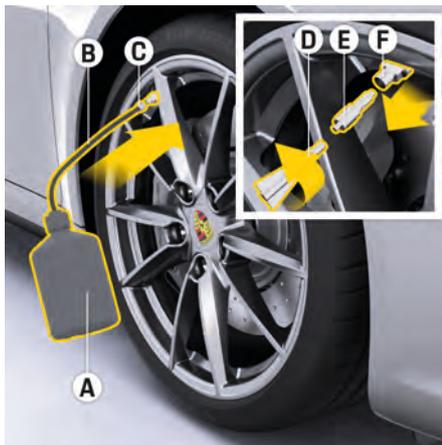


図. 274: タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム – TMS) の充填

- A 充填ボトルを振りま
- B 充填ホースをねじ入れます
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサートをねじ入れます
- F タイヤバルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラゲッジコンパートメントからタイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) および付属のステッカーを取り出してください。タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) はラゲッジコンパートメントの右側のボックスにあります。コンプレッサーはラゲッジコンパートメントのカバーの下にあります。

▶ 241 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

▶ タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム – TMS) の取扱説明書に従ってください。

1. 充填ボトル A (図. 274) を振ってください。
2. 充填ホース B (図. 274) を充填ボトルに取り付けてください。
▶ 充填ボトルが開いています。
3. タイヤバルブ F (図. 274) からバルブキャップを取り外してください。
4. バルブ回し D (図. 274) を使用して、バルブインサート E (図. 274) をタイヤバルブから取り外してください。交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. プラグ C (図. 274) を充填ホース B (図. 274) から取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤバルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. タイヤバルブから充填ホースを取り外します。
9. 入手可能な場合は交換用バルブインサート、またはバルブインサート E (図. 274) を、バルブ回し D (図. 274) を使用して、タイヤバルブにしっかりとねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

▶ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

▶ 277 ページの「タイヤ空気充填」の章を参照してください。

1. フロント ラゲッジ コンパートメントの右側のボックスからコンプレッサーを取り外します。
▶ 241 ページの「ラゲッジ コンパートメント」の章を参照してください。
2. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
3. バルブ キャップをタイヤバルブ F(図. 274)に取り付けてください。

タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ 302 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

タイヤ交換

▶ 278 ページの「ホイール交換」の章を参照してください。

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

コラプシブル スペア ホイールの使用

✓ コラプシブル スペア ホイール 装備車

▲ 警告

車両のハンドリング特性の変化

スペア ホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ スペア ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。安全のため、トレッドの溝にスリップサイン (深さ 1.6 mm) が**現れる前に**タイヤを交換してください。
 - ▶ ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
 - ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- スペア ホイールを装着すると走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも **80 km/h** の最高速度を厳守してください。
- ▶ 車種の異なるスペア ホイールを使用しないでください。
 - ▶ この車両用のスペア ホイールを他車で使用しないでください。
 - ▶ 同時に複数のスペア ホイールを使用しないでください。

コラプシブル スペア ホイールは、リヤ シートに固定されたフォーム ラバー インサート上のバッグに収められています。

1. リテーニング ストラップをゆるめ、ベルト通しから引き出します。
2. マジックテープ式のベルト通しを外し、シートベルトを下方にずらします。
3. コラプシブル スペア ホイールの入ったバッグを取り外します。
4. シートベルトを解除し、リヤシートからフォーム ラバー インサートを取り外します。

5. 左右のリテーニング ストラップを上引っ張って取り外します。
6. 車両をジャッキ アップした状態で、空気の入っていないコラプシブル スペア ホイールを車両に取り付けてください。
▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
7. タイヤに空気を入れてください。
▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

コラプシブル スペア ホイールの使用後

- ▶ コラプシブル スペア ホイールの空気を抜きます。そのため、コラプシブル スペア ホイールのバルブ キャップをゆるめます。

コラプシブル スペア ホイールが元の形状に戻るまでは、空気を抜いてから数時間かかります。それまでは、スペア ホイール輸送用の付属のバッグまたはフォーム ラバー インサートに収納することはできません。

1. リテーニング ストラップを左上と右上からリヤシートの背もたれの後ろに導き、下方向に引きまします。
2. コラプシブル スペア ホイール用のくぼみが進行方向を向く形で、フォーム ラバー インサートをリヤシートに設置します。
3. フォーム ラバー インサートにシートベルトを回して締め、シート クッションに向けて下方向にずらします。
4. コラプシブル スペア ホイールを収めたバッグをフォーム ラバー インサートのくぼみに置き、両方のベルト通しが進行方向を向いて水平になるよう位置合わせします。
5. シートベルトを上方向にずらして、マジックテープ式のベルト通しに通します。

6. リテーニングストラップをベルト通しに通し、しっかりと締め付けます。

コラプシブルスペア ホイールが故障している場合

- ▶ ポルシェ正規販売店に訪ねてください。ポルシェは、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなメカニックが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズ

一般的な安全に関する指示

⚠ 危険

感電

エンジン作動中またはイグニッション ON の状態でヒューズまたはリレーを交換すると、感電の恐れがあります。

- ▶ 車両電気システム作業を行うときは、必ずエンジンとイグニッションを OFF にしてください。

⚠ 警告

短絡

車両電気システム作業により、短絡が発生する場合があります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ず 12 V リチウムバッテリーのマイナス端子を外してください。

▶ 246 ページの「12 V バッテリー」の章を参照してください。

⚠ 警告

不適切な介入および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリの使用は、電気システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品 (リレーなど) については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したアクセサリのみを使用してください。認定アクセサリに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ヒューズの点検および交換

短絡や過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。

ヒューズボックスは、フットウェルおよび運転席側と助手席側のダッシュボード外側端部にあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな箇所にあります。これらの箇所には修理工場でのみアクセスできます。

ヒューズ定格

色		定格電流
	薄茶色	5 A
	茶色	7.5 A
	赤色	10 A
	青色	15 A
	黄色	20 A
	白色 / 透明	25 A
	緑色	30 A
	青緑色	35 A
	オレンジ	40 A

ヒューズの点検および交換

ヒューズスロットの番号は、ヒューズホルダーに刻印されています。

割り当てられていないヒューズスロットは、以下の概要に記載されません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズボックスカバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチックストリップを慎重に取り外します。

4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチックストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席フットウェルのヒューズボックスを開く



図. 275: 運転席フットウェルのヒューズボックス

A列

No.	負荷
1	イグニッションスイッチ、ライトボタン、その他の機器、インストルメントクラスター、センターコンソールのスイッチパネル
3	ステアリングホイールロック、ステアリングコラムコントロールユニット
4	ステアリングホイールヒーターコントロールユニット
5	警報システム
6	湿度 / 雨 / 光検出センサー

No.	負荷
9	パーキングブレーキ、PSMコントロールユニット
10	ドライバーアシスタンスシステムコントロールユニット
11	ドライバーアシスタンスシステムコントロールユニット
12	PVTSコントロールユニット
13	故障診断用ソケット
14	BCMコントロールユニット
15	電気ソケット供給
16	シート調節、左フロント

B列

No.	負荷
2	BCMコントロールユニット
3	ホーン
4	シートベルト、左フロント
5	シートヒーター
6	パーキングシステム
7	エアコンシステム
8	インテリアライト

No.	負荷
9	サブウーファー
10	電動ステアリングコラム調整コントロールユニット
11	左右のドアコントロールユニット
12	左ヘッドライトエレクトロニクス

C列

No.	負荷
1	ドライバーアシスタンスシステムのカメラ
2	ラジエーターファン、左
3	ブレーキブースターコントロールユニット
4	シートベンチレーター、左フロント
7	ルームミラー
8	BCMコントロールユニット
9	クラッチペダルスイッチ
10	ナイトビューアシストコントロールユニット
12	PVTSコントロールユニット
14	故障診断用ソケット

助手席フットウェルのヒューズボックスを開く

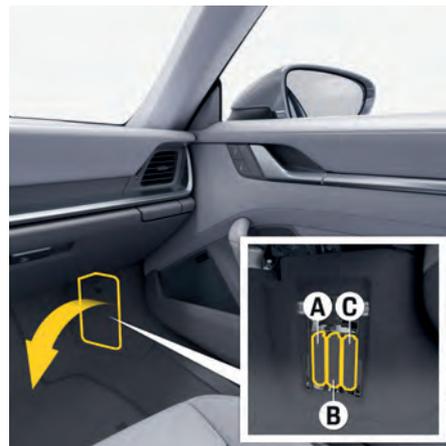


図. 276: 助手席側のヒューズボックス

A列

No.	負荷
1	緊急電話モジュールコントロールユニット
4	ダッシュカム
5	メディアインターフェイス
9	タイヤ空気圧モニタリングコントロールユニット
10	リフトシステムコントロールユニット
11	エアバッグコントロールユニット

補給

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

電話からの高周波エネルギーは、電子レンジ内に置かれたアルミホイルのように、露出した金属面に火花を生じさせる可能性があります。この火花は、給油中に発生する燃料蒸発ガスに点火する恐れがあります。

車外に出て給油ノズルに触れると、身体から発生した静電気放電が周囲に存在するガソリン蒸発ガスに引火する恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火災、裸火、および喫煙は禁止されています。
- ▶ 給油時は電話を使用しないでください。
- ▶ 給油中は車両に戻らないでください。

▲ 警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

i インフォメーション

場合により燃料に硫黄成分が多く含まれることがあります。特定の運転条件下では、エンジン内での燃焼により不快な臭い(いわゆる「腐った卵の匂い」)を伴う排気が発生する場合があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

C列

No.	負荷
1	エアコン圧カスイッチ、空気質センサー
2	ラジエーター ファン、右
4	シートベンチレーター、右フロント
5	アダプティブクルーズコントロール、ボルシェイノドライブ(PID)
6	4WDコントロールユニット
7	緊急電話モジュールコントロールユニット
8	イオナイザー
9	ブレーキブースターコントロールユニット
14	右リヤヒューズボックス
15	運転席フットウェルのヒューズボックス

No.	負荷
12	オーバーヘッド コンソール
13	ガレージドアオープナー
14	BCMコントロールユニット
15	BCMコントロールユニット
16	シート調節、右フロント

B列

No.	負荷
4	シートベルト、右フロント
6	4WDコントロールユニット
7	外気ブロー
8	ラゲッジコンパートメント
9	PCM
10	PCM、センターコンソールのスイッチパネル
11	運転席/助手席ドアコントロールユニット
12	右ヘッドライトエレクトロニクス

イグニッションをONにすると、インストルメントクラスターに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 302 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

適切な燃料の選択

情報

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 以下の仕様に適合する燃料のみ使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料は使用しないでください。

エンジンは金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
	最低オクタン価：	
すべて：	98 RON/ 88 MON	95 RON/ 85 MON

エンジンはエタノール含有量 10% 以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

E5

E10

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価 **91 RON/82.5 MON** の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価 **91 RON/82.5 MON** 以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用してください。
- ▶ オクタン価 **91 RON/82.5 MON** の無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

情報

ポルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ポルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 添加剤は給油の前に充填してください。

国によっては、燃料の析出挙動がポルシェの基準を満たしていないことがあります。基準を満たす燃料を入手できない場合は、ポルシェが販売し推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 容器に記載された指示や混合比を読み、それに従ってください。
- ▶ 常に定期点検時期およびオイル交換時期に従ってください。

燃料の給油

情報

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、退色の原因になります。

- ▶ フィルムに付着した燃料はすぐに拭き取ってください。



図. 277: フィラーフラップを開く



図. 278: タンク キャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
 - ✓ イグニッションがOFFになっている。
 - ✓ 車両がロック解除されている。
1. フィラー フラップの後部を押して開きます。この車両に使用できる燃料の種類は、フィラー フラップの裏のステッカーに明示されています。
 2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
 3. 取り外したキャップをホルダーにかけてください。
 4. 給油ノズルはハンドルを下向きにして確実に給油口の奥まで差し込んでください。
 5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。温度が高くなったときに、タンクの燃料が吹き返したり、あふれ出したりすることがあります。

▶ 302 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

6. 給油後はすぐにタンク キャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ、手ごたえがあるまで締め付けます。
7. フィラー フラップを閉じてフィラー フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

① インフォメーション

タンク キャップを紛失した場合は、必ず純正部品と交換してください。

フィラー フラップの緊急解除



図. 279: 緊急時のフィラー フラップの操作

フィラー フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラー フラップを開くことができます。

1. 助手席側ドアを開いてください。
2. 助手席ドアとフェンダーの間のドア開口部に手を伸ばします。抵抗を感じる位置までノブを上へ引いてください。
 - ➡ フィラー フラップのロックが機械的に解除されます。
3. フィラー フラップの後部を押して開きます。
4. フラップが開かない場合、ステップ 2 と 3 を繰り返します。
5. 緊急解除を行った場合は、ノブを指定されたキャッチに固定します。整備が必要です。

ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

車両のリフトアップ

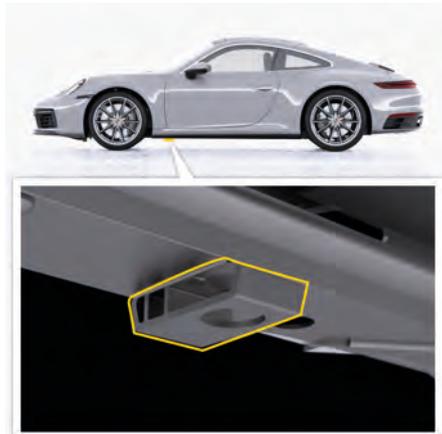


図. 280: ジャッキおよびリフティングプラットフォーム用のフロント側リフティングポイント



図. 281: ジャッキおよびリフティングプラットフォーム用のリヤ側リフティングポイント

⚠ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかりと固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりするおそれがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のリフティングポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下するおそれがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、電動パーキングブレーキを作動させます。
PDK 装備車では、トランスミッションパーキングロックは同時に操作します。

▶ 278 ページの「ホイール交換」の章を参照してください。

ウォッシャー液

ウォッシャー液の追加



図. 282: フロント ウィンドウ用ウォッシャー液タンク

以下の点に留意してください。

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤 (ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液) を混ぜ合わせてください。常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載された指示をすべてお読みください。
 - 夏季：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。
 - 冬季：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用してください。

- 希釈 1:100。
- リン酸塩不使用。
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品。

ボルシェが推奨するウォッシャー液濃縮液については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

ウォッシャー液の追加

情報

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。
 - ▶ 303 ページの「充填容量」の章を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

テクニカルデータ

テクニカルデータ

車両識別データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国固有の理由により、車両固有のデータとは異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、公式な車両関連文書や車両登録書類、および車両のインフォメーションプレート(例：ビークルプレート)を参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

車両識別番号



図. 283: 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ウィンドウ後ろの左下と助手席の下に記載されています。

- ▶ スペア パーツを注文する場合、必ず車両識別番号を記載してください。

ビークルプレート

国別仕様に応じて、ビークルプレートは助手席側ドアシル(ドア開口部)に取り付けられています。



図. 284: ビークル プレートの記載箇所

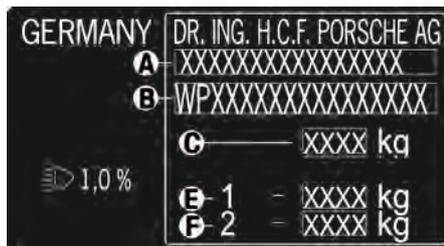


図. 285: ビークル プレートの例

- A EU 型式認定番号 (国別仕様により異なる)
- B 車両識別番号
- C 最大総重量

E 最大軸荷重、フロント

F 最大軸荷重、リヤ

タイヤ空気圧プレート



図. 286: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤ空気圧プレートは、運転席ドアのドアシル部に取り付けられています。

車両データバンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

寸法

全長 (装備仕様により異なる)	4,519 mm – 4,535 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,852 mm – 1,900 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,024 mm
DIN 規定の空車重量での車高 シャーシバージョンによる	1,288 mm – 1,303 mm
DIN 規定の空車重量での地上高 シャーシバージョンによる	113 mm – 126 mm

充填容量

ウォッシャー液	約 2.5 L (ナイトビューアシスト装備車両: 約 3.5 L)
燃料タンク	<p>リヤアクスルドライブ装備車両: 約 64 L (国によってはオプションで約 90 L)、そのうち約 8 L (PDK 搭載車両) または約 10 L (マニュアルトランスミッション装備車両)</p> <p>4 輪駆動車両: 約 67 L、予備に約 8 L (PDK 装備車両) または約 10 L (マニュアルトランスミッション装備車両)</p>

燃費と CO2 排出

CO₂ 排出量は燃料消費の影響を直接受けます。安全運転や定期点検によって、CO₂ 排出量を最小限に抑制できます。

インフォメーション

国により、納車時に提供された書類 (例: 「適合証明」) に車両の燃料消費と排出値が記載されています。規定の測定方法による値を表示しています (現行バージョンの Euro 6: Regulation (EC) 715/2007、現行バージョンの Euro 5: ECE-R.83 と ECE-R 101 の組み合わせ)。

重量

▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加装備が取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。

ルーフ積載荷重は、ルーフトランスポートシステムの重量、マウント部品、および荷物の合計です。

▷ 235 ページの「ルーフトランスポートシステム」の章を参照してください。

	911 Carrera PDK	911 カレラ・カブリオレ PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,505 kg～1,660 kg	1,575 kg～1,715 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,580 kg～1,735 kg	1,650 kg～1,790 kg
最大軸荷重、フロント	835 kg	835 kg
最大軸荷重、リヤ	1,240 kg	1,280 kg
最大総重量	1,960 kg	2,015 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	-

	911 Carrera S PDK	911 Carrera S Cabriolet PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,515 kg～1,685 kg	1,585 kg～1,740 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,590 kg～1,760 kg	1,660 kg～1,815 kg
最大軸荷重、フロント	860 kg	860 kg
最大軸荷重、リヤ	1,265 kg	1,305 kg
最大総重量	1,985 kg	2,040 kg

	911 Carrera S PDK	911 Carrera S Cabriolet PDK
最大ルーフ積載荷重	75 kg	-

	911 Carrera 4 PDK	911 カレラ 4 カブリオレ PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,555 kg~1,685 kg	1,625 kg~1,740 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,630 kg~1,760 kg	1,700 kg~1,815 kg
最大軸荷重、フロント	855 kg	855 kg
最大軸荷重、リヤ	1,250 kg	1,290 kg
最大総重量	1,985 kg	2,040 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	-

	911 Carrera 4S PDK	911 Carrera 4S Cabriolet PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,565 kg~1,710 kg	1,635 kg~1,765kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,640 kg~1,785 kg	1,710 kg~1,840 kg
最大軸荷重、フロント	875 kg	875 kg
最大軸荷重、リヤ	1,270 kg	1,310 kg
最大総重量	2,010 kg	2,065 kg

	911 Carrera 4S PDK	911 Carrera 4S Cabriolet PDK
最大ルーフ積載荷重	75 kg	-

	911 タルガ 4 PDK	911 Targa 4S PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,665 kg~1,760 kg	1,675 kg~1,785 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,740 kg~1,835 kg	1,750 kg~1,860 kg
最大軸荷重、フロント	855 kg	875 kg
最大軸荷重、リヤ	1,310 kg	1,330 kg
最大総重量	2,060 kg	2,085 kg
最大ルーフ積載荷重	-	-

	911 Carrera GTS PDK	911 Carrera GTS マニュアルトランスミッション	911 Carrera 4 GTS PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)			
DIN 70020 規格	未定 ¹	未定 ¹	未定 ¹
EC 規格 1230/2012 に基づく	未定 ¹	未定 ¹	未定 ¹
最大軸荷重、フロント	860 kg	860 kg	875 kg
最大軸荷重、リヤ	1,265 kg	1,235 kg	1,270 kg

1. 編集終了時に値を入手できませんでした。

	911 Carrera GTS PDK	911 Carrera GTS マニュアルトランスミッション	911 Carrera 4 GTS PDK
最大総重量	1,905 kg ¹ 1,985 kg ²	1,875 kg ¹ 1,955 kg ²	1,930 kg ¹ 2,010 kg ²
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg

	911 Carrera GTS Cabriolet PDK	911 Carrera 4 GTS Cabriolet PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,615 kg~1,740 kg	1,665 kg~1,765 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,690 kg~1,815 kg	1,740 kg~1,840 kg
最大軸荷重、フロント	860 kg	875 kg
最大軸荷重、リヤ	1,305 kg	1,310 kg
最大総重量	2,040 kg	2,065 kg
最大ルーフ積載荷重	-	-

1. 2 シート 装備車、
2. 4 シート 装備車、

	911 Targa GTS PDK	911 Turbo PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,685 kg~1,785 kg	1,640 kg~1,740 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,760 kg~1,860 kg	1,715 kg~1,815 kg
最大軸荷重、フロント	875 kg	845 kg
最大軸荷重、リヤ	1,330 kg	1,300 kg
最大総重量	2,085 kg	1,940 kg ¹ 2,040 kg ²
最大ルーフ積載荷重	-	75 kg

	911 Turbo Cabriolet PDK	911 Turbo S PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,710 kg~1,800 kg	1,640 kg~1,720 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,785 kg~1,875 kg	1,715 kg~1,795 kg
最大軸荷重、フロント	845 kg	845 kg
最大軸荷重、リヤ	1,340 kg	1,300 kg
最大総重量	2,100 kg	1,920 kg ¹ 2,020 kg ²

1. 2 シート 装備車。
2. 4 シート 装備車。

	911 Turbo Cabriolet PDK	911 Turbo S PDK
最大ルーフ積載荷重	-	75 kg
		911 Turbo S Cabriolet PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格		1,710 kg~1,780 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく		1,785 kg~1,855 kg
最大軸荷重、フロント		845 kg
最大軸荷重、リヤ		1,340 kg
最大総重量		2,080 kg
最大ルーフ積載荷重		-

タイヤおよびホイール

ホイールおよびタイヤのサイズ

ポルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。荷重指数(「105」など)と許容最高速度を示す記号(「Y」など)は、いずれも最低要件です。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は：

▶ 273 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたホイールおよびタイヤのサイズにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ 別のタイヤおよびホイールと交換する前には、公式車両登録書類(国によっては「適合証明書」など)を参照して、保有車両に適したホイール/タイヤの組み合わせかどうかを確認してください。詳細情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

911 Carrera, 911 Carrera 4, 911 Targa 4			
タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA: 235/40 ZR19 (92Y) ¹ RA: 295/35 ZR20 (101Y) ¹	FA: 8,5J x 19 RO 52 ¹ RA: 11,5J x 20 RO 67 ¹	不可
	FA: 245/35 ZR20 (91Y) RA: 305/30 ZR21 (100Y)	FA: 8,5J x 20 RO 53 または FA: 8,5J x 20 RO 50 RA: 11,5J x 21 RO 67	不可
ウィンタータイヤ	FA: 235/40 R19 (92V) M+S ^{1, 2} RA: 295/35 R20 (101V) M+S ^{1, 2}	FA: 8,5J x 19 RO 52 ^{1, 2} RA: 11J x 20 RO 66 ^{1, 2}	リヤアクスルのみ
	FA: 245/35 R20 (95V) XL M+S RA: 295/30 R21 (102V) XL M+S	FA: 8,5J x 20 RO 53 または FA: 8,5J x 20 RO 50 RA: 11J x 21 RO 66	リヤアクスルのみ

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

911 Carrera S, 911 Carrera 4S, 911 Targa 4S, 911 Carrera GTS, 911 Carrera 4 GTS, 911 Targa 4 GTS			
タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA: 245/35 ZR20 (91Y) RA: 305/30 ZR21 (100Y)	FA: 8,5J x 20 RO 53 または FA: 8,5J x 20 RO 50 RA: 11,5J x 21 RO 67	不可

1. ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車を除く。

2. オーストラリア、韓国、ベトナム: ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) スポーツ シャーシ (-10 mm) 装備車を除く。

911 Carrera S, 911 Carrera 4S, 911 Targa 4S			
タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
ウィンタータイヤ	FA: 235/40 R19 (92V) M+S ^{1, 2} RA: 295/35 R20 (101V) M+S ^{1, 2}	FA: 8,5J x 19 RO 52 ^{1, 2} RA: 11J x 20 RO 66 ^{1, 2}	リヤ アクスルのみ
	FA: 235/40 R19 (96V) XL M+S ^{1, 2} RA: 295/35 R20 (105V) XL M+S ^{1, 2}		リヤ アクスルのみ
	FA: 245/35 R20 (91V) M+S RA: 295/30 R21 (98V) M+S	FA: 8,5J x 20 RO 53 RA: 11J x 21 RO 66	リヤ アクスルのみ
	FA: 245/35 R20 (95V) XL M+S RA: 295/30 R21 (102V) XL M+S		リヤ アクスルのみ

911 Carrera GTS, 911 Carrera 4 GTS, 911 Targa 4 GTS			
タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
ウィンタータイヤ	FA: 245/35 R20 (91V) M+S RA: 295/30 R21 (98V) M+S	FA: 8,5 x 20 RO 50 または	リヤ アクスルのみ
	FA: 245/35 R20 (95V) XL M+S RA: 295/30 R21 (102V) XL M+S	FA: 8,5J x 20 RO 53 RA: 11J x 21 RO 66	リヤ アクスルのみ

1. ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車を除く。

2. オーストラリア、韓国、ベトナム: ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) スポーツ シャーシ (-10 mm) 装備車を除く。

911 Turbo、911 Turbo S			
タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA : 255/35 ZR20 (97Y) XL RA : 315/30 ZR21 (105Y) XL	FA : 9J x 20 R0 41 RA : 11.5J x 21 R0 67	いいえ
		FA : 9.5J x 20 R0 44 RA : 12J x 21 R0 70	いいえ
ウィンタータイヤ	FA : 245/35 R20 (95V) XL M+S RA : 305/30 R21 (104V) XL M+S	FA : 8.5J x 20 R0 40 RA : 11J x 21 R0 66	はい

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ポルシェが認定したメーカーと種類のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 画面で確認できます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類、タイヤのサイズおよび車両の積載状況を設定し、[標準タイヤ空気圧] または [コンフォート タイヤ空気圧] のいずれか (国または装備に応じて) を選択します。
 - ▶ 273 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ タイヤ空気圧プレートと、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイを参照してください。

▶ ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差

- ▶ タイヤ空気圧を仕様に合わせて調整します。



警告

タイヤ空気圧の不足

[コンフォート] オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

- ▶ コンフォート プレッシャーは「コンフォート プレッシャー」機能を備えた車両のタイヤにのみ設定してください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)

テクニカルデータ：オーディオおよびビデオファイル

対応するメディア	ポータブルプレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 3.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバ ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュメモリー、およびハードドライブなど)
ファイルシステム	USB 大容量記憶装置 exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプル周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	USB 大容量記憶装置 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリー / 1 再生リストにつき最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム ジャケット最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース 経由

テクニカルデータ：接続

モバイルネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII)/1800 MHz (Band III)/2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8) /1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m

テクニカルデータ：ラジオ

周波数範囲 / 規格

UKW (FM) : 87.5 – 108 MHz (100 kHz ごとの手動調節)
 MW (AM) : 537 – 1602 kHz (国の仕様に応じた 9 kHz 単位の手動設定)

放送局の自動検索による選局グリッド

UKW (FM) : 100 kHz
 MW (AM) : 9 kHz (国別仕様により異なる)

ライセンスについて

Bluetooth®

Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。その他のマークおよびブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。

Dolby Digital

Dolby Laboratories のライセンスの下で製作 Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。

DTS Digital Surround



DTS の特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround のシンボルは DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

Gracenote®



Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンドユーザーライセンス契約

Gracenote® エンドユーザーライセンス契約

Gracenote®

このアプリケーションまたは機器には、米国カルフォルニア州エメリービル Gracenote, Inc. によるソフトウェア (「Gracenote」) が搭載されています。このアプリケーションは Gracenote によるソフトウェア (「Gracenote Software」) を利用し、オンラインのディスクまたはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 (「Gracenote Data」) をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。Gracenote データは、アプリケーションまたは機器のエンドユーザー機能の意図に沿う形でのみ利用できます。Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人的かつ非営利の目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止

エンドユーザー ライセンス契約

すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについてのすべての所有権を含む、すべての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者の個人情報を取得せずにクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブ ページを参照してください。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を留保します。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的または付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。©Gracenote, Inc. 2009

Bluetooth® 認証 (抜粋)

アルバニア - アンドラ - アンゴラ - アルバ - オーストラリア - オーストリア - バハマ - バーレーン - バルバドス - ベラルーシ - ベルギー - ベリーズ - ボリビア - ボネール島 - ボスニアヘルツェゴビナ - ブラジル - ブルネイ - ブルガリア - ブルキナファソ - カナダ - チリ - 中国 - コロンビア - コスタリカ - クロアチア - キュラソー - キプロス - チェコ共和国 - デンマーク - ドミニカ共和国 - エクアドル - エジプト - エルサルバドル - エストニア - エチオピア - フィンランド - フランス - フランス領ギアナ - フランス領ポリネシア - ガボン - ドイツ - ガーナ - ジブラルタル - グアドループ島 - グアテマラ - ギリシャ - グリーンランド - 香港 - ハンガリー - アイスランド - インド - インドネシア - アイルランド - イラク - イスラエル - イタリア - コートジボワール - ジャマイカ - 日本 - ヨルダン - ケニア - コソボ - クウェート - ラトビア - レバノン - レソト - リベリア - リビア - リヒテンシュタイン - リトアニア - ルクセンブルグ - マカオ - マケドニア - マダガスカル - マレーシア - マルタ - マルティニーク - モーリシャス - メキシコ - モナコ - モンゴル - モロッコ - モザンビーク - オランダ - ニューカレドニア - ニュージーランド - ナイジェリア - ノルウェー - オマーン - パキスタン - パナマ - ペルー - ポーランド - ポルトガル - プエルトリコ - カタール - レユニオン - ルーマニア - ロシア - サンマリノ - サウジアラビア - セネガル - セルビア - シンガポール - スロバキア - 南アフリカ - スペイン - セントルシア - スウェーデン - スイス - タヒチ - 台湾 - タイ - アラブ首長国連邦 - イギリス - ウルグアイ - 米国 - ベネズエラ - ベトナム - イエメン - ジンバブエ

リサイクル

耐用年数経過後の車両の返却

EU 加盟国のみ：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG は、お客様の古くなったボルシェを無料で環境に配慮した方法でスクラップ処理いたします。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシートベルト テンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルト テンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⊗ 電気 / 電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気 / 電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごみと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 古いバッテリーおよび電気 / 電子機器は、回収場所に持ち込んでください。
- ▶ 12V リチウム バッテリーは危険物です。このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄したりしないでください。

適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示

ボルシェは EU 化学物質規制 REACH (化学物質の登録、評価、認可、および制限) に従い、車両に含まれている可能性のある高懸念物質 (SVHC) に関する情報を提供します。

この情報はインターネットで入手できます。

▶ <https://www.porsche.com/international/reach-regulation/>

無線機器 (EU 地域外)

検査マークおよび適合宣言書

アルバニア、バーレーン、ボスニアヘルツェゴビナ、フランス領ギアナ、ジョージア、ジブラルタル、グアドループ島、アイスランド、イスラエル、イボリー・コースト、クウェート、マカオ、マルティニーク、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、ニューカレドニア、ノルウェー、レユニオン、スリランカ、スラジニア、スラジカ、スラジカ、スラジカ、スラジカ

CE

Argentina

CNC COMISIÓN NACIONAL DE COMUNICACIONES

CNC ID: C-21672 (LRR4)

CNC ID: C-24662 (BT-Transceiver)

CNC ID: C-24063 (MIB3)

CNC ID: H-17001 (Homelink)

CNC ID: C-23466 (ConBox High Offline)

 C-18053

 H-21037

 H-22302

Australia



Belarus



Brazil



04921-20-12817

00716-15-03745 (LRR4)

05031-16-06324 (Homelink)

05674-16-06830 (R3TR)

01622-20-12817 (BT-Transceiver)

00971-18-02930 (Key PK3)

02393-19-05364 (BCMevo5)

09087-19-07978 (ConBox High offline)

05224-19-12227 (MIB3)

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Brunei

DTA-002453 (BCMevo5)

DTA-004048 (Conbox-High offline)

DTA-006277 (R3TR)

DTA-002281 (Key PK3)

DTA-005830 (LRR4)

DTA-003655 (MIB3)

カナダ

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radiofréquence suivants:

IC: 11980A-TRANCVRPO2 (BT Transceiver)

IC: 2694A-BCMEVO5 (BCMevo5)

IC: 2701A-PK3 (Key PK3)

IC: 3659A-R3TR (R3TR)

IC: 3887A-LRR4 (LRR4)

IC: 4112A-ADHL5D (Homelink)

IC: 6434A-P114 (ConBox High online)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada. ISED Canada's licence-exempt RSSs and These devices contain licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) These devices may not cause interference; and
- (2) These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les émetteurs/récepteurs exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

- (1) Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et
- (2) Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

中国

本设备包含型号核准代码(分别)为:

CMIIT ID: 2016DJ6564 (Homelink)

CMIIT ID: 2016DJ6719 (R3TR)

CMIIT ID: 2019AJ10240 (MIB3)

CMIIT ID: 2019CJ6265 (conBox High)

CMIIT ID: 2020DJ4773 (BT Transceiver)

的无线电发射模块

コスタリカ

SUTEL 00922-2018 (Key PK3)

SUTEL 02922-2019 (MIB3)

SUTEL 05901-2019 (BCMev05)

SUTEL 07096-2014 (LRR4)

SUTEL 07764-2016 (Homelink)

SUTEL 08513-2016 (R3TR)

SUTEL 05107-2019 (ConBox High offline)

関税同盟 (アルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、ロシアなど)

RU д-DE.PA01.B.60415/20



モデル: LTE-MBC-EU

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

電源: 12V 400 mA

Декларация о

соответствии ИТ Т С 020/2011

Е АЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от

05.03.2018, действительна по

04.03.2023, зарегистрирована

органом по сертификации

продукции ФГУП Ордена

Трудового Красного Знамени

научно-исследовательский

институт радио

«Испытательный центр «Омега»

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

電源: 12V 400 mA

Декларация о

соответствии ИТ Т С 020/2011

Е АЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от

05.03.2018, действительна по

04.03.2023, зарегистрирована

органом по сертификации

продукции ФГУП Ордена

Трудового Красного Знамени

научно-исследовательский

институт радио

«Испытательный центр «Омега»



TRANSCVRP02 : RU д-DE.PA01.B.604145/20

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B (Key PK3)

NCA APPROVED: ZRO-M8-7E3-12B

NCA APPROVED: 6X6-4H-7E0-0F3 (R3TR)

NCA Approved: ZRO-M8-7E3-X79 (MIB3)

NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-15A (BCMev05)

NCA APPROVED: ORG-4H-7E3-X98 (ConBox High offline)

NCA APPROVED: SRO-1M-7E4-222 (LRR4)

Great Britain



Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to The Radio Equipment Regulations 2017. The full text of the relevant Declaration of Conformity is available at the following website:

<https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

The following acts as importer of the radio equipment devices for the United Kingdom market within the meaning of The Radio Equipment Regulations 2017:

Porsche Cars Great Britain Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE

United Kingdom

Hong Kong

HKCA 1035 : 自動車レーダー : 免許を免除されたラジ
オ装備。



インド

ETA-1520/17-RLO(NE) (R3TR)

ETA-1759/18-RLO(NE) (PK3)

ETA-3001/16-RLO(WR) (LRR4)

ETA-SD-20190601822 (MIB3)

ETA-SD-20201208973 (Homelink)

ETA-SR-20180387 (BCMevo5)

ETA-SD-20190500710 (ConBox High offline)

インドネシア



Dilarang melakukan perubahan spesifikasi yang dapat menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya



55538/SDPPI/2018
2208



63118/SDPPI/2019
2692





53856/SDPPI/2017
 47817/SDPPI/2016
 6094
 67638/SDPPI/2020
 10325
 69460/SDPPI/2020
 4334

イスラエル

モデル名：R3TR
 メーカー：Aptiv Services Deutschland GmbH
 モデル名：TSS RE 4Uf / TSS SG 4G5b
 メーカー：Huf Electronics Bretten
 モデル名：LRR4
 メーカー：Bosch

Jamaica

This products have been Type Approved by Jamaica:
 SMA – PK3
 SMA – BCMevo5

日本

BT トランシーバー: このデバイスは、日本の電波法に従って許可されています。このデバイスを変更しないでください(変更した場合、付与された指定番号は無効になります)



ヨルダン

TRC/32/7604/2020 (RR4)
 TRC/31/7712/2020 (R3T)
 TRC/34/6858/2020 (BCMev05)
 TRC/34/7206/2020 (ConBox ハイ オフライン)
 TRC/LPD/2017/615 (キー PK3)
 TRC/SS/2019/155 (MIB3)

マレーシア



CIDF15000490 (LRR4)
 CIDF17000143 (R3TR)
 CIDF19000029 (キー PK3、 BCMev05)

メキシコ

IFETEL : RLVP0PK17-1947 (キー PK3)
 IFETEL : RCPHEBC18-2099 (BCMev05)
 IFETEL : RCPCOTR20-0993 (BT トランシーバー)
 IFETEL : RTIVWCO19-1185 (ConBox ハイ オンライン)
 IFETEL : RLVBOLR14-1873 (LRR4)
 IFETEL : RCPAPR318-2005 (R3TR)
 IFETEL : RCPAUMI19-2202 (MIB3)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

- Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio. Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privinta reglementarii echipamentului radio: GT Sport Auto Ltd., General Importer of Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG in Moldova. Calea lesilor str. 28/1, MD-2069, Chisina

モンゴル



モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 9668 ANRT 2014
Date d'agrément: 30/09/2014

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 17800 ANRT 2018
Date d'agrément: 24/10/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 12623 ANRT 2016
Date d'agrément: 11/10/2016

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15845 ANRT 2018
Date d'agrément: 19/02/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15019 ANRT 2017
Date d'agrément: 26/10/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19571 ANRT 2019
Date d'agrément: 26/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24001 ANRT 2020
Date d'agrément: 13/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24106 ANRT 2020
Date d'agrément: 20/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19505 ANRT 2019
Date d'agrément: 25/04/2019

ナイジェリア

Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission

オマーン

OMAN - TRA

D100428

TRA/TA-R/4813/17

OMAN - TRA

D080134

TRA/TA-R/3621/16

OMAN - TRA

D172249

TRA/TA-R/6358/18

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7350/19

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/5196/18

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/2160/14

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/3848/17

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/6363/18

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7524/19

パキスタン

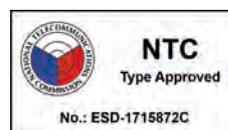
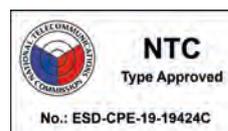
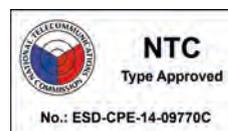
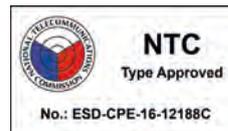


パラグアイ



- NR : 2019-09-I-0517 (LRR4)
- NR : 2019-09-I-000226 (MIB3)
- NR : 2017-12-I-0000410 (キー PK3)
- NR : 2016-11-I-000293 (HomeLink)
- NR : 2016-11-I-000310 (R3TR)
- NR : 2014-10-I-000305
- NR : 2019-07-I-0335 (ConBox ハイ オフライン)
- NR : 02393-19-05364 (BCMevo5)

フィリピン





カタール

承認基準：CRA/SM/2020/R-8452 (BT トランシーバー)

承認基準：CRA/SM/2019/R-7872 (ConBox ハイ オフライン)

承認基準：CRA/SM/2019/R-7764 (MIB3)

承認基準：CRA/SM718/R7460 (ホームリンク)

承認基準：CRA/SM/2018/R-7340 (BCMevo5)

承認基準：CRA/SA/2017/R-6610 (PK3)

承認基準：CRA/SA/2016/R-5808 (R3T)

承認基準：CRA/SA/2014/R-4315 (LRR4)

セルビア



シンガポール

Complies with
IMDA Standards
DB107205

Complies with
IMDA Standards
DB103787

Complies with
IMDA Standards
DB102033

南アフリカ

ICASA TA-2019/550
認証済

ICASA TA-2014/1784
認証済

ICASA TA-2016/2759
認証済

ICASA TA-2017/2491
 認証済

ICASA TA-2019/1853
 認証済

ICASA TA-2016/2568
 認証済

ICASA TA-2017/3465
 認証済

ICASA TA-2019/978
 認証済

ICASA TA-2020/6392
 認証済

ICASA TA-2018/3465
 認証済

ICASA TA-2016/2568
 認証済

ICASA TA-2020/5209
 認証済

South Korea

ACC (LRR4) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Robert Bosch GmbH
 기차재의 명칭(모델명):
 특정소출력 무선기기(차량 충돌방지용 레이더 무선기기)
 인증번호:
 MSIP-CMM-B02-LRR4
 제조자/제조국가:
 Robert Bosch GmbH/독일



Key (PK3) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Marquardt GmbH
 기차재의 명칭(모델명):
 특정소출력 무선기기
 인증번호:
 R-C-MGU-PK3
 제조자/제조국가:
 Marquardt GmbH/독일



Communication Management (MIB3) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Aptiv Services Deutschland GmbH
 기차재의 명칭(모델명):
 특정소출력 무선기기
 인증번호:
 R-R-DDg-MIB3TOPKR1
 제조자/제조국가:
 Aptiv Services Deutschland GmbH /독일



LCA (R3TR) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Delphi Deutschland GmbH
 기차재의 명칭(모델명):
 특정소출력 무선기기
 인증번호:
 R-CRM-DDG-R3TR
 제조자/제조국가:
 Delphi Deutschland GmbH/독일



Body Control Module (BCMevo5) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Hella GmbH & Co. KGaA
 기차재의 명칭(모델명):
 비약 전계강도 무선기기
 인증번호:
 R-R-HLA-BCMevo5
 제조자/제조국가:
 Hella GmbH & Co. KGaA /독일



Parking Assist (Bluetooth Transceiver) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Continental Advanced Antenna GmbH
 기차재의 명칭(모델명):
 인증번호:
 R-R-Ca3-TRANSCVRP02
 제조자/제조국가:
 Continental Advanced Antenna GmbH/독일



TPMS (TSSRE4Uf) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
 Huf Baolong Electronics Bretten GmbH
 기차재의 명칭(모델명):
 특정소출력 무선기기
 인증번호:
 R-C-HEB-TSSRE4UF
 제조자/제조국가:
 Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일



TPMS (TSSSG4G5b) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH

기자재의 명칭(모델명):
TPMS ECU E5.5 433MHz

인증번호:
R-R-HEB-TSSSG4G5b

제조사/제조국가:
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일



CONBOX-HIGH 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
HARMAN/BECKER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH

기자재의 명칭(모델명):
LTE

인증번호:
R-C-T8G-CONBOX-HIGH

제조사/제조국가:
HARMAN/BECKER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH



이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

(English Translation: These equipment have been tested for compliance with the intended use in a commercial environment. If the equipment is used in a domestic environment, it may cause radio interference.)

Taiwan



低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。 更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時, 應立即停用, 並改善至無干擾時方得繼續使用。 前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電通信。 低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。 本器材須經專業工程人員安裝及設定, 始得設置使用, 且不得直接販售給一般消費者 電磁波警語標示: 「減少電磁波影響, 請妥適使用 輸入電源需使用所附的 5A 保險絲於產品前端做

タイ



เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือ ข้อกำหนดหนต NBTC K
 รัองวิทยุคมนาคมนี้มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคม ที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด.

HomeLink®: この通信装置は NTC の技術要件に準拠しています。

Turkey

TELSİZ EKİPMANLARI YÖNETMELİĞİ (2014/53/AB)

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalattığınız*:

Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.Şekerpinar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45 , 41420 Çayırova/Kocaeli

*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

ウクライナ

車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線機器のメーカーは、ウクライナの無線機器に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。この情報には、2019年4月以降のラジオ装備のメーカーとトランスミッションの特性に関する詳細が含まれています。関連する適合宣言を含むテキストは、以下のウェブサイトと同一です:

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/>

Справжнім (Роберт Бош Гмбх) заявляє, що тип радіообладнання (ЛРР4) відповідає Технічному регламенту радіообладнання; повний текст декларації про відповідність доступний на веб-сайті за такою адресою:

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/>



アラブ首長国連邦

TRA
REGISTERED No:
ER66073/18
DEALER No.
DA18994/09

TRA
REGISTERED No:
ER497919/16
DEALER No.
62437/11

TRA
REGISTERED No:
ER72288/19
DEALER No.
Harman/Becker
Automotive Systems

TRA
REGISTERED No:
ER80171/20
DEALER No.
Harman/Becker
Automotive Systems

TRA
REGISTERED No:
ER497919/16
DEALER No.
62437/11

TRA
REGISTERED No:
ER61595/18
DEALER No.
65993/17

TRA
REGISTERED No:
ER72174/19
DEALER No.
DA62437/11

TRA
REGISTERED No:
ER58762/17
DEALER No.
DA18994/09

TRA
REGISTERED No:
ER36213/14
DEALER No.
36785/14

TRA
REGISTERED No:
ER71148/19
DEALER No.
43253/10

TRA
REGISTERED No:
ER7661/19
DEALER No.
DA65993/17

United States of America

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: 2ACC7TRANSCVRP02 (BT Transceiver)

FCC ID: IYZ-PK3 (PK3)

FCC ID: LTQ-R3TR (R3TR)

FCC ID: NF3-LRR4 (LRR4)

FCC ID: NBG-BCMEVO5 (BCMev05)

FCC ID: NZL-ADHL5D (Homelink)

FCC ID: XPY-JODYW164 (MIB3)

FCC ID: T8GA270 (MIB2)

FCC ID: T8GP114 (ConBox High online)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. These devices may not cause harmful interference, and
2. These devices must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



ベトナム



索引

番号と記号

◇ボタンの設定	211
4 輪駆動	
4 輪駆動表示	167
トルク ディストリビューション表示	167
暗証コード	225
迂回	222
運ぶ	
ルーフに荷物を載せる	235
運転席	
オドメーター	167
クーラント温度計	165
タコメーター	164
トリップメーター	167
ライト調節	64
車両 & 情報画面	164
速度 & アシスト画面	164
燃料計	165
運転席メモリーパッケージ	82
応急処置セット	241
横方向の加速度	
表示	167
音楽	
USB を介した外部機器の接続	214
アームレスト内のインターフェース	214
お気に入りの保存 / 編集	217
再生	216
対応するデータ形式	313
画面	
車両 & 情報	164
手入れ指示	272
速度 & アシスト	164
灰皿	
開く	243
掃除する	243
開閉	
の個人設定の呼び出し	82

開閉操作とロック	
ウィンドウ	31
サンブラインド	38
外部 WiFi ホットスポット	226
革	
手入れ指示	270
給油	
フィルター フラップ位置の表示	165
燃料	297
距離警告	161
緊急	
電話	264
緊急ブレーキ機能	
作動	116
緊急ロック解除	
ラゲッジコンパートメント リッド	34
緊急操作	
ウィンドデフレクターの	47
コンバーチブルトッパ	47
タルグループ	41
フィルターフラップ	299
携帯電話	
Bluetooth® を介した接続 (新しい電話)	233
Bluetooth® を介した接続 (登録済みの電話)	233
Bluetooth® を介した接続 (別の電話)	233
収納	233
電話の接続	233
經由地を入力する (ナビゲーション)	221
計器照明	
遅延消灯の設定	64
明るさの調節	64
警告およびブレーキアシスト	160
ON/OFF の切り替え	162
に関する一般的な安全指示	141
距離警告の ON/OFF の切り替え	163
距離警告の警告時間の設定	163
衝突警告の ON/OFF の切り替え	163
衝突警告の警告時間の設定	163
設定機能	163

警告およびブレーキアシスト	
システムの限界	160
の距離警告	161
の作動原理	161
の衝突警告	161
ブレーキアシスタンス	162
ブレーキ時の振動	161
注意メッセージ	160
予防的乗員保護機能	162
警告および情報メッセージ	184
PCM	205
エンジン	189
セキュリティ	185
ドライビングシステム	197
車両	193
警告灯	170
警告灯 エミッションコントロール	170
警報システム	
ON/OFF の切り替え	28
機能説明	28
機能表示	28
室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを	
停止する	28
警報システムの	
ON/OFF を切り替える	28
軽合金製ホイール	
お手入れの諸注意	270
軽修理	
パンクしたとき	291
車両が動き出さないようにします	291
車両のけん引	254
検知ライト	130
言語	
設定	211
個人画面	215
個人設定	
の保存	82
個人設定の呼び出し	82

故障	のジャッキアップ.....	300	出荷時の状態にリセット.....	211
ウィンド デフレクター.....	緊急ロック.....	59	単位の設定.....	211
キーのバッテリー.....	緊急ロック解除.....	59	日付と時刻の設定.....	211
コンバーチブルトップ.....	車両ジャッキ モード.....	211	車両調整	
タルガ ルーフ.....	車両データバンク.....	302	走行モード.....	119
パワーウィンドウ.....	車両ドア		手入れ指示	
緊急時のフィラー フラップの操作.....	車内からのロック解除.....	57	PCM.....	272
故障時電話.....	車両のお手入れ		エアバッグ.....	271
データ通信.....	アンダー コーティング.....	269	シート・ベルト.....	272
作動.....	ウィンドウ.....	269	タッチディスプレイ.....	272
故障診断用ソケット.....	シール.....	270	ディスプレイ.....	272
工具セット	デコラティブフィルム.....	269	ファブリック・ライニング.....	271
取り外しと収納.....	プラスチック部品.....	269	フロアカーペット.....	271
高圧洗浄機	ヘッドライト.....	269	フロアマット.....	271
取扱説明書.....	ホイール ボルト.....	279	画面.....	272
高速道路ライト.....	警告.....	266	革.....	270
作動不良	軽合金製ホイール.....	270	手入れ指導	
サイドウィンドウの停止位置の保存.....	高圧洗浄機の使用.....	266	Race-Text.....	271
始動	洗車.....	267	収納オプション.....	235
エンジン.....	塗装.....	268	充填容量.....	303
時刻と日付	保護フィルム.....	269	ウォッシュャー液.....	303
設定.....	車両ホットスポット.....	226	エンジンオイル.....	303
自動ヘッドライト較正.....	車両識別番号.....	302	渋滞アップデート(ナビゲーション).....	222
自動内気循環設定	車両情報の表示.....	167	縦方向の加速度	
エアコン.....	車両設定		表示.....	167
識別番号.....	PCM 表示の調整.....	211	重量.....	304
湿気検知.....	インストールメント パネル表示の調整.....	211	出荷時の状態	
車の維持	シート ヒーター、シート ベンチレーター、シート		車両設定をリセット.....	211
エアバッグ.....	位置の調節.....	211	助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター.....	62
ファブリック・ライニング.....	ジャッキ モードの設定.....	211	助手席ミラー	
革.....	タイヤの種類とサイズの設定.....	276	パーキング エイドとしての調整.....	94
車の手入れ	タイヤ空気圧モニタリング(TPM).....	276	格納 / 復帰する.....	92
-ダイナミカ.....	の個人ボタンへの保存.....	82	調節.....	92
シート・ベルト.....	の実施.....	211	衝突警告.....	161
車台番号.....	ボイス コントロール システムの設定.....	211	ON/OFF の切り替え.....	163
車内で取扱説明書を開く.....	マルチファンクション ステアリング ホイールのボ		警告時間の設定.....	163
車幅灯.....	タン割り当て設定.....	211	接続	
車両	ロック オプション設定.....	211	データ接続の確立.....	226
コンフォートアクセスによるロック解除.....	空気圧偏差の呼び出し.....	276	接続ステータス.....	233
コンフォートアクセスでロック.....	警告音とパークアシストの音量設定.....	211	接続ステータス.....	233
	言語設定.....	211		

設定		転倒保護 (カブリオレ).....	95	燃料インジケーター.....	165
の個人設定の保存と呼び出し.....	82	電話		燃料計.....	165
車両.....	211	Bluetooth® を介した接続.....	233	発進	
洗車.....	267	Bluetooth® を介した接続 (新しい電話).....	233	ローンチコントロール.....	123
全負荷		Bluetooth® を介した接続 (登録済みの電話).....	233	標準圧力	
設定.....	276	Bluetooth® を介した接続 (別の電話).....	233	を選択.....	276
操作アシスト.....	107	SOS 通報時の番号データ通信.....	233	部分負荷	
走行プログラム.....	117	インストールメント パネルの通話情報.....	233	設定.....	276
走行モード		お気に入りの保存 / 編集.....	233	平均速度および平均燃費の表示.....	170
INDIVIDUAL の設定.....	118	デバイス マネージャー.....	213	保護フィルム.....	269
走行時間の表示.....	170	収納.....	233	お手入れの諸注意.....	269
惰性走行操作.....	123	接続ステータス.....	233	放送局を選局 / 保存.....	216
遅延消灯の設定.....	130	設定を行う.....	233	目的地の入力 / 検索.....	219
着信に応答する / 拒否する.....	232	通話中の各種機能.....	233	輸送 (鉄道、船舶など)	
駐車		番号をダイヤルする.....	232	車両の固定.....	257
サラウンドビュー.....	140	連絡先の編集.....	233	予防的乗員保護機能.....	162
リパース カメラ.....	139	電話の収納.....	233	連絡先 (電話).....	232
駐車スペースに入るとき		塗装			
リモートパークアシスト.....	104	お手入れ.....	268	A	
駐車支援		お手入れの諸注意.....	268	A/C MAX ボタン	
アクティブパーキング サポート.....	102	つや出し (ポリッシュ).....	268	エアコン システム.....	77
駐車場		汚れ、染みの除去.....	268	ABS (アンチロック ブレーキシステム)	
アクティブパーキング サポート.....	102	傷の補修.....	268	機能説明.....	143
パークアシスト.....	137	保護する.....	268	Android Auto.....	206
通知.....	210	登録および有効化		Google アシスタント.....	207
呼び出し.....	210	My Porsche への登録.....	224	Apple CarPlay	
絞り込み.....	210	盗難防止機能.....	28	Siri.....	208
通知センター.....	210	道路交通案内.....	222	Apple CarPlay.....	208
停止		内気循環モード		iPad と Apple CarPlay の切り替え.....	209
エンジン.....	120	の ON/OFF.....	79	AUTO BLIP (自動スロットル ブリッピング機能)	
エンジンの自動停止 (オート スタート / ストップ機		内蔵 SIM カード		ON / OFF.....	125
能) (PDK 装備車).....	113	データ接続の確立.....	226		
エンジンの自動停止 (オート スタート / ストップ機		日付と時刻		B	
能) (マニュアルトランスミッション 装備車).....	112	設定.....	211	Bluetooth®	
停止表示板.....	241	燃費.....	303	デバイス マネージャー.....	213
締め付けトルク		燃料		電話の接続.....	233
ホイール ボルト.....	279	オクタン価.....	297		
展開式スポイラー		残量警告.....	165		
の作動原理.....	126	燃料タンクの容量.....	303		
展開と格納.....	126	品質.....	297		

C			
CO2 排出	303		
Connect	224		
D			
DAB			
周波数帯の設定	216		
F			
FM			
周波数帯の設定	216		
G			
G-Force ディスプレイ	167		
Google アシスタント	207		
H			
HOLD 機能	126		
PDK 装備	127		
マニュアルトランスミッション装備	127		
警告メッセージ	126		
作動	127		
作動原理	126		
一般的な安全に関する指示	126		
I			
INDIVIDUAL モード	117		
ISOFIX システム	68		
チャイルドシート ISOFIX システムの取り付け	72		
上部トップテザー	72		
L			
LCA			
レーンチェンジアシスト	155		
LED ヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライトシステム プラス (PDLS Plus)	130		
LED マトリックスヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)	130		
M			
My Porsche			
Porsche ID を使って登録	224		
サービスの設定	225		
P			
PASM (ポルシェ アクティブサスペンションマネージメント)	141		
シャーシ設定の選択	141		
PCM			
Android Auto	206		
Apple CarPlay	208		
MyScreen	215		
MyScreen の設定	215		
PCM の WiFi ホットスポットを利用	226		
キーボード	179		
スタートメニュー	215		
スタート画面の設定	215		
スマート サービス	228		
ダッシュボードのタッチスクリーン	178		
テキストと文字の入力	179		
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	170		
ホーム画面の設定	215		
メニューを開く	179		
外部 WiFi ホットスポットの利用	226		
時刻の表示または温度の設定	179		
手入れ指示	272		
通知	210		
表示の調整	211		
PCM での制限速度の設定	169		
PCM での速度警告の設定	169		
PCM でマニュアルを開く	180		
PCM の操作			
ロータリー プッシュ ボタンとボタンを使用	179		
PCM ホットスポット	226		
PDK			
ステアリング・ホイール上のシフト	122		
Porsche Doppelkupplung (PDK)			
ステアリング・ホイール上のシフト	122		
航行モード	123		
PSM (ポルシェ スタビリティ マネージメント)	142		
機能説明	142		
PSM スポーツ	142		
R			
Race-Tex			
手入れ指導	271		
S			
SIM カード			
電話の使用	232		
T			
Targa			
エア デフレクターの展開 / 格納	41		
コンバーチブルトップエレメントのお手入れ	267		
TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	274		
U			
USB を介した外部機器の接続	214		
USB 接続	214		
W			
WET モード	117		
WiFi			
PCM の WiFi ホットスポットを利用	226		
デバイス マネージャー	213		
外部 WiFi ホットスポットの利用	226		
ア			
アームレストの接続	214		
アームレスト内のインターフェース			
USB	214		
アイス / サンシールドの装着	148		
アカウント	82		
アクティブ パーキング サポート	102		
アクティブ レーン キーピング			
システムの制限	108		

アクティブブレーンキーブ ディスプレイ.....	109	イモビライザー.....	28	ウィンドウ お手入れの諸注意.....	269
一般的な安全に関する指示.....	107	インジケータ.....	131	フロント ウィンドウ デフロスター.....	80
作動原理.....	109	コンフォートインジケータ.....	131	リヤウィンドウヒーターのON/OFFの切り替え.....	80
アクティブブレーンキーブ のON/OFF.....	110	インジケータライト.....	170	ウォッシャー液 充填容量.....	303
アダプティブクルーズコントロール(ACC) ON/OFFの切り替え.....	99	インストールメントパネル.....	165	Ⅰ	
のディスプレイ.....	99	オドメーター.....	167	エアサスペンション(PASM).....	141
の作動状態.....	99	オプションを選択し、機能を有効にします.....	166	エアデフレクターの展開/格納.....	41
の操作.....	98	クーラント温度計.....	165	エア・ディストリビューション の調整.....	78
の目標速度の変更.....	100	サービスインターバルの表示.....	170	エアコン	
ブレーキによる車両停止と再発進.....	101	スポーツクロノストップウォッチ.....	229	アッパーベンチレーションパネル.....	78
作動原理.....	98	タイヤ空気圧モニタリングシステム.....	274	イオナイザーのON/OFF.....	79
制御の中断と再開.....	101	タコメーター.....	164	エア・ディストリビューションの調整.....	78
制御を無効にする.....	101	ドライビングデータの表示(トリップ情報).....	170	エアコン・スタイルの調整.....	79
アダプティブクルーズコントロール(ACC) の目標速度の変更.....	100	トリップメーター.....	167	エアフロアの調整.....	79
アッパーベンチレーションパネル.....	78	の個人設定の保存と呼び出し.....	82	フットウェル温度調整.....	79
アップデート インストール.....	223	の操作.....	165	自動再循環設定.....	79
ダウンロード.....	223	メニュー概要.....	167	内気循環モードのON/OFF.....	79
失敗.....	224	ライト調節.....	64	エアコンシステム A/C MAXモードのON/OFFの切り替え.....	77
アプリ.....	227	概要.....	164	ON/OFFの切り替え.....	77
WiFi 経由でPCMに接続.....	227	警告灯およびインジケータライト.....	170	オート エアコンコントロールをONにする.....	76
ポルシェトラックプレジションアプリ.....	227	車両 & 情報画面.....	164	フロント ウィンドウ デフロスター.....	80
アルミニウムリム お手入れの諸注意.....	270	車両情報の表示.....	167, 170	エアコン・スタイル の調整.....	79
アンダーコーティング お手入れの諸注意.....	269	速度 & アシスト画面.....	164	エアバッグ 警告灯.....	63
アンチロックブレーキシステム(ABS) 機能説明.....	143	燃料計.....	165	手入れ指示.....	271
アンビエントライト.....	64	表示の調整.....	211	助手席エアバッグのON/OFF.....	71
調節.....	64	インターネット データ接続の確立.....	226	エマーゼンシーキー.....	30
Ⅰ		インターネット データ接続の確立.....	226	エマーゼンシー・コール.....	264
イオナイザー のON/OFF.....	79	インテリアライト アンビエントライト.....	64	エミッションコントロール(チェック・エンジン).....	170
イグニッションロック の機能説明.....	120	調節.....	64	エレクトリックパーキングブレーキ 解除.....	116
		Ⅱ		緊急ブレーキ機能.....	116
		ウインタータイヤ 一般情報.....	290		
		ウィンドデフレクター 緊急操作.....	47		
		上げる/下げる.....	47		

警告灯	116
作動	116
発進時のパーキング ブレーキ自動解除	116
エンジン	
オイルを補充する	261
始動	120
自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (PDK 装備車)	113
自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (マニュアルトランスミッション装備車)	112
駐車	120
冷却システム	165
エンジンオイル	261
エンジン・オイル	
フィラ開口部	263
一般情報	262
エンジンオイル	
の補充	261
オ	
オイル	261
の補充	261
フィルター キャップ	263
一般情報	262
オート スタート / ストップ機能	
エンジンの自動始動 (PDK 装備車)	113
エンジンの自動始動 (マニュアルトランスミッション装備車)	112
エンジンの自動停止 (PDK 装備車)	113
エンジンの自動停止 (マニュアルトランスミッション装備車)	112
作動原理	112
前提条件	112
例外	113
オートマチック カミング ホーム ライト	130
オートマチック ヘッドライト	
調節	128
オクタン価、燃料	297
オドメーターの表示とリセット	167

オンボード コンピューター	
タイヤ空気圧モニタリング システム	274
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	170
メニュー概要	167
オンライン サービス	
データ接続の確立	226
オンライン ソフトウェア アップデート	
インストール	223
ダウンロード	223
失敗	224
オンライン ナビゲーション	219
お気に入りの保存 / 編集	
メディア	217
電話	233
お手入れの諸注意	266
アンダー コーティング	269
ウィンドウ	269
シール	270
デコラティブ フィルム	269
ホイール ボルト	279
軽合金製ホイール	270
洗車	267
塗装	268
保護フィルム	269

カ

カーペット	271
手入れ指示	271
ガソリン	
オクタン価	297
残量警告	165
燃料計	165
品質	297
カブリオーレ	
ウィンド デフレクター	47
コンバーチブル トップのお手入れ	267
のロールオーバー プロテクション	95
カメラ	
概要	20

キ

キー	29
エマージェンシー キーの取り出し	30
コンバーチブル トップの開閉	47
スライディング / チルティング ルーフの開閉	38
タルガ ルーフの開閉	41
でロック	57
によるロック解除	56
の個人設定の保存と呼び出し	82
バッテリーの交換	30
車両のロック	57
車両のロック解除	56
キー (リモート コントロール)	
サイド ウィンドウの開閉 (コンフォート アクセス 非装備車)	32
スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ	38
によるタルガ ルーフの開閉	41
キー (リモート コントロール)	
コンバーチブル トップの開閉	47
キーボード	179
キャリアーの取り付け	235

ク

クーラント	
クーラントの補充	260
クーラントレベルの点検	260
クラッチ	
マニュアルトランスミッション	124
クルーズ コントロール	158
ON/OFF の切り替え	159
クルーズ コントロール	158
一般的な安全に関する指示	158
警告メッセージ	158
作動	159
作動原理	158
制御のキャンセル	160
制御の再開	160
目標速度の変更	159

クルーズ・コントロール の表示部	158
グローブボックス の収納	234
けん引	
けん引フックをゆるめます	256
けん引ロープまたはけん引バーの使用	256
一般的なインフォメーション	254
けん引フックをゆるめる 工具セット内	241
コ	
コーナリングライト ダイナミック コーナリングライト	130
コックピット 警告灯およびインジケータライト	170
コマンドの例	184
コラブシブル・スペア・ホイール	293
コンバーチブルトップ ウィンド デフレクターを上げる / 下げる をキー(リモート コントロール)で開閉する 緊急操作 車両のお手入れ	47 47 47 267
コンフォート アクセス の作動原理	56
コンフォート ブレッシュャー を選択	276
コンフォート メモリー パッケージ	82
コンフォート アクセス 車両のロック 車両のロック解除	57 56
サ	
サービス インターバルをインストールメント パネルで表 示	170
サービス ポジション	148
サイド ウィンドウ キーによる開閉(リモート コントロール) 開閉操作 停止位置の保存	32 31 32

サマー タイヤ 保管	290
サン ブラインド 開閉	38
サンバイザー	90
シ	
シート	
シート バックレストを前/後ろに倒す	88
シート位置の調整	87
のシート位置の保存と呼び出し	82
フロントシートの調整	87
ベビー キャリア	70
リヤシート バックレストを前方または後方へ倒す	89
シート バックレストを前方または後方へ倒す	88
シート ヒーターの ON/OFF の切り替え	89
シート ベルト タコメーター(回転計)の警告灯 ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す 警告メッセージ 着用	86 85 86 85
シート ベンチレーターの ON/OFF の切り替え	89
シート メモリー	82
シート・ベルト 手入れ指示	272
シートベルト シートベルト プリテンショナー 通知	84 84
シート位置の調節	87
シーラント/シールセット パンクしたタイヤ用	291
シール お手入れの諸注意	270
シールドトリム低減機能	130
シフト マニュアルトランスミッション	124
シャーン設定 選択	141

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 リチウム バッテリー 鉛蓄電池 外部電源(リチウム バッテリー) 外部電源(鉛蓄電池)	250 248 250 248
しり	208

ス

スタート/ストップ機能	112
スタートメニュー	215
ステアリング コラム ロック	29
ステアリング ホイール ◇ ボタンの設定 ヒーターの ON/OFF の切り替え 調節	211 81 81
ステアリング ホイール ヒーターの ON/OFF の切り替え	81
ステアリング ホイールのロック解除およびロック	29
ストップウォッチ	229
ストレージ コンパートメント の収納オプション	234
スノーチェーン 一般情報	290
スペア ホイール	293
スポイラー 作動原理 展開と格納	125 125 126
スポーツ エキゾースト システム	119
スポーツクロノ ストップウォッチ	229
スポーツクロノ モード スイッチ	117
スポーツ プラス モード	117
スポーツ モード	117
スマートサービス	228
スマートフォン Bluetooth® を介した接続 収納	233 233
スモーカーズ パッケージ	243

スライディング / チルディング ルーフ キーによるスライディング / チルディング ルーフ の開閉 [リモート コントロール].....	38
スロットル ブリッピング機能 ON/OFF.....	125
セ	
セーフロック.....	57
センサー 概要.....	20
センター アームレスト のフロント小物入れ.....	235
センター コンソール のフロント小物入れ.....	235
センター ボルトの緊急締め付けの実施.....	288
セントラル ロッキング システム キーでロック.....	57
キーによる車両のロック解除.....	56
コンフォート アクセスによる車両のロック解除.....	56
快適アクセスでロック.....	57
快適アクセスで接続.....	57
設定.....	59
セントラル ロック の個人設定の保存と呼び出し.....	82
ソ	
ソース [メディア] の選択.....	216
タ	
ダイナミック コーナリング ライト.....	130
タイヤ.....	273
ウインター タイヤ [一般情報].....	290
シーラント.....	291
スノー チェーン [一般情報].....	290
タイヤバルブ.....	278
タイヤの種類とサイズの設定.....	276
タイヤ空気圧の点検.....	273
タイヤ空気圧プレート.....	302
タイヤ交換 (一般情報).....	281
タイヤ表記.....	277

トレッドの深さ.....	278
パンク修理.....	291
空気圧偏差の呼び出し.....	276
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング (TPM) に登録.....	277
全負荷または部分負荷の設定.....	276
保管.....	290
タイヤ シーラント 取り外しと収納.....	241
タイヤ シーラント / シール セット パンクしたタイヤ用.....	291
タイヤバルブ タイヤ.....	278
タイヤの コンフォート プレッシャーまたは標準圧力を選択 します.....	276
タイヤ空気圧 インストールメント パネルで確認.....	274
システムの学習.....	277
点検.....	273
タイヤ空気圧プレート.....	302
タイヤ空気圧モニタリング (TPM).....	274
呼び出し.....	276
設定.....	276
登録.....	277
タイヤ空気圧警告灯.....	170
タイヤ空気圧表.....	309
タイヤ充填コンプレッサー 取り外し.....	242
収納.....	243
タコメーター.....	164
ダッシュボードのタッチスクリーン.....	178
タッチ ディスプレイ 手入れ指示.....	272
タッチスクリーン 表示の調整.....	211
タルガ ルーフ のキーによる開閉 [リモート コントロール].....	41
緊急操作.....	41

チ

チェック エンジン (エミッション コントロール).....	170
チャイルド シート ISOFIX システム タイプの取り付け.....	72
トップテザー.....	72
取り付け.....	70
助手席エアバッグの ON/OFF.....	71
正しい使用.....	65
適切な体重およびサイズ グループの使用.....	66
チャイルド シート システム 取り付け.....	70
チャイルドシート 正しい取り付け位置の使用.....	68
チャイルドシートシステム 正しい取り付け位置を使用する.....	68

ツ

ツアーを計画する (ナビゲーション).....	221
ツール.....	241

テ

ディスプレイ 手入指示.....	272
データ接続 デバイス マネージャー.....	213
外部 WiFi ホットスポット.....	226
確立 [内蔵 SIM カード].....	226
車両ホットスポットの利用.....	226
テキスト メッセージの表示および編集.....	218
テクニカル データ CO2 排出.....	303
タイヤ空気圧表.....	309
ホイールおよびタイヤのサイズ.....	309
充填容量.....	303
燃費.....	303
テクニカル データ 重量.....	304
デコラティブ フィルム お手入れの諸注意.....	269

デジタルスピードメーター	164
デジタル取扱説明書	
アプリ	2
オンボード	2
デバイスマネージャー	213
ト	
ドア	
キーによるロック	57
コンフォコンフォートアクセスでロック	58
緊急ロック	59
緊急ロック解除	59
ドアミラー	
パーキングエイドとしての調整	94
格納 / 復帰する	92
設定の保存 (メモリー)	93
調節	92
ドアミラーヒーターの ON/OFF の切り替え	80
ドアの緊急ロック	59
ドアの緊急ロック解除	59
トップテザー	
ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの取り付け	72
トップテザー付きチャイルドシートの取り付け	72
ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	170
トラベルモード	
ライト	133
トランスミッション	
スロットルブリッピング機能	125
マニュアルトランスミッション	124
トリップメーターの表示とリセット	167
トルクル	
ホイールボルトの締め付けトルク	279
トレイ (電話)	233
トレッドの深さ	
タイヤ	278

ナ

ナイトビューアシスト	
ON/OFF	137
カメラの清掃	137
のディスプレイ	137
一般的な安全に関する指示	136
警告時間の設定	137
作動原理	136
動物警告	136
歩行者警告	136
ナイト表示アシスト	
システム制限	136
警告メッセージ	136
ナビゲーション	219
インストールパネルのマップビューおよびナビゲーション情報	222
ツアーを計画する	221
トリップ概要	222
経由地を入力する	221
交通渋滞の迂回	222
設定	223
地図コンテンツの設定	221
地図画面の表示 / 設定	222
道路交通案内を表示	222
目的地の入力 / 検索	219

ハ

パーキングアシスタント	
サラウンドビュー	140
リバースカメラ	139
リヤクロストラフィックアラート	111
操作アシスト	107
パーキングエイド	
ミラーガラスの下向き切り替え	94
パーキングブレーキ	
解除	116
作動	116
パーキング・ブレーキ	
ブレーキテストスタンドの点検	273

パークアシスト	
リモートパークアシスト	104
ハイビーム	
ハイビームレバー	131
バイク	
サーキットでの運転 (センターロック付きホイールの交換)	289
ハザードライト	133
ハザードライトの ON/OFF	133
バッテリー	
ジャンパーケーブルによるエンジンの始動 (リチウムバッテリー)	250
ジャンパーケーブルによるエンジンの始動 (鉛蓄電池)	248
のお手入れ (鉛蓄電池)	251
の充電 (鉛蓄電池)	251
バッテリー上の警告 (鉛蓄電池)	251
リチウムバッテリー	246
鉛蓄電池	251
交換 (リチウムバッテリー)	246
交換 (鉛蓄電池)	254
車両エレクトリカルシステムの警告 (リチウムバッテリー)	246
車両エレクトリカルシステム電圧の警告 (鉛蓄電池)	251
取り付け位置 (鉛蓄電池)	251
充電 (リチウムバッテリー)	246
接続後の作業 (リチウムバッテリー)	246
接続後の作業 (鉛蓄電池)	251
注記 (鉛蓄電池)	251
バッテリーの交換	
キー	30
バニティーミラー	91
パワーウィンドウ	
キーによるサイドウィンドウの開閉 (リモートコントロール)	32
サイドウィンドウの開閉	31
ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる (コンフォートアクセス装備車)	32
停止位置の保存	32
パワーウィンドウの停止位置の保存	32

ハンドブレーキ(エレクトリックパーキングブレーキ)	
作動	116
自動解除	116
手動解除	116
ヒ	
ビークルプレート	302
ビデオ	
対応するデータ形式	313
ヒューズ	
ヒューズボックス	294
ヒューズの割り当て	294
ヒューズの交換	294
フ	
ファブリック・ライニング	
手入れ指示	271
ファンクションオンデマンド (FoD)	
アクティベーションの失敗	213
ダウンロードおよび作動	212
購入	212
停止	212
フィルターフラップ	
位置の表示	165
緊急操作	299
フットウェル温度	
調整	79
フットブレーキ	
に関する安全指示	115
プラグソケット (12 V)	245
フルードおよび燃料	303
ウォッシャー液	303
エンジンオイル	303
燃料	303
プレイリストを開く	216
ブレーキ	
一般的な安全に関する指示	115
フットブレーキ	115
ブレーキパッドとブレーキディスク	115
ブレーキパッド警告灯メッセージ	116

ブレーキの慣らしおよび清掃	115
ボルシェサーフェスコーテッドブレーキ (PSCB)	115
マルチコリジョンブレーキ	144
緊急ブレーキ機能	116
ブレーキアシスタンス	162
ブレーキテストスタンドのエレクトリックパーキング・ブレーキ	
の点検	273
ブレーキフルード	
ブレーキフルードレベルの点検	258
ブレーキフルードの交換	258
ブレーキ時の振動	161
フロアマット	
手入れ指示	271
フロントアームレストの収納ボックス	
の収納オプション	235
を開く	235
フロントウィンドウ	
デフロスター	80
フロントウィンドウウォッシャーシステム	
充填容量	303
フロントウィンドウワイパー	145
フロントスポイラ	
展開と格納	126
フロントスポイラー	
の作動原理	126
フロントワイパー	
タップ機能	147
フロントガラスを拭くおよびウォッシャー機能	147
レインセンサーをONにする	147
フロントウィンドウワイパー	
お手入れの諸注意	269
フロントガラス	
ワイパーブレード	148
フロントシート	
シートバックレストを前/後ろに倒す	88
の調整	87

へ	
ヘッドライト	133
お手入れの諸注意	269
トラベルモード	133
バルブの交換	133
調節	133
ベビーキャリア	70
ベビーシート	70
助手席エアバッグのON/OFF	71
ベルト	
手入れ指示	272
ホ	
ホイール	273
ウィンタータイヤ(一般情報)	290
スノーチェーン(一般情報)	290
センターボルトの緊急締め付けの実施	288
タイヤシーラント	291
タイヤバルブ	278
タイヤモビリティシステム - TMS	291
タイヤ空気圧プレート	302
タイヤ交換(一般情報)	281
タイヤ表記	277
パンク修理	291
ボルトボルト(お手入れ指導)	279
交換(セントラルホイールロック付き)	278
交換(セントラルホイールロック付き)	281
締め付けトルク	279
盗難防止ホイールボルト(レンチソケット)	279
保管	290
ホイールボルト	279
ホイールおよびタイヤのサイズ	309
ホイールのお手入れ	270
ボイスコマンドの発話	183
ボイスコントロール	181
Googleアシスタント	207
オンラインモード	181
コマンドの例	184
ボイスコマンドの発話	183
ボイスコントロールの使用	182

自動ヘッドライト較正.....	130	リヤフォグライト.....	128	車両を内側からロック.....	58
自動ホームライト.....	130	配光調整.....	130	車両緊急ロック.....	59
車幅灯.....	128	リヤワイパー.....	148	ロック オプション	
乗車機能/降車機能.....	130	復帰機能.....	148	設定.....	211
状況に応じた光制御.....	130	リヤシートバックレストを前方に倒す.....	89	ロック解除	
状況に応じた配光.....	130	ル		キーを使用した車両のロック解除.....	56
ライトバルブ.....	133	ルーフトランスポートシステム		コンフォートアクセスによる車両のロック解除.....	56
ラゲッジコンパートメント.....	241	キャリアの取り付け.....	235	ラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除	
を開く.....	33	のベースキャリアの取り付け.....	236	し開く.....	33
を閉じる.....	34	ルーフ・トランスポート・システムの		車内からのロック解除.....	57
緊急ロック解除.....	34	ルーフへの積み込み.....	235	車両緊急ロック解除.....	59
ラゲッジコンパートメントリッド		ルームミラー		ワ	
を開く.....	33	減光.....	93	ワイパー	
を閉じる.....	34	自動減光機能の ON/OFF の切り替え.....	93	リアウィンドウを拭く.....	148
緊急ロック解除.....	34	調節.....	93	ワイパブレードの交換.....	148
ラジオ.....	216	ルームミラーの自動減光機能の ON/OFF の切り替え.....	93	ワイパーブレード	
オンラインラジオ.....	216	レ		お手入れの諸注意.....	269
お気に入りの保存/編集.....	217	レーンキープアシスト.....	149	交換.....	148
周波数帯の設定.....	216	作動原理.....	151	ワイヤレスインターネットアクセス.....	226
放送局を選局/保存.....	216	レーンチェンジアシスト			
リ		ON/OFF.....	155		
リバースカメラ.....	139	の画面の明るさの設定.....	155		
リモートコントロール.....	29	レーンチェンジアシスト (LCA).....	153		
スライディング/チルティングルーフの開閉.....	38	リヤターンアシスト.....	153		
リモートパークアシスト.....	104	一般的な安全に関する指示.....	153		
リモコン		運転状況.....	155		
コンバーチブルトップの開閉.....	47	レーンキープアシスト			
タルガルーフの開閉.....	41	ON/OFF.....	152		
車両のロック.....	57	ロ			
車両のロック解除.....	56	ロービーム.....	128		
リヤウィンドウ		ロータリープッシュボタンとボタンの操作.....	179		
ヒーターの ON/OFF の切り替え.....	80	ローンチコントロール.....	123		
リヤクロストラフィックアラート.....	111	ロック			
リヤシート収納スペース.....	89	キーで車両をロックする.....	57		
リヤスポイラー		コンフォートアクセスで車両をロックする.....	57		
の作動原理.....	126	安全ロック.....	57		
展開と格納.....	126				
リヤターンアシスト.....	153				